

令和2（2020）年度

# 栃木県の教育

令和3（2021）年9月

栃木県教育委員会

令和2（2020）年度

# 栃木県の教育

## まえがき

このたび「令和2（2020）年度 栃木県の教育」がまとまりましたので刊行いたします。

本書は、令和2（2020）年度の本県の教育にかかわる組織、施策、施設、機関等の実績をとりまとめたものです。本書により、本県教育の概要を御理解いただき、本県教育力の向上のために御活用いただければ幸いです。

令和3（2021）年9月

栃木県教育委員会教育長

荒川 政利

# もくじ

## <本編>

### 〔Ⅰ〕教育委員会

- 1 県教育委員会 ..... 1
- 2 附属機関 ..... 4
- 3 表彰 ..... 7

### 〔Ⅱ〕教育行政

- 1 栃木県教育振興基本計画2020  
－教育ビジョンとちぎ－ ..... 12
- 2 栃木県教育大綱 ..... 13
- 3 教育行政重要施策 ..... 14
- 4 企画 ..... 16
- 5 広聴・広報 ..... 17
- 6 調査統計 ..... 18
- 7 人権教育の企画・調整 ..... 20

### 〔Ⅲ〕教育財政

- 1 教育財政 ..... 22

### 〔Ⅳ〕学校管理

- 1 学校施設 ..... 24
- 2 県立学校の授業料・入学料 ..... 28
- 3 学校数・学級数・児童数・生徒数 ..... 29
- 4 教員数と構成 ..... 34
- 5 人事 ..... 35
- 6 免許 ..... 36
- 7 現職教育 ..... 37
- 8 福利厚生 ..... 39

### 〔Ⅴ〕学校教育

- 1 教育課程 ..... 40
- 2 学力向上 ..... 40
- 3 児童・生徒指導 ..... 41
- 4 進路指導 ..... 42
- 5 研究学校 ..... 45
- 6 県立中学校入学者選考 ..... 47
- 7 高等学校入学者選抜 ..... 47
- 8 幼児教育 ..... 53
- 9 へき地・複式・分校教育 ..... 57
- 10 定時制・通信制教育 ..... 58
- 11 産業教育 ..... 59
- 12 特別支援教育 ..... 60
- 13 人権教育 ..... 61
- 14 国際理解教育 ..... 62
- 15 情報教育 ..... 63
- 16 学校体育 ..... 64
- 17 学校保健安全 ..... 68
- 18 食育・学校給食 ..... 72

### 〔Ⅵ〕生涯学習

- 1 生涯学習振興 ..... 73
- 2 社会教育施設 ..... 74

### 〔Ⅶ〕社会教育

- 1 社会教育指導者 ..... 77
- 2 社会教育関係団体 ..... 78
- 3 視聴覚教育 ..... 79
- 4 人権教育 ..... 80
- 5 成人教育 ..... 81
- 6 家庭教育 ..... 82
- 7 ふれあい学習 ..... 84
- 8 青少年教育 ..... 85

### 〔Ⅷ〕スポーツ

- 1 スポーツ施設 ..... 87
- 2 スポーツ活動 ..... 88
- 3 競技力の向上 ..... 91

### 〔Ⅸ〕文化

- 1 文化施設 ..... 94
- 2 文化活動 ..... 95
- 3 文化財 ..... 100

### 〔Ⅹ〕教育機関等事業

- 1 総合教育センター ..... 102
- 2 文書館 ..... 112
- 3 図書館 ..... 116
- 4 青年の家 ..... 119
- 5 少年自然の家 ..... 120
- 6 とちぎ海浜自然の家 ..... 122
- 7 なす高原自然の家 ..... 124
- 8 体育館 ..... 125
- 9 日光霧降アイスアリーナ ..... 126
- 10 グリーンスタジアム ..... 126
- 11 県南体育館 ..... 127
- 12 県北体育館 ..... 128
- 13 温水プール館 ..... 129
- 14 ライフル射撃場 ..... 129
- 15 県体育館分館 ..... 130
- 16 総合運動公園北・中央エリア ..... 130
- 17 とちぎスポーツ医科学センター ..... 132
- 18 埋蔵文化財センター ..... 133
- 19 その他の機関・団体 ..... 134

# 〔I〕教育委員会

# 1 県教育委員会

## (1) 教育長及び教育委員

教育長 荒川 政利  
教育長職務代行者 工藤 敬子  
委員 金子 達也  
委員 陣内 雄次  
委員 板橋 信行  
委員 鈴木純美子

## (2) 会議の運営及び内容

教育委員会の会議は、次の法令により運営されます。

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）
- 栃木県教育委員会会議規則（昭和31年栃木県教育委員会規則第4号）
- 栃木県教育委員会傍聴人規則（昭和31年栃木県教育委員会規則第5号）

会議は原則公開ですが、人事に関する議案を審議する場合等では、出席委員の3分の2以上の多数で決して、非公開の会議とする場合があります。

会議は、定例会及び臨時会があり、定例会は毎月1回開催されます。

令和2（2020）年度における会議の開催回数は、定例会12回、臨時会2回の計14回であり、審議内容別の件数は次のとおりです。

また、教育委員協議会を15回開催しています。

## 審議等内容

総件数	166 件
○議案	63 件
・基本方針に関すること	(18 件)
・人事、服務に関すること	(19 件)
・条例、規則等の制定、改廃に関すること	(14 件)
・学校教育に関すること	(8 件)
・文化財保護に関すること	(1 件)
・表彰に関すること	(3 件)
○報告	45 件
○協議等	58 件

## 〔教育委員会に付議した事項〕

### 令和2（2020）年4月7日（火） 定例会

- 1 令和2（2020）年度栃木県教科用図書選定審議会委員の任命について
- 2 令和3（2021）年度栃木県立中学校入学者選考要項について
- 3 令和3（2021）年度栃木県立高等学校入学者選考要項について
- 4 令和3（2021）年度栃木県立特別支援学校の高等部及び幼稚部の入学者選考要項について

### 令和2（2020）年5月13日（水） 定例会

- 1 栃木県ライフル射撃場設置、管理及び使用料条例の一部改正について
- 2 栃木県産業教育審議会の委員の任命について
- 3 学校運営協議会の委員の任命について

### 令和2（2020）年6月5日（金） 定例会

- 1 栃木県いじめ問題対策委員会の委員の任命について
- 2 令和3（2021）年度使用栃木県立中学校の教科用図書の採択に係る調査研究について
- 3 栃木県スポーツ推進審議会の委員の任命について

### 令和2（2020）年7月7日（火） 定例会

- 1 栃木県立美術館評議員会委員の任命について
- 2 栃木県立博物館協議会委員の任命について
- 3 第29期栃木県立図書館協議会委員の任命について

### 令和2（2020）年7月20日（月） 臨時会

- 1 事務局等職員の懲戒処分について

### 令和2（2020）年8月4日（火） 定例会

- 1 学校職員の懲戒処分について
- 2 公立小学校長等の人事について
- 3 県立学校管理規則の一部改正について
- 4 令和3（2021）年度県立中学校で使用する教科用図書の採択について
- 5 令和3（2021）年度県立特別支援学校の小学部及び中学部で使用する教科用図書の採択について
- 6 第13期栃木県生涯学習審議会委員の任命に関する教育委員会の意見について

### 令和2（2020）年9月1日（火） 定例会

- 1 栃木県立博物館協議会委員の任命について
- 2 令和2（2020）年度教育委員会の点検・評価（令和元（2019）年度対象）（案）について
- 3 令和2（2020）年度教育功労者、優良学校及び優良団体の表彰について
- 4 宇都宮中央女子高新校及び足利高・足利女子高新校の校名について
- 5 栃木県高等学校等修学資金貸与条例の一部改正について
- 6 学校職員の懲戒処分について
- 7 令和2（2020）年度9月補正予算案について
- 8 令和2（2020）年度とちぎ教育賞について

- 9 令和3(2021)年度栃木県立高等学校の生徒並びに特別支援学校の高等部の生徒及び幼稚部の幼児の募集定員の見込みについて
- 10 令和3(2021)年度公立学校職員定期異動方針について
- 11 栃木県体育施設設置、管理及び使用料条例の一部改正について

**令和2(2020)年11月4日(水) 定例会**

- 1 「栃木県教職員懲戒処分の基準」の一部改正について
- 2 栃木県立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 3 指定管理者の指定について

**令和2(2020)年12月1日(火) 定例会**

- 1 令和3(2021)年度教育委員会事務局等職員定期人事異動基本方針について
- 2 令和2(2020)年度12月補正予算案について
- 3 学校職員の懲戒処分について
- 4 県立学校管理規則の一部改正について
- 5 特定事業契約の締結について

**令和3(2021)年1月7日(木) 定例会**

- 1 令和2(2020)年度栃木県教育委員会各種大会優勝者等表彰について
- 2 学校職員の懲戒処分について
- 3 令和3(2021)年度栃木県立高等学校の生徒並びに特別支援学校の高等部の生徒及び幼稚部の幼児の募集定員について

**令和3(2021)年2月4日(木) 定例会**

- 1 令和2(2020)年度2月補正予算案について
- 2 令和3(2021)年度当初予算案について
- 3 学校職員定数条例の一部改正について
- 4 義務教育諸学校等の教育職員の給与等の特例に関する特別措置に関する条例の一部改正について
- 5 栃木県教育振興基本計画2025の策定について
- 6 県立学校管理規則の一部改正について
- 7 栃木県特別支援教育推進計画の策定について
- 8 栃木県体育施設設置、管理及び使用料条例の一部改正について
- 9 指定管理者の指定について
- 10 特定事業契約の変更について
- 11 栃木県スポーツ推進計画2025の策定について
- 12 栃木県文化財保存活用大綱の策定について
- 13 栃木県指定有形文化財の指定について

**令和3(2021)年3月18日(木) 定例会**

- 1 事務局等職員の人事について
- 2 公立小・中・義務教育学校及び県立学校の人事について
- 3 学校職員の懲戒処分について

**令和3(2021)年3月25日(木) 臨時会**

- 1 令和2(2020)年度3月補正予算案について

- 2 栃木県教育委員会事務局組織規程の一部改正について
- 3 公立学校職員の給与に関する教育委員会規則の一部改正について
- 4 「学校における働き方改革推進プラン」の改定について
- 5 指導が不適切な教員の認定等に関する規則の制定について

**(3) 栃木県総合教育会議**

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第1条の4の規定により栃木県知事が招集する栃木県総合教育会議に、県教育委員会は構成員として出席します。

令和2(2020)年度における総合教育会議は2回開催されました。

**〔総合教育会議の協議事項等〕**

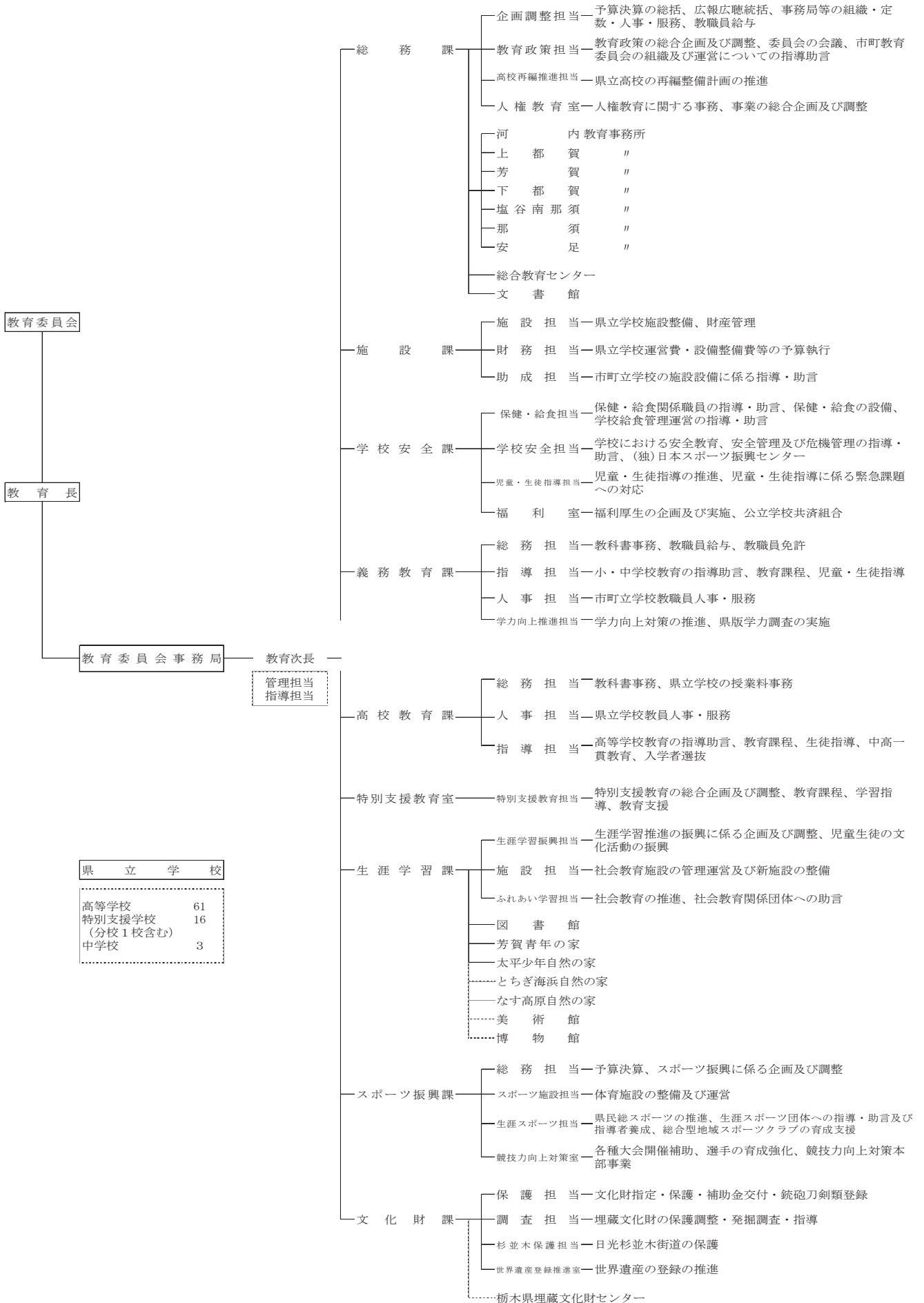
**令和2(2020)年8月7日(金)**

- 1 次期栃木県教育大綱骨子案について

**令和3(2021)年1月20日(水)**

- 1 次期栃木県教育大綱(案)について

図 I - 1 県教育委員会機構図 (R2(2020).4.1 現在)





## 2 附 属 機 関

### (1) 栃木県教科用図書選定審議会

根拠法令 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第11条

設置期間 令和2(2020)年4月7日から令和2(2020)年8月31日まで

人 員 16人

目 的 教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議し、答申する。

- 1 市町の教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く。）の校長の行う教科用図書の採択に関する事務についての県教育委員会の指導、助言又は援助に関する事項
- 2 県立の義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択に関する事項

第1号委員（校長及び教員）

- 宮井 由美（宇都宮市立城山東小学校長）  
大金 浩（那珂川町立馬頭中学校長）  
菊池 潤子（日光市立今市小学校教諭）  
鈴木 貴之（宇都宮市立姿川中学校教諭）  
田仲 香里（宇都宮大学共同教育学部附属中学校教諭）  
小松 康子（宇都宮短期大学附属中学校教諭）

第2号委員（学校教育に専門的知識を有する者）

- 大島 政春（栃木県総合教育センター所長）  
中村 千浩（栃木県教育委員会事務局教育次長）  
関 栄二（芳賀教育事務所長）  
森島 仁（さくら市教育委員会教育委員）  
田村 幸一（壬生町教育委員会教育長）

第3号委員（学識経験者）

- 設楽 富男（栃木県連合教育会常務理事）  
鈴木 啓子（宇都宮大学共同教育学部教授）  
宇津野花陽（白鷗大学教育学部准教授）  
稲村 美幸（栃木県特別支援教育手をつなぐ親の会会員）  
阿部 路代（栃木県PTA連合会理事）

審議状況 2020年度は会議を2回開催し、審議事項は次のとおりです。

- 1 令和3(2021)年度使用教科用図書の採択の基本方針等について
- 2 教科用図書調査研究について

### (2) 栃木県産業教育審議会

根拠法令 産業教育振興法（昭和26年法律228号）

栃木県産業教育審議会条例（昭和60年条例第35号）

人 員 10人

委 員（第41期）

板橋 信行（栃板通代表取締役社長）

市川 剛久（仙波糖化工業㈱執行役員総務部長）

山本 純子（ヤマゼンコミュニケーションズ㈱常務取締役）

手塚 敏子（県女性農業士会会長）

山口真利子（国際自動車・ビューティ専門学校長）

大森 玲子（宇都宮大学地域デザイン科学部教授）

菅井 康政（足利大学附属高等学校長）

羽山 潔（県立宇都宮白楊高等学校長）

鈴木 克伸（宇都宮市立横川中学校長）

鈴木 啓介（栃木労働局職業安定部長）

### (3) 栃木県いじめ問題対策委員会

根拠法令 栃木県いじめ問題対策委員会条例（平成26年栃木県条例45号）

人 員 7人

目 的 県立学校におけるいじめの防止等のための対策に関する審議等を行う。

委 員

- 石神 知也（石神法律事務所弁護士）  
柳川 悦子（柳川小児科医院医師）  
伊崎 純子（白鷗大学教育学部准教授）  
手塚有里恵（大田原市教育支援センター スクールソーシャルワーカー）  
澤田 匡人（学習院女子大学国際文化交流学部准教授）  
原田 浩司（宇都宮大学共同教育学部准教授）  
荒山 秀夫（元宇都宮東警察署長）

### (4) 栃木県社会教育委員

（第35期 平成30(2018)年7月23日～令和3(2021)年7月22日）

根拠法令 社会教育法第15条

人 員 20人以内

目 的 社会教育に関する諸計画を立案し、教育委員会の諮問に応じ、これに対し意見を述べる。

学校教育関係者

- 宮井 由美（宇都宮市立城山東小学校長）  
増山 孝之（宇都宮市立若松原中学校長）  
中田 誠（栃木県立富屋特別支援学校長）

社会教育関係者

- 金田 淳（栃木県PTA連合会長）  
渋谷 一雄（栃木県高等学校PTA連合会事務局長）  
内藤 進（(一社)栃木県子ども会連合会長）  
島田 知子（(一社)ガールスカウト栃木県連盟前連盟長）  
川村多喜男（日光市教育委員会事務局生涯学習課長）

家庭教育関係者

- 伊吹 桂子（栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会顧問）  
石塚 雅子（栃木県女性教育推進連絡協議会副会長）

学識経験者

- 青木 章彦（作新学院大学女子短期大学部教授）  
横山 明子（帝京大学理工学部総合基礎科目教授）  
高橋 克彦（株式会社東武宇都宮百貨店人事部人事課長）



岡崎 真弓 (栃木県社会福祉協議会福祉資金課長)

吉川 文子 (人権擁護委員)

公 募

渡邊真知子 (特定非営利活動法人代表理事)

池澤 良子 (第2あそ野子どもクラブ指導員補助)

審議状況 令和2(2020)年度は、第5回会議において、  
テーマに関する調査結果を基に審議を行いました。  
さらに、書面開催による第6回会議を経て、報告書「  
障害者の学びを支援する社会教育の推進方策について」  
を作成しました。

## (5) 栃木県立図書館協議会

(第29期 平成30(2018)年7月23日～令和3(2021)年  
7月22日)

根拠法令 図書館法第14条

人 員 10人

目 的 図書館長の諮問に応じるとともに、図書館の  
行う図書館奉仕について意見を述べる。

委 員

見目 宗弘 (栃木県学校図書館協議会長・日光市立豊  
岡中学校長)

阿部 路代 (栃木県PTA連合会副会長)

七海 朱美 (栃木県女性教育推進連絡協議会副会長)

永嶋 祐子 (栃木県公民館連絡協議会副会長)

相馬 裕子 (栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会副会長)

大橋 幸雄 (作新学院大学特任教授)

大音 由里 (栃木子どもの本連絡会会長)

板倉 英伸 (宇都宮市立中央図書館長)

高山 慶子 (宇都宮大学准教授)

寺島 玄 (公募委員)

審議状況 令和2(2020)年度は協議会を1回書面開催  
し、令和2(2020)年度主要事業実施状況及び栃  
木県立図書館運営評価結果、令和3(2021)年度  
事業計画等について審議しました。

## (6) 栃木県生涯学習審議会

(第13期 平成30(2018)年7月11日～令和3(2021)年  
7月10日)

根拠法令 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の  
整備に関する法律

人 員 20人以内

目 的 知事又は教育委員会の諮問に応じ、生涯学習  
に関する重要事項を調査審議する。

委 員

小森 健久 (宇都宮市文化会館館長)

草野 英二 (一社) 栃木県医師会常任理事)

塩澤 好和 ((公財) 栃木県スポーツ協会参事兼武道館長)

石川 尚子 ((一社) 栃木県専修学校各種学校連合会理事)

大嶋 一生 (日光市長)

加藤 公博 (高根沢町長)

早川 桂子 (栃木県議会議員)

佐藤 義美 (栃木市教育委員会生涯学習部生涯学習課長)

風間 教司 ((有) 風間総合サービス代表取締役)

生井 泉 (親学習チーム日光代表)

川井 正枝 (栃木県女性団体連絡協議会副会長)

富田 哲夫 ((社福) とちぎ健康福祉協会理事長)

伊吹 桂子 (栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会顧問)

浪花なをみ (宇都宮市立細谷小学校長)

狩野 琢哉 ((独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構栃  
木支部長兼栃木職業能力開発促進センター  
所長)

内藤 靖 ((公社) 栃木県経済同友会幹事)

中村 祐司 (宇都宮大学地域デザイン科学部教授)

和田佐英子 (宇都宮共和大学シティアイフ学部教授)

竹内 律 (公募委員：宇都宮市生涯学習センター運営  
審議会副委員長)

宮地 ゆみ (公募委員：日光市安良沢小学校コーディネ  
ーター)

審議状況 令和2(2020)年度は、栃木県生涯学習推進計  
画(六期計画)～とちぎ学び輝きプラン～の策  
定に向け、素案に対する意見聴取を行いました。

## (7) 栃木県スポーツ推進審議会

(平成30(2018)年7月7日～令和3(2021)年7月6日)

根拠法令 スポーツ基本法第31条

人 員 20人以内

目 的 県のスポーツ推進計画、その他スポーツの推進  
に関する重要事項を調査審議する。

委 員

三森 文徳 (栃木県議会議員)

塩澤 好和 ((公財) 栃木県スポーツ協会参事兼武道館長)

安藤 佳子 (栃木県レクリエーション協会 指導者養成委員会副委員長)

鈴木 幸江 (栃木県スポーツ推進委員協議会理事)

前田 秀美 (栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会)

小金沢 茂 ((特非) 栃木県障害者スポーツ協会副主幹)

香川 玲子 ((一社) 栃木県幼稚園連合会理事)

小川 史子 (栃木県小学校教育研究会体育部会理事)

星 和人 (栃木県中学校体育連盟会長)

丸茂 博 (栃木県高等学校体育連盟会長)

渡邊 明男 (栃木県私立中学高等学校連合会)

月橋 春美 (宇都宮共和大学教授)

久保 元芳 (宇都宮大学准教授)

内山須美子 (白鷗大学教授)

小山さなえ (山梨学院大学教授)

並木 裕子 (加圧トレーニングインストラクター)

阿久津通恵 (公募委員)

津久井富雄（栃木県市長会・大田原市長）

星野 光利（栃木県町村会・上三川町長）

田上 富男（栃木県市町村教育委員会連合会）

審議状況 令和2（2020）年度は、審議会を3回開催し、令和3（2021）年度からの栃木県スポーツ推進計画2025の策定に向けて審議しました。

### (8) 栃木県文化財保護審議会

（平成30（2018）年7月19日～令和3（2021）年7月18日）

根拠法令 文化財保護法第190条、栃木県文化財保護審議会条例・規則

人 員 16人

目 的 教育委員会の諮問に応じて、文化財の保護及び活用等に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。

委 員

青木 章彦（作新学院大学女子短期大学部教授）

新井 敦史（大田原市黒羽芭蕉の館学芸員）

上野 勝久（東京芸術大学大学院教授）

小川 聖（元小山市立博物館学芸員）

柏村 勇二（栃木県立博物館教育広報課長）

金井 忠夫（那須塩原市那須野が原博物館特別研究員）

齊藤 弘江（栃木県建築士会副会長）

酒寄 雅志（國學院大學栃木短期大学教授）

関沢まゆみ（国立歴史民俗博物館研究部教授）

副島 弘道（大正大学名誉教授）

高山 慶子（宇都宮大学准教授）

千田 孝明（元栃木県立博物館学芸部技幹兼人文課長）

林 光武（栃木県立博物館学芸部長）

原田 一敏（ふくやま美術館館長）

原田 正彦（（公財）日光社寺文化財保存会上席主任技師）

梁木 誠（栃木県考古学会会長）

審議状況 令和2（2020）年度は、会議を2回開催し、有形文化財（古文書）1件について県指定有形文化財にするよう答申しました。

### (9) 栃木県立美術館評議員会

（平成30（2018）年11月2日～令和3（2021）年11月1日）

根拠法令 博物館法20条第1項 栃木県立美術館条例第9条

人 員 11人

目 的 美術館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる。

委 員

稲葉 守（栃木県中学校教育研究会美術部会会長・茂木町立茂木中学校長）※R2（2020）.7.7就任

田中 正浩（栃木県中学校教育研究会美術部会会長・市貝町立市貝中学校長）※R2（2020）.7.6退任

朝倉 真美（栃木県小学校教育研究会図画工作部会会長・宇都宮市立東小学校長）※R2（2020）.7.7就任

鈴木 淑光（栃木県小学校教育研究会図画工作部会会長・宇都宮市立泉が丘小学校長）※R2（2020）.7.6退任

清水奈名子（宇都宮大学学術院国際学部准教授）

橋本 房子（家庭教育オピニオンリーダー連合会顧問）

佐々木正直（群馬県立館林美術館長）

佐々木吉晴（宇都宮美術館長）

梶原 紀子（認定特定非営利活動法人もうひとつの美術館代表理事・館長）

横松 盛人（栃木県議会議員）※R2（2020）.7.7 就任

野村せつ子（栃木県議会議員）※R2（2020）.7.6 退任

松下 正直（㈱足利銀行取締役兼代表執行役頭取）

岸本 卓也（㈱下野新聞社代表取締役社長）

有坂 隆二（公募）

審議状況 令和2（2020）年度は、会議を2回開催

（R2（2020）.8、R3（2021）.2）し、令和元（2019）年度事業実績報告、令和元（2019）年度美術館評価、令和2（2020）年度事業実施状況及び令和3（2021）年度事業計画について審議しました。

### (10) 栃木県立博物館協議会

（平成30（2018）年12月7日～令和3（2021）年12月6日）

根拠法令 博物館法20条第1項 栃木県立博物館条例第9条

人 員 17人

目 的 博物館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる。

委 員

飯野 達央（元栃木県参事兼自然環境課長）

大澤 慶子（文星芸術大学准教授）

岡部 正英（栃木県市長会・佐野市長）

荻原恵美子（㈱下野新聞社編集局くらし文化部部長代理）

佐藤 峰子（ボランティア連絡協議会）

野村せつ子（栃木県議会議員）※R2（2020）.7.7 就任

湯澤 英之（栃木県議会議員）※R2（2020）.7.6 退任

藤田 眞一（下野手仕事会会長）

真瀬 宏子（栃木県町村会・野木町長）

黒崎めぐみ（NHK宇都宮放送局長）※R2（2020）.9.1 就任

村木優実子（NHK宇都宮放送局長）※R2（2020）.8.31 退任

長谷部佳世（栃木県公民館連絡協議会理事・

宇都宮市篠井生涯学習センター所長）

※R2（2020）.9.1 就任

益子ゆかり（栃木県公民館連絡協議会理事・

那須烏山市烏山公民館長）※R2（2020）.8.31 退任

揚石 哲司（栃木県PTA連合会副会長）

中西 幸子（栃木県子ども会連合会理事）

上野 一典（栃木県私立中学高等学校連合会・

宇都宮文星女子高等学校長）

新井由紀子（栃木県小学校長会・

宇都宮市立平石北小学校長）

増山 孝之 (栃木県中学校長会・  
宇都宮市立若松原中学校長)  
根本いづ美 (栃木県高等学校長会・  
栃木県立益子芳星高等学校長)  
藤本由利子 (公募)

審議状況 令和2(2020)年度は会議を1回開催  
(R2(2020).10)し、令和2(2020)年度博物館  
事業の実施状況及び令和元(2019)年度博物館  
評価について審議しました。

## 3 表 彰

### (1) 教育功労者・優良学校及び優良団体表彰

表彰式 令和2(2020)年10月26日  
栃木県公館 大会議室

受賞者

#### 【教育功労者】

菊地 明男 (宇都宮市立星が丘中学校長)  
星 和人 (宇都宮市立宮の原中学校長)  
鶴見 行雄 (宇都宮市立豊郷中央小学校長)  
渡邊 功 (宇都宮市立御幸が原小学校長)  
小野 徹 (鹿沼市立東小学校長)  
金子 英利 (鹿沼市立中央小学校長)  
阿美 浩二 (日光市立今市第三小学校長)  
岩渕 徹 (益子町立益子中学校長)  
市村 博美 (益子町立七井小学校長)  
金澤 長年 (真岡市立真岡中学校長)  
金森 宏 (小山市立小山城南中学校長)  
島田 芳行 (栃木市立栃木東中学校長)  
小林 勇夫 (栃木市立栃木西中学校長)  
小野 浩 (栃木市立藤岡第一中学校長)  
上野 直哲 (小山市立大谷東小学校長)  
鈴木 廣志 (栃木市立大平中央小学校長)  
坂本美知夫 (高根沢町立阿久津小学校長)  
鈴木 弘 (那須烏山市立南那須中学校長)  
助川 健治 (大田原市立金田北中学校長)  
成田 智敬 (那須町立那須高原小学校長)  
池田 和彦 (那須塩原市立厚崎中学校長)  
鈴木 一弘 (足利市立山前小学校長)  
酒井 康行 (佐野市立植野小学校長)  
関根 景子 (足利市立山辺中学校長)  
久保田幹雄 (のぞわ特別支援学校長)  
星 尚志 (真岡女子高等学校長)  
橋本 伸一 (わかくさ特別支援学校長)  
加藤 豊 (那須特別支援学校長)  
林 博子 (足利特別支援学校長)  
日下田静夫 (真岡工業高等学校長)  
坂本 浩之 (烏山高等学校長)  
谷中 郁夫 (小山高等学校長)  
青木 茂実 (大田原女子高等学校長)  
志賀 直樹 (那須高等学校長)  
高野 久美 (聾学校長)  
津久井秀一 (今市特別支援学校長)  
外館 孝 (宇都宮東高等学校教頭)  
川田みどり (小山南高等学校教頭)

藤田 光明 (宇都宮工業高等学校教諭)  
岩井 恵 (盲学校教諭)  
椽本 啓治 (梁田地区社会教育振興委員会委員長)  
小川 成一 (那珂川町体育協会会長)  
岩上 純一 (野木町スポーツ推進委員会副会長)  
橋本 憲一 (学校医)  
植原 雅章 (学校歯科医)  
猪瀬 昌子 (学校薬剤師)  
酒井 邦夫 (鹿沼市立北中学校長)  
大嶽 浩良 (宇都宮市文化財保護審議委員会委員)  
伊東 徹 (元矢板市文化財保護審議委員会会長)

#### 【優良学校】

矢板市立片岡小学校  
益子町立益子西小学校  
日光市立今市第三小学校

#### 【優良団体】

栃木県立聾学校 PTA  
茂木町ソフトボール協会

## (2) 令和2(2020)年度とちぎ教育賞受賞者表彰

表彰式 令和2(2020)年10月13日  
栃木県公館 大会議室

#### 受賞者

篠崎 敦史 (宇都宮市立中央小学校)  
伴瀬 礼朗 (宇都宮市立姿川第二小学校)  
吉原 成子 (宇都宮市立陽東小学校)  
永田 夏子 (宇都宮市立瑞穂野中学校)  
渋江 貴子 (宇都宮市立城山中学校)  
亀和田和子 (宇都宮市立雀宮中学校)  
黒崎 美貴 (宇都宮市立宝木中学校)  
宇都木香緒里 (上三川町立明治中学校)  
丹治 佳子 (日光市立日光小学校)  
安田 晃一 (鹿沼市立東中学校)  
伊奈川正通 (鹿沼市立粟野中学校)  
大嶋 寿美 (日光市立今市中学校)  
野澤 康子 (真岡市立山前小学校)  
堀口 勲 (茂木町立茂木中学校)  
涌井 俊裕 (芳賀町立芳賀中学校)  
鈴木 智美 (野木町立南赤塚小学校)  
侘美 尚之 (小山市立小山城南小学校)  
小堤 正子 (小山市立大谷東小学校)  
曾根 美幸 (栃木市立大平中央小学校)  
木下 恵 (下野市立石橋小学校)  
高橋 真江 (下野市立古山小学校)

板子 宏 (壬生町立南犬飼中学校)  
村石紀代美 (栃木市立大平南中学校)  
田角香緒里 (那須烏山市立烏山小学校)  
山本 敏江 (那珂川町立馬頭小学校)  
西脇 紀子 (さくら市立氏家中学校)  
小須賀沙耶花 (那須町立高久小学校)  
齋藤由紀恵 (那須塩原市立黒磯小学校)  
相馬 秀樹 (大田原市立大田原中学校)  
内海 知恵 (大田原市立金田南中学校)  
石田 啓子 (那須塩原市立西那須野中学校)  
内田美千代 (佐野市立界小学校)  
北川 智子 (足利市立北郷小学校)  
小竹 和之 (佐野市立西中学校)  
大川恵里子 (足利市立第二中学校)  
橋本 香織 (栃木県立宇都宮北高等学校)  
五月女章子 (栃木県立宇都宮中央女子高等学校)  
川崎 智則 (栃木県立宇都宮白楊高等学校)  
江口 聡 (栃木県立鹿沼高等学校)  
飯泉 剛史 (栃木県立今市工業高等学校)  
芝野 徹 (栃木県立上三川高等学校)  
栗原 英男 (栃木県立小山西南高等学校)  
佐藤阿希美 (栃木県立佐野東高等学校)  
杉 真幸 (栃木県立足利高等学校)  
久保田佳代 (栃木県立足利女子高等学校)  
庄司 一廣 (栃木県立足利工業高等学校)  
加藤 信行 (栃木県立大田原高等学校)  
大西 真純 (栃木県立岡本特別支援学校)  
檜山かおり (栃木県立今市特別支援学校)  
川俣 卓也 (栃木県立那須特別支援学校)

## (3) 栃木県公立学校職員退職者に対する感謝状贈呈

令和3(2021)年3月31日

#### 被贈呈者

令和2(2020)年度末で退職した小・中学校関係466人、県立学校関係181人の計647人に対し感謝状が贈呈されました。

## (4) 各種大会優勝者等表彰

表彰式 令和3(2021)年2月8日  
栃木県公館大会議室

受賞者 令和2(2020)年度栃木県教育委員会各種大会優勝者等表彰受賞者名簿のとおり

体育関係 個人 24人  
団体 3団体  
学芸関係 個人 6人  
団体 3団体



令和2(2020)年度栃木県教育委員会各種大会優勝者等表彰受賞者名簿

体育関係(個人)

No.	個人名	所属	大会名	種目・成績
1	えのもと はるか 榎本 遼香	栃木DC	第96回日本選手権 水泳競技大会	飛込競技 女子シンクロ ナイズド競技の部 3m飛板飛込 優勝
2	かわめ たくま 川目 拓磨	(公財)栃木県 スポーツ協会	第75回国民体育大会 冬季大会スケート競技会	スピード競技 成年男子500m 優勝
3	ささき ひさよ 佐々木 寿代	自衛隊栃木地方 協力本部	第19回全日本短剣道大会	女子個人戦 優勝
4	すぎと こうた 杉戸 洸太	文星芸術大学附属 高等学校	第19回全日本短剣道大会	男子個人戦 高校生の部 優勝
5	すずき たすく 鈴木 大空	文星芸術大学附属 高等学校	第39回全日本学生銃剣道 選手権大会	個人戦 短剣道 高校生の部(男子) 優勝
6	すずき としひろ 鈴木 利広	栃木県銃剣道連盟	第19回全日本短剣道大会	男子個人戦 成年Cの部 優勝
7	はぎの こうすけ 萩野 公介	ブリヂストン	第62回日本選手権(25m) 水泳競技大会	男子200m個人メドレー 男子400m個人メドレー 優勝
			第96回日本選手権 水泳競技大会	男子200m個人メドレー 男子400m個人メドレー 優勝
8	はせがわ きららこ 長谷川 晶子	那須トレーニング ファーム	第44回全日本ジュニア 障害馬術大会2020	ジュニアライダー 障害飛越選手権 優勝
9	はらさわ こたろう 原澤 虎太郎	勇志国際高等学校	第57回全国中学校 スキー大会	男子スラローム 優勝
10	ひらなが けんた 平永 健太	乗馬クラブ クレイン栃木	第71回全日本障害馬術大会 2019 Part I	中障害飛越競技B (決勝) 優勝
11	まつだ みさき 松田 弥咲妃	日本大学山形高等 学校	第57回全国中学校 スキー大会	女子ジャイアントスラ ローム 優勝
12	むらの こうたろう 村野 滉太郎	仙台大学	第47回全日本大学選手権 大会	ボート競技 男子エイト 優勝
13	やまね だいち 山根 大地	日本大学	第66回全日本学生ウエイト リフティング個人選手権大会	男子73kg級 優勝
14	やまもと えりな 山本 衣里菜	白鷗大学	第39回全日本学生銃剣道 選手権大会	個人戦 短剣道 大学・高校生女子の部 優勝

令和2(2020)年度栃木県教育委員会各種大会優勝者等表彰受賞者名簿

体育関係(個人)

No.	個人名	所属	大会名	種目・成績
15	ほそかわ えりか 細川 映里香	鍋掛牧場	第72回全日本馬場馬術大会 2020 Part I	【内国産馬】 Mクラス馬場馬術 競技(決勝) 優勝
16	かわまた れい 川又 玲瑛	栃木県立宇都宮南 高等学校	スポーツライミング 第6回ボルダリングユース 日本選手権葛飾大会	男子ユースA 優勝
17	かとう らいと 加藤 頼斗	大田原市立大田原 中学校	スポーツライミング 第6回ボルダリングユース 日本選手権葛飾大会	男子ユースC 優勝
18	ゆずき たける 柚木 武	法政大学	全日本学生テニス選手権大会	男子ダブルス 優勝
19	しみず さきこ 清水 咲子	ミキハウス	第96回日本選手権水泳 競技大会	女子400m 個人メドレー 優勝
20	やまむら ゆい 山村 侑生	(公財)栃木県 スポーツ協会	第34回全日本女子ウエイトリ フティング選手権大会	女子59kg級 優勝
21	ひろた りゅうま 広田 龍馬	那須トレーニング ファーム	第72回全日本馬場馬術大会 2020 Part II	ダービー競技 (決勝) 優勝
22	ひろた やまと 広田 大和	那須トレーニング ファーム	第72回全日本馬場馬術大会 2020 Part II	中障害飛越競技D (決勝) 優勝
23	きみしま おーら 君島 王羅	足利大学附属高等 学校	第1回全日本学生アルペン選 抜大会	男子スラローム 優勝
24	おおたに ももこ 大谷 桃子	かんぼ生命	2020年全仏オープン	車いすの部 女子シングルス 準優勝

体育関係(団体)

No.	団体名	大会名	種目・成績
25	文星芸術大学附属高等学校	第19回全日本短剣道大会	団体戦 高校生の部 優勝
		第39回全日本学生銃剣道大会	団体戦 短剣道 高校生の部(男子) 優勝
26	白鷗大学	第39回全日本学生銃剣道大会	団体戦 短剣道 大学・高校生女子の部 優勝
27	栃木県立今市高等学校	第52回全国高等学校選抜ホッケー大会	男子 優勝

令和2(2020)年度栃木県教育委員会各種大会優勝者等表彰受賞者名簿

学芸関係(個人)

No.	個人名	所属	大会名	種目・成績
28	いんなみ はるか 印南 遙	作新学院高等学校	第44回全国学生書写書道展	文部科学大臣賞
29	にしまえ しおん 西前 詩音	宇都宮市立旭中学校	第8回日本学校合奏コンクール 2019全国大会ソロ&アンサンブル コンテスト	ソロ部門 小学校の部 文部科学大臣賞
30	しのざき みらん 篠崎 美蘭	宇都宮市立横川中学校	第21回ショパン国際ピアノコン クール in ASIA	アジア大会 小学5・6年生部門 金賞
31	わたなべ こう 渡邊 康	栃木県立宇都宮高等 学校	第14回全国高校生 英語ディベート大会	最優秀 ディベーター賞
32	たての ともか 館野 智香	栃木県立宇都宮女子 高等学校	第87回書壇院学生展	文部科学大臣賞
33	ますぶち りむ 増渕 里夢	栃木県立宇都宮白楊 高等学校	第8回日本学校合奏コンクール 2019全国大会ソロ&アンサンブル コンテスト	ソロ部門 高等学校の部 文部科学大臣賞

学芸関係(団体)

No.	団体名	大会名	種目・成績
34	宇都宮市立星が丘中学校 合唱部	第72回全日本合唱コンクール全国大会	中学校部門 同声合唱の部 文部科学大臣賞
35	佐野市立田沼西中学校 最高に輝け!Best friends	第7回全国小・中学校リズムダンス ふれあいコンクール	自由曲中学生部門 文部科学大臣賞
36	栃木県立宇都宮高等学校	第14回全国高校生 英語ディベート大会	文部科学大臣賞



## 〔Ⅱ〕教 育 行 政

# 栃木県教育振興 1 基本計画 2020 -教育ビジョンとちぎ-

## 【計画策定の趣旨】

教育基本法では、教育は一人一人の「人格の完成」を目指すとともに「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質」の育成を求めています。教育に課せられたこのような使命を果たすためには、とちぎの子どもたちが、自己実現を目指して生涯にわたり学び続けていけるようにすること、そして、主体的に社会に参画してこれから先の未来を自分たちの手でともに創造していけるようにすることが必要と考えます。

県教育委員会では、平成23(2011)年度から平成27(2015)年度までの三期計画の成果と課題を踏まえ、とちぎの子どもたちが将来、社会的に自立し、主体的に社会に参画して生きていける力を培えるよう、平成28(2016)年度からの5年間の本県教育行政の基本方向を示す本計画を策定しました。

## 【計画の性格】

- 教育基本法第17条第2項に基づき、国が定める第2期教育振興基本計画（平成25(2013)年6月決定）を参酌して定める、本県の教育振興基本計画です。
- 県政の基本指針を示した重点戦略「とちぎ元気発信プラン」に掲げる将来像の実現に向けた、教育行政分野における計画です。

## 【計画の期間】

平成28(2016)年度から令和2(2020)年度までの5年間

## 【本県教育の基本理念】

近年、グローバル化や知識基盤社会の進展、雇用をめぐる状況の変化、人口減少や高齢化の進展、家庭や地域社会の変化など、変化の激しい時代を迎えており、将来の社会の姿が描きにくい状況にあります。これらは、子どもたちが生きていく未来にも続くことが予想されます。

このような状況を踏まえ、県教育委員会では、とちぎの子どもたちが、学校教育で培った力を基盤にして生涯にわたり学び続け、主体的に社会に参画し、広い視野を持って私たちの未来をつくっていけるようにすることが大切であると考え、本県教育の基本理念を次の一文に集約しました。

## 基本理念

とちぎから世界を見つめ  
地域とつながり 未来に向かって  
ともに歩み続ける人間を育てます

本県は、豊かな自然や歴史文化遺産、伝統文化、日本や世界に誇れる産業など、様々な魅力を有しており、今後は、それらを有効に活用して未来を創造していくことが重要です。そのためには、魅力ある「とちぎ」で成長する子どもたちに、自分の生き方とつながる地域を意識させることが大切と考えます。

地域から学び、地域に関わる子どもたちの経験は、自分が社会的な存在であることを認識させます。地域と関わり行動する中で、その地域に貢献したり、そこに生きる人から認められたりすることによって、自分の存在を価値あるものとして受け止める自己有用感を高め、子どもたちは、未来の社会がどのように変化したとしても、自信をもって一歩前へ歩み出し、未来を切り拓く力を身に付けるようになります。

今後、持続可能な社会を確かなものにしていくため、とちぎの教育を受けた誰もが、自他の幸せや豊かな社会の実現を目指して、生涯にわたって着実に歩み続けていけるようにすることが本県教育の果たす役割であると考えます。

## 【本県教育の基本目標】

本県教育の基本理念のもと、今後の本県教育が目指す基本目標として「学びの基盤をつくる」「志を立て未来をつくる」「育ちあえる絆をつくる」の3つを設定します。

本県教育に携わる者が広くこの基本目標を共有することが大切です。

## 基本目標

学びの基盤をつくる  
志を立て未来をつくる  
育ちあえる絆をつくる

## 2 栃木県教育大綱

平成 27(2015)年度に 3 回にわたる総合教育会議において、知事と教育委員会が協議をし、平成 28 年 3 月に知事が「栃木県教育大綱」を策定しました。

「栃木県教育大綱」は、3 つの「基本目標」と 9 つの「施策の方向」を掲げるほか、「施策の方向プラス」として「心身の健康と豊かな人間性を育む食育の充実」を掲げています。

概要は、以下のとおりです。

### 第 1 はじめに

#### 1 趣旨

社会を取り巻く環境が大きく変化する中、誇れるふるさととちぎをつくり、次の世代に引き継ぐためには、人づくりが重要であり、郷土への愛着と誇りの醸成や知徳体の調和のとれた発達を促す取組等が大切である。また、子育てに最適な県となるためにも教育環境の充実は不可欠である。

こうした考えのもと、栃木県教育大綱を策定し、次代を拓き、地域を支えるとちぎの人づくりを推進していく。

#### 2 大綱の位置付け

本大綱は、地教行法第 1 条の 3 第 1 項の規定に基づき、本県の教育、文化等の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定める

「とちぎ元気発信プラン」、「栃木県教育振興基本計画 2020」との整合性を図る。

#### 3 大綱の対象期間

対象期間は、平成 28(2016)年度から令和 2(2020)年度までの 5 年間

### 第 2 基本目標

○「次代を拓き、地域を支えるとちぎの人づくり」を総合的に推進するため、次の 3 つを基本目標とする。

- 1 知・徳・体の調和のとれた発達を促すことによって生涯にわたって学び続ける力を育む。
- 2 自分の生き方を社会との関わりの中で考えさせることによって夢を志に高め未来を創造する力を育む。
- 3 地域の中で豊かな人間関係を築くことによって互いに育ちあうことのできる絆づくりを進める。

### 第 3 施策の方向

○上記の基本目標を達成するため、次の 9 つを施策の方向とする。

- 1 確かな学力の育成と教育環境の整備
- 2 豊かな心と健やかな体の育成
- 3 子ども一人ひとりに応じた教育・支援の充実
- 4 自分の生き方を考える教育の充実
- 5 地域を支える人材の育成
- 6 グローバル人材の育成
- 7 学校・家庭・地域の連携による教育の充実
- 8 スポーツを通じた人づくり
- 9 文化を通じた人づくり

### 第 4 施策の方向プラス

○上記の 3 つの基本目標全てに関連する取組を「施策の方向プラス」とする。「心身の健康と豊かな人間性を育む食育の充実」

### 第 5 おわりに

○保健、医療、福祉、青少年健全育成、職業教育、安全対策など知事部局と教育委員会との緊密な連携が必要な課題が多くなっている。

○総合教育会議の設置を契機に、同会議等を活用しながら、課題に対する共通認識のもと、連携を一層強化し、大綱をはじめ、「とちぎ元気発信プラン」や「栃木県教育振興基本計画」等に位置づけられた人づくりに関する各種施策の着実な推進を図っていく。

# 3 教育行政重要施策

「栃木県教育振興基本計画 2020 -教育ビジョンとちぎ-」に掲げる目標の実現に向けて、同計画の施策体系に基づく今年度の主な取組内容は次のとおりです。

## 1 学びの基盤をつくる

### (1) 基本施策 1

#### 「確かな学びを育む教育の充実」

- ①創意ある教育課程の編成と実施
- ②高校生の学力向上に向けた取組の推進
  - ・高校生学力向上総合支援事業
  - ・新たな学びに向けた指導体制強化事業
  - ・学力向上に向けた指導体制モデル事業【新規】
- ③とちぎっ子学力アッププロジェクト(とちぎ学力向上推進事業)
- ④家庭学習促進支援
- ⑤情報教育の充実
- ⑥英語教育の充実
  - ・英語担当教員の指導力向上研修
- ⑦産業教育の推進
  - ・キャリア形成支援事業
  - ・未来を創る高校生地域連携・協働推進事業【新規】
  - ・高校生未来の職業人育成事業

### (2) 基本施策 2

#### 「豊かな心を育む教育の充実」

- ①道徳教育総合支援事業
- ②体験活動の充実
- ③青少年教育施設の充実
- ④家庭における読書活動の推進
- ⑤子どもの読書活動関係者への情報提供や支援
- ⑥子どもの読書ボランティア指導者の養成
- ⑦高校生読書活動推進事業
  - ・本で広げる友達の輪推進事業【新規】
- ⑧学業指導の推進
- ⑨いじめ防止運動推進事業
- ⑩不登校児童生徒に対する支援推進事業
- ⑪スクールカウンセラー等活用事業
- ⑫スクールソーシャルワーカー活用事業
- ⑬ネットトラブル対策事業
- ⑭SNSを活用した相談事業

### (3) 基本施策 3

#### 「健やかな体を育む教育の充実」

- ①教科体育の充実
- ②体力向上事業

### ③運動部活動の充実

- ・市町立中学校部活動指導員配置事業
  - ・県立学校部活動指導員配置事業【新規】
- ④高等学校安全登山対策事業
  - ⑤栃木県健康教育研究大会の開催
  - ⑥健康教育対策及び研究事業
  - ⑦健康づくりのための専門家派遣事業
  - ⑧栃木県がん教育総合支援事業
  - ⑨薬物乱用防止教室推進事業
  - ⑩食育推進啓発事業
  - ⑪栄養教諭等の研修の充実
  - ⑫学校安全総合支援事業

### (4) 基本施策 4

#### 「特別支援教育の充実」

- ①特別支援教育体制の充実
- ②特別支援教育の充実
- ③発達障害児の支援
- ④入院高校生の支援
- ⑤高等学校における通級による指導の導入
- ⑥職業教育指導体制の強化
- ⑦自立活動指導の充実
- ⑧学校看護師の配置

### (5) 基本施策 5

#### 「幼児教育の充実」

- ①幼小接続期のカリキュラムの充実
- ②幼児教育の課題に対応した教育・保育の充実
- ③幼児期の子どもを持つ保護者への支援

## 2 志を立て未来をつくる

### (6) 基本施策 6

#### 「自分の生き方を考える教育の充実」

- ①キャリア形成支援事業【再掲】
- ②インターンシップ推進事業
- ③とちぎ子どもの未来創造大学の運営
- ④国の事業を活用した学力向上の推進
  - ・スーパーサイエンスハイスクール
  - ・スーパープロフェッショナルハイスクール
  - ・スーパーグローバルハイスクール
- ⑤とちぎの高校生「じぶん未来学」の推進
- ⑥性に関する指導の推進

### (7) 基本施策 7

#### 「地域についての理解を深める教育の充実」

- ①とちぎふるさと学習の推進
- ②未来を創る高校生地域連携・協働推進事業【再掲】
- ③地域連携教員活動支援事業
- ④地域学校協働活動の推進

(8) 基本施策 8

「伝統や文化に関する教育の充実」

- ①芸術文化の鑑賞機会の充実
- ②文書館資料の充実と普及
- ③埋蔵文化財の展示・教育普及活動
- ④文化財保存事業
- ⑤遺跡発掘調査の実施
- ⑥とちぎ“いにしへの回廊”づくり事業
- ⑦日光杉並木街道保護事業

(9) 基本施策 9

「グローバル化に対応した教育の充実」

- ①グローバルコミュニケーション能力強化の推進
- ②国際教育の推進
- ③長期・短期留学支援
- ④高等学校ALT活用事業
- ⑤帰国・外国人児童生徒に対するきめ細かな支援事業  
【新規】

(10) 基本施策 10

「社会に参画する力を育む教育の充実」

- ①公共的な事柄に関わる学習の充実
- ②環境教育・エネルギー教育の充実
- ③福祉教育の充実
- ④地域課題を探究し解決を図る学習の充実
- ⑤青少年リーダーの育成
- ⑥公民館等の社会教育施設における学習活動の充実

3 育ちあえる絆をつくる

(11) 基本施策 11

「人権尊重の精神を育む教育の充実」

- ①人権教育推進体制の充実に向けた支援  
・総合的な推進を図るための各種会議の開催
- ②人権教育指導者の養成と資質・能力の向上  
・各種研修会の開催
- ③学習内容及び方法の改善・充実と啓発の推進  
・各種資料の作成及び活用の推進  
・研究学校及び総合推進地域の指定  
・地域や家庭への啓発

(12) 基本施策 12

「県民一人一人の生涯学習への支援」

- ①栃木県生涯学習推進計画五期計画の推進
- ②生涯学習を推進する指導者の養成と活動支援
- ③とちぎ子どもの未来創造大学の運営【再掲】
- ④とちぎ県民カレッジの推進
- ⑤学習情報提供システムの運営
- ⑥県立図書館の充実
- ⑦生涯学習ボランティアの推進

(13) 基本施策 13

「学校・家庭・地域の連携による教育の充実」

- ①ふれあい学習の推進
- ②未来を創る高校生地域連携・協働推進事業【再掲】
- ③地域連携教員活動支援事業【再掲】
- ④地域教育コーディネーターの養成
- ⑤社会教育主事講習への派遣
- ⑥学校支援地域本部の取組促進
- ⑦地域未来塾の推進
- ⑧放課後子ども教室の推進【再掲】
- ⑨「栃木の子どもをみんなで育てよう」運動の推進

(14) 基本施策 14

「地域全体で支える家庭教育への支援」

- ①家庭教育支援者の養成  
・家庭教育オピニオンリーダー研修  
・家庭教育支援プログラム指導者研修
- ②親学習プログラムの普及・定着
- ③家庭・地域いじめ対策教育支援
- ④とちぎの高校生「じぶん未来学」の推進【再掲】
- ⑤家庭教育・子育て支援関係者広域ネットワーク
- ⑥家庭教育相談体制の充実

(15) 基本施策 15

「スポーツを通じた教育の充実」

- ①広域スポーツセンターの事業
- ②とちぎスポーツフェスタの開催
- ③スポーツ選手の育成強化
- ④国体に向けた競技力向上
- ⑤オリンピック・パラリンピック教育推進事業

4 基本施策推進のための教育環境づくり

(16) 教育環境づくり<sup>1</sup>

「教員の資質・能力の向上」

- ①教職員の人材確保
- ②教員研修計画等の策定
- ③教職員研修の実施
- ④とちぎの教育未来塾の実施
- ⑤現職教員の大学院研修派遣及び内地留学生派遣
- ⑥かがやきプロジェクト（加配の活用）  
・学力向上推進リーダーの配置
- ⑦高校生の学力向上に向けた取組の推進  
・新たな学びに向けた指導体制強化事業【再掲】  
・学力向上に向けた指導体制モデル事業【再掲】
- ⑧教職員等の健康診断の実施
- ⑨各種メンタルヘルス対策の実施
- ⑩ストレスチェック事業



# 4 企 画

## (17) 教育環境づくり②

### 「学校の指導体制の整備」

- ①いきいきプロジェクト（少人数学級の充実）  
【一部新規】
  - ・小中学校少人数学級推進事業
- ②スマイルプロジェクト（非常勤講師配置の充実）
  - ・小中義務教育学校非常勤講師配置事業
- ③かがやきプロジェクト（加配の活用）
  - ・学力向上実践加配の配置
- ④高校生の学力向上に向けた取組の推進
  - ・新たな学びに向けた指導体制強化事業【再掲】
  - ・学力向上に向けた指導体制モデル事業【再掲】
- ⑤スクールカウンセラーの配置【再掲】
- ⑥スクールソーシャルワーカーの配置【再掲】

## (18) 教育環境づくり③

### 「社会の変化に対応した特色ある学校づくり」

- ①第二期県立高等学校再編計画の推進
- ②学校評議員制度の推進
- ③学校運営協議会推進事業

## (19) 教育環境づくり④

### 「学校施設・設備の整備と学校の安全管理」

- ①高等学校校舎等の維持管理
- ②県立学校施設長寿命化推進事業
- ③県立学校空調設備整備事業【新規】
- ④産業教育設備の整備
- ⑤公立学校施設の整備促進
- ⑥地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業
- ⑦高等学校安全登山対策事業
- ⑧学校安全推進事業

## (20) 教育環境づくり⑤

### 「青少年教育施設とスポーツ施設の整備」

- ①新青少年教育施設の整備
- ②総合スポーツゾーンの整備
- ③県立スポーツ施設の改修

## (1) 令和2(2020)年度教育施策の策定

本県の教育の現状と課題並びに県民や時代の要請を踏まえて、より充実した教育行政を推進するために、県教育委員会の各課室所館・各教育機関との連携のもとに、令和2(2020)年度重要施策を策定しました。さらに、これを冊子「令和2(2020)年度教育施策」として刊行し、教育機関等に配布しました。

## (2) 企画調整専門部会の設置の展開

当面する教育行政上の諸問題に対応するため、県教育委員会事務局内の研究組織として、事務局各課室・総合教育センター等で構成する企画調整専門部会（プロジェクトチーム）を次のとおり設置し、それぞれの検討課題について研究を進めました。

### ア 次期栃木県教育振興基本計画検討部会

次期栃木県教育振興基本計画（仮称）を令和2(2020)年度末までに策定するに当たって、現行計画の検証や中長期的な視点に立った今後の社会の予測に基づき、必要な施策の方向性と内容等を検討しました。

### イ 夜間定時制高等学校給食業務のあり方検討部会

給食の役割の変化や、施設・設備の老朽化等が課題となっているため、教育委員会事務局としてその方策等を検討しました。

### ウ 教員採用の改善に関する検討部会

幅広い視野と豊かな人間性を持ち実践的な指導力を備えた人材を確保するための教員採用のあり方について検討しました。

### エ 高校入試改善検討部会

本県の高等学校入学者選抜の充実・改善を図るため、入学者選抜に係る資料・方法等の見直しや改善等について検討しました。

### オ 高等学校における特別支援教育の充実に関する検討部会

高等学校における障害等のある生徒に対する教育の充実について検討しました。

### カ 今後の特別支援学校の在り方に関する検討部会

特別支援学校の児童生徒数の推移等を踏まえ、教育環境の充実等に関する対応の方向性について検討しました。

キ 学校と地域の連携・協働推進検討部会

学校と地域の連携・協働を推進するため、学校や地域における体制づくりや活動の充実に資する取組等について検討を行いました。

### (3) 国の施策等に対する提案・要望

令和3(2021)年度の事業を円滑に進めるため、国の施策等に対する提案・要望活動を行いました。提案・要望事項は次のとおりです。

- 児童生徒の学びを支えるICT環境整備の推進について
- きめ細かな指導ができる教育環境の整備について
- 公立学校施設の整備促進に係る施策の充実にについて
- 高校生の山岳事故防止対策等の充実・強化について
- 外国人材の受入れと多文化共生施策について

## 5 広 聴 ・ 広 報

### (1) 広聴事業の処理

教育委員会及び県民生活部広報課で実施している広聴事業において、教育委員会に関わる県民からの要望、意見、提案等に対応しました。

### (2) 県政記者クラブを通じての広報

#### ア 教育長記者会見

教育に関する県民の正しい理解と協力を得ながら教育行政を積極的に推進するため、教育長記者会見を行いました。

令和2(2020)年度は、計8回開催しました。

#### イ 県政記者クラブ発表

県民に対してタイムリーな広報を行うため、県教育委員会に係る重要な事項については説明により、また、軽易な事項については関係資料の提供により、それぞれ県政記者クラブに発表しました。

### (3) 「とちぎテレビ」を活用した広報

栃木県教育放送番組「“学”ビジョンとちぎ」は、県域放送の特性を活かし、県民の皆様に学校教育や生涯学習等に関する各種教育情報を提供していくことを目的に企画・制作し、放送しています。

令和2(2020)年度は、次のとおり番組を企画・制作し、放送しました。

○「イブ6プラス」内コーナー「“学”ビジョンとちぎ」

- ・毎週月曜日 18:25頃から約4分間
- ・36本製作、年間36回放送
- ・県教育委員会の事業や施設の紹介
- ・県立学校紹介
- ・生涯学習、スポーツ、文化財の情報等



#### (4) ホームページを活用した広報・広聴

県内外の皆様には本県教育についての理解を深めていただくことを目的に、栃木県の公式ホームページ内に「とちぎの教育」を開設しています。

インターネットの特性を生かし、県教育委員会各課室所館の主要事業、行事・催し物、審議会等の情報提供を行いました。

また、電子メール等により、教育委員会への意見・提言等を広く聴取しました。

## 6 調査統計

### (1) 公立学校教員構成調査

調査の結果は、令和2(2020)年10月「教育調査報告書第194号」として刊行しました。

#### ア 調査の目的

公立小・中学校及び義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員構成を明らかにし、行政施策の基礎資料を得ることを目的とします。

#### イ 調査の構成及び調査対象

公立小・中学校及び義務教育学校、高等学校、特別支援学校教員の本務者について、年齢、勤務年数、出身学校、授業時数、所有免許状等について調査しました。

#### ウ 調査の期日

令和2(2020)年5月1日現在

### (2) 新年度児童生徒数・学級数見込調査

#### ア 調査の目的

新年度の児童生徒数・学級数等を把握し、教育行政上の基礎資料を得ることを目的とします。

#### イ 調査の対象

市町立小・中学校及び義務教育学校について調査しました。

#### ウ 調査の期日

令和2(2020)年9月1日現在

### (3) 中学校等生徒の進路希望調査

#### ア 調査の目的

中学校等の3年生の進路希望状況を把握し、進路指導及び高等学校の課程、学科等整備計画の基礎資料を得ることを目的とします。

#### イ 調査の構成及び調査対象

県内国・公・私立の中学校、義務教育学校(後期課程)、私立中等教育学校(前期課程)及び国公立特別支援学校中学部3年生全員を対象に、上級学校進学希望状況、就職希望状況等を調査しました。

#### ウ 調査の期日

令和2(2020)年10月1日・12月1日現在の2回

### (4) 中学校・高等学校等卒業者の進路状況調査

#### ア 調査の目的

教育行政計画の立案及び進学・就職などの進路指導のための基礎資料を得ることを目的とします。

イ 調査の構成及び調査対象

県内国・公・私立中学校、義務教育学校（後期課程）、私立中等教育学校（前期課程）及び公立高等学校の令和2（2020）年3月卒業者を対象に、上級学校進学状況・就職状況等を調査しました。

ウ 調査の期日

令和2（2020）年5月1日現在

**(5) 全日制高等学校生徒の他県との交流調査**

ア 調査の目的

全日制高等学校生徒の他県との交流状況を明らかにし、行政上の基礎資料を得ることを目的とします。

イ 調査の構成及び調査対象

県内国・公・私立の中学校、義務教育学校（後期課程）、私立中等教育学校（前期課程）及び高等学校を対象に、本県中卒者の他県高等学校への進学状況及び他県の中卒者の本県への進学状況を調査しました。

ウ 調査の期日

令和2（2020）年5月1日現在

**(6) 体格・体力・運動能力に関する調査（児童生徒に関する行政調査システム）**

令和2（2020）年度調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

**(7) 地方教育費調査（文部科学省調査）**

調査の結果は、令和3（2021）年3月「教育調査報告書第195号」として刊行しました。

ア 調査の目的

地方教育費の使途と財源の実態及び地方教育行政機関の組織等の状況を明らかにし、国及び地方公共団体が教育施策を決定する際の資料に供することを目的とします。

イ 調査の構成及び調査対象

令和元（2019）会計年度において、国・県・市町が公教育に支出した経費及び授業料等の収入を調査しました。

対象は、全国の都道府県・市町村・組合の教育委員会及び公立諸学校です。

ウ 調査の期日

令和元（2019）会計年度について、令和2（2020）年6月～9月に調査しました。

**(8) 令和2（2020）年度の刊行物**

- ・令和元（2019）年度 栃木県の教育
- ・とちぎ教育のしおり 令和2（2020）年度
- ・教育調査報告書 第194号・第195号
- ・令和2（2020）年度 中学校等生徒の進路希望調査報告書（年2回）
- ・令和2（2020）年度 中学校等卒業者の進路状況調査報告書
- ・令和2（2020）年度 県立高等学校等卒業者の進路状況調査報告書

# 7 人 権 教 育 の 企 画 ・ 調 整

県教育委員会は、「栃木県人権教育基本方針」（平13(2001).11.6 決定）に基づき、「栃木県教育振興基本計画2020—教育ビジョンとちぎ—」（平28(2016)～令和2(2020)年度）に沿うとともに、「栃木県人権尊重の社会づくり条例」（平15(2003).4.1 施行）及び「栃木県人権施策推進基本計画（2016～2025）」（平28(2016)～令和7(2025)年度）等を踏まえ、県内すべての学校すべての地域において人権教育を推進してきました。

## (1) 人権教育推進体制の充実に向けた支援

すべての学校すべての地域で人権教育が効果的に推進されるよう、人権教育推進体制の充実に向けた支援を行いました。

- 人権教育推進会議
- 市町教育委員会教育長人権教育連絡会議（中止）
- 人権教育担当者連絡会議
- 人権教育担当指導主事会議
- 人権教育担当社会教育主事会議 等

## (2) 人権教育指導者の養成と資質・能力の向上

人権教育に携わる指導者を養成するとともに、指導者としての資質・能力の向上に努めました。

### ア 各種指導者研修会等の開催

- 性の多様性について考える研修会（中止）
  - ・ 6月5日（金）とちぎ男女共同参画センター
- デートDV を考える研修会
  - ・ 8月7日（金）とちぎ男女共同参画センター
- 性暴力について考える研修会
  - ・ 8月7日（金）とちぎ男女共同参画センター
- 児童虐待に対応するための研修会
  - ・ 9月4日（金）とちぎ男女共同参画センター
- 人権教育担当者スキルアップ研修
  - ・ 9月18日（金）栃木県庁北別館

## イ 人権教育研究学校・研究推進地域指定状況

図Ⅱ－1 研究学校の指定  
(小・中・高等学校関係S52(1977)年開始)

年度	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2
19～20 指定	小2 高1												
20～21 指定	小1 中1 高1	→											
21～22 指定		中2 高1	→										
22～23 指定			小1 中1 高1	→									
23～24 指定				小1 中1 高1	→								
24～25 指定					小1 中1 高1	→							
25～26 指定						小2 高1	→						
26～27 指定							小1 中1 高1	→					
27～28 指定								小2 高1	→				
28～29 指定									小2 高1	→			
29～30 指定										中2 高1	→		
30～R 1(2019) 指定											小2	→	
1～2 指定												小2 高1	→
2～3 指定													高1
計	小3 中1 高2	小1 中3 高2	小1 中3 高2	小2 中2 高2	小2 中2 高2	小3 中1 高2	小3 中1 高2	小3 中1 高2	小4 中0 高2	小2 中2 高1	小2 中2 高1	小4 中0 高1	小0 中0 高1

※網掛け：文部科学省指定

図Ⅱ－２ 研究推進地域の指定

(S54(1979)年開始)

年度	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2
H21(2009) ～23 指定	1									
22～24 指定	1 →									
23～25 指定	1 →→									
24～26 指定		1 →→→								
25～27 指定			1 →→→							
26～28 指定				1 →→→						
27～29 指定					1 →→→					
28～29 指定						1 →→→				
29～ R1(2019) 指定							1 →→→			
30～R1 指定								1 →→		
1 指定									1	
2 指定										
計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0

※網掛け：文部科学省指定

### (3) 学習内容及び方法の改善・充実と啓発の推進

○人権について理解を深め、人権意識を高められるよう、指導資料等を計画的に作成し、その活用を図ってきました。

- ・人権教育推進の手引
- ・人権に関する文集 あすへのびる－第40集－
- ・人権の窓（小学6年学習資料）
- ・ 〃 （中学2年学習資料）
- ・ 〃 （高校1年学習資料）
- ・人権教育だより第53・54・55号（ホームページ掲載）
- ・人権教育指導資料  
「様々な人権問題を扱った直接的指導の工夫」
- ・人権に関する社会教育指導資料  
「人権ワークショップ2020」

○学校及び関係機関との連携のもとに啓発活動を積極的に推進してきました。

- ・人権に関する作文の募集・審査・表彰・発表
- ・人権に関するイラストの募集・審査・表彰・展示
- ・人権教育に関するテレビ番組の制作・放映

## 〔Ⅲ〕 教 育 財 政

# 1 教育 財政

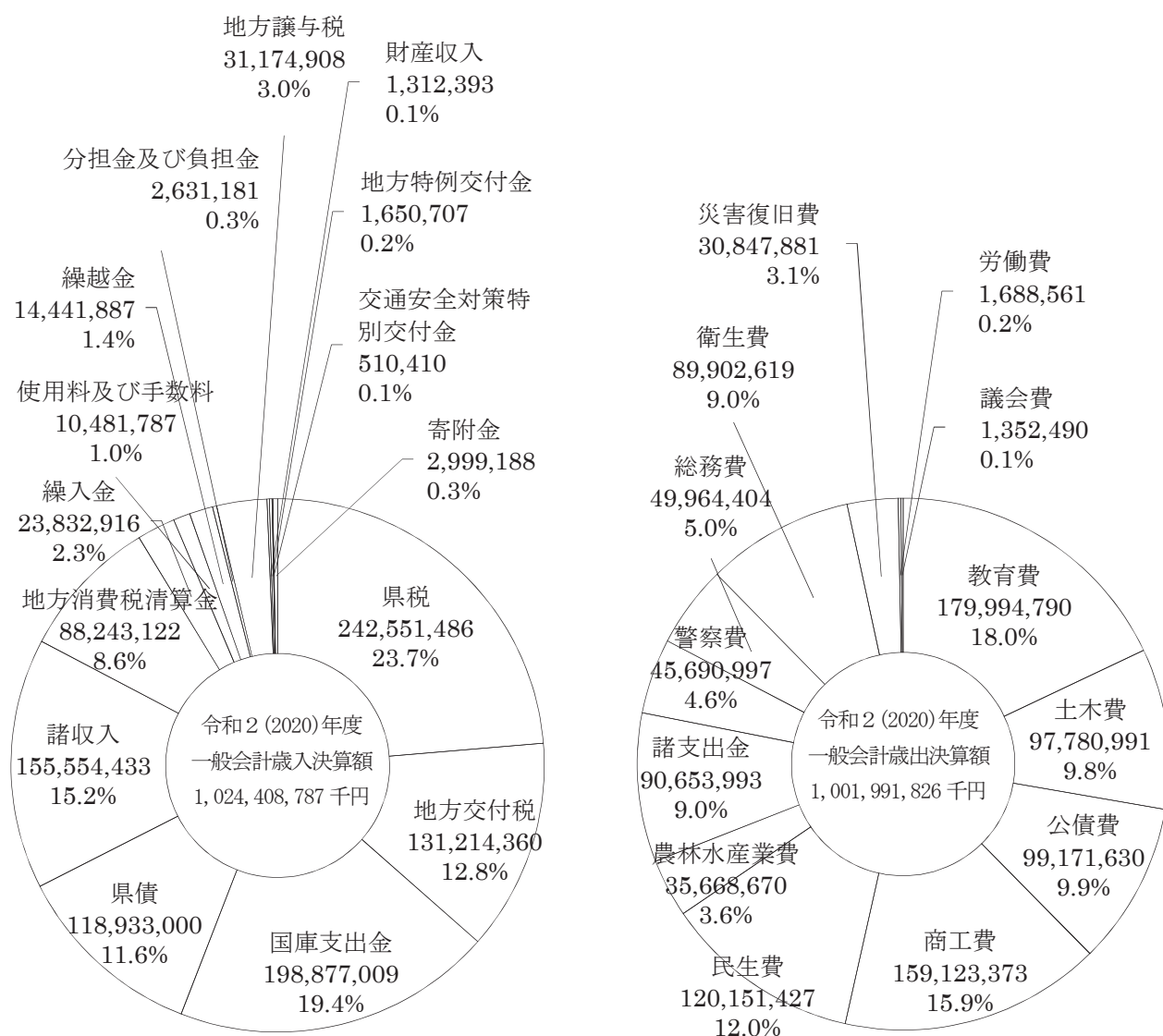
## (1) 教育予算（決算額）

令和2（2020）年度の栃木県の一般会計歳出決算額は、総額1,001,991,826千円（前年度774,795,689千円）でした。このうち、教育費は179,994,790千円（前年度178,903,998千円）で、これは総額の18.0%（前年度23.1%）に当たります。

なお、県の歳入歳出決算額の内訳は図Ⅲ－1のとおりです。

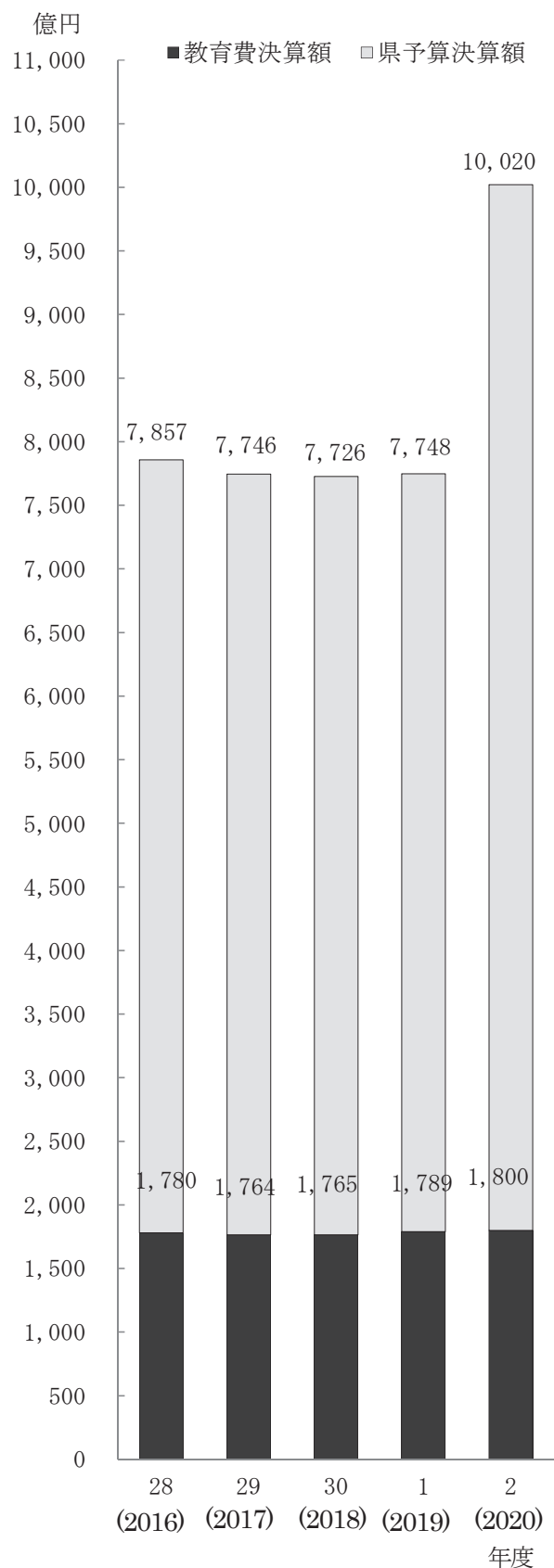
また、県の歳出決算及びそれに占める教育費決算の比率の推移を5か年にわたってみますと図Ⅲ－2のとおりとなります。

図Ⅲ－1 令和2（2020）年度一般会計歳入歳出決算額の内訳（千円）



(注) 構成比は、款名ごとに四捨五入しているため合計が100%にならないことがある。

**図Ⅲ－２ 教育予算（決算額）**  
最近5か年における決算額の推移とそれに占める教育費

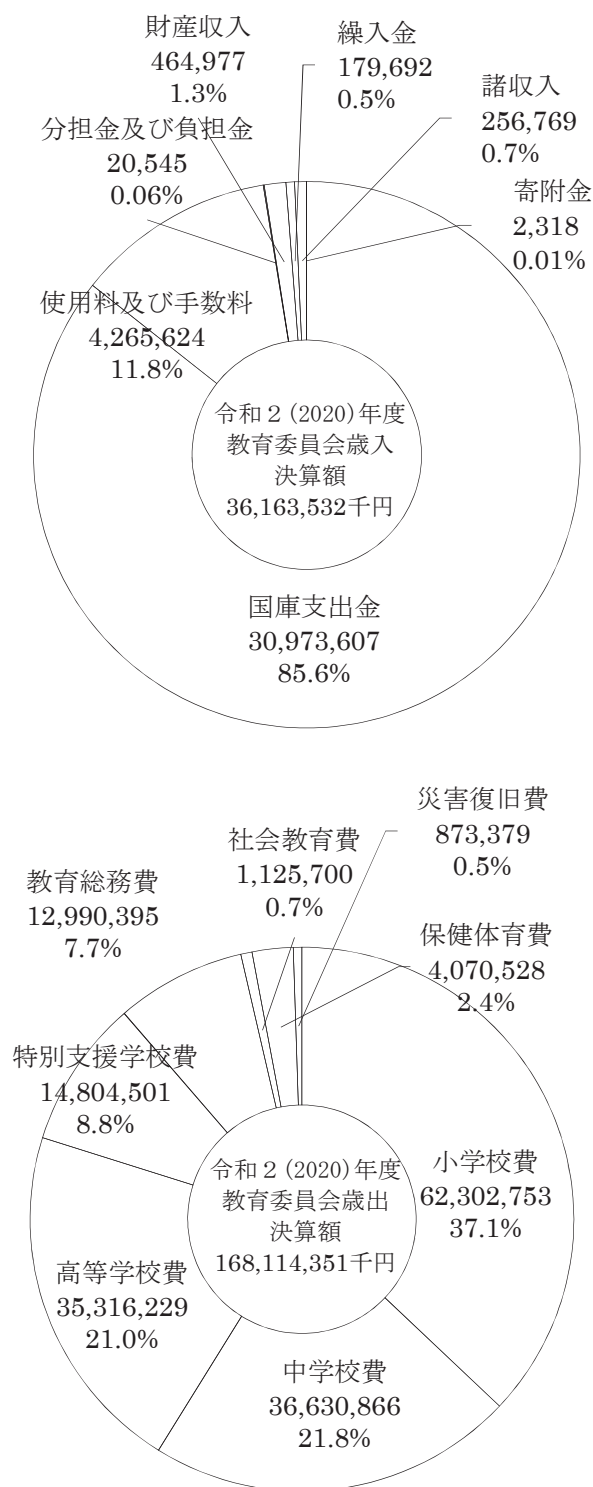


**(2) 県教育委員会に関する決算額**

令和2(2020)年度県教育委員会に関する歳入歳出決算額の内訳は、図Ⅲ－3のとおりです。歳入科目中もっと大きな比率を占めているのは、国庫支出金で、その大部分は、義務教育をすすめていくための義務教育費負担金です。

歳出の方でも義務教育費（小・中学校費）が特に多く、大部分は給与費として支出されています。

**図Ⅲ－3 県教育費歳入歳出決算額の内訳（千円）**



(注) 構成比は、款名ごとに四捨五入しているため合計が100%にならないことがある。



## [IV] 学 校 管 理

# 1 学 校 施 設

## (1) 小・中学校等（令和2（2020）. 5. 1現在）

※義務教育学校については、1～6学年を小学校、7～9学年を中学校として数値等を各校へ計上した。

### ア 面積と構造比率

#### (ア) 校舎

本県の公立小・中学校等校舎の面積は、表IV-1のとおり小学校（351校）が1,462,039㎡、中学校（158校）が850,952㎡となっています。

これらの面積を構造別にみると、木造校舎は小学校で約1.5%、中学校では約0.9%を占めています。小・中学校ともに鉄筋コンクリート造によるものが多く約94%を占めており、老朽化した危険建物の改築により、新たに建築される建物では鉄筋コンクリート造及び鉄骨造が大部分を占めています。

現在では、教育方法の多様化のなかで、学校建築の傾向も、従来の画一的な量的整備から、教育環境の質的向上をも考慮した質的整備へと移行しています。各市町とも施設整備には強い意欲を持っており、ゆとりと潤いのある豊かな教育空間を求め多目的スペースの設置、木材の積極的な利用、学校開放のための地域学校連携施設整備等の試みがなされています。

#### (イ) 屋内運動場

屋内運動場の面積は、表IV-1のとおり小学校が306,415㎡、中学校が194,973㎡となっており、その構造比率は小学校の約95.4%、中学校の約98.7%が鉄筋コンクリート造及び鉄骨・その他造となっています。なお、近年は木造による改築も行われています。

本県の公立小・中学校等で屋内運動場を保有している学校は、小学校で351校中348校（99.1%）、中学校では155校中153校（98.7%）となっています。校舎整備と並行して早期に100%の保有率を達成する必要があると思われます。

## (2) 県立高等学校（令和2（2020）. 5. 1現在）

### ア 面積と構造比率

#### (ア) 校舎

県立高等学校における校舎の面積は、表IV-1のとおり60校642,029㎡で、1校当たりの面積は約10,700㎡となっています。

学校毎の面積の違いは、学級数の多少にもよりますが、総体的に10,000㎡を越す学校は、農業、工業、商業といった実業系の学校に多く、これは普通校に比べ特別教室や実習関係の施設を多く持っているためです。

また、校舎面積を生徒1人当たりになると約17.1㎡となります。

次にこの面積を構造別にみますと、鉄筋コンクリート造85.3%、鉄骨造13.6%、木造1.1%となり、鉄筋及び鉄骨造が大部分を占めています。

#### (イ) 屋内運動場

屋内運動場の面積は、表IV-1のとおり総面積は155,030㎡となっています。

また、この面積を構造別にみますと、鉄筋コンクリート造22.8%、鉄骨造76.6%、木造0.7%となっています。

#### (ウ) 校地面積

県立高等学校における校地の総面積は、表IV-2のとおり4,856,971㎡で、その内訳は、建物敷地32.5%、運動場34.7%、実験実習その他32.2%、借地0.6%となっています。1校当たりの校地の面積は約80,950㎡となり広くみえますが、これは農業高校等の実験実習地が相当な面積で含まれているためです。

また、運動場面積は生徒1人当たり約45.0㎡となります。

表Ⅳ－1 公立学校建物の実態調査

学校種別	学校数	校舎 (㎡)				屋内運動場 (㎡)			
		鉄筋コンクリート造	その他造骨	木造	計	鉄筋コンクリート造	その他造骨	木造	計
小学校	351	1,384,743	55,417	21,879	1,462,039	37,657	254,707	14,051	306,415
割合		94.7%	3.8%	1.5%		12.3%	83.1%	4.6%	
中学校	158	793,346	50,036	7,570	850,952	44,837	147,514	2,622	194,973
割合		93.2%	5.9%	0.9%		23.0%	75.7%	1.3%	
高校	60	547,429	87,424	7,176	642,029	35,302	118,699	1,029	155,030
割合		85.3%	13.6%	1.1%		22.8%	76.6%	0.7%	
特別支援学校	15	82,294	8,207	40	90,541	1,000	8,293	0	9,293
割合		90.9%	9.1%	0.0%		10.8%	89.2%	0.0%	

※端数処理の関係上、割合の合計が100%にならない場合があります。

表Ⅳ－２ 県立学校校地面積

(R2(2020).5.1現在、単位：㎡、人)

番号	区分 学校名	校地面積	内 訳				生徒一人 あたりの 校地面積	生徒数	うち、	
			建物敷地 面積	運動場面積 (借地除く)	実験・実習 ・その他	借用面積			定時制	通信制
1	宇 都 宮	111,377	19,580	56,393	35,404	0	77	1,440	0	604
2	宇都宮東(中学含む)	53,223	18,158	33,028	1,349	688	67	793	0	0
3	宇 都 宮 南	55,447	21,194	30,000	4,253	0	58	950	0	0
4	宇 都 宮 北	58,326	19,512	37,222	1,592	0	61	957	0	0
5	宇 都 宮 清 陵	76,958	31,197	30,052	15,709	0	104	738	0	0
6	宇 都 宮 女 子	36,132	22,925	11,515	1,692	0	43	836	0	0
7	宇都宮中央女子	67,232	42,320	24,912	0	0	81	833	0	0
8	宇 都 宮 白 楊	314,415	84,919	27,550	201,946	0	372	846	0	0
9	宇 都 宮 工 業	79,620	42,453	37,167	0	0	74	1,078	92	0
10	宇 都 宮 商 業	42,042	15,401	24,240	0	2,401	46	922	86	0
11	鹿 沼	38,377	22,783	13,551	0	2,043	54	715	0	0
12	鹿 沼 東	70,298	27,400	31,760	11,138	0	118	598	0	0
13	鹿 沼 南	309,005	35,306	16,386	257,313	0	580	533	0	0
14	鹿 沼 商 工	43,894	24,757	13,693	3,227	2,217	83	530	23	0
15	今 市	37,927	23,034	14,893	0	0	64	596	0	0
16	今 市 工 業	57,215	29,726	25,949	1,540	0	150	382	0	0
17	日 光 明 峰	50,973	9,131	41,842	0	0	372	137	0	0
18	上 三 川	61,781	21,188	40,593	0	0	130	474	0	0
19	石 橋	43,705	23,416	18,985	0	1,304	61	711	0	0
20	小 山	61,163	22,018	39,145	0	0	87	701	0	0
21	小 山 南	59,997	20,175	39,822	0	0	133	452	0	0
22	小 山 西	60,413	24,246	36,167	0	0	103	589	0	0
23	小 山 北 桜	208,620	55,551	34,795	116,282	1,992	410	509	0	0
24	小 山 城 南	45,233	20,231	22,884	2,118	0	76	599	0	0
25	栃 木	126,608	23,635	19,266	77,087	6,620	177	715	0	0
26	栃 木 女 子	39,759	20,143	18,628	0	988	56	716	0	0
27	栃 木 農 業	251,520	43,098	29,567	178,855	0	533	472	0	0
28	栃 木 工 業	52,878	21,502	31,178	0	198	102	516	0	0
29	栃 木 商 業	36,669	15,864	16,210	0	4,595	68	543	0	0
30	学 悠 館	19,024	10,682	6,750	503	1,089	20	952	107	380
31	栃 木 翔 南	56,797	18,402	38,395	0	0	95	595	0	0
32	壬 生	61,128	11,737	48,761	0	630	130	471	0	0
33	佐野(中学含む)	64,005	21,173	35,398	7,434	0	83	773	0	0
34	佐 野 東	42,498	14,501	27,997	0	0	72	594	0	0
35	佐 野 松 桜	57,098	19,559	37,539	0	0	85	669	0	0
36	足 利	38,613	19,061	19,552	0	0	81	475	0	0
37	足 利 南	59,874	25,624	34,250	0	0	129	464	0	0
38	足 利 女 子	28,960	17,612	11,348	0	0	52	555	0	0
39	足 利 工 業	46,551	23,083	23,303	0	165	78	596	47	0
40	足 利 清 風	41,813	12,884	27,522	1,407	0	72	580	0	0
41	真 岡	62,642	27,343	28,898	6,401	0	94	666	67	0
42	真 岡 女 子	38,861	20,520	16,509	1,811	21	66	585	0	0
43	真 岡 北 陵	249,322	37,500	32,210	178,190	1,422	465	536	0	0
44	真 岡 工 業	53,603	19,279	34,317	0	7	112	478	0	0
45	益 子 芳 星	66,411	20,605	36,075	9,601	130	146	456	0	0
46	茂 木	51,678	15,640	35,720	168	150	109	476	0	0

番号	学校名	区分	校地面積	内 訳				生徒一人あたりの校地面積	生徒数	うち、定時制	うち、通信制
				建物敷地面積	運動場面積(借地除く)	実験・実習・その他	借用面積				
47	鳥山		68,133	35,149	27,024	5,940	20	125	545	0	0
48	馬頭		53,467	14,780	27,799	10,888	0	226	237	0	0
49	大田原		54,285	27,586	26,699	0	0	82	665	0	0
50	大田原女子(大田原東含む)		33,140	20,722	12,418	0	0	50	659	65	0
51	黒羽		52,205	24,335	27,364	506	0	129	406	0	0
52	那須拓陽		272,712	23,497	32,381	216,834	0	387	705	0	0
53	那須清峰		65,752	48,422	17,330	0	0	102	645	0	0
54	那須		42,303	22,927	19,376	0	0	141	301	0	0
55	黒磯		59,547	19,383	25,903	14,261	0	101	590	0	0
56	黒磯南		61,604	30,230	31,374	0	0	129	477	0	0
57	矢板		329,908	110,668	16,786	202,454	0	625	528	0	0
58	矢板東(中学含む)		72,312	28,533	43,779	0	0	106	680	28	0
59	高根沢		58,004	7,683	50,321	0	0	101	577	0	0
60	さくら清修		43,914	27,015	16,830	69	0	62	708	0	0
合計			4,856,971	1,576,998	1,687,321	1,565,972	26,680	129	37,525	515	984

番号	学校名	区分	校地面積	内 訳				生徒一人あたりの校地面積	生徒数(訪問学級等除く)
				建物敷地面積	運動場面積(借地除く)	実験・実習・その他	借用面積		
1	盲		51,741	15,000	18,000	18,741	0	1,294	40
2	聾		29,406	15,690	8,288	5,428	0	482	61
3	のざわ		30,005	23,920	5,400	685	0	240	125
4	わかくさ		3,270	0	0	0	3,270	131	25
5	富屋(分校含む)		24,912	18,392	715	1,359	4,446	62	402
6	岡本		13,449	9,700	3,749	0	0	363	37
7	宇都宮青葉		17,989	11,695	5,920	374	0	76	237
8	今市		29,385	18,799	9,740	846	0	316	93
9	国分寺		19,422	13,307	0	0	6,115	70	278
10	栃木		33,097	20,585	10,400	2,112	0	127	261
11	足利		6,784	3,050	3,734	0	0	165	41
12	足利中央		24,228	18,929	4,951	348	0	96	253
13	益子		20,960	12,697	5,418	896	1,949	107	196
14	那須		24,525	14,911	9,204	410	0	87	282
15	南那須		27,164	22,664	4,500	0	0	178	153
合計			356,337	219,339	90,019	31,199	15,780	143	2,484

## 2 県立学校の 授業料・入学料

### (1) 授業料

#### ア 授業料の区分

現行の授業料は下記のとおりです。

区 分	授 業 料	
	年 額	月 額
高等学校（全日制の課程）	118,800円	9,900
〃（定時制の課程）	31,920	2,660
〃（通信制の課程）	1 単位年額 320 円	

(注) 定時制課程の月額授業料は 19 単位を履修の場合

#### イ 高等学校（全日制の課程）の授業料の推移

表Ⅳ-3

年 度	授 業 料	年 度	授 業 料
昭和49(1974)	年額 11,400円	平成10(1997)	年額 104,400円
50(1975)	11,400	11(1999)	108,000
51(1976)	28,800	12(2000)	108,000
52(1977)	38,400	13(2001)	108,000
53(1978)	38,400	14(2002)	111,600
54(1979)	57,600	15(2003)	111,600
55(1980)	57,600	16(2004)	111,600
56(1981)	67,200	17(2005)	115,200
57(1982)	67,200	18(2006)	115,200
58(1983)	67,200	19(2007)	115,200
59(1984)	74,400	20(2008)	118,800
60(1985)	74,400	21(2009)	118,800
61(1986)	74,400	22(2010)	118,800
62(1987)	82,800	23(2011)	118,800
63(1988)	82,800	24(2012)	118,800
平成元(1989)	82,800	25(2013)	118,800
2(1990)	88,800	26(2014)	118,800
3(1991)	88,800	27(2015)	118,800
4(1992)	88,800	28(2016)	118,800
5(1993)	98,400	29(2017)	118,800
6(1994)	98,400	30(2018)	118,800
7(1995)	98,400	令和元(2019)	118,800
8(1996)	104,400	2(2020)	118,800
9(1997)	104,400		

(注) ・平成 22(2010)年度から平成 25(2013)年度までは、公立高等学校の授業料無償化により、県立高校の授業料は原則として不徴収

- ・平成 26(2014)年度から授業料に充てるため、市町村民税所得割額 30 万 4,200 円未満の世帯に高等学校等就学支援金を支給
- ・平成 30(2018)年度 7 月支給分から、市町村民税所得割額と道府県民税所得割額の合算額が 50 万 7,000 円未満の世帯に高等学校等就学支援金を支給
- ・令和 2(2020)年 7 月支給分から、市町村民税の課税標準額×6%－市町村民税の調整控除額が 30 万 4,200 円未満の世帯に高等学校等就学支援金を支給

#### ウ 授業料の減免

保護者等が、次の事項に該当し、授業料の納入が困難な事情がある場合は授業料の免除を受けることができます。

- (7) 生活保護法により、生活保護を受けている者（被保護者）
- (イ) 保護者が死亡、心身の障害又は長期の傷病の状況にある者
- (ロ) 保護者が火災、風水害その他の災害にかかり、著しい損害を受けた者
- (エ) 児童福祉法により、里親委託措置又は児童福祉施設等に入所措置されている者
- (オ) 生活状況が被保護者に準ずる状況にある者

### (2) 入学料

現行の入学料は下記のとおりです。

区 分	入 学 料
高等学校（全日制の課程）	5,650 円
〃（定 時 制）	2,100
〃（通 信 制）	0

### 3 学校数・学級数・児童数・生徒数

#### (1) 幼稚園(国・公・私立)

##### ア 園数

令和2(2020)年度の幼稚園の数は、国立1園、公立1園、私立80園、計82園で前年度より5園減少しました。

(表IV-4、7 参照)

##### イ 園児数

令和2(2020)年度の園児数は、11,134人です。これを国公私立別に見ると国立154人(1.4%)、公立59人(0.5%)、私立10,921人(98.1%)で、男女別では男子5,779人(51.9%)、女子5,355人(48.1%)です。

(表IV-4 参照)

#### (2) 幼保連携型認定こども園(公・私立)

##### ア 園数

令和2(2020)年度の幼保連携型認定こども園の数は公立4園、私立111園、計115園です。前年度より8園増加しました。

##### イ 園児数

令和2(2020)年度の園児数は、19,776人です。これを公私立別に見ると公立435人(2.2%)、私立19,341人(97.8%)で、男女別では男子10,111人(51.1%)、女子9,665人(48.9%)です。

(表IV-4、8 参照)

#### (3) 小・中学校(国・公・私立)

##### ア 学校数・学級数

令和2(2020)年度の小学校の数は、国立1校、公立348校(うち分校1校)、私立1校、計350校(本校349校、分校1校)で、前年度より10校(公立10校)減少しました。

中学校の数は、国立1校、公立155校(うち分校2校)、私立7校、計163校(本校161校、分校2校)です。

また、学級数は小学校が4,449学級で前年度より24学級減少し、中学校が2,021学級で前年より11学級減少しています。

そのうち、小学校の普通学級は前年度より28学級減少し3,734学級、特別支援学級は前年度より4学級増加し715学級で計4,449学級です。中学校は普通学級が前年度より7学級減少し1,679学級、特別支援学級は前年度より4学級減少し342学級で、計2,021学級です。

(表IV-4、9、10 参照)

##### イ 児童生徒数

令和2(2020)年度の児童生徒数は、小学校が男子49,614人、女子47,090人、計96,704人で前年度より2,597人減少し、中学校は男子26,501人、女子25,057人、計51,558人で、前年度より527人減少しています。そのうち、国立小学校は610人、国立中学校は432人、私立小学校は396人、私立中学校は1,306人です。

(表IV-4 参照)

#### (4) 義務教育学校

##### ア 学校数・学級数

令和2(2020)年度の学校数は、公立3校です。

また、学級数は54学級で、うち普通学級が44学級、特別支援学級が10学級です。

##### イ 児童生徒数

令和2(2020)年度の児童生徒数は1,149人(男子595人、女子554人)です。

(表IV-4、9 参照)

#### (5) 高等学校(公・私立全日制、定時制)

##### ア 学校数

令和2(2020)年度の学校数は県立61校、私立14校の75校で、前年度と同じでした。また、課程別にみると、本校全日制67校(県立53校、私立14校)、本校定時制2校(県立のみ)、本校併置校6校(県立のみ)です。

また、男女校別にみると、男子校4校、女子校9校、男女共学の学校62校です。

なお、単独高等学校(1学科のみ設置されている学校)は48校(普通科36校、農業科1校、工業科4校、商業科1校、総合学科6校)、総合校(2学科以上併置されている学校)は27校(普通科と職業科の併置校21校、職業科複数校6校)です。

(表IV-4、6 参照)

##### イ 生徒数

令和2(2020)年度の生徒数は50,745人(男子26,051人、女子24,694人)で、前年度より1,437人減少しています。生徒数を公私立別にみると、公立校は35,702人で前年度より848人減少し、私立校は15,043人で前年度より589人減少しました。なお、私立校の生徒が占める割合は29.6%となっています。

また、生徒数を課程別にみると、全日制49,735人、定時制1,010人です。

さらに学科別にみると、普通科32,849人(構成比64.7%)、農業科2,185人(同4.3%)、工業科5,355人(同10.6%)、商業科4,470人(同8.8%)、水産科53人(同0.1%)、家庭科1,765人(同3.5%)、福祉科243人(同0.5%)、その他の学科505人(同1.0%)、総合学科3,320人(同6.5%)です。

(表IV-4、5 参照)



(6) 中等教育学校（私立）

ア 学校数、学級数

令和2（2020）年度の学校数は私立1校で、前年度と同数です。

また、学級数は6学級で、前年度より1学級減少しています。

イ 生徒数

令和2（2020）年度の生徒数は420人（男子196人、女子224人）で前年度より43人減少しています。

（表Ⅳ－4 参照）

(7) 特別支援学校

ア 学校数・学級数

令和2（2020）年度の学校数は、17校（国立1校、県立16校）で、前年度と同数です。

また、学級数は585学級で、前年度より13学級減少しています。

イ 児童生徒数

令和2（2020）年度の児童生徒数は2,544人（男子1,683人、女子861人）で前年度より49人減少しています。

（表Ⅳ－4 参照）

表Ⅳ－4 学校数、学級数、児童生徒数

令和2（2020）年5月1日現在

区 分		学 校 数			学級数	在学者数		
		計	本校	分校		計	男	女
幼稚園	令和元（2019）年度	87	87	—	615	12,597	6,425	6,172
	令和2（2020）年度	<b>82</b>	<b>82</b>	—	<b>556</b>	<b>11,134</b>	<b>5,779</b>	<b>5,355</b>
	国立	1	1	—	5	154	79	75
	公立	1	1	—	3	59	30	29
	私立	80	80	—	548	10,921	5,670	5,251
認定こども園 幼保連携型	令和元（2019）年度	107	107	—	734	18,413	9,376	9,037
	令和2（2020）年度	<b>115</b>	<b>115</b>	—	<b>775</b>	<b>19,776</b>	<b>10,111</b>	<b>9,665</b>
	公立	4	4	—	19	435	226	209
	私立	111	111	—	756	19,341	9,885	9,456
小学校	令和元（2019）年度	360	359	1	4,473	99,301	51,081	48,220
	令和2（2020）年度	<b>350</b>	<b>349</b>	<b>1</b>	<b>4,449</b>	<b>96,704</b>	<b>49,614</b>	<b>47,090</b>
	国立	1	1	—	18	610	303	307
	公立	348	347	1	4,413	95,698	49,115	46,583
	私立	1	1	—	18	396	196	200
中学校	令和元（2019）年度	164	162	2	2,032	52,085	26,770	25,315
	令和2（2020）年度	<b>163</b>	<b>161</b>	<b>2</b>	<b>2,021</b>	<b>51,558</b>	<b>26,501</b>	<b>25,057</b>
	国立	1	1	—	12	432	216	216
	公立	155	153	2	1,962	49,820	25,672	24,148
	私立	7	7	—	47	1,306	613	693
義務教育学校	令和元（2019）年度	2	2	—	21	344	180	164
	令和2（2020）年度	<b>3</b>	<b>3</b>	—	<b>54</b>	<b>1,149</b>	<b>595</b>	<b>554</b>
	公立	3	3	—	54	1,149	595	554
高等学校	令和元（2019）年度	75	75	—	…	52,182	26,602	25,580
	令和2（2020）年度	<b>75</b>	<b>75</b>	—	…	<b>50,745</b>	<b>26,051</b>	<b>24,694</b>
	公立	61	61	—	964	35,702	17,825	17,877
	全日制	53	53	—	901	34,692	17,226	17,466
	定時制	2	2	—	63	1,010	599	411
	全・定併置	6	6	—	…	…	…	…
	私立	14	14	—	…	15,043	8,226	6,817
	全日制	14	14	—	…	15,043	8,226	6,817
	通信制	1	1	—	…	2,276	1,339	937
	令和2（2020）年度	<b>1</b>	<b>1</b>	—	…	<b>2,322</b>	<b>1,360</b>	<b>962</b>
公立	(2)	(2)	—	…	980	518	462	
	私立	1	1	—	…	1,342	842	500
中等教育学校	令和元（2019）年度	1	1	—	7	463	222	241
	令和2（2020）年度	<b>1</b>	<b>1</b>	—	<b>6</b>	<b>420</b>	<b>196</b>	<b>224</b>
	私立	1	1	—	6	420	196	224
特別支援学校	令和元（2019）年度	17	16	1	598	2,593	1,709	884
	令和2（2020）年度	<b>17</b>	<b>16</b>	<b>1</b>	<b>585</b>	<b>2,544</b>	<b>1,683</b>	<b>861</b>
	国立	1	1	—	9	59	38	21
	公立	16	15	1	576	2,485	1,645	840

- (注) 1 幼稚園及び幼保連携型認定こども園の学級数は在園児のいない学級も含む。 (学校基本統計)
- 2 公立中学校は県立中学校3校を含む。
- 3 「全・定併置」とは、全日制と定時制の両方の課程を設置している学校をいう。
- 4 「高等学校通信制の公立の「学校数」の( )内の数値は、全日制または定時制高校と併置されている。
- 5 中等教育学校の学級数は、前期課程の学級数である（後期課程を含まない）。

表Ⅳ－５ 学科別、学年別生徒数

令和2(2020)年5月1日現在

区 分	生徒数	全 日 制 生 徒 数						定 時 制 生 徒 数						
		計	男	女	1学年	2学年	3学年	計	男	女	1学年	2学年	3学年	4学年
普 通	32,849	32,045	15,760	16,285	10,716	10,672	10,657	804	434	370	280	228	189	107
農 業	2,185	2,185	1,153	1,032	706	737	742	0						
工 業	5,355	5,216	4,764	452	1,679	1,761	1,776	139	129	10	41	34	39	25
商 業	4,470	4,403	1,961	2,442	1,450	1,507	1,446	67	36	31	6	20	22	19
水 産	53	53	51	2	22	19	12	0						
家 庭	1,765	1,765	202	1,563	569	595	601	0						
看 護	0	0						0						
情 報	0	0						0						
福 祉	243	243	32	211	86	79	78	0						
そ の 他	505	505	375	130	164	179	162	0						
総合学科	3,320	3,320	1,154	2,166	1,120	1,102	1,098	0						
合 計	50,745	49,735	25,452	24,283	16,512	16,651	16,572	1,010	599	411	327	282	250	151

(学校基本統計)

表Ⅳ－６ 単独・総合別学校数

令和2(2020)年5月1日現在

区 分	計	単 独 校											総 合 校					
		計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉	その他	総合	計	普通と 職業1	普通と 職業 2以上	職業 のみ 2以上	
計	75	48	36	1	4	1	—	—	—	—	—	—	—	6	27	14	7	6
(本校)																		
全 日 制	67	44	33	1	3	1	—	—	—	—	—	—	—	6	23	11	6	6
定 時 制	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
併 置	6	3	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	2	1	—
(分校)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(学校基本統計)

表IV-7 設置者別幼稚園数

令和2(2020)年5月1日現在

市 町 名	幼 稚 園 数			市町名	幼 稚 園 数				
	国立	公立	私立		国立	公立	私立		
市 部	宇 都 宮 市	1		27	町 部	上 三 川 町			2
	足 利 市			5		益 子 町			
	栃 木 市			5		茂 木 町			
	佐 野 市			5		市 貝 町			
	鹿 沼 市			6		芳 賀 町			
	日 光 市			3		壬 生 町			2
	小 山 市			5		野 木 町			1
	真 岡 市			5		塩 谷 町			
	大 田 原 市			6		高 根 沢 町			2
	矢 板 市					那 須 町			2
	那 須 塩 原 市			3		那 珂 川 町			
	さ くら 市					計	1	1	80
	那 須 烏 山 市		1			合 計	82		
	下 野 市			1		(学校基本統計)			

表IV-8 設置者別幼保連携型こども園

令和2(2020)年5月1日現在

市 町 名	こ ども 園 数			市町名	こ ども 園 数				
	国立	公立	私立		国立	公立	私立		
市 部	宇 都 宮 市			18	町 部	上 三 川 町			
	足 利 市			10		益 子 町			2
	栃 木 市		1	12		茂 木 町			2
	佐 野 市			7		市 貝 町			3
	鹿 沼 市			2		芳 賀 町			2
	日 光 市			4		壬 生 町			3
	小 山 市			14		野 木 町			1
	真 岡 市			8		塩 谷 町			
	大 田 原 市			2		高 根 沢 町			
	矢 板 市			3		那 須 町			
	那 須 塩 原 市			8		那 珂 川 町		3	
	さ くら 市			2		計	0	4	111
	那 須 烏 山 市			2		合 計	115		
	下 野 市			6		(学校基本統計)			

表IV-9 学級編成別学級数

令和2(2020)年5月1日現在

小学校	計	単式	複式	特別支 援学級	中学校	計	単式	複式	特別支 援学級
令和元(2019)年度	4,473	3,690	72	711	令和元(2019)年度	2,032	1,685	1	346
令和2(2020)年度	4,449	3,671	63	715	令和2(2020)年度	2,021	1,678	1	342

義務教育学校	計	単式	複式	特別支 援学級
令和元(2019)年度	21	18	1	2
令和2(2020)年度	54	43	1	10

表IV-10 市町別小・中学校設置状況

令和2(2020)年5月1日現在

市 町 名		小 学 校 数			中 学 校 数			義 務 教 育 学 校 数		
		国立	公立	私立	国立	公立	私立	国立	公立	私立
県	栃 木 県					3				
市 部	宇 都 宮 市	1	68	1	1	26	4			
	足 利 市		22			11	1			
	栃 木 市		29			14	1			
	佐 野 市		20			9			1	
	鹿 沼 市		24			10				
	日 光 市		24			15				
	小 山 市		25			10			1	
	真 岡 市		14			9				
	大 田 原 市		19(1)			8(1)				
	矢 板 市		8			3(1)				
	那 須 塩 原 市		20			9			1	
	さ く ら 市		6			2				
	那 須 烏 山 市		5			2				
	下 野 市		11			4				
町 部	上 三 川 町		7			3				
	益 子 町		4			3				
	茂 木 町		4			1				
	市 貝 町		3			1				
	芳 賀 町		3			1				
	壬 生 町		8			2				
	野 木 町		5			2				
	塩 谷 町		3			1				
	高 根 沢 町		6			2				
	那 須 町		6			2	1			
	那 珂 川 町		3			2				
	計	1	347(1)	1	1	153(2)	7	0	3	0

(注) ( ) は分校数で外数である。

(学校基本統計)

## 4 教員数と構成

### (1) 教員数と構成

公立小・中学校及び義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員数とその構成については次のとおりです。（「令和2(2020)年度公立学校教員構成調査」令和2(2020).5.1現在）

#### ア 学校種別教員数

学校種別、職名別、男女別教員数は、表IV-11のとおりです。

なお、学校に籍はあるが教育委員会事務局、その他学校以外に勤務している者、内留者、退職者、非常勤講師、産休・育休・傷休・介休補充教員、実習助手、在外日本人学校派遣教員、社会体験研修者は除いています。

教員総数 14,552 人のうち、小学校が 6,627 人で全体の 45.5% を占め、次いで中学校が 3,858 人 (26.5%)、義務教育学校が 96 人 (0.7%)、高等学校 (全・定・通) が 2,689 人 (18.5%)、特別支援学校が 1,282 人 (8.8%) です。

#### イ 男女別教員数

学校種別に女子教員の占める割合をみると、小学校が 6,627 人のうち 4,219 人で 63.7% であり、中学校が 3,858 人のうち 1,743 人で 45.2%、義務教育学校が 96 人のうち 58 人で 60.4%、高等学校が 2,689 人のうち 955 人で 35.5%、特別支援学校は 1,282 人

のうち 863 人で 67.3% となっており、全体では 14,552 人のうち 7,838 人で 53.9% です。

#### ウ 教員の平均年齢・平均勤務年数

教員の平均年齢及び平均勤務年数は下の表のとおりです。

#### 教員の平均年齢（公立）

（単位：歳）

区分	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校 (全・定・通)	特別支援学校
男	43.8	43.0	38.0	45.1	43.5
女	42.4	42.7	42.7	43.3	41.7
平均	42.9	42.9	40.8	44.4	42.3

#### 教員の平均勤務年数（公立）

（単位：年）

区分	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校 (全・定・通)	特別支援学校
男	18.9	18.0	13.7	18.2	15.3
女	17.2	16.1	17.7	16.3	12.9
平均	17.8	17.1	16.1	17.5	13.7

表IV-11 教員数（公立）

（単位：人）

区分	合計			校長		教頭		主幹教諭		教諭		養護教諭	栄養教諭		助教諭		養護助教諭		講師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	男	女	男	女	男	女	男	女
計	14,552	6,714	7,838	446	124	402	219	72	25	5,316	6,083	584	2	89	27	74	0	45	449	595
小学校	6,627	2,408	4,219	238	104	185	169	12	10	1,890	3,309	343	2	41	24	70		14	57	159
中学校	3,858	2,115	1,743	140	10	125	33	17	1	1,710	1,351	157		41	2	4		5	121	141
義務教育学校	96	38	58	2	1	2	4		1	32	43	5			1				1	4
高等学校(全)	2,508	1,603	905	55	4	64	5	37	4	1,288	726	60						8	159	98
高等学校(定)	153	113	40	1		9		3		72	20	2						7	28	11
高等学校(通)	28	18	10			1	1			13	8								4	1
特別支援学校	1,282	419	863	10	5	16	7	3	9	311	626	17		7				11	79	181

# 5 人 事

## (1) 小・中学校

令和3(2021)年度の小・中学校の定期人事異動総数は、3,025人で、前年度より95人減となっています。また、新規採用者は、前年度より47人減となっています。なお区分別人員は次のとおりです。

(表IV-12、13 参照)

〈小・中学校人事異動〉

校	長	213人
教	頭	231人
一 般 教 職 員		1,453人
退 職		537人
新 規 採 用		465人
県立・国立大学法人市町事務局等		126人
計		3,025人

(期限付採用者を除く。)

## (2) 県立学校

令和3(2021)年度の県立学校の定期人事異動総数は、770人で、前年度より10人減となっています。また、新規採用者は前年度より29人減となっています。

(表IV-12、13 参照)

なお、区分別異動人員は次のとおりです。

(県立学校人事異動)

校	長	23人
教	頭	53人
一 般 教 職 員		438人
退 職		155人
新 規 採 用		101人
計		770人

(期限付採用者を除く。)

**表IV-12 職名別採用者数**

学校種別	期 間 令和2(2020)年4月2日～令和3(2021)年4月1日														合計	期限付採用			
	職 種 別 校長・職員							そ の 他								合計	助 教 師 論 講	そ の 他	計
	校長	教 頭	教 主 論 幹	教 諭	教 養 論 護	教 栄 論 養	小 計	職 事 員 務	助 実 手 習	司 学 書 校	寄 指 宿 導 舎 員	職 技 員 術	公 そ の 仕 他	小 計					
小 学 校	98	105	14	254	15	5	491	12						12	503	288	35	323	
中 学 校	27	51	10	168	5	1	262	5				2		7	269	237	16	253	
義務教育学校				4			4							0	4	7	2	9	
県立学校	16	31	32	95	1	1	176	5	4		0	1	5	15	191	393	80	473	
合 計	141	187	56	521	21	7	933	22	4		0	3	5	34	967	925	133	1,058	

- (注) 1 校長・教頭・主幹教諭への昇任・学校栄養職員から栄養教諭への任用替えを含む。  
 2 養護助教諭は助教諭・講師に、学校栄養職員は技術職員に含める。  
 3 期限付採用は欠員補充者のみ記載。

**表IV-13 職名別退職者数**

学校種別	期 間 令和2(2020)年4月2日～令和3(2021)年4月1日														合計	期限付採用			
	職 種 別 校長・職員							そ の 他								合計	講 助 教 師 論 講	そ の 他	計
	校長	教 頭	教 主 論 幹	教 諭	教 養 論 護	教 栄 論 養	小 計	職 事 員 務	助 実 手 習	司 学 書 校	寄 指 宿 導 舎 員	職 技 員 術	公 そ の 仕 他	小 計					
小 学 校	85	30		202	16	3	336	14				1		15	351	291	30	321	
		(1)		(3)			(4)							(4)					
中 学 校	36	17		112	4	4	173	7				1		8	181	250	11	261	
				(2)			(2)							(2)					
義務教育学校	1	1		3			5							0	5	5	1	6	
県立学校	16	13	5	115	2		151	27	7		1	6	11	52	203	408	159	567	
				(1)			(1)							(1)					
合 計	138	61	5	432	22	7	665	48	7	0	1	8	11	75	740	954	201	1,155	
		(1)		(6)			(7)							(7)					

(注) ( ) 内は死亡者の再掲。



# 6 免 許

## (1) 教育職員免許状授与等件数（令和2(2020)年度）

教育職員免許法に基づき、免許状授与等の出願者に対し、授与、書換、再交付を行った件数は、次のとおりです。

ア 授与件数

区分	普通免許	特別免許	臨時免許	計
幼稚園	532		3	535
小学校	434		189	623
中学校	505		62	567
高等学校	494		192	686
特別支援学校	124		29	153
特別支援学校 自立教科				
特別支援学校 自立活動	1		/	1
養護	49		4	53
栄養	14			14
計	2,153		479	2,632

イ 書換・再交付件数

書 換	再交付	計
86	115	201

## (2) 栃木県教育職員免許法認定講習

目 的： 免許法の規定に基づき、上級免許状、他教科免許状等を取得するために必要な単位を修得させる。

期 間： 令和2(2020)年8月11日から8月19日まで

会 場： 栃木県庁、栃木県総合文化センター

開設コース・科目及び受講者数：

特 支 一 ・ 二 種

(聴覚) 聴覚障害児の教育 (28人)

(重複・LD) 重複障害児教育総論 (27人)

計 (55人)

# 7 現 職 教 育

## (1) 体系化のあらまし

県教育委員会が行う研修には、「基本研修」と「専門研修」があります。

前者は悉皆必修の研修で、新規採用時、2年目、3年目、5年目、10年目、20年目に全ての教員が受講するものとしています。

後者は、専門研修1、2、3に大別しています。1はさらにア、イに区分され、1ーアは教育課程の領域、教育の諸分野等に関する研修であり、1ーイは校長、教頭、主任等の職位にある者を対象とする研修です。2は自主的に自己啓発を願う職員の研修意欲を充実させ、専門職としての識見と能力を伸長させるための希望研修です。また、3は土曜日や夏季休業中に、受講を希望する職員に対して自主的な研修の機会を提供するものです。

## (2) 教員派遣・内地留学

### ア 校長研修

- (ア) 主 催：独立行政法人教職員支援機構
- (イ) 期 間：5日間
- (ウ) 会 場：オンライン開催
- (エ) 内 容：オンラインで聴講・学校管理・教育内容・教育方法・一般教養等
- (オ) 期 日：参加者

回	期 間	参 加 者 数		
		小学校	中学校	県立学校
	9月7日～12月18日 ※期間内の任意の週に聴講	3	1	1

### イ 副校長・教頭等研修

- (ア) 主 催：独立行政法人教職員支援機構
- (イ) 期 間：5日間
- (ウ) 会 場：オンライン開催
- (エ) 内 容：オンラインで聴講・学校管理・教育内容・教育方法・一般教養等

(オ) 期 日：参加者

回	期 間	参 加 者 数			
		小学校	中学校	県立学校	指導主事
	9月7日～12月18日 ※期間内の任意の週に聴講	6	5	2	7

## ウ 中堅教員研修

- (ア) 主 催：独立行政法人教職員支援機構
- (イ) 期 間：5日間
- (ウ) 会 場：オンライン開催
- (エ) 内 容：オンラインで聴講・学校管理・教育内容・教育方法・一般教養等
- (オ) 期 日：参加者

回	期 間	参 加 者 数		
		小学校	中学校	県立学校
	9月7日～12月18日 ※期間内の任意の週に聴講	10	7	5

## エ 次世代リーダー育成研修

- (ア) 主 催：独立行政法人教職員支援機構
- (イ) 期 間：5日間
- (ウ) 会 場：オンライン開催
- (エ) 内 容：オンラインで聴講・学校管理・教育内容・教育方法・一般教養等
- (オ) 期 日：参加者

回	期 間	参 加 者 数		
		小学校	中学校	県立学校
1	9月7日～12月18日 ※期間内の任意の週に聴講	1	2	1

## オ 令和2(2020)年度内地留學生派遣

派遣教員数は、小学校37人、中学校22人、県立学校13人です。

派遣期間は、1か年(5人)、6か月(60人)、3か月(7人)、の3種類です。

派遣先は、教科等に応じて、宇大49人、総合教育センター6人、その他の大学等17人となっています。

教科等別派遣人員は次表のとおりです。

教科等	小学校	中学校	高等学校
国語	3		1
社会		1	
地理・歴史			
公民			
算数・数学	1	5	
理科		1	
生活			
音楽		1	
図工	1		
美術			
保健体育		2	
技術・家庭			
英語	1	3	
中国語	2		
ポルトガル語	2		
スペイン語	1		
キャリア教育・進路指導			
児童・生徒指導	6	4	
教育相談	(6)	(4)	
教育近代化	4	1	
特別活動			
道徳	8		
へき地教育			
農業			
工業			
商業			
家庭			1
看護・養護			
産業教育			
芸術			
特別支援教育	6	1	8
人権教育	2	3	1
幼児教育	(2)		
社会教育			1
安全教育			1
福祉			
計	37	22	13

### (3) 連絡会等

#### ア 小・中学校長連絡会議

4月23日(中止)

本県教育行政、学校管理運営上の諸問題、学校教育指導上の諸問題、児童・生徒指導の推進について等の説明資料を送付しました。

#### イ 公立小学校、中学校及び義務教育学校教頭連絡会議

7月27日(中止)

学校管理運営上の諸問題、学校教育指導上の諸問題、児童・生徒指導の諸問題等の説明資料を送付しました。

#### ウ 県立学校長会議

第1回 中止

第2回 6月22日(月) 総合教育センター

第3回 10月23日(金) 県庁本館

第4回 11月19日(木) 県庁東館

第5回 中止

#### エ 県立学校教頭事務連絡会

第1回 中止

第2回 10月13日(火) 総合教育センター

第3回 12月10日(木) 総合教育センター

第4回 1月8日(金) 総合教育センター

#### カ 令和2(2020)年度大学院派遣

教育の資質向上と学校教育の充実を目的として、教育公務員特例法の規定に基づき、次の各大学大学院に現職教員を派遣しました。

宇都宮大学大学院 2名

東京学芸大学大学院 1名

(教職大学院 小6、中3、県3)

# 8 福利厚生

## (1) 教職員の保健管理

教職員が心身共に健康な状態で子どもたちの教育に従事できるよう健康診断、メンタルヘルス対策等を行いました。

ア 定期健康診断等（県立学校）（単位：人、％）

	対象者	受診率	要精検率	精検受診率
定期健康診断	2,712	99.6	22.5	84.7
人間ドック※	2,303	99.4	31.4	88.3
計	5,015	99.5	26.6	86.7

※人間ドックは、公立学校共済組合の事業

イ 結核健康診断等（県立学校）（単位：人、％）

	対象者	受診率	結核有所見者
胸部X線検査	5,856	97.7	0

ウ メンタルヘルス対策

- ・メンタルヘルス講座：2回開催、93人受講
- ・メンタルヘルス出前講座：1校に派遣、41人受講
- ・ストレスチェック（県立学校）：100%受検

エ 産業医等の配置（県立学校）

	配置数（人）	対象校
産業医	67	職員50人以上
職員健康管理医	8	職員50人未満

## (2) 公立学校共済組合

公立学校共済組合栃木支部では、組合員（公立学校教職員、県教育委員会事務局職員等）やその被扶養者に対する医療、年金及び福祉事業を総合的に行いました。

ア 組合員数等（令和3(2021).3.31 現在）

組 合 員（人）			被扶養者数（人）
男	女	計	
7,670	9,279	16,949	10,364

イ 短期給付

組合員又は被扶養者の疾病、出産、死亡、災害等に対して給付しました。

項 目	件数(件)	金額(千円)
保健給付	319,503	3,350,321
直営給付	17	280
休業給付	3,766	695,049
災害給付	41	20,180
附加給付	1,056	45,644
一部負担金私戻金	1,988	56,585
計	326,371	4,168,059

ウ 長期給付

退職厚生年金、障害厚生年金及び遺族厚生年金を共済組合本部から支給しました。

エ 貸付事業

組合員が臨時に資金を必要とする時並びに住宅の新築、増改築、修理及び住宅敷地等の購入の場合に資金の貸付を行いました。

貸付種別	件数(件)	金額(千円)
一 般	110	161,600
住 宅	11	50,622
住宅災害	1	6,000
教 育	31	64,300
災 害	0	0
医 療	2	2,100
結 婚	2	3,000
葬 祭	1	1,000
計	158	288,622

オ 保健・健康管理事業

組合員及びその被扶養者の健康管理や保持増進を目的とした事業を行いました。

事業項目	人員(人)
特定健診・指導、人間ドック	9,688
器官別検診(婦人科、肺がん、大腸がん、脳ドック、歯科健診)	4,269
健康ポイント、健康づくりセミナー	77
一般事業（指定施設、レクリエーション、ライフアップセミナー、育児支援、医薬品配布）	1,331
計	15,365

[V] 学 校 教 育

# 1 教 育 課 程

## (1) 幼稚園

- ア 教育課程研究集会〔幼児教育〕
- イ 運営 総合教育センター
- ロ 6月5日(金)、9月16日(水)  
10月～1月 各幼稚園、こども園、保育所  
参加者 幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所教職員  
新型コロナウイルス感染症対策のため中止

## (2) 小・中学校及び義務教育学校

新しい学習指導要領が告示されたことを受け、小学校、中学校及び義務教育学校における新教育課程の適切な編成・実施に向けた次の事業を行いました。

- ア 新教育課程説明会
  - ・県内国・公・私立の小・中学校及び義務教育学校の校長及び教員等
- イ 運営 義務教育課 各教育事務所
- ロ 新型コロナウイルス感染症対策のため書面開催
- ハ 教育課程に関する資料作成
- ニ 現職教育資料 シリーズ「小学校プログラミング教育」
- ホ 新学習指導要領に基づく指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料

## (3) 高等学校

新しい学習指導要領が告示されたことを受け、高等学校における新教育課程の適切な編成・実施に向けた次の事業を行いました。

- ア 新教育課程説明会
  - ・令和元(2019)年度を初年度とする3カ年を計画年度とする。
- イ 運営 高校教育課
- ロ 8月3日(月)、7日(金)、11日(火)  
総合教育センター

## (4) 特別支援学校

- ア 特別支援学校教育課程研究集会
- イ 運 営 特別支援教育室
- ロ 7月29日(水) 県庁6階大会議室1  
参加者 県立特別支援学校の教員

# 2 学 力 向 上

とちぎっ子学習状況調査を要として、義務教育9年間の学びの連続性を重視した本県独自の学力向上システムを構築し、児童生徒一人一人の学力向上を図ることを目的とする「とちぎっ子学力アッププロジェクト」を推進しました。

## (1) 令和2(2020)年度とちぎっ子学習状況調査の実施

県一斉では調査を実施しなかったが、調査問題を各学校に送付し、各学校の実態に応じた活用を促進。

## (2) 学力向上指導員の派遣

学力向上指導員を県内公立小・中学校に派遣し、とちぎっ子学習状況調査の効果的な活用や、学習指導における検証改善サイクルの確実な運用を支援。9名の指導員を11市町に派遣。

## (3) 学力向上推進リーダーの配置

小学校の国語と算数の教科指導に実績のある教員を「学力向上推進リーダー」に認定し、担当学校内の教員の指導力向上を図る。21市町に配置。

## (4) 調査結果活用研修会の実施

研修用動画をWebで配信する形式で実施。  
実施期間：令和2(2020)年8月3日(月)～10月9日(金)  
参加校数：463校

## (5) 調査結果活用説明会の実施

実施日：令和2(2020)年9月3日(木)  
令和2(2020)年10月15日(木)  
参加人数：66名(県・市町教委指導主事)

## (6) 教師用指導資料「とちぎの子ども『確かな学力』向上のために～令和2(2020)年度とちぎっ子学習状況調査問題活用の参考資料～」の作成・配付

配布部数：5,000部

## (7) 保護者用リーフレットの作成・配付

小学校約35,000部、中学校約18,000部

## (8) 学力向上検証委員会の開催(年間3回)

プロジェクトの検証及び改善。  
第3回は、書面開催とした。



## 3 児童・生徒指導

### (1) 事業の推進

ア 「いじめ・不登校等対策チーム」による学校支援  
全小・中学校及び義務教育学校、高等学校、特別支援学校への訪問、電話・来所による相談を実施しました。

イ スクールカウンセラー等活用事業

小・中学校及び義務教育学校、高等学校 526 校（小中学校 500、義務教育学校 3、県立学校 23）に配置し、学校におけるカウンセリング等の機能の充実を図り、児童生徒の問題行動等の未然防止や早期発見、早期解決に努めました。

ウ 学校問題解決支援事業

学校の努力にもかかわらず解決が困難な事案に対して、弁護士等と連携を図りながら問題の解決に向けた学校支援を行いました。

エ スクールロイヤー活用事業

学校の努力にもかかわらず解決が困難な事案に対して、弁護士と連携を図りながら問題の解決に向けた学校支援を行いました。

### (2) 協議会、研修会等の開催

ア 児童・生徒指導推進中央研修会

回数 年1回

※ 新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み中止とし、各学校等に資料を送付しました。

目的 県内の幼稚園、保育所、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の児童・生徒指導担当者が一堂に集い、本県の児童・生徒指導の基本方針に対する共通理解を図るとともに、今後の児童生徒の調和のとれた成長を促すための効果的な指導・援助の在り方について理解を深める。

テーマ 「児童・生徒指導の充実を目指して」—子どもたち一人一人が大切にされ、安心して学ぶことができる集団づくりと授業づくりのために—

イ 県立学校生徒指導連絡協議会

回数 年2回

協議内容 生徒指導上の諸問題とその対策

ウ 県立学校教育相談連絡協議会

回数 年1回

協議内容 学校教育相談活性化の方策

エ 地区別中・高生徒指導連絡会

地区の中学校長会と高等学校長会が連携し、生徒指導担当者により、地区単位で定期的の実施

回数 年1～3回

協議内容 生徒指導の諸問題とその対策

オ 児童・生徒指導推進地区別研修会

回数 年1回（6月～10月までの間で各教育事務所ごとに実施）

会場 各教育事務所の指定する会場

目的 児童・生徒指導推進中央研修会の内容を踏まえながら児童生徒の自己指導能力の育成を図るための指導・援助の在り方や指導体制等について具体的な研究協議を行い、児童・生徒指導の充実に資する。

テーマ 「児童・生徒指導の充実を目指して」—子どもたち一人一人が大切にされ、安心して学ぶことができる集団づくりと授業づくりのために—

カ 不登校児童生徒支援連絡協議会

回数 年2回（5月、11月）

目的 本県における不登校児童生徒の実態に応じた効果的な支援の在り方について共有するとともに、不登校児童生徒に対する教育機会の確保等に関する理解を深め、適応指導教室と学校及び教育委員会との連携等による不登校児童生徒へのきめ細かな支援の更なる充実を図る。

### (3) 生徒活動推進事業

ア ふれあい活動高校生のつどい

自主的・創造的諸活動や国際理解に取り組む高校生に発表の機会を与え、明るい未来を築く担い手となる高校生の豊かな人間関係づくりの促進と、主体的な活動の推進を図るために、県内高校生を対象に7月31日（金）に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のために中止しました。

イ 体験活動の推進

児童生徒の他者への思いやりや社会性、豊かな人間性を育むために、ボランティア活動などの児童生徒による社会奉仕活動等を推進しました。

# 4 進 路 指 導

## (4) 文部科学省主催生徒指導連絡協議会、生徒指導講座への教員派遣

- ア 生徒指導指導者養成研修への教員の派遣  
派遣人員 県立高校教員1名、小中学校教員2名  
講座内容 生徒指導上の今日的課題に関する講義・演習
- イ いじめの問題に関する指導者養成研修への教員、指導主事の派遣  
派遣人数 県立高校教員2名、県立特別支援学校教員1名、小中学校教員7名  
講座内容 いじめの問題に関する講義・演習

## (5) 調査・統計

児童生徒の問題行動等の状況把握や対応策の検討のための基礎資料作成等のため、下記調査を実施しました。

- ア 令和元(2019)年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(文部科学省)
- イ 令和元(2019)年度栃木県問題行動等調査

## (1) 協議会・講座の開催

- ア 中学校
  - (ア) 進路指導主事研究協議会  
※新型コロナウイルス感染症対策のため、中止
- イ 高等学校
  - (ア) 進路指導連絡協議会
    - 期 日 6月10日(水)
    - 会 場 総合教育センター
    - 参加者 県立学校進路指導主事(86名)
    - 内 容
      - 説 明
      - ・進学指導について
      - ・就職指導について
      - ・特別支援学校における進路指導について
      - 関係機関説明
      - ・産業技術専門校について
      - ・若年者雇用対策について
    - 班別協議
  - (イ) 一日体験学習  
※新型コロナウイルス感染症拡大により中止

### 令和元(2019)年度参加状況

生 徒	保 護 者	教 員	合 計
28,851	16,451	187	45,489

## (2) 手引・資料類の作成

- ア 高等学校
  - ・「進路情報資料」(とちぎの県立高校ガイド2021)の作成・配布
- イ 中学校
  - ・進路啓発資料「学ぶこと・働くこと・生きること」の作成

### (3) 大会等への教員の派遣

令和2(2020)年度は未実施

《参考 令和元(2019)年度》

キャリア教育を推進するための指導者の養成を目的とした研修に受講者を派遣しました。

研修名 キャリア教育指導者養成研修(独立行政法人教職員支援機構主催)

期間 8月26日(月)～8月30日(金)

人員 小学校教員2名 中学校教員1名  
高等学校教員1名

内容 各教科等においてキャリア教育の充実を図るための指導の在り方や工夫、個に対する指導の在り方などを協議する。

### (4) 中学生の卒業後の状況

学校基本調査(令和2(2020).5.1現在)

令和2(2020)年3月の国公立私立中学校卒業者は17,560人(男9,077人、女8,483人)で、前年度より562人減少しています。

卒業者の進路別内訳をみると、高等学校等進学者(通信制進学者を含む)17,390人(構成比99.0%)、専修学校(高等課程)進学者2人(同0.0%)、専修学校(一般課程)3人(同0.0%)、公共職業能力開発施設等入学者11人(同0.1%)、就職者等20人(同0.1%)、左記以外の者134人(同0.8%)、不詳・死亡の者0人で、進学者のうち11人が就職しながら進学しています。

なお、進学率(就職進学者を含む)と就職率(就職進学者を含む)の推移を年次別にみると、表V-1のようになっています。

表V-1 進学率・就職率の推移(中学生)

区分	卒業生数(人)			進学率(%)			就職率(%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
昭59年(1984)	28,309	14,478	13,831	93.5	92.0	95.1	3.7	4.6	2.8
60	28,640	14,603	14,037	94.0	92.9	95.1	3.8	4.6	3.0
61	30,012	15,388	14,624	93.8	92.8	94.8	4.0	4.9	3.0
62	31,325	16,122	15,203	93.5	92.9	94.1	3.8	4.7	2.8
63	32,538	16,767	15,771	93.2	92.2	94.3	4.1	5.6	2.6
平元	33,066	16,934	16,132	93.1	91.9	94.4	4.2	5.9	2.3
2	32,461	16,584	15,877	93.5	92.0	95.0	3.9	5.5	2.3
3	30,868	15,965	14,903	94.7	93.6	95.9	2.9	3.9	1.9
4	29,639	15,106	14,533	94.9	93.9	96.0	2.5	3.3	1.5
5	29,422	15,031	14,391	95.2	93.9	96.4	2.4	3.6	1.1
6	28,585	14,674	13,911	95.7	94.8	96.8	1.9	2.7	1.1
7	28,305	14,419	13,886	96.2	95.2	97.2	1.8	2.5	1.0
8	26,663	13,861	12,802	96.6	95.6	97.6	1.4	2.0	0.8
9	26,148	13,454	12,694	96.5	95.5	97.6	1.3	2.0	0.7
10	26,145	13,432	12,713	96.7	95.7	97.8	1.3	1.9	0.7
11	26,024	13,368	12,656	96.5	95.7	97.5	1.0	1.5	0.5
12	25,499	12,998	12,501	96.4	95.7	97.2	1.0	1.5	0.5
13	24,812	12,627	12,185	96.6	95.9	97.3	1.1	1.5	0.8
14	23,686	12,117	11,569	96.6	96.1	97.1	0.8	1.2	0.5
15	23,299	11,939	11,360	97.1	96.7	97.6	0.7	0.9	0.4
16	22,468	11,372	11,096	97.4	96.8	98.0	0.7	1.0	0.4
17	21,072	10,786	10,286	97.5	97.1	98.0	0.6	0.8	0.3
18	20,506	10,571	9,935	97.6	97.3	97.9	0.5	0.8	0.4
19	20,452	10,375	10,077	97.6	97.2	98.0	0.5	0.8	0.2
20	19,656	10,101	9,555	97.6	97.0	98.4	0.6	0.9	0.3
21	19,463	10,015	9,448	98.0	97.7	98.3	0.3	0.4	0.2
22	19,816	10,062	9,754	98.1	97.9	98.4	0.3	0.4	0.1
23	18,900	9,696	9,204	98.0	97.7	98.4	0.3	0.4	0.1
24	18,970	9,679	9,291	98.3	97.8	98.9	0.3	0.6	0.1
25	18,903	9,591	9,312	98.4	97.9	99.0	0.3	0.5	0.1
26	18,809	9,692	9,117	98.7	98.4	99.1	0.2	0.3	0.1
27	18,512	9,569	8,943	98.7	98.3	99.1	0.3	0.4	0.1
28	18,754	9,623	9,131	98.8	98.4	99.2	0.2	0.4	0.1
29	18,775	9,463	9,312	99.0	98.8	99.2	0.2	0.3	0.1
30	18,257	9,321	8,936	98.9	98.5	99.2	0.1	0.2	0.0
令元	18,122	9,237	8,885	99.0	98.8	99.2	0.1	0.2	0.0
令2年(2020)	17,560	9,077	8,483	99.0	98.9	99.1	0.1	0.2	0.1

(注)「進学」とは、次に掲げる高等学校等に進学することをいう。  
高等学校(全・定・通)、高等専門学校、特別支援学校高等部の本科及び別科

昭和58(1983)年までの進学率は、高等学校通信制を除いた数値である。

### (5) 高校生の卒業後の状況

学校基本調査(令和2(2020).5.1現在)

令和2(2020)年3月の公立私立高等学校(全日制・定時制)卒業者は17,259人(男8,728人、女8,531人)で、前年度に比べ67人減少しています。

卒業者の進路別内訳をみると、大学等進学者（通信制進学者を含む）8,962人（構成比51.9%）、専修学校（専門課程）進学者3,251人（同18.8%）、専修学校（一般課程）等入学者170人（同1.0%）、公共職業能力開発施設等入学者147人（同0.9%）、就職者等3,945人（同22.9%）、左記以外の者783人、不詳・死亡の者1人です。

また、進学又は入学し、かつ就職した者は1名です。

なお、進学率（就職進学者を含む）と、就職率（就職進学者を含む）をみると、表V-2のようになっています。

表V-2 進学率・就職率の推移（高校生）

区分	卒業者数（人）			進学率（%）			就職率（%）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
昭59年 (1984)	23,258	11,953	11,305	24.9	22.7	27.2	49.9	49.1	50.8
60	21,751	11,198	10,553	26.6	25.0	28.4	49.6	48.4	50.9
61	26,189	13,573	12,616	26.7	24.8	28.8	48.3	47.8	48.9
62	26,436	13,686	12,750	27.7	25.1	30.5	44.7	43.9	45.6
63	27,297	14,202	13,095	27.1	24.4	30.1	43.5	43.4	43.7
平元	28,695	14,962	13,733	28.9	26.0	31.9	43.2	43.0	43.5
2	29,954	15,714	14,240	29.8	26.1	34.0	42.3	42.1	42.5
3	31,129	16,240	14,889	30.2	25.3	35.5	40.8	41.2	40.3
4	31,592	16,278	15,314	31.1	25.8	36.9	38.5	39.3	37.7
5	31,387	16,082	15,305	33.2	28.1	38.5	36.2	37.7	34.6
6	30,960	16,121	14,839	35.1	30.3	40.4	32.8	34.9	30.4
7	29,479	15,089	14,390	37.0	32.3	41.8	30.5	33.3	27.5
8	28,782	14,605	14,177	37.8	33.5	42.2	28.9	32.0	25.7
9	27,384	14,029	13,355	40.0	36.6	43.5	27.4	30.2	24.4
10	27,161	13,711	13,450	41.3	37.9	44.8	27.3	30.3	24.2
11	25,312	13,058	12,254	43.3	41.4	45.4	24.9	27.5	22.1
12	24,504	12,496	12,008	44.0	43.5	44.6	21.9	25.1	18.6
13	24,403	12,470	11,933	45.2	44.2	46.2	22.1	24.7	19.3
14	24,203	12,392	11,811	45.1	44.3	46.0	20.0	22.1	17.8
15	23,609	12,062	11,547	45.6	45.2	45.9	19.7	22.3	17.1
16	22,804	11,711	11,093	46.4	45.3	47.5	19.9	22.7	16.9
17	21,677	11,160	10,517	47.3	47.3	47.2	21.0	24.0	17.8
18	21,547	11,088	10,459	49.9	49.4	50.4	21.6	25.1	17.8
19	20,719	10,558	10,161	50.6	49.9	51.3	22.1	26.0	18.0
20	19,360	10,037	9,323	52.6	52.1	53.1	22.7	26.2	19.0
21	18,684	9,721	8,963	53.4	52.8	54.1	22.2	25.6	18.5
22	18,616	9,438	8,178	54.5	52.5	56.5	18.2	21.3	15.0
23	17,818	9,203	8,615	54.3	53.2	55.5	19.2	22.6	15.7
24	17,739	9,172	8,567	52.2	51.0	53.4	20.2	24.0	16.1
25	18,269	9,369	8,900	52.3	49.8	55.0	19.8	24.5	14.9
26	17,391	8,864	8,527	50.8	48.9	52.8	22.3	27.4	16.9
27	17,491	8,904	8,587	52.0	50.0	54.1	21.8	26.8	16.7
28	17,554	8,905	8,649	52.1	49.7	54.5	22.8	27.8	17.6
29	17,493	8,998	8,495	51.8	49.6	54.1	22.6	27.5	17.4
30	17,139	8,841	8,298	52.5	50.4	54.8	22.8	27.4	17.8
令元	17,326	8,898	8,428	52.3	49.5	55.3	23.0	28.7	16.9
令2年 (2020)	17,259	8,728	8,531	51.9	50.0	53.9	22.6	27.8	17.3

(注) 「進学」とは、次に掲げる学校等に進学することをいう。

大学学部、短期大学本科、大学及び短期大学の別科、高等学校及び特別支援学校高等部の専攻科、大学・短期大学の通信教育部及び放送大学

## (6) 特別支援学校生の卒業後の状況

学校基本調査（令和2(2020). 5. 1 現在）

令和2(2020)年3月の国公立特別支援学校の卒業者は、中学部165人（男107人、女58人）、高等部392人（男253人、女139人）です。

中学部卒業者の進路別内訳をみると、高等学校等進学者161人（高等学校本科全日制に1人、特別支援学校高等部に157人、高等学校通信制に3人進学）です。

高等部卒業者の進路別内訳をみると、大学等進学者5人、専修学校（専門課程）進学者1人、就職者等144人、左記以外の者242人です。

なお、左記以外の者242人のうち234人が、社会福祉施設等入所者、通所者です。

# 5 研究 学 校

( ) は指定年度を示す。

## (1) 県教育委員会指定研究学校・協力校一覧

### ア 小・中学校関係

#### ○小動物飼育指導担当教員研修事業

獣医師派遣による研修

上三川町本郷北小学校	(2)
日光市立落合東小学校	(2)
野木町立南赤塚小学校	(2)
さくら市立押上小学校	(2)
那須町立学びの森小学校	(2)
足利市立筑波小学校	(2)

#### ○とちぎの幼小カリキュラム接続プロジェクト

宇都宮市	(2・3)
小山市	(2・3)
栃木市	(2・3)
佐野市	(2・3)
足利市	(2・3)

### イ 県立学校関係

#### ○高校生学力向上総合支援事業

・スタディフロンティア推進事業

「コア・スクール」プラン

石橋高等学校	(30・1・2)
足利南高等学校	(30・1・2)
烏山高等学校	(30・1・2)

「アクティブ・スクール」プラン

上三川高等学校	(2)
馬頭高等学校	(2)
黒磯高等学校	(2)
矢板東高等学校	(2)

・定通生学力アップ支援事業

「ラーニング・スキルアップ」プラン

大田原東高等学校定時制	(2)
-------------	-----

#### ○人権教育研究学校

栃木工業高等学校	(1・2)
----------	-------

#### ○新たな学びに向けた指導体制強化事業

・「学校組織力アップ」プラン

「カリキュラム・マネジメント」研究

鹿沼東高等学校	(30・1・2)
大田原女子高等学校	(30・1・2)

・「進学指導体制強化」プラン

「全日制普通科単位制高校導入に向けた進学指導体制」研究

宇都宮中央女子高等学校	(30・1・2・3)
足利高等学校	(30・1・2・3)
足利女子高等学校	(30・1・2・3)

#### ○英語教育連携プログラム開発事業

那須塩原市立大原間小学校(研修協力校)(1)

那須塩原市立東那須野中学校(研修協力校)(1)

那須拓陽高等学校(研修協力校)(1)

※新型コロナウイルス感染症対策のため、中止

#### ○未来を創る高校生地域連携・協働推進事業

栃木農業高等学校	(2・3・4)
壬生高等学校	(2・3・4)
那須拓陽高等学校	(2・3・4)
那須高等学校	(2・3・4)

## (2) 文部科学省・国立教育政策研究所指定研究学校・推進校一覧

### ア 義務教育課

- 教育課程研究指定校事業
  - ・宇都宮市立城山中学校 (1・2)
  - ・鹿沼市立東小学校 (1・2)
- スクールカウンセラー等活用事業
  - ・「スクールカウンセラー」の配置  
県内全市町で実施 (1)
- エネルギー教育推進事業
  - 市貝町 (2)
  - 壬生町 (2)

### イ 高校教育課

- スーパーサイエンスハイスクール事業
  - 栃木高等学校 (29 ~ 3)
  - 大田原高等学校 (1~5)
- エネルギー教育支援事業
  - 今市工業高等学校 (2・3・4)
  - 那須清峰高等学校 (2・3・4)
  - 小山西高等学校 (2)
  - 宇都宮北高等学校 (2)
  - 宇都宮南高等学校 (2)
- スーパープロフェッショナルハイスクール事業
  - 宇都宮商業高等学校 (30・1・2)
- スーパーグローバルハイスクール事業
  - 佐野高等学校 (28 ~ 2)
- 地域との協働による高等学校教育改革推進事業
  - 宇都宮工業高等学校 (1~3)
  - 茂木高等学校 (1~3)
    - \*茂木高等学校はアソシエイト校

### ウ 学校安全課

- がん教育総合支援事業
  - 足利市立西中学校 (30)
  - 宇都宮東高等学校 (30)
  - 下野市立南河内第二中学校 (1)
  - 足利市立毛野中学校 (1)
  - 佐野東高等学校 (2)
  - さくら清修高等学校 (2)



## 6 県立中学校 入学者選考

令和3(2021)年度県立中学校入学者選考においては、以下のようになっています。

### (1) 県立中学校の募集定員

- ア 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校  
105名
- イ 栃木県立佐野高等学校附属中学校  
105名
- ウ 栃木県立矢板東高等学校附属中学校  
70名

※ただし、男女いずれかが6割を超えないものとする

### (2) 日程

- ア 適性検査、作文及び面接の実施  
令和3(2021)年1月9日(土)
- イ 入学予定者の決定  
令和3(2021)年1月14日(木)

### (3) 選考結果

- ア 宇都宮東高等学校附属中学校

	人数	内 訳		倍 率*
		男 子	女 子	
出 願 者	410	188	222	3.90
受 験 者	410	188	222	3.90
入学予定者	105	43	62	

倍率\* (募集定員 105 名に対する比率)

- イ 佐野高等学校附属中学校

	人数	内 訳		倍 率*
		男 子	女 子	
出 願 者	239	114	125	2.28
受 験 者	238	114	124	2.27
入学予定者	105	45	60	

倍率\* (募集定員 105 名に対する比率)

- ウ 矢板東高等学校附属中学校

	人数	内 訳		倍 率*
		男 子	女 子	
出 願 者	105	53	52	1.50
受 験 者	105	53	52	1.50
入学予定者	70	36	34	

倍率\* (募集定員 70 名に対する比率)

## 7 高等学校入学者選抜

令和3(2021)年3月の本県中学校等卒業生総数は17,416人であり、本県中学生の高等学校(公・私立高・高専・特別支援学校高等部)への進学率は99.2%となり、前年度より0.2ポイント増加しました。

令和3(2021)年度県立高等学校入学者選抜においては、以下のようになっています。

### (1) 県立高等学校の募集定員

募集定員は12,035人(全日制11,475人、定時制560人)で、前年度と比べ200人減少しました。

### (2) 県立高等学校志願合格状況(全日制・定時制)

合格者は11,146人で、その内訳は、全日制で10,882人(特色選抜3,082人、A海外特別選抜23人、一般選抜7,777人)、定時制で264人となっています。

### (3) 県立高等学校の入学者選抜方法の改善

全日制課程では、昭和52(1977)年度から一部の専門学科ではじまった推薦入学は58(1983)年度からは全専門学科で、61(1986)年度からは一部の普通科に、平成7(1995)年度からはすべての普通科にも導入されました。また、平成17(2005)年度からは学校・学科等の特色に応じて推薦入学を実施しないこともできるようになりました。さらに平成26(2014)年度から、これまでの推薦入学に替えて特色選抜を実施しています。

令和3(2021)年度の特色選抜定員枠は、2,684人(前年度は2,814人)で、志願者は4,879人(前年度は5,064人)、合格内定者は3,082人(前年度は3,215人)でした。

また、平成元(1989)年度から海外帰国者・外国人等の受検に関する特別措置が導入され、令和3(2021)年度はA海外特別選抜において23人が合格しました。

学力検査受検者に対しては、平成元(1989)年度より希望する学校・学科において面接を導入しましたが、令和3(2021)年度は23校72科で実施されました。

配点に関しては、学校・学科の特色等に応じて教科内傾斜配点を実施することができるようになっています。

さらに平成9(1997)年度からは理数科、外国語科において特定教科の得点を1.5倍する教科間の傾斜配点も実施しています(現在は小山高等学校の理数科のみ実施)。平成14(2002)年度からは、教科内傾斜配点を実施する学校・学科を事前に公表しています。

平成12(2000)年度からは、学力検査と調査書の評定の

比重の置き方の弾力化をはかり、小山南高等学校スポーツ科では実技検査を導入しました。平成 14(2002)年度からは、選抜の手順等を公表したほか、学力検査得点の簡易開示を実施しています。さらに、欠席が多い理由等を説明しようとする志願者は自己申告書を提出でき、選抜のための資料に加える制度が導入されました。

定時制課程では、平成 17(2005)年度の学悠館高等学校の開校に伴いフレックス特別選抜が導入されました。令和 3(2021)年度のフレックス特別選抜定員枠は 100 人、志願者は 150 人、合格者は 108 人でした。

表V-3 令和3(2021)年度 県立高等学校入学者選抜一般選抜受検・合格状況(全日制課程) 令和3(2021).3.11現在

番号	学校名	学科名	男女	募集 定員	特色 選抜 内定 者数	△海外 特別選 抜内定 者数	一般 選抜 定員	受 検 人 員			合 格 人 員				合格 倍率	
								男	女	計	男		女			計
											第1志望	2,3志望	第1志望	2,3志望		
1	宇都宮	普通	男	280	23	5	252	315		315	252			252	1.25	
2	宇都宮東	普通	男女	160	51	5	0									
3	宇都宮南	普通	男女	320	91	1	228	153	146	299	109		119	228	1.31	
4	宇都宮北	普通	男女	320	48		272	245	132	377	174		98	272	1.39	
5	宇都宮清陵	普通	男女	200	50	1	149	108	95	203	71		78	149	1.36	
6	宇都宮女子	普通	女	280	28	2	250		288	288			250	250	1.15	
7	宇都宮中央 女子	普通	女	240	25		215		253	253			215	215	1.18	
		総合家庭	女	40	8		32		51	51			33	33	1.55	
8	宇都宮白楊	農業経営	男女	40	14		26	23	17	40	16		11	27	1.48	
		生物工学	男女	40	14		26	24	25	49	12		15	27	1.81	
		食品科学	男女	40	14		26	10	30	40	5		22	27	1.48	
		農業工学	男女	40	11		29	32	2	34	27		2	29	1.17	
		情報技術	男女	40	14		26	39	5	44	24		3	27	1.63	
		流通経済	男女	40	14		26	12	24	36	10		16	26	1.38	
		服飾デザイン	男女	40	14		26	3	36	39	1		26	27	1.44	
9	宇都宮工業	機械システム	男女	120	30		90	81	1	82	78	9	1	2	90	1.04
		電気情報システム	男女	80	20		60	67	8	75	53	1	6		60	1.27
		建築デザイン	男女	40	10		30	32	11	43	22		8		30	1.43
		環境建設システム	男女	80	20		60	55	3	58	50	5	3	2	60	1.09
		商業	男女	200	70	1	129	67	99	166	47		82		129	1.29
10	宇都宮商業	情報処理	男女	80	28		52	52	13	65	38	2	9	3	52	1.38
		商業	男女	200	70	1	129	67	99	166	47		82		129	1.29
11	鹿沼	普通	男女	240	60	1	179	134	102	236	100		79	179	1.32	
12	鹿沼東	普通	男女	200	69		131	95	50	145	84		47	131	1.11	
13	鹿沼南	普通	男女	40	10		30	15	13	28	15		13	28	1.00	
		食料生産	男女	40	10		30	11	14	25	10		14	24	1.04	
		環境緑地	男女	40	8		32	14	6	20	14		6	20	1.00	
		ライフデザイン	男女	40	14		26	2	26	28	1		25	26	1.08	
14	鹿沼商工	情報科学	男女	40	10		30	34	1	35	30			30	1.17	
		商業	男女	120	42		78	37	65	102	25		53	78	1.31	
15	今市	総合学科	男女	160	40		120	54	81	135	46		74	120	1.13	
16	今市工業	機械	男女	80	24		56	22		22	22			22	1.00	
		電気	男女	40	9		31	13	1	14	13		1	14	1.00	
		建設工学	男女	40	14		26	11	4	15	11		4	15	1.00	
17	日光明峰	普通	男女	80	25		55	4	12	16	4		12	16	1.00	
18	上三川	普通	男女	160	40		120	66	83	149	51		69	120	1.24	
19	石橋	普通	男女	240	60		180	131	84	215	105		75	180	1.19	
20	小山	普通	男女	200	50		150	116	49	165	105		45	150	1.10	
		数理科学	男女	40	8		32	21	6	27	21		6	27	1.00	
21	小山南	普通	男女	80	28		52	43	29	72	34		18	52	1.38	
		スポーツ	男女	80	38		42	23	2	25	23		2	25	1.00	
22	小山西	普通	男女	200	50		150	107	88	195	74		76	150	1.30	
23	小山北桜	食料環境	男女	40	10		30	17	6	23	16		6	22	1.05	
		建築システム	男女	40	10		30	29	1	30	29		1	30	1.00	
		総合ビジネス	男女	40	6		34	23	9	32	23		9	32	1.00	
		生活文化	男女	40	10		30		31	31			30	30	1.03	
24	小南城	総合学科	男女	200	50	2	148	39	123	162	33		115	148	1.09	
25	栃木	普通	男	240	52		188	221		221	188			188	1.18	
26	栃木女子	普通	女	240	36	1	203		220	220			203	203	1.08	

番号	学校名	学科名	男女	募集員	特色選 抜内定 者数	A海外 特別選 抜内定 者数	一般 選抜 定員	受 検 人 員			合 格 人 員				合格 倍率	
								男	女	計	男		女			計
											第1志望	2,3志望	第1志望	2,3志望		
27	栃木農業	植物科学	男女	40	10		30	28	8	36	22		6	2	30	1.29
		動物科学	男女	40	10		30	10	23	33	9		21		30	1.10
		食品科学	男女	40	10		30	16	21	37	12		18		30	1.23
		環境デザイン	男女	40	10		30	37	2	39	28		2		30	1.30
28	栃木工業	機 械	男女	80	28		52	67	2	69	50		2		52	1.33
		電 気	男女	40	14		26	29		29	25	1			26	1.16
		電子情報	男女	40	14		26	33	1	34	25		1		26	1.31
29	栃木商業	商 業	男女	120	42		78	26	50	76	26		50		76	1.00
		情報処理	男女	40	14		26	18	6	24	18		6		24	1.00
30	栃木翔南	普 通	男女	160	40		120	69	99	168	45		75		120	1.40
31	壬 生	普 通	男女	160	48		112	55	79	134	46		66		112	1.20
32	佐 野	普 通	男女	160	19	0	37	14	8	22	14		8		22	1.00
33	佐野東	普 通	男女	200	50		150	78	95	173	68		82		150	1.15
34	佐野松桜	情報制御	男女	80	28		52	50		50	49				49	1.02
		商 業	男女	80	28		52	19	31	50	19		31		50	1.00
		家 政	男女	40	14		26		32	32			26		26	1.23
		介護福祉	男女	30	10		20	5	16	21	5		15		20	1.05
35	足 利	普 通	男	160	40		120	131		131	120				120	1.09
36	足利南	総合学科	男女	160	53		107	43	53	96	43		53		96	1.00
37	足利女子	普 通	女	160	40	1	119		166	166			119		119	1.39
38	足利工業	機 械	男女	80	28		52	61	1	62	52				52	1.19
		電気システム	男女	40	12		28	22		22	21	7			28	1.05
		産業デザイン	男女	40	14		26	8	15	23	8	1	15	1	25	1.00
39	足利清風	普 通	男女	80	28		52	27	21	48	27		21		48	1.00
		商 業	男女	80	28		52	23	45	68	18		34		52	1.31
40	真 岡	普 通	男	200	48		152	161		161	152				152	1.06
41	真岡女子	普 通	女	200	50		150		147	147			146		146	1.01
42	真岡北陵	生物生産	男女	40	14		26	20	11	31	15		11		26	1.19
		農業機械	男女	40	14		26	21		21	21	4			25	1.00
		食品科学	男女	40	14		26	9	18	27	8		18		26	1.04
		総合ビジネス	男女	40	12		28	6	11	17	6		11		17	1.00
		介護福祉	男女	30	9		21	6	10	16	6		10		16	1.00
43	真岡工業	機 械	男女	40	14		26	30	1	31	26				26	1.19
		生産機械	男女	40	14		26	27	3	30	23		3		26	1.15
		建 設	男女	40	14		26	21	4	25	21	1	4		26	1.00
		電 子	男女	40	13		27	28		28	27				27	1.04
44	益子芳星	普 通	男女	160	56		104	51	53	104	51		53		104	1.00
45	茂 木	総合学科	男女	160	51		109	60	45	105	60		45		105	1.00
46	鳥 山	普 通	男女	160	56		104	58	47	105	57		47		104	1.01
47	馬 頭	普 通	男女	80	18		62	25	16	41	24		15		39	1.05
		水 産	男女	25	6		19	17		17	16				16	1.06
48	大田原	普 通	男	200	40		160	194		194	160				160	1.21
49	大田原女子	普 通	女	200	50		150		168	168			150		150	1.12
50	黒 羽	普 通	男女	120	42		78	37	26	63	37		26		63	1.00
51	那須拓陽	普 通	男女	80	28		52	28	23	51	28		23		51	1.00
		農業経営	男女	40	14		26	14	9	23	14	1	9	2	26	1.00
		生物工学	男女	40	13		27	18	11	29	16		11		27	1.07
		食品化学	男女	40	14		26	3	26	29	3		23		26	1.12
		食物文化	男女	40	14		26	2	22	24	2		22		24	1.00
52	那須清峰	機 械	男女	40	14		26	24		24	24	2			26	1.00
		機械制御	男女	40	14		26	23		23	23	3			26	1.00
		電気情報	男女	40	14		26	32	1	33	25		1		26	1.27
		建設工学	男女	40	14		26	23	2	25	23		2		25	1.00
		商 業	男女	40	14		26	2	19	21	2		19		21	1.00

番号	学校名	学科名	男女	募集定員	特色選抜内定者数	A海外特別選抜内定者数	一般選抜定員	受検人員			合格人員				合格倍率	
								男	女	計	男		女			計
											第1志望	2,3志望	第1志望	2,3志望		
53	那 須	普通	男女	80	28		52	23	21	44	23		21		44	1.00
		リゾート観光	男女	40	8	1	31	14	5	19	14		5		19	1.00
54	黒 磯	普通	男女	200	50		150	86	61	147	86		61		147	1.00
55	黒 磯 南	総合学科	男女	160	56		104	44	58	102	44		58		102	1.00
56	矢 板	農業経営	男女	40	14		26	14	14	28	14		12		26	1.08
		機 械	男女	40	14		26	28		28	26				26	1.08
		電 子	男女	40	14		26	24	1	25	24		1		25	1.00
		栄養食物	男女	40	14	1	25	8	16	24	8		16		24	1.00
		介護福祉	男女	30	10		20	3	21	24	2		18		20	1.20
57	矢 板 東	普通	男女	160	31	1	59	33	15	48	32		15		47	1.02
58	高 根 沢	普通	男女	80	17		63	25	25	50	25		25		50	1.00
		商業	男女	120	42		78	42	35	77	41		35		76	1.01
59	さくら清修	総合学科	男女	240	84		156	73	95	168	65		91		156	1.08
合 計				11,475	3,082	23	8,093	4,826	4,159	8,985	4,090	37	3,638	12	7,777	1.16

【備考】

- 一般選抜定員 = (募集定員) - (特色選抜内定者数) - (A海外特別選抜内定者数)  
ただし、宇都宮東高等学校、佐野高等学校及び矢板東高等学校の一般選抜定員は、  
一般選抜定員 = (募集定員) - (特色選抜内定者数) - (A海外特別選抜内定者数) - (内部進学による内定者数)
- 合格倍率 =  $\frac{\text{受検人員}}{\text{第1志望合格人員}}$       ただし、合計欄の合格倍率 =  $\frac{\text{受検人員計}}{\text{合格人員計}}$

表V-4 令和3(2021)年度 県立高等学校入学者選拔出願・合格状況(定時制課程) 令和3(2021).3.23現在

番号	学校名	学科名	男女	一般選抜定員	出願人員				受検人員				合格人員			
					男	女	計	出願倍率	男	女	計	受検倍率	男	女	計	合格倍率
1	宇都宮工業	(午後部)普通	男女	40	14	10	24	0.60	14	9	23	0.58	14	9	23	1.00
		(夜間部)工業技術	男女	40	17	3	20	0.50	17	3	20	0.50	16	3	19	1.05
2	宇都宮商業	普通	男女	40	3	4	7	0.18	3	4	7	0.18	3	4	7	1.00
		商業	男女	40	4	6	10	0.25	4	6	10	0.25	4	6	10	1.00
3	鹿沼商工	普通	男女	40	5	3	8	0.20	5	3	8	0.20	5	3	8	1.00
4	学 悠 館	(I部)普通	男女	36	18	12	30	0.83	18	12	30	0.83	18	12	30	1.00
		(II部)普通	男女	36	15	6	21	0.58	12	5	17	0.47	12	5	17	1.00
		(III部)普通	男女	20	6	0	6	0.30	6	0	6	0.30	6		6	1.00
5	足利工業	工業技術	男女	40	9	3	12	0.30	9	3	12	0.30	9	3	12	1.00
6	真 岡	普通	男女	40	4	4	8	0.20	4	4	8	0.20	4	4	8	1.00
7	大田原東	普通	男女	40	2	7	9	0.23	2	7	9	0.23	2	7	9	1.00
8	矢 板 東	普通	男女	40	5	3	8	0.20	4	3	7	0.18	4	3	7	1.00
合 計				452	102	61	163	0.36	98	59	157	0.35	97	59	156	1.01

【備考】 1 学悠館高等学校を除く高等学校の一般選抜定員は、募集定員と同一である。  
学悠館高等学校の一般選抜定員は、募集定員からフレックス特別選抜の合格人員を除いたものである。

- 出願倍率 =  $\frac{\text{出願人員}}{\text{一般選抜定員}}$       3 受検倍率 =  $\frac{\text{受検人員}}{\text{一般選抜定員}}$
- 合格倍率 =  $\frac{\text{受検人員}}{\text{第1志望合格人員}}$       ただし、合計欄の合格倍率 =  $\frac{\text{受検人員計}}{\text{合格人員計}}$

表V-5 令和3(2021)年度 フレックス特別選拔出願・合格状況

令和3(2021).3.12現在

番号	学校名	学科名	男女	募集定員	募集定員の50%	出願人員				受検人員				合格人員			
						男	女	計	出願倍率	男	女	計	受検倍率	男	女	計	合格倍率
1	学悠館	(Ⅰ部)普通	男女	80	40	35	42	77	1.93	33	42	75	1.88	13	31	44	1.70
		(Ⅱ部)普通	男女	80	40	34	30	64	1.60	34	30	64	1.60	19	25	44	1.64
		(Ⅲ部)普通	男女	40	20	6	3	9	0.45	6	3	9	0.45	15	5	20	1.29
合計				200	100	75	75	150	1.50	73	75	148	1.48	47	61	108	1.37

[備考]

1 出願倍率 =  $\frac{\text{出願人員}}{\text{募集定員の50\%}}$

2 受検倍率 =  $\frac{\text{受検人員}}{\text{募集定員の50\%}}$

3 合格倍率 =  $\frac{\text{受検人員}}{\text{第1志望合格人員}}$

ただし、合計欄の合格倍率 =  $\frac{\text{受検人員計}}{\text{合格人員計}}$



# 8 幼 児 教 育

## 幼児教育センター事業

幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所・小学校・義務教育学校との連携を図りながら、幼児期から児童期への円滑な接続と幼児期にふさわしい教育環境を目指し、次の基本方針に基づき各種の事業を実施した。

### (1) 基本方針

- ア 幼小連携の推進
- イ 研修
- ウ 情報の提供
- エ 調査研究

### (2) 幼小連携の推進

番号	事業名	内 容
1	幼小連携推進会議	「とちぎの幼児教育」の実施状況を報告し、幼小連携の推進、教育・保育の充実に向けて協議した内容を、次年度の取組に生かした。
2	とちぎの幼小カリキュラム接続プロジェクト	各市町の幼小連携の現状や課題を踏まえて、他市町の先進的な取組を紹介したり、取組内容の提案をしたりしながら、市町担当指導主事や保育主管課担当者とともに課題解決に向けた具体的な方策を見出し、実施できるよう支援した。

### (3) 研修相談（教育・保育の質の向上）

#### ア 研修

幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所・小学校・義務教育学校の教職員を対象とした合同研修や幼小連携推進のための幼小連携推進者養成研修をはじめとして、幼稚園教育要領及び保育所保育指針等に基づく研修や今日的な課題に対応した研修及び情報提供を実施し、幼児期における教育・保育の充実を図った。

※幼：幼稚園、こ：幼保連携型認定こども園、保：保育所、小：小学校、義：義務教育学校、特：特別支援学校

番号	事業名	研修内容	対 象	日数 (実績)	計 画		実 績	
					実人員	延人員	実人員	延人員
1	合同研修 〔幼小〕	・つなげよう！その子のよさや可能性～主体的に自己を発揮しながら学びに向かう子どもを育てるために～ ・子どものよさや可能性をつなぐ視点から、幼小接続期の教育の在り方を考えよう	幼・こ・保： 年長担当等、 小・義：1年 担任、生活科 主任等	1	570	570	544	544
2	幼小連携推進者 養成研修	・幼小接続における現状と課題～ジョイントカリキュラムの作成に向けて～ ・小学校第一学年授業参観 ・幼稚園年長児保育参観 ・職場体験 ・カリキュラムの見直し	幼・こ・保・ 小・義 教職員	5 (0)	40	200	0	0
3	トップセミナー	・子どもの多様性を尊重した園経営とは～インクルーシブ保育の時代にあって～	幼・こ・保・ 小・義・特園 長、施設長、 校長等	1	150	150	42	42

番号	事業名	研修内容	対象	日数 (実績)	計画		実績		
					実人員	延人員	実人員	延人員	
4	幼児期の特別支援教育研修	・幼児期における特別支援教育 ・子どもとつながる、子どもをつなぐ、特別支援教育 ・子どもの困難さに寄り添う保育の実際 ・実践報告・協議	幼・こ・保・小・義・特 教職員	2 (1)	80	160	104	104	
5	スキルアップ セミナーⅠ	・幼児期の個別の指導計画とは ・個別の指導計画作成・活用の実際	幼・こ・保・小・義・特 教職員	1 (0)	100	100	0	0	
6	スキルアップ セミナーⅡ	・幼児理解に基づいた評価とは ・発達と学びをつなぐ要録の作成と活用	幼・こ・保・小・義・特 教職員	1	100	100	97	97	
7	教育課程研究 集会〔幼児教育〕	・協議主題の解説 ・研究発表と協議	幼・こ・保 教職員	3 (0)	100	300	0	0	
8	スタートカリ キュラム講座	・スタートカリキュラムのマネジメント～『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を踏まえて～ ・自校のスタートカリキュラムを見直そう	幼・こ・保・小・義 教職員	1	50	50	42	42	
9	新規採用幼稚園 教諭等研修	・保育者として ・幼児期の保健管理と危機管理 ・幼児期の教育の基本 ・保育の実践と省察 ・保育参観、保育研究 ・一人一人を大切にす教育 ・幼児理解に基づいた保育を考えよう ・指導計画の作成～明日の保育を考える～ ・日案の作成 ・2年目に向けて～発達の特性を踏まえる～	新規採用幼 稚園教諭等	4 (3)	214	856	214	590	
10	幼稚園等教職 5年目研修	・教職5年目への期待 ・幼児期に育みたい資質・能力 ・一人一人を大切にす集団づくり ・障害のある幼児などへの指導 ・幼児とものとの関わり ・環境を構成する際の教材の工夫 ・保育中の危機管理 ・各計画のつながりと一人一人を大切にす指導計画	教職経験5年 目の教諭等	3	104	312	104	215	
11	中堅幼稚園教諭 等資質向上研修	・中堅教職員への期待 ・新しい時代と『社会に開かれた教育課程』 ・園のカリキュラムマネジメント ・子どもの学びをつなげる ・『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』とは ・学校力を高める組織マネジメント ・園の安全管理と安全教育 ・子育ての支援の取組 ・幼児期における特別支援教育 ・教育課程と子どもの姿のつながり ・課題研究の成果と課題 等	教職経験 11 年の教諭等	6 (0)	40	40	0	0	
幼児教育関係研修合計						1,548	2,838	1,147	1,634

#### イ 園内研修等への支援

幼稚園・保育所等からの要請に応じ、指導主事や幼児教育専門員等を教育・保育アドバイザーとして派遣し、教育内容や教育課程に関すること、幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所・小学校・義務教育学校の連携に関すること、家庭との連携に関すること等への講話、演習を行った。また、教職員等からの教育上の問題や悩みについての相談に応じ、課題の解決への援助を行った。

#### (7) 保育・教育アドバイザー派遣件数

番号	月 派遣先	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1	幼稚園			1		1								2
2	保育所				1									1
3	こども園			1	4	8	1	1		2		1		18
4	教育委員会その他							1	2	2				5
計				2	5	9	1	2	2	4		1		26

内容等：「現代的な諸課題」、「カリキュラム・マネジメント」、「幼小連携」、「幼児期における評価」等

#### (4) 教育相談実施件数

番号	月 区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1	来所相談													0
2	電話相談				1									1
計					1									1

### (4) 情報の提供

幼児教育に関する教材ビデオ等を整備し、研修等で活用することにより、教職員の指導力を高めるとともに、情報誌やホームページ等により、保護者や幼児教育関係者に情報を提供し、子育ての支援や幼児教育の理解促進を図った。

#### ア 教材ビデオ等の活用・ホームページによる情報提供

区分	内 容	備 考
ビデオライブラリー	研修用ビデオの整備と活用	貸出 6件 11本
幼児教育センターホームページ	幼児教育センター事業案内、リーフレット、その他 URL <a href="http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/">http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/</a>	アクセス件数 4,155件

イ 国公立幼稚園等代表者会議の開催 ※令和2（2020）年度は中止

(7) 参加者：国公立幼稚園等関係者行政担当者

(4) 内 容：国及び県の幼児教育関係施策・指針の伝達、各園の情報交換等

#### ウ 刊行活動

刊 行 活 動	部 数 等	配 布 先	主 な 内 容
幼児教育情報誌 「おうち」	令和2（2020）年12月 65,000部	各幼稚園、こども園、保育所等を通じ、3歳から5歳の子どもをもつ保護者及び教職員、その他関係機関等	第37号 「地域のちから」

## (5) 調査研究

幼児教育に係る今日的課題について調査研究を行い、その成果を広く発信・提供し課題解決の一助とした。

研究内容	委員	備考
幼児教育の質の向上に関する調査研究  「幼児教育において育みたい資質・能力を育むために～幼児期の終わりまでに育ってほしい姿から～」	協力園：幼保連携型認定こども園1園	具体的な子どもの姿から、幼児期に育みたい資質・能力を捉え、これらを育むために大切にしたいことをリーフレットにまとめた。これにより、幼児期の教育の充実に資する。

## 9 へき地・複式・分校教育

本県におけるへき地等小・中学校は 19 校、全小・中学校の約 3.8%を占めています。また、複式学級をもつ学校は 33 校で、全小・中学校の約 6.5%に達しています。なお、複式学級の数は 63 学級です。(表V-6)

### (1) 勤労条件の改善

- ア へき地学校に赴任した教職員に対して 4 号給昇給を行いました。
- イ へき地手当に準ずる手当を支給しました。

### (2) 研修活動の充実

初めて複式学級の担任となる教員等を対象にした「複式学級担当教員研究会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

また、第 69 回全国へき地教育研究大会富山大会は「紙面発表」大会となりました。

表V-6 へき地学校等及び複式学級分校等の数

教育事務所	へき地等学校										小中別合計		合計	
	へき地学校等										小	中		
	特別地		準へき地		へき地学校									
	小	中	小	中	1級		2級		3級					
河内														0
上都賀			1	1	5	4	1	1				7	6	13
芳賀	1		1									2		2
下都賀														0
塩谷南那須					1							1		1
那須	1				1							2		2
安足					1							1		1
計	2		2	1	8	4	1	1				13	6	19
	2		3		12		2	0				19		

教育事務所	複式学級をもつへき地等学校の数	複式学級をもつ分校の数	複式学級をもつその他の学校の数	分校をもつ学校の数	分校の数	複式学級の数
河内						
上都賀	7		9			35
芳賀	1					1
下都賀			3			5
塩谷南那須		1	2	1	1	2
那須	2		4	2	2	12
安足	1		3			8
計	11	1	21	3	3	63
		33				

(注)へき地等学校・複式・分校数

$$\text{網掛け} (19+21+3) = 43$$

# 10 定時制・通信制教育

## (1) 定時制課程の現況

ア 学校名、設置学科、生徒数等

令和2(2020)年5月1日現在

学 校 名	独立・併置・分校別	昼夜別	学 科	生徒数	完全給食
宇 工 高	併 置	昼・夜	普通・工業技術	122	○
宇 商 高	〃	夜	普通・商業	86	○
鹿 商 工 高	〃	〃	普通・商業	23	○
学 悠 館 高	独 立 校	昼・夜	普通・商業	572	○
足 工 高	併 置	夜	工業技術	47	○
真 高	〃	〃	普 通	67	○
大 東 高	独 立 校	〃	〃	65	× (補食給食)
矢 東 高	併 置	〃	〃	28	× (補食給食)
計				1,010	6

イ 募集定員・出願・合格状況……表V-4及び表V-5のとおりです。

## (2) 通信制課程在籍生徒数（平成20(2008)年度～令和2(2020)年度）

[宇都宮高等学校]

令和2(2020)年5月1日現在

年度	平成20年 (2008)	21年 (2009)	22年 (2010)	23年 (2011)	24年 (2012)	25年 (2013)	26年 (2014)	27年 (2015)	28年 (2016)	29年 (2017)	30年 (2018)	令和元年 (2019)	2年 (2020)
男	400	393	402	407	410	425	416	413	368	364	339	317	326
女	400	407	398	393	390	375	376	380	337	315	288	296	278
計	800	800	800	800	800	800	792	793	705	679	627	613	604

[学悠館高等学校]

令和2(2020)年5月1日現在

年度	平成20年 (2008)	21年 (2009)	22年 (2010)	23年 (2011)	24年 (2012)	25年 (2013)	26年 (2014)	27年 (2015)	28年 (2016)	29年 (2017)	30年 (2018)	令和元年 (2019)	2年 (2020)
男	176	179	191	166	160	157	149	130	139	140	133	162	193
女	221	221	209	239	215	212	185	143	145	149	152	173	183
計	397	400	400	405	375	369	334	273	284	289	285	335	376

## (3) 主な定通教育関係事業及び行事（令和2(2020)年度）

行 事 名	主 催 団 体	期 日	開 催 地	参 加 対 象
定時制通信制総合体育大会	高 体 連 県 教 委 定通教育振興会	令和2年度中止 《参考》令和元年度 6月15、16日	《参考》令和元年度 県総合運動公園ほか	《参考》令和元年度 定通制生徒1,200人
定時制通信制文化発表会	県 教 委 定通教育振興会 高 文 連	令和2年度中止 《参考》令和元年度 10月19日	《参考》令和元年度 栃木県教育会館	《参考》令和元年度 定通制生徒1,200人

# 11 産 業 教 育

## (1) 産業教育の現状

### ア 概要

職業に関する学科を置く高等学校は全部で 23 校、うち職業学科のみの単独校が農業 1 校、工業 5 校、商業 2 校の計 8 校で、ほかに職業学科のみの併置校が 7 校、普通科との併置校が 8 校あります。下記表中の学校数・学級数は学科設置校の延数です。

学 科	学校数	学級数	生 徒 数
農 業	7	57	2, 185
工 業	11(2)	110(11)	4, 212(139)
商 業	12(3)	84(10)	3, 218(67)
水 産	1	3	53
家 庭	7	21	802
福 祉	3	9	243
計	41(5)	284(21)	10, 713(206)

(注) ( ) は定時制課程を示す。

### イ 学科構成

農業に関する学科 18 (農業、農業経営、生物生産、園芸科学、食料生産、食料環境、植物科学、動物科学、環境緑地、環境デザイン、農業土木、農業工学、食品化学、食品科学、造園土木、生物工学、農業機械、生活科学)

工業に関する学科 20 (機械、電子機械、情報制御、機械制御、生産機械、電気、電気システム、電子情報、電気情報、電子、建築デザイン、建設工学、建築システム、建設、環境設備、環境土木、産業デザイン、情報科学、情報技術、なお定時制に工業技術)

商業に関する学科 5 (商業、情報処理、流通経済、リゾート観光、総合ビジネス)

水産に関する学科 1 (水産)

家庭に関する学科 7 (家政、総合家庭、服飾デザイン、栄養食物、食物文化、生活文化、ライフデザイン)

福祉に関する学科 3 (社会福祉、教養福祉、介護福祉)

## (2) 産業教育教員の研修

### ア 研究協議会等の開催

(ア) 産業教育学科主任等研究協議会  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。

### イ 研修のための派遣

(ア) 文部科学省主催等講習会への派遣

全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座、学校農業クラブ指導者養成講座、産業・情報技術等指導者養成研修、産業教育実習助手研修についての派遣が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全て中止となりました。

(イ) 産業教育担当教員の現場実習派遣

県外 0 人、県内 4 人の計 4 人を派遣しました。

(ウ) 総合教育センターにおける研修

〔X〕教育機関等事業 1 総合教育センターを参照

## (3) 教育内容・方法の改善

### ア キャリア形成支援事業

企業・大学・地域等の外部機関や人材を活用し、専門的な知識・技術を学んだり、「大学等の向こうにある社会」を意識し、社会における自分の役割や在り方、生き方等について生徒が深く考えたりする機会を充実することにより、社会的・職業的自立に向け必要となる資質・能力を育成する。

令和 2 (2020) 年度は県立高等学校 (全日制、定時制、通信制) と特別支援学校の 2 校合わせて 52 校で実施しました。

## (4) 栃木県産業教育審議会

〔I〕教育委員会 2 附属機関を参照

## (5) 栃木県産業教育振興会

### ア 現状

本会は、産業界及び教育関係者の協力で昭和 28(1953)年に設立されました。

9 支部からなり、令和 2 (2020) 年度末現在の会員は、産業界 733 社・団体、公・私立 30 校であり、事務局を高校教育課内に置いています。

### イ 主な事業

栃木県高等学校教育研究会 (栃高教研) の各関係部会との連携のもとに次の様な事業を実施しています。

栃高教研各部会補助、産業教育優良卒業生の表彰、産業教育功労者の表彰、産業教育教員の研究助成、産業教育教員の現場実習派遣、会報発行など。



# 12 特別支援教育

## (1) 特別支援学校の概要

### ア 学校数

令和2(2020)年度の学校数(県立)は、特別支援学校16校(分校1校を含む)です。

### イ 学級数及び在籍幼児児童生徒数

令和2(2020)年度の学級数及び在籍幼児児童生徒数は下の表のとおりです。前年度と比較すると、学級数で14学級減少、幼児児童生徒数で50人減少しています。

障害種別	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱	合計
学校数	1	1	10	2	2	16
幼稚部学級数	1	4				5
幼児数	2	12				14
小学部学級数	5	9	161	36	24	235
児童数	8	19	730	87	42	886
中学部学級数	4	4	93	25	12	138
生徒数	7	14	409	59	19	508
高等部学級数	6	7	147	23	10	193
生徒数	12	16	956	61	21	1,066
専攻科学級数	4					4
生徒数	11					11
学級数合計	20	24	401	84	46	575
幼児児童生徒数合計	40	61	2,095	207	82	2,485

## (2) 特別支援学級等の概要

令和2(2020)年度の特別支援学級の設置学校数、学級数、在籍児童生徒数は下の表のとおりです。前年度と比較すると、学級数で8学級増加、在籍児童生徒数で212人増加しています。通級指導教室は計165教室です。

(注) 学校数の合計の数値は、特別支援学級設置校の実数である。

種別	知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	弱視	難聴	自閉症・情緒障害	合計
小学校等	学校数	269	12	5	3	9	301
	学級数	358	12	5	3	9	721
	児童数	1,756	17	5	6	15	3,308
中学校等	学校数	133	4	2	1	5	139
	学級数	177	4	2	1	5	346
	生徒数	858	5	3	3	6	1,571
合計	学校数	402	16	7	4	14	440
	学級数	535	16	7	4	14	1,067
	児童生徒数	2,614	22	8	9	21	2,205

## 特別支援教育の充実

### ア 特別支援教育の充実

#### (ア) 特別支援教育研究会の開催

中学校及び高等学校等の教頭を対象に、中高間の相互理解による一貫した支援体制の構築や校内支援体制の整備が推進されるよう、研究会を開催し理解啓発を図りました。

#### (イ) 特別支援教育学習指導研修の実施

小・中学校等の弱視、難聴、肢体不自由、病弱・身体虚弱特別支援学級初担当と、知的障害及び自閉症・情緒障害特別支援学級担当2年目の教員を対象に、特別支援学校で行われている指導について理解を促し、実践的指導力の向上を図るため、特別支援学校で研修を実施しました。

#### (ロ) 高等学校における支援情報の引継ぎに関する調査研究の実施

5年間の調査研究の結果をまとめた特別支援教育資料「高等学校から進路先への支援情報の引継ぎ事例集」を作成しました。また、保護者向け特別支援教育資料「就学前から学校卒業後にわたる一貫した支援のために～『個別的教育支援計画』の作成と活用～」を作成しました。

### イ 発達障害児の支援

発達障害のある幼児児童生徒への適切な指導及び必要な支援を充実させるため、医療や心理等の専門家を、認定こども園・幼稚園・保育所、小・中・高等学校等の要請に応じて派遣しました。

### ウ 入院高校生生の支援

自治医科大学附属病院及び獨協医科大学病院に入院する生徒について、特別支援学校分教室と高等学校との連携による教育支援を行いました。

また、病気療養中の高校生に対する指導・支援の充実に向けて、高等学校教員向け、地域病院向け、特別支援教育資料を作成しました。

### エ 高等学校における「通級による指導」の導入事業

研究実践校において実践研究を行うとともに、各県立高等学校特別支援教育コーディネーターによる校内研修を実施し、「通級による指導」を含む特別支援教育の充実に向けた取組について理解を深めることで、各学校における校内支援体制の整備充実を図りました。

### オ 障害のある児童生徒の教育支援の推進

#### (ア) 県教育支援委員会の開催

障害のある子どもの教育支援にかかわる事項について説明・報告及び意見聴取として、年3回計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため、中止しました。

# 13 人 権 教 育

## (イ) 教育支援地方研究協議会の開催

各市町教育委員会の就学事務担当者及び特別支援学校の就学相談担当者等の資質の向上を図るため、障害のある子どもの教育支援に関する研究協議等を年3回計画していましたが、うち2回は新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため、中止しました。

## カ 新教育課程の周知

### (ア) 教育課程研究集会の開催

新学習指導要領の趣旨及び栃木県教育振興基本計画の基本理念を踏まえ、教育課程の改善・充実に資するため、特別支援学校の教員を対象に教育課程研究集会を開催しました。

### (イ) 指導要録の手引の作成

特別支援学校の高等部生徒指導要録の手引を作成しました。

## キ 職業教育・就労支援の充実

特別支援学校（知的障害）高等部において、生徒の就職先として期待される流通、環境、食品、福祉に関する実践的な指導力の向上を図るため、企業等の外部専門家の知見を活用した、授業検討会や指導計画の改善を行いました。

また、特別支援学校（知的障害）2校に就労支援コーディネーター3名を配置し、県内全域で実習・就職先となる企業開拓を行うとともに、企業に対し、特別支援学校の生徒の就労について理解啓発を図る、企業向けセミナーを行いました。

## ク 自立活動指導の充実

特別支援学校における自立活動の指導をより充実させるため、各学校で外部専門家の知見を活用した研修会等を定期的に実施しました。また、県主催の報告会等においては、各学校の取組についての協議を行い、情報共有を図りました。

## ケ 交流及び共同学習の推進

特別支援学校の児童生徒等の経験を広め、積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育てるために、特別支援学校の近隣の学校や児童生徒の居住する地域の学校との交流及び共同学習を計画的、組織的にを行い、相互理解の促進を図りました。

## コ 特別支援学校センター的機能の充実

特別支援学校において、障害のある幼児とその保護者に対する相談や小・中学校等の教員の指導力向上のための支援を行いました。

## サ 学校看護師の配置

医療的ケアが必要な児童生徒に対し、非常勤学校看護師を12校に配置しました。

## シ 医療的ケアに関する体制の充実

運営協議会を開催し、特別支援学校における医療的ケアの実施状況や課題などについての情報交換や協議を行いました。

学校における人権教育は、学校の実情を踏まえるとともに、児童生徒の発達段階に即しながら各教科等の特質に応じ、教育活動全体を通じて、組織的・計画的に推進してきました。

## (1) 人権教育の努力点

### ア 義務教育課、高校教育課

教育活動全体を通じて人権教育を推進するとともに、各種研修会の開催、関係資料の作成、研究学校の指定、校内研修の充実などにより教職員の資質向上に努めました。

### イ 総合教育センター

人権教育を推進するために、人権や人権教育に関する研修を適切に配置し、教職員が人権感覚や実践的な人権意識を高められるよう努めました。

## (2) 人権教育の推進

### ア 人権教育指導体制の充実

全職員の共通理解のもとに、学校の教育活動全体を通じて人権教育を組織的、計画的に推進するため、各学校の実態に応じた指導体制の充実を図るよう、支援を行いました。

### イ 学習内容・方法の改善・充実と資料の作成

教育活動に参加体験型の手法を取り入れるなど、学習内容・方法の改善・充実を図るとともに、児童生徒の発達の段階に即し、人権について正しく理解させるための指導資料を作成し、活用の促進に努めました。

### ウ 指導者研修の充実

人権教育を全ての学校において組織的、計画的に推進するため、指導者としての資質向上をめざして、計画的に指導者研修を実施しました。

#### ・義務教育課

地区別人権教育研修会（新型コロナウイルス感染症対策のため、7地区中6地区が書面開催としました。

人権教育担当指導主事研修会（3回） 8人

各教科等担当指導主事研修会（新型コロナウイルス感染症対策のため、1回目を中止とし、2回目をオンラインで実施しました。）

- ・高校教育課
  - 県立学校長会議（1回） 75人
  - 高等学校及び特別支援学校人権教育実践研究会（2回） 170人
  - 県立学校教頭事務連絡会（3回） 285人
  - 県立学校教務主任連絡協議会（1回） 85人
  - 県立学校生徒指導連絡協議会（2回） 170人
  - 県立学校進路指導連絡協議会（1回） 85人

- ・総合教育センター
  - 基本研修
    - 初任者研修 536人
    - 新規採用養護教諭研修 33人
    - 中堅教諭等資質向上研修 66人

- エ 人権教育研究学校の指定
  - 人権教育の実践的な研究を通して、人権教育に関する指導方法等の改善・充実を図るため、研究学校を指定し、研究を進めてきました。
  - (5 研究学校を参照)**

# 14 国際理解教育

## (1) 外国語指導助手配置状況（令和2（2020）年度）

区分	外国語指導助手（姓・名）	性別	国籍	高校
県立学校関係	ウォン・オーガスチン	男	加	宇都宮南高校
	マクリントック・ソフィ	女	豪	宇都宮北高校
	ライオン・ローザンヌ	女	英	宇都宮女子高校
	チュロング・パトリック	男	豪	宇都宮商業高校
	エバリー・レイチェル	女	米	鹿沼東高校
	シュッツ・チャンドラー	男	米	栃木高校
	マーフィー・サンディー	女	巴	栃木女子高校
	ガリジバウスキー・メイ	女	米	佐野東高校
	ネディッチ・イバナ	女	愛	佐野松桜高校
	ジョーンズ・デリアン	男	米	足利高校
	パレラ・コルテス・ヘスス	男	米	足利南高校
	マクリーン・ジャハ	女	米	足利女子高校
	セシラーノ・ドニー	男	豪	足利清風高校
	シー・ジェフリー	男	米	烏山高校
	スタルカップ・ウィリアム	男	米	大田原高校
	ハオ・ビビアン	女	米	大田原女子高校
	クラーク・エマ	女	加	那須拓陽高校
	ブルピット・グレゴリー	男	米	黒磯南高校
	セスカ・プリンセス・マリエル	女	比	矢板東高校附属中学

（注）「巴」はバルバドス、「愛」はアイルランド、「比」はフィリピン略である。

※新型コロナウイルス感染症対策に係る水際対策のため、R2は新規招致者11名が来日できず、継続配置19名で60校に定例訪問を実施。

## (2) グローバル人材育成事業（令和2（2020）年度）

豊かな語学力・コミュニケーション能力を身に付け、異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティを備えた、国際的に活躍できる「グローバル人材」を育成するため以下の取組を実施しています。

- ア 高校生長期留学支援事業
  - 官民協働海外留学支援制度

# 15 情 報 教 育

トビタテ留学 JAPAN の積極的な活用を呼びかける情報提供を行い、多くの高校生の海外留学への挑戦を応援する。

## イ 県立学校短期留学支援事業

単独校や複数校からなる団体の独自企画による短期留学への支援をする。

5校6団体から申請があったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い各団体が短期留学プログラムを中止したため、令和2年度は交付団体なし。

## ウ グローバルコミュニケーション力強化事業

高校生の論理的思考の向上と国際社会で活用できる表現力を養成する。

例年実施しているディベート指導者研修会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。

## エ グローバル人材育成講演会事業

グローバルキャリアの視点から世界の第一線で活躍する企業人などの講演や、県内高校生の留学経験者による報告会等を通して、幅広い教養と専門性を身に付け、グローバル人材の育成を図る。

11月9日(月) 会場：総合教育センター

※オンラインでの開催

## オ 高校生短期留学プログラム支援事業(国庫事業)

学校等が主催する短期の海外派遣プログラムに参加する高校生に対して補助金を交付する。

4校から申請があったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業が中止となったため、令和2年度は交付団体なし。

## (1) 情報教育の推進

総合教育センターにおける専門研修3

研修名	計 画		実 績	
	実人数	延人数	実人数	延人数
ICT 活用研修 〔オンライン授業実践〕	324	324	275	268
ICT 活用研修 〔タブレットの活用〕	240	240	210	201

## (2) 県内公立学校におけるコンピュータの導入等の状況

(令和2(2020)年4月現在)

### ア コンピュータを設置する学校数

(ア) 小学校	100.0%
(イ) 中学校	100.0%
(ウ) 義務教育学校	100.0%
(エ) 高等学校	100.0%
(オ) 特別支援学校	100.0%
(カ) 合 計	100.0%

### イ インターネット接続

(ア) 小学校	100.0%
(イ) 中学校	100.0%
(ウ) 義務教育学校	100.0%
(エ) 高等学校	100.0%
(オ) 特別支援学校	100.0%
(カ) 合 計	100.0%



# 16 学 校 体 育

## (1) 指導者の資質の向上

小学校では、体育を専門とする教員が少ないため、体育実技に関する研修や指導法の研究等を積極的に行い資質の向上を図る必要があります。

中学校では、第1学年及び第2学年において全領域が必修となっていることから、特に武道指導、ダンス指導について指導力の向上を図る必要があります。

また、高等学校では、特技を持つ教員は多いものの、特技以外の領域についても指導力の向上を図る必要があります。

このような状況を踏まえ、体育担当教員の資質の向上を図るため次の各種講習会及び研究会等を開催しました。

- 小学校体育実技指導者講習会  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 学校体育実技指導者講習会（宇都宮市）  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 学校武道指導者講習会（宇都宮市）  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 武道認定講習会（宇都宮市）  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 学校体育実技指導協力者派遣（前期）  
7月27日～7月29日 宇都宮市
- 学校体育実技指導協力者派遣（後期）  
11月9日～11月13日 さくら市
- 児童生徒の体力向上指導者研修会（真岡市）  
11月19日 参加者 24人
- 児童生徒の体力、運動能力調査学校担当者会議  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 運動部活動指導者研修会  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 登山計画審査会（県庁北別館ほか）  
第1回：新型コロナウイルス感染症の影響により中止  
第2回：新型コロナウイルス感染症の影響により中止  
第3回：新型コロナウイルス感染症の影響により中止  
第4回：令和2(2020)年9月4日(金)【登山計画審査8件】  
第5回：令和2(2020)年10月23日(金)【登山計画審査5件】  
第6回：新型コロナウイルス感染症の影響により中止

## (2) スポーツ活動の促進

中学校及び高等学校における学校教育活動としての各種スポーツ大会の開催や関東・全国大会の派遣等について次のような指導助成を行いました。

### ア 中学校

- 《各種大会開催》
- 県中学校春季体育大会  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 県中学校総合体育大会（宇都宮市ほか）  
11月7日～12月4日 3競技 406人
- 県中学校新人大会  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 関東中学校卓球大会  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 関東中学校サッカー大会  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 関東中学校ソフトボール大会  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 関東中学校バドミントン大会  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 《各種大会派遣》
- 関東大会派遣（茨城県ほか）  
12月4日～12月5日 2競技種目 112人
- 全国大会派遣  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 《頭 章》
- 優秀選手・学校・指導者顕彰  
2月15日 奨励賞（有望選手） 378人  
※新型コロナウイルス感染症の影響により奨励賞を除き中止

### イ 高等学校

- 《各種大会開催》
- 県高等学校総合体育大会兼関東大会県予選会（日光市ほか）  
11月29日～1月14日 2競技 38人
- 全国高等学校総合体育大会県予選会（宇都宮市）  
10月24日～11月7日 1競技 197人
- 県高等学校新人大会（宇都宮市ほか）  
8月1日～2月27日 26競技 6,176人
- 県高等学校定通制秋季大会（宇都宮市ほか）  
10月26日～11月26日 5競技 162人

- 関東高等学校駅伝大会（宇都宮市）  
11月21日 848人
- 《各種大会派遣》  
○関東大会派遣（関東各都県）  
11月21日～12月13日 2競技種目 84人
- 全国大会派遣（全日制・鹿児島県ほか）  
12月20日～2月10日 6競技種目 194人
- 全国大会等派遣（定通制・東京都ほか）  
11月28日～11月29日 1競技種目 14人

- 《顕彰》  
令和3(2021)年2月
- 高校スポーツ賞 特別功労賞（宇都宮市） 4名  
○高校スポーツ優秀選手賞（宇都宮市） 1名  
○栃木県高等学校優秀選手（宇都宮市） 330名

- ウ その他  
《中学校・高等学校運動部に関する調査》  
○運動部加入率 令和2(2020)年6月調査  
(1年生のみ7月)

学校種別	調査校数	運動部加入率 (%)
中学校	165	68.6
眞 等 学 校	全日制	74 45.3
	定通制	10 17.2

### (3) 体育施設の整備

プール 令和元(2019)年5月1日現在

学校種別	栃 木 県		
	学校数	設置校数	設置率(%)
小学校	358	321	89.7
中学校	156	121	77.6
義務教育 学校	2	1	50.0
高等学校	61	54	88.5

武道場（専用） 令和元(2019)年5月1日現在

学校種別	栃 木 県		
	学校数	設置校数	設置率(%)
中学校	156	121	77.6
義務教育 学校	2	1	50.0
高等学校	61	57	93.4

屋外運動場 令和元(2019)年5月1日現在

学校種別	栃 木 県		
	学校数	設置校数	設置率(%)
小学校	358	356	99.4
中学校	156	153	98.1
義務教育 学校	2	2	100.0
高等学校	61	61	100.0

### (4) 体力調査

児童生徒の発育及び体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、行政上の基礎資料として活用するため、例年体力調査を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2(2020)年度調査は中止となりました。

(参考：令和元(2019)年度調査)

調査の期日：平成31(2019)年4月～令和元(2019)年7月

調査の内容：新体力テスト及び身体計測

調査の対象：県内の小・中学校・義務教育学校及び高等学校を悉皆。

小学校	360校	95,125人
中学校	158校	46,165人
高等学校(全)	59校	33,657人
(定)	8校	680人
計	585校	175,627人

調査の結果は令和元(2019)年度「栃木県児童生徒の体力」として刊行済みです。

《表V-7 体力調査の結果からみた本県の児童生徒の体力の現状 参照》

表V-7 体力調査の結果から見た本県の児童生徒の体力の現状（令和元(2019)年度）※令和2(2020)年度調査中止  
（男子）

区分	年齢	年度	人数	項目	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ホ-ル 投げ (m)	合計点	身長 (cm)	体重 (kg)
小学校	6歳	R01	7,586	平均	8.95	11.58	25.14	27.21	18.34	11.70	111.45	7.69	29.38	116.25	21.49
				標準偏差	2.24	5.29	6.33	4.87	9.97	1.19	17.76	3.07	6.67	4.79	3.51
	H30	7,786	平均	9.10	11.61	25.14	27.59	19.16	11.66	111.49	7.92	29.78	116.37	21.61	
				標準偏差	2.24	5.24	6.26	4.99	10.26	1.23	18.09	3.14	6.65	5.01	4.07
	7歳	R01	7,889	平均	10.56	14.24	26.21	31.40	27.58	10.83	123.18	10.97	36.41	122.31	24.44
				標準偏差	2.49	5.32	6.35	5.99	13.53	1.14	18.12	4.37	7.34	5.25	4.52
	H30	8,113	平均	10.67	14.10	26.82	31.53	28.34	10.81	123.48	11.06	36.77	122.29	24.39	
				標準偏差	2.53	5.46	6.67	5.92	13.97	1.10	18.17	4.34	7.45	5.34	4.58
	8歳	R01	8,112	平均	12.41	16.24	28.15	35.02	34.71	10.34	132.29	14.21	42.11	127.94	27.63
				標準偏差	2.86	5.82	6.88	7.20	17.16	1.05	19.04	5.63	8.34	5.47	5.67
	H30	8,214	平均	12.51	16.10	28.76	35.47	35.62	10.26	134.07	14.54	42.78	128.13	27.69	
				標準偏差	2.86	5.74	7.17	7.01	17.12	1.07	18.62	5.63	8.22	5.56	5.58
	9歳	R01	8,309	平均	14.17	17.97	29.96	39.17	42.71	9.88	141.67	17.72	47.73	133.50	31.26
				標準偏差	3.27	5.76	7.13	7.29	19.78	0.99	19.59	6.85	8.86	5.64	6.78
	H30	8,381	平均	14.28	17.80	29.90	39.47	43.68	9.86	141.99	17.76	47.91	133.46	31.20	
				標準偏差	3.24	5.66	7.23	7.21	19.48	1.03	19.42	6.82	8.85	5.83	6.76
	10歳	R01	8,351	平均	16.10	19.54	31.70	42.19	49.90	9.53	149.79	20.64	52.54	138.85	34.95
				標準偏差	3.71	5.69	7.33	7.17	21.29	1.05	20.55	7.90	9.33	6.28	7.95
	H30	8,480	平均	16.45	19.66	32.15	42.88	52.23	9.46	150.88	21.49	53.52	138.88	34.90	
				標準偏差	3.68	5.76	7.78	7.12	21.80	0.99	20.61	7.89	9.24	6.21	8.13
	11歳	R01	8,495	平均	19.09	21.38	34.00	45.42	58.25	9.07	160.37	24.35	58.42	144.98	39.32
				標準偏差	4.56	5.73	7.85	7.18	22.86	0.99	22.43	9.13	9.70	7.26	9.39
	H30	8,425	平均	19.44	21.59	34.51	46.00	60.72	9.03	160.98	25.03	59.29	145.18	39.28	
				標準偏差	4.61	5.63	7.91	6.87	22.96	1.00	22.24	9.20	9.61	7.25	9.27
中学校	12歳	R01	7,945	平均	23.50	23.57	38.47	49.13	66.64	8.73	176.25	17.05	32.65	152.64	44.90
				標準偏差	6.15	5.58	9.25	6.84	23.53	0.94	24.88	4.91	9.01	8.09	10.53
	H30	7,989	平均	23.66	23.81	38.36	49.16	68.43	8.69	176.76	17.01	32.99	152.51	44.48	
				標準偏差	6.17	5.66	9.09	6.54	23.76	0.89	25.09	4.87	8.88	8.11	10.57
	13歳	R01	7,802	平均	28.87	26.84	42.56	52.97	84.28	8.07	194.42	19.82	41.41	159.62	49.21
				標準偏差	7.00	5.76	9.94	6.90	24.29	0.84	25.72	5.46	10.02	7.77	10.60
	H30	7,991	平均	29.01	27.11	42.39	52.81	85.81	8.04	194.53	19.89	41.68	159.62	49.02	
				標準偏差	7.05	5.85	9.98	7.12	24.28	0.77	25.51	5.55	10.13	7.70	9.96
	14歳	R01	7,937	平均	33.87	29.27	46.91	55.74	92.32	7.67	208.01	22.53	48.40	164.92	54.20
				標準偏差	7.30	6.22	11.08	7.54	24.68	0.76	25.95	5.99	10.84	6.77	10.17
	H30	8,106	平均	34.21	29.47	46.69	55.73	94.02	7.61	208.83	22.62	48.92	164.88	54.05	
				標準偏差	7.25	5.91	10.87	7.20	23.93	0.71	25.50	5.82	10.67	6.76	10.23
高校（全日制）	15歳	R01	5,672	平均	36.38	29.02	48.98	56.86	85.97	7.57	215.67	22.85	49.99	167.84	59.13
				標準偏差	6.61	5.51	11.00	6.31	22.40	0.61	24.41	5.51	9.93	5.85	10.68
	H30	5,676	平均	36.90	29.27	49.48	57.06	86.07	7.55	216.89	22.91	50.49	167.97	59.07	
				標準偏差	6.59	5.49	10.75	6.34	23.40	0.70	24.11	5.37	9.73	6.07	10.65
	16歳	R01	5,431	平均	38.76	30.50	51.64	58.20	89.86	7.45	222.23	24.09	53.56	169.52	60.94
				標準偏差	6.77	5.70	11.08	6.57	25.61	0.75	24.01	5.79	10.41	5.97	10.63
	H30	5,508	平均	39.35	30.69	51.46	58.36	90.95	7.43	223.91	24.47	54.17	169.35	60.91	
				標準偏差	7.05	5.83	11.27	6.89	26.08	0.69	24.26	5.67	10.72	5.83	10.52
	17歳	R01	5,405	平均	40.60	31.41	53.14	59.09	91.02	7.36	226.59	25.22	55.88	170.20	62.92
				標準偏差	7.25	5.88	11.11	6.60	25.87	0.73	23.93	5.97	10.90	5.80	10.83
	H30	5,472	平均	41.06	31.77	53.05	59.65	92.64	7.32	227.44	25.52	56.70	170.17	62.90	
				標準偏差	7.11	5.83	10.77	6.42	25.81	0.66	23.95	5.89	10.64	5.83	10.77
高校（定時制）	15歳	R01	122	平均	34.02	23.45	40.46	46.08	55.02	7.92	203.20	19.12	37.94	167.18	59.77
				標準偏差	7.63	7.09	10.47	8.73	24.97	1.28	28.00	5.30	11.36	6.01	14.70
	H30	121	平均	36.01	22.96	42.69	46.77	53.40	8.17	193.72	19.07	37.18	167.80	63.78	
				標準偏差	7.49	5.92	11.79	9.46	25.30	1.05	32.48	5.11	10.01	6.18	17.67
	16歳	R01	116	平均	37.61	22.97	44.06	46.36	52.58	8.06	203.76	20.67	39.46	168.65	65.80
				標準偏差	7.54	7.58	11.04	9.23	26.36	1.07	31.48	5.90	11.21	5.41	17.38
	H30	113	平均	38.56	24.76	43.32	49.50	59.85	7.73	209.58	20.58	42.24	168.30	62.48	
				標準偏差	7.65	6.90	11.32	8.23	23.18	0.77	26.88	5.84	10.37	6.25	13.39
	17歳	R01	120	平均	38.78	24.26	42.90	46.30	58.14	7.88	206.84	21.70	41.23	168.34	64.03
				標準偏差	9.13	7.66	11.63	10.31	26.44	1.27	32.57	5.87	11.99	6.08	14.38
	H30	108	平均	39.96	25.20	45.72	50.82	60.48	7.75	211.56	21.94	44.05	169.92	64.20	
				標準偏差	7.73	7.53	12.07	9.73	27.53	0.88	31.79	5.61	11.70	5.82	13.94
18歳	R01	68	平均	39.24	23.90	42.72	44.78	55.74	8.01	207.49	21.96	40.69	170.45	66.41	
			標準偏差	10.26	7.40	10.16	10.66	27.83	1.27	35.35	6.19	11.62	6.50	16.13	
H30	60	平均	40.02	23.83	42.28	49.40	59.85	7.97	205.05	20.30	40.52	169.70	64.78		
			標準偏差	8.50	6.81	11.03	6.97	24.53	0.88	29.32	5.70	10.64	6.67	16.10	

- ・用語「平均値」は調査結果の算術平均値であり、集団の尺度上の位置を示す。平均値＝調査結果の総和／人数（標本数）
- ・用語「標準偏差」は、調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に68%が入り、平均値±標準偏差の3倍の範囲内にはほぼ全体が入る。
- ・ボール投げは、小学生はソフトボール、中・高校生はハンドボールを用いる。
- ・体力合計点は、8種目を得点化したものであり、各種目10点満点で合計80点満点となる。男女別及び学校種別で基準が異なる。



(女子)

区分	年齢	年度	人数	項目	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ホ-ル 投げ (m)	合計点	身長 (cm)	体重 (kg)
小学校	6歳	R01	7,397	平均	8.39	11.44	27.34	26.43	15.72	11.99	104.63	5.37	29.71	115.38	21.07
				標準偏差	2.08	5.02	6.39	4.45	7.35	1.21	16.29	1.79	6.64	4.89	3.34
	H30	7,326	平均	8.52	11.35	27.37	26.72	16.41	11.95	104.23	5.50	30.07	115.42	21.03	
				標準偏差	2.04	5.06	6.37	4.48	7.61	1.13	16.47	1.82	6.73	4.98	3.33
	7歳	R01	7,443	平均	10.00	13.95	28.98	30.34	22.18	11.12	116.14	7.28	37.21	121.26	23.74
				標準偏差	2.25	4.95	6.38	5.44	9.90	1.01	17.09	2.40	7.27	5.11	4.11
	H30	7,691	平均	10.05	13.78	29.68	30.49	22.55	11.09	116.04	7.39	37.49	121.40	23.84	
				標準偏差	2.32	4.97	6.83	5.25	9.93	1.03	16.81	2.54	7.26	5.12	4.11
	8歳	R01	7,708	平均	11.81	15.73	31.37	33.91	27.16	10.60	125.84	9.31	43.31	127.27	27.04
				標準偏差	2.67	5.24	7.11	6.36	12.31	0.99	17.48	3.19	7.93	5.55	5.13
	H30	7,741	平均	11.83	15.65	32.04	34.35	28.00	10.51	127.75	9.59	44.02	127.26	26.94	
				標準偏差	2.66	5.41	7.30	6.46	12.97	1.00	17.80	3.32	8.15	5.62	5.20
	9歳	R01	7,851	平均	13.62	17.63	33.87	38.19	34.69	10.10	136.52	11.76	49.92	133.30	30.46
				標準偏差	3.20	5.31	7.40	6.47	15.47	0.94	18.67	4.20	8.74	6.36	6.29
H30	7,922	平均	13.62	17.37	33.68	38.22	35.32	10.09	136.48	11.79	49.88	133.37	30.52		
			標準偏差	3.08	5.23	7.35	6.45	14.99	0.95	18.50	4.14	8.51	6.28	6.31	
10歳	R01	7,913	平均	15.98	19.08	36.07	40.92	42.15	9.69	145.92	14.02	55.55	140.15	34.74	
			標準偏差	3.76	5.11	7.69	6.42	16.83	0.96	19.59	5.05	8.81	6.75	7.43	
H30	8,048	平均	16.20	18.96	36.74	41.43	43.37	9.64	145.77	14.17	55.99	140.08	34.53		
			標準偏差	3.83	5.18	7.94	6.38	16.94	0.92	19.71	5.09	8.87	6.87	7.41	
11歳	R01	8,071	平均	19.18	20.37	39.21	43.61	48.50	9.28	154.20	16.06	61.00	146.63	39.55	
			標準偏差	4.36	5.14	8.26	6.15	17.81	0.81	20.46	5.99	8.79	6.74	8.27	
H30	8,090	平均	19.30	20.57	39.37	44.08	49.90	9.24	155.18	16.26	61.55	146.71	39.49		
			標準偏差	4.26	5.06	8.35	6.19	18.27	0.87	20.68	6.05	8.74	6.68	8.08	
中学校	12歳	R01	7,619	平均	21.76	21.67	42.25	46.21	52.37	9.14	165.09	11.59	44.80	151.55	44.22
				標準偏差	4.46	5.20	8.97	5.65	18.24	0.83	21.82	3.80	10.23	5.90	8.17
	H30	7,711	平均	21.75	21.63	42.29	46.04	53.04	9.11	164.13	11.62	44.82	151.49	44.03	
				標準偏差	4.55	5.19	9.12	5.68	18.32	0.75	21.67	3.73	10.19	5.97	8.24
	13歳	R01	7,405	平均	24.09	23.99	45.03	48.19	60.23	8.81	171.16	12.98	50.63	154.52	47.37
				標準偏差	4.67	5.48	9.51	5.90	19.44	0.80	22.46	4.12	10.87	5.57	7.61
H30	7,436	平均	24.09	23.87	45.40	47.82	60.81	8.82	170.95	12.86	50.48	154.69	47.36		
			標準偏差	4.59	5.47	9.38	5.86	19.59	0.81	22.31	4.12	10.82	5.39	7.81	
14歳	R01	7,457	平均	25.66	25.06	47.93	48.99	60.15	8.77	174.34	13.80	53.29	156.24	50.25	
			標準偏差	4.65	5.75	9.96	6.09	19.53	0.75	22.84	4.37	11.29	5.40	7.77	
H30	7,736	平均	25.69	24.99	47.65	48.85	61.51	8.73	173.59	13.96	53.45	156.27	50.34		
			標準偏差	4.68	5.74	9.70	6.06	19.91	0.73	22.78	4.36	11.13	5.33	7.58	
高校(全日制)	15歳	R01	5,737	平均	25.57	23.96	48.56	49.35	53.04	8.93	171.94	13.56	51.85	156.86	52.17
				標準偏差	4.37	5.38	9.87	5.22	16.52	0.81	21.44	4.03	10.26	5.15	7.76
	H30	5,923	平均	25.64	23.94	48.55	49.20	52.98	8.93	172.25	13.32	51.73	156.61	51.85	
				標準偏差	4.48	5.42	9.95	5.33	16.74	0.71	21.92	3.96	10.36	5.08	7.91
	16歳	R01	5,608	平均	26.30	24.67	50.03	49.65	53.77	8.99	173.47	13.61	52.88	157.08	52.85
				標準偏差	4.62	5.68	10.22	5.63	18.53	0.85	22.28	4.11	11.16	5.19	7.75
H30	5,891	平均	26.48	24.81	49.53	49.47	54.05	8.92	173.49	13.76	53.10	157.09	52.89		
			標準偏差	4.54	5.67	9.99	5.54	18.52	0.87	22.11	4.17	11.07	5.36	7.56	
17歳	R01	5,804	平均	26.68	24.96	50.76	49.65	52.91	9.02	173.70	13.85	53.26	157.41	53.32	
			標準偏差	4.59	5.81	10.12	5.71	18.52	0.95	22.18	4.24	11.32	5.17	7.81	
H30	5,758	平均	26.90	25.14	51.41	49.86	53.36	8.98	174.38	14.12	53.92	157.39	53.32		
			標準偏差	4.62	5.82	9.85	5.72	19.24	0.91	22.66	4.35	11.39	5.41	8.04	
高校(定時制)	15歳	R01	77	平均	22.79	18.18	42.87	41.08	29.99	9.42	154.56	11.60	38.99	156.40	55.36
				標準偏差	5.90	6.22	11.35	8.01	13.54	0.99	24.33	3.63	12.10	5.48	12.24
	H30	101	平均	25.78	19.86	46.12	42.81	33.94	9.38	151.66	11.86	41.90	156.29	54.74	
				標準偏差	6.14	5.96	10.65	5.87	13.64	1.01	23.77	3.76	10.87	5.02	10.96
	16歳	R01	74	平均	25.59	19.64	46.27	40.89	33.07	9.25	161.62	12.46	42.57	156.99	54.61
				標準偏差	5.77	6.64	10.71	8.66	16.38	0.92	23.91	3.92	12.64	5.71	9.44
	H30	65	平均	26.23	20.37	47.40	42.42	37.18	9.42	157.72	12.85	44.06	156.86	54.09	
				標準偏差	5.42	5.83	10.10	8.49	15.33	1.18	27.30	3.28	10.79	5.93	9.64
17歳	R01	62	平均	25.74	19.69	45.85	40.40	33.89	9.45	157.44	12.15	41.77	158.11	54.69	
			標準偏差	5.54	5.66	11.66	7.59	16.52	1.07	25.04	3.70	11.09	5.20	11.03	
H30	70	平均	25.66	19.57	45.37	42.41	34.74	9.62	156.27	11.86	41.79	155.49	51.51		
			標準偏差	5.73	5.93	9.70	5.73	13.93	1.44	23.85	3.62	11.01	5.99	8.26	
18歳	R01	41	平均	24.07	18.46	44.90	39.15	29.17	9.85	152.59	11.07	37.78	154.87	53.21	
			標準偏差	7.37	5.83	11.21	8.32	16.08	1.57	28.34	3.73	12.89	6.26	11.35	
H30	28	平均	28.25	21.50	45.82	40.46	34.86	9.60	162.36	13.32	43.64	155.84	53.24		
			標準偏差	6.68	6.56	13.58	9.49	18.43	1.33	29.87	4.59	15.46	6.06	8.05	

- ・用語「平均値」は調査結果の算術平均値であり、集団の尺度上の位置を示す。平均値＝調査結果の総和／人数（標本数）
- ・用語「標準偏差」は、調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に 68%が入り、平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。
- ・ボール投げは、小学生はソフトボール、中・高校生はハンドボールを用いる。
- ・体力合計点は、8種目を得点化したものであり、各種目 10 点満点で合計 80 点満点となる。男女別及び学校種別で基準が異なる。

# 17 学校保健安全

児童・生徒の学校保健・安全対策を推進しました。

## (1) 幼児児童生徒の体格

令和2(2020)年度の幼児、児童生徒の身長及び体重を終戦直後の昭和23(1948)年度及び30年前(親世代)の平成2(1990)年度と比較しました。(表V-8参照)

男女別に平成2(1990)年度との値の差が最大となる年齢は、男子は身長が12歳(2.3cm増)、体重が10歳(2.2kg増)となっており、女子は身長が11歳(2.3cm増)、体重が15歳(2.5kg減)となっています。

## (2) 学校心臓検診

### ア 目的

学校における児童生徒の心臓疾患等を早期に発見し、適切な事後管理を行うため、学校保健安全法に定められている小学1年生・中学1年生・高校1年生の他、本県では小学4年生も対象に心臓検診を実施し、学校における健康管理の充実を図りました。

### イ 検診方法

#### ①小・中学1年生

##### (ア) 対象

全県下の小・中学1年生の児童・生徒

##### (イ) 検診項目と実施方法(市町立及び県立学校)

###### ○一次検診

- (1) 心臓病調査票
- (2) 4誘導心電図(小学1年生)
- (3) 12誘導心電図(中学1年生)
- (4) 3心音図
- (5) 胸部打聴診
- (6) 健康観察結果

###### ○二次検診

一次検診の結果、要精検となった者について実施。

- (1) 12誘導心電図
- (2) 8心音図
- (3) 胸部X線(70mm以上)
- (4) 胸部打聴診

###### ○最終判定

二次検診の結果を、専門家による委員会で判定しました。さらに高度な検診を必要とするものについては、専門医療機関等に紹介しました。

なお、異常のある場合は、所見名をつけるとともに、管理指導区分を決め、事後措置の徹底を図りました。

#### ②高校1年生

##### (ア) 対象

全県下の高校1年生の生徒

##### (イ) 検診項目と実施方法(県立学校のみ)

###### ○一次検診

- (1) 心臓病調査票
- (2) 12誘導心電図
- (3) 胸部打聴診
- (4) 健康観察結果

###### ○最終判定

一次検診の結果を専門家による委員会で判定し、要精密検査となった者には、各保護者に通知し、保護者の負担及び責任において受診させた医療機関からの最終結果及び管理指導区分を学校に提出後、学校から、県立学校心臓検診判定委員会に報告し、最終判定を確認しました。

さらに、異常のある場合は、事後措置の徹底を図りました。

#### ③小学4年生

##### (ア) 対象

県内(市町立及び県立学校)の小学4年生の児童

##### (イ) 検診項目と実施方法

学校の設置者の定めた項目・方法による。

### ウ 検診結果

#### ①小学1年生

○一次検診 受診率 99.92%

#### ②中学1年生

○一次検診 受診率 98.10%

#### ③高校1年生(全日制)

○一次検診 受診率 99.88%

#### ④小学4年生

○一次検診 受診率 99.78%

表V-8 男女別、年齢別平均体格平成2(1990)年度(親世代)及び昭和23(1948)年度(終戦直後の世代)との比較  
(男子)

区分		身長 (cm)					体重 (kg)				
		令和 2(2020) 年度 A	昭和 23(1948) 年度 B	差 A-B	平成 2(1990) 年度 C	差 A-C	令和 2(2020) 年度 A	昭和 23(1948) 年度 B	差 A-B	平成 2(1990) 年度 C	差 A-C
幼稚園	5歳	110.6	105.1	5.5	110.5	0.1	19.0	17.0	2.0	19.2	▲ 0.2
小学校	6	117.5	109.4	8.1	116.7	0.8	22.3	18.5	3.8	21.9	0.4
	7	122.9	113.5	9.4	122.2	0.7	25.0	20.3	4.7	24.1	0.9
	8	129.1	118.1	11.0	127.7	1.4	28.8	22.1	6.7	27.4	1.4
	9	134.7	122.9	11.8	133.2	1.5	32.7	24.2	8.5	30.9	1.8
	10	140.6	126.0	14.6	138.8	1.8	37.1	26.3	10.8	34.9	2.2
	11	146.9	131.1	15.8	144.7	2.2	41.3	28.7	12.6	39.3	2.0
中学校	12	153.6	135.8	17.8	151.3	2.3	46.2	31.3	14.9	44.1	2.1
	13	160.7	142.7	18.0	158.9	1.8	51.3	34.7	16.6	49.7	1.6
	14	165.5	146.7	18.8	164.4	1.1	55.4	39.2	16.2	55.0	0.4
高等学校	15	168.1	153.3	14.8	167.3	0.8	60.0	42.8	17.2	60.2	▲ 0.2
	16	170.6	155.4	15.2	169.0	1.6	62.0	46.2	15.8	60.5	1.5
	17	170.2	158.7	11.5	170.3	▲ 0.1	63.0	49.8	13.2	62.4	0.6

(女子)

区分		身長 (cm)					体重 (kg)				
		令和 2(2020) 年度 A	昭和 23(1948) 年度 B	差 A-B	平成 2(1990) 年度 C	差 A-C	令和 2(2020) 年度 A	昭和 23(1948) 年度 B	差 A-B	平成 2(1990) 年度 C	差 A-C
幼稚園	5歳	109.8	104.2	5.6	110.1	▲ 0.3	18.9	16.5	2.4	19.1	▲ 0.2
小学校	6	116.6	107.9	8.7	115.8	0.8	21.7	17.8	3.9	21.4	0.3
	7	122.7	112.6	10.1	122.0	0.7	24.5	19.6	4.9	24.0	0.5
	8	127.9	117.3	10.6	127.6	0.3	27.3	21.4	5.9	27.1	0.2
	9	134.8	122.0	12.8	133.5	1.3	31.5	23.5	8.0	30.8	0.7
	10	140.6	126.6	14.0	139.5	1.1	35.0	25.8	9.2	35.0	0.0
	11	148.1	131.5	16.6	145.8	2.3	40.7	28.5	12.2	39.5	1.2
中学校	12	152.4	135.6	16.8	151.2	1.2	45.1	32.6	12.5	44.2	0.9
	13	154.8	139.1	15.7	154.7	0.1	48.3	36.5	11.8	48.3	0.0
	14	156.4	146.2	10.2	156.4	0.0	50.3	40.7	9.6	51.0	▲ 0.7
高等学校	15	157.1	149.9	7.2	156.9	0.2	51.1	46.4	4.7	53.6	▲ 2.5
	16	157.3	150.5	6.8	156.9	0.4	52.1	45.9	6.2	53.9	▲ 1.8
	17	157.3	151.3	6.0	157.9	▲ 0.6	53.0	48.0	5.0	53.4	▲ 0.4

**(3) 児童生徒の感染症**

児童生徒の感染症等による出席停止報告は表V-9のとおりです。

**表V-9 令和2(2020)年度感染症等発生状況(県教委届出分)**

感染症の種類		区分	人数	合計	感染症の種類		区分	人数	合計
第2種	インフルエンザ	小	8	17	第3種 (その他)	溶連菌感染症	小	571	686
		中	5				中	90	
		義					義	2	
		高	4				高	23	
	百日咳	小	3	3		手足口病	小	12	19
		中					中	4	
		義					義	2	
		高					高	1	
	麻疹	小				伝染性紅斑	小	8	8
		中					中		
		義					義		
		高					高		
流行性耳下腺炎	小	196	223	ヘルパンギーナ	小	8	8		
	中	17			中				
	義	2			義				
	高	8			高				
風疹	小			マイコプラズマ感染症	小	28	42		
	中				中	12			
	義				義				
	高				高	2			
水痘	小	461	518	感染性胃腸炎	小	174	390		
	中	45			中	116			
	義	4			義	2			
	高	8			高	98			
咽頭結膜熱	小	11	12	帯状疱疹	小	32	45		
	中	1			中	11			
	義				義				
	高				高	2			
結核	小			伝染性膿痂疹	小	6	8		
	中				中				
	義				義	2			
	高				高				
第3種	腸管出血性大腸菌感染症	小	1	1	アデノウイルス感染症	小	3	3	
		中				中			
		義				義			
		高				高			
	流行性角結膜炎	小	41	64	その他	小	2,403	2,615	
		中	14			中	121		
		義				義	3		
		高	9			高	88		
	急性出血性結膜炎	小	1	2	その他 あたまじらみ*	小	6	6	
		中				中			
		義	1			義			
		高				高			
				計	4,670				

\* あたまじらみは感染症ではない

**(4) 学校安全**

ア 本県の児童生徒の交通事故発生状況

児童生徒の交通事故発生状況は表V-10のとおりです。

**表V-10 交通事故発生状況(令和2(2020)年分県警交通安全企画課調べ)**

(ア) 交通事故発生状況

対象区分	件数	死亡	負傷者
幼児	55	1	66
小学生	94	0	106
中学生	111	0	114
高校生	241	0	231
計	501	1	517

(イ) 高校生が関係する交通事故の状態別・原因別発生状況(当事者数)

原因別	状態別	状態別								
		総数	歩行者	自転車	二輪車	うち原付	うち同乗	四輪車	うち同乗	その他
総数		247	7	180	28	15	2	29	26	3
免許経験	無免許	4			3	1		1		
	1年未満	18			17	9		1		
	1年以上	7			6	5		1		
	該当なし	218	7	180	2	0	2	26	26	3
事故原因	交差点違反	信号無視	3		1	2	2			
		一時不停止	4		3			1		
		徐行	0							
		右左折方法	0							
	その他	45		41	4	1				
	通行区分・追越	1		1						
	横断転回	0								
	飲酒運転	0								
	速度過大	0								
	ハンドル操作等不適									
前方不注意	13		11	2	1					
安全不確認	17		15	2	2					
動静不注視	4		3	1	1					
その他	13		9	2			2			
違反なし	91	6	76	6	4				3	
同乗中	28			2		2	26	26		
歩行者の違反	1	1								

イ 学校における交通安全指導の強化

令和2(2020)年における状況は、前年に比べて発生件数、負傷者数は減少傾向にありますが、幼児の死亡事故が発生しております。高校生が関係する交通事故の状態別・原因別発生状況では、自転車の「交差点違反」原因が増加しております。

従来から児童生徒を悲惨な交通事故から守るため、通学路対策、スクールゾーン対策等交通環境の整備促進を図っていますが、究極的には人の問題が重要であることから、交通道徳を含む交通安全の優れた実践者たる社会人を育成するという教育本来の目的に即した人づくりの一環として、交通安全教育が学校教育全体を通じて組織的、計画的に行われるよう積極的に推進する必要があります。特に、次により学校教育において交通安全教育の徹底を図っています。

○学校における交通安全教育の明確な位置づけと指導の改善充実を図る。

- 児童生徒の登下校における通学路の安全確保と安全指導の徹底を図る。
- 教職員に対する交通安全教育に関する研修会を開催し、指導力の向上を図る。
- 高校生の交通事故の防止と交通マナー向上のため、高等学校交通問題地域連絡協議会（県内全9地区）の活動の充実を図る。
- 学校、家庭、地域が一体となって交通安全に関する意識高揚のための活動を推進する。
- 高等学校生の運転適性検査を実施し、一人一人の特性に応じた指導を強化する。
- 高等学校生に対する二輪車安全運転講習会の開催を推進し、安全運転意識の高揚と実践態度の育成を図る。

ウ (独) 日本スポーツ振興センター災害共済給付

(7) 加入状況

少子化に伴う幼児児童生徒数の減少に伴い、災害共済制度への加入者も漸減傾向にあります。令和2(2020)年度の栃木県内における加入者の合計は258,012人で、昨年度から4,112人の減となりました。

(イ) 給付状況

栃木県内の学校管理下における幼児児童生徒の災害に係る(独)日本スポーツ振興センターの給付状況について、令和2(2020)年度は17,812件で、昨年度から3,924件の減となりました。(表V-11参照)

表V-11 栃木県の災害共済給付の状況

(単位：人、件、円)

年度	加入者数 (除要保護)	医療費		障害見舞金		死亡見舞金		合計	
		給付件数	給付額	給付件数	給付額	給付件数	給付額	給付件数	給付額
27 (2015)	273,548	27,815	217,372,203	4	11,920,000			27,819	229,292,203
28 (2016)	271,333	26,240	204,071,874	5	80,420,000	1	14,000,000	26,246	298,491,874
29 (2017)	268,024	25,363	202,083,679	5	13,540,000	7	196,000,000	25,375	411,623,679
30 (2018)	266,231	23,243	180,357,109	6	15,680,000	1	28,000,000	23,250	224,037,109
元 (2019)	262,124	21,729	168,795,475	7	51,910,000			21,736	220,705,475
2 (2020)	258,012	17,810	137,888,966	2	17,880,000			17,812	155,768,966

出典：(独) 日本スポーツ振興センター学校安全部「災害共済給付状況」

# 18 食育・学校給食

## (1) 学校給食の実施状況

### ア 小・中学校、義務教育学校

本県における学校給食の実施状況は、令和元(2019)年5月1日現在で、完全給食が公立小学校(100%)・中学校(98.1%)、(小学校357校・97,960人、中学校151校・49,045人、義務教育学校2校・342人)実施されています。

### イ 夜間定時制高等学校

夜間定時制高等学校における学校給食の実施校は、8校のうち完全給食6校、補食給食2校となっています。

### ウ 特別支援学校

特別支援学校における学校給食の実施校は、12校(完全給食)です。

## (2) 学校給食調理場の設置状況

現在、学校給食は単独調理場方式と共同調理場方式の二つの調理方式により実施されています。

公立小・中学校、義務教育学校においては、単独調理場方式が200箇所、共同調理場方式が62箇所です。夜間定時制高等学校及び特別支援学校は、全て単独調理場方式です。(R2.9.1現在)

## (3) 栄養摂取状況

1人1食当たりの児童生徒栄養摂取状況についてみると、小学校、中学校、義務教育学校、夜間定時制高等学校、特別支援学校とも、おおむね良好です。

## (4) 学校給食費

食事内容の充実向上と給食費は密接な関係にあり、発達の段階における栄養摂取基準を満たすことはもちろんのこと、「おいしく魅力ある給食」とするためには、相応の費用を必要としますが、本県1人1食当たりの平均給食費は、小学校244円49銭、中学校287円94銭となっています。少ない経費でよりよい学校給食を実施しています。(R元5.1現在)

## (5) 衛生管理

学校給食は、集団給食であるため、衛生管理の徹底を図り、より安全かつ安心できる食事の提供を行っています。

## (6) 優良学校等の表彰

学校給食実施上、優れた成果を挙げてきた学校及び学校給食共同調理場並びに学校給食に特に功績のあった学校給食関係者や団体を、例年学校給食優良学校等として、栃木県教育委員会教育長又は文部科学大臣より表彰を受けています。

## (7) 食に関する指導の実施状況

各学校においては、児童生徒が食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付け、適切な栄養の摂取による健康の保持増進が図られるよう、学校給食の時間を中心として各教科・特別活動など学校の教育活動全体を通じて食に関する指導を実施しています。

[令和元(2019)年度市町立学校における食に関する指導の実施状況]

項目	割合(%)
食に関する指導の全体計画作成	100.0
食に関する指導の年間指導計画作成	99.2
給食だよりの配布	98.8
食育だよりの配布	96.7
地域生産者等との交流活動の実施	67.6

## (8) 学校給食における地場産物活用状況

学校給食に地場産物を活用して食に関する指導を行うことにより、児童生徒が暮らす地域の自然や食文化、産業に対する理解を深め、地域に誇りをもつことにもつながります。

令和2(2020)年度 39.4%

※「学校給食実施状況」「学校給食供給対象学校数及び供給対象児童生徒数」は、栃木県ホームページをご覧ください。

(URL)

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m09/hokenkyusyoku/kyusyokutyosa.html>

または

ホーム > 教育・文化 > 学校教育 > 学校保健・給食 > 食育・学校給食に関すること > 令和元(2019)年度学校給食の実施状況

## [VI] 生涯學習



# 1 生涯学習振興

県民の生涯学習に対する意欲の高まりに応えるとともに、学んで活かす「生涯学習社会“とちぎ”」の形成を目指し、その推進体制の整備と関連事業の充実を図るため、次のような事業に取り組んでいます。

## (1) 生涯学習審議会の運営

生涯学習の推進に関する施策について県民の意見を求めるため、知事又は教育委員会の諮問に応じ、生涯学習に関する重要事項を調査審議することを目的として「生涯学習審議会」を設置しています。

○会議：年1回

## (2) 生涯学習推進本部の運営

生涯学習に関する施策の総合的かつ効果的な推進を図るため、知事を本部長とする「生涯学習推進本部」を設置し、「栃木県生涯学習推進計画」の策定を行い、「栃木県生涯学習推進計画」に基づいた本部指定重点事業の円滑な推進を図っています。

○栃木県生涯学習推進計画に係る県関連事業の進捗状況調査を実施

○調査結果をもとに関係各課室で情報共有

## (3) とちぎ県民カレッジ

県民の高まる学習意欲に応え、関係機関等の連携のもと、体系的かつ総合的に学習機会を提供するため平成9(1997)年10月に開学、平成10(1998)年度からは通年で運営しています。

多様な講座があり、学習情報の提供や学習相談なども実施しています。また、学習の奨励や社会参加活動への支援として、希望者には学習歴の累積や奨励証の交付、生涯学習ボランティアセンターへの登録などを実施しています。

## (4) 生涯学習振興事業の実施

この事業は、県民の生涯学習の促進に資するとともにその成果の県民への波及をねらいとするものです。

### ア 学習相談

県民の生涯学習を支援するため、学習機会、施設、指導者等に関する相談を、電話、面接、E-mailにより随時行っています。

### イ 学習情報提供等システムの充実

県民の学習ニーズに迅速かつ的確に応えるため、学習に関する様々な情報を集約し、インターネットを通じて提供する「とちぎレインボーネット」の情報を随時更新するなど内容の充実を図っています。

また、学習の成果を地域社会の中で生かせるよう栃木県生涯学習ボランティア活動支援情報提供システム(とちぎかがやきネット)によりボランティアに関する情報提供を行っています。

### ウ 生涯学習ボランティア活動促進事業

あらゆる年齢層の人々が、これまでに蓄積した学習活動の成果を地域社会の中で生かすことができるよう環境整備を図っています。

○生涯学習ボランティアセンターの運営

○とちぎかがやきネットによるボランティアに関する情報提供

## (5) とちぎ子どもの未来創造大学推進事業

### ア とちぎ子ども未来創造大学

子どもたちの学力向上の基礎づくりのために必要な、「学ぶ意欲を高め主体的に学習に取り組む態度」を身につけることを目的とし、県内の高等教育機関、民間企業等と連携しながら、子どもたちに「本物」に触れる学習機会を提供するものです。

講座数：「宇宙・天文」「科学・実験」「生物・医学」「ロボット・ものづくり」の理系4コース、「文学・芸術」「歴史・考古学」「地理・社会」の文系3コース、学び方コースの計8コース  
41講座

対象：県内に居住又は通学する小学校4年生～中学校3年生(義務教育学校及び特別支援学校の相当学年を含む)

参加者：延べ約340名

### イ とちぎ未来大使「夢」講座

広く活躍する「とちぎ未来大使」を講師とし、中学校時代の経験や、目標をもち、その目標を達成した過程を講話や実演、交流等を通して中学生等に伝え、中学生等に「夢」をもたせ、考えさせる機会を提供するものです。

講座数：12講師により14校で実施

対象：原則として講座を実施する県内の公立中学校(義務教育学校含む)に在籍する生徒

参加者：1,475名

## (6) 地域連携教員活動支援事業

地域の特性を生かした教育活動を生涯学習の視点から効果的・効率的に展開するため、原則として社会教育主事の資格を有する教員を地域連携教員として明確に校務分掌に位置づけ、地域連携に関する学校内外の推進体制整備を行うとともに地域に根ざした特色ある学校づくりの推進を目指しています。

ア 地域連携教員指名者数：590名（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校）

### イ 事業の整備体制

○地域連携教員研修の開催（年3回）

○地域連携活動支援資料（リーフレット）を作成し、全公立学校へデータを配布

ウ 地域とともにある学校づくり推進フォーラム  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

## 2 社会教育施設

### (1) 公民館

公民館については、社会教育法第20条で「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。」と規定しています。

すなわち、公民館は、一定地域の住民の日常生活と結びついた教養の向上、健康の増進、情操の純化を図るため、各種事業を行う社会教育の中核的施設として重要なものです。またその性格からして、住民の身近に設けられることが必要です。

このような認識のもとに、県及び市町が一体となつて、公民館の施設・設備の整備充実と職員の資質の向上・活動の活発化等を目指しているところです。

本県の公民館の現状は、令和3(2021)年3月31日現在で、公民館が163館（中央館・地区館）県内全市町に設置されています。また専任常勤職員は、館長65人、公民館主事等123人となっています。

公民館がその機能を十分発揮して、充実した社会教育活動を展開し、住民の要望に応えるためには、施設・設置の整備充実とあわせて、専任館長、専任公民館主事等職員の充実が急務ですが、現状はまだ満足すべき状況にあるとは言えませんので、今後一層の努力が必要であると考えられます。

#### 公民館設置状況（令和3(2021). 3.31現在）

中央館	22 館
地区館	141 館
計	163 館

### (2) 図書館

ア 県立図書館

県立図書館について

#### 〔X〕教育機関等事業 3 図書館参照

イ 市町立図書館

(ア) 設置状況（令和3(2021). 3.31現在）

本県における市町立図書館数は53館（市立40、町立13）です。

(イ) 現状

本県の図書館数は、76頁の表VI-1のとおりであり、市町立図書館の平均蔵書数は約14万冊、

職員数は666人、うち司書は360人という現状で、サービス網の整備とともに、蔵書のより一層の充実と、司書の養成・確保が今後の課題と考えられます。

**(3) 青年の家**

青年の家については、

**【X】教育機関等事業 4 青年の家参照**

**(4) 少年自然の家**

少年自然の家については、

**【X】教育機関等事業 5 少年自然の家参照**

**(5) とちぎ海浜自然の家**

とちぎ海浜自然の家については、

**【X】教育機関等事業 6 とちぎ海浜自然の家参照**

**(6) なす高原自然の家**

なす高原自然の家については、

**【X】教育機関等事業 7 なす高原自然の家参照**

**(7) 視聴覚ライブラリー**

視聴覚ライブラリーについては、

**【Ⅶ】社会教育 3 視聴覚教育参照**

**(8) 同和対策集会所**

同和対策集会所については、

**【Ⅶ】社会教育 4 人権教育参照**

表VI-1 図書館の現状 (令和2(2020)年度)

令和3(2021)年3月31日現在 (単位:冊、人)

区分	図書館名	蔵書数	年間受入冊数	職員数		年間館外貸出冊数
				司書	一般	
県立	栃木県立図書館	768,689	7,804	15+ (0) = 15	16+ (0) = 16	51,388
市立	宇都宮市立中央図書館	646,634	21,580	16+ (0) = 16	35+ (0) = 35	1,056,146
	宇都宮市立東図書館	342,387	9,574	11+ (0) = 11	28+ (0) = 28	836,281
	宇都宮市立南図書館	360,544	11,517	20+ (0) = 20	15+ (0) = 15	935,768
	宇都宮市立上河内図書館	88,779	3,538	2+ (0) = 2	6+ (1) = 7	71,232
	宇都宮市立河内図書館	148,077	4,012	10+ (9) = 19	4+ (1) = 5	304,773
	足利市立図書館	282,711	10,543	11+ (0) = 11	11+ (0) = 11	242,251
	栃木市栃木図書館	320,243	8,003	11+ (0) = 11	10+ (0) = 10	350,709
	栃木市大平図書館	163,825	4,896	8+ (0) = 8	3+ (0) = 3	170,769
	栃木市藤岡図書館	66,401	3,024	3+ (1) = 4	2+ (0) = 2	70,486
	栃木市都賀図書館	88,742	2,715	3+ (1) = 4	3+ (0) = 3	59,856
	栃木市図書館西方館	24,111	1,801	3+ (1) = 4	2+ (0) = 2	28,802
	栃木市図書館岩舟館	38,625	1,742	2+ (1) = 3	2+ (0) = 2	24,186
	佐野市立図書館	263,351	5,625	8+ (0) = 8	8+ (0) = 8	211,877
	佐野市立田沼図書館	124,738	3,317	4+ (0) = 4	2+ (0) = 2	60,273
	佐野市立葛生図書館	75,465	2,248	3+ (0) = 3	2+ (0) = 2	34,832
	鹿沼市立図書館	256,528	5,709	7+ (0) = 7	11+ (0) = 11	188,707
	鹿沼市立図書館東分館	71,621	3,324	4+ (0) = 4	2+ (0) = 2	147,091
	鹿沼市立図書館栗野館	97,458	2,622	1+ (0) = 1	3+ (1) = 4	47,539
	日光市立今市図書館	221,513	7,888	9+ (0) = 9	5+ (0) = 5	213,688
	日光市立日光図書館	108,072	3,580	5+ (0) = 5	1+ (0) = 1	54,976
	日光市立藤原図書館	95,892	3,181	6+ (0) = 6	1+ (0) = 1	19,928
	小山市立中央図書館	563,829	9,946	20+ (8) = 28	8+ (4) = 12	525,861
	小山市立中央図書館小山分館					
	小山市立中央図書館間々田分館					
	小山市立中央図書館桑分館					
	真岡市立図書館	229,272	6,177	7+ (0) = 7	5+ (0) = 5	188,434
	真岡市立二宮図書館	67,849	2,316	1+ (0) = 1	2+ (0) = 2	49,061
	大田原市立大田原図書館	195,928	6,208	11+ (0) = 11	7+ (0) = 7	302,476
	大田原市立黒羽図書館	81,716	2,642	3+ (1) = 4	3+ (0) = 3	50,660
	矢板市立図書館	139,224	4,250	5+ (0) = 5	3+ (0) = 3	125,054
	那須塩原市図書館	148,929	9,298	17+ (0) = 17	14+ (0) = 14	173,246
	那須塩原市西那須野図書館	120,629	5,065	7+ (0) = 7	8+ (0) = 8	173,269
	那須塩原市塩原図書館	62,784	1,851	4+ (0) = 4	2+ (0) = 2	27,893
さくら市氏家図書館	108,688	3,839	7+ (0) = 7	1+ (0) = 1	142,494	
さくら市喜連川図書館	105,528	4,868	6+ (0) = 6	3+ (0) = 3	120,952	
那須烏山市立南那須図書館	146,253	5,220	6+ (0) = 6	1+ (0) = 1	112,867	
那須烏山市立烏山図書館	81,865	3,748	3+ (0) = 3	3+ (0) = 3	50,136	
下野市立南河内図書館	120,807	2,979	4+ (0) = 4	2+ (0) = 2	85,270	
下野市立石橋図書館	112,366	2,695	5+ (0) = 5	5+ (0) = 5	113,903	
下野市立国分寺図書館	87,949	2,917	5+ (0) = 5	1+ (0) = 1	118,886	
上三川町立図書館	117,386	3,495	9+ (0) = 9	2+ (0) = 2	105,413	
ふみの森もてぎ図書館	68,995	3,782	4+ (0) = 4	3+ (4) = 7	70,263	
市貝町立図書館	85,372	2,334	4+ (0) = 4	5+ (0) = 5	53,409	
芳賀町図書館	111,083	3,089	8+ (0) = 8	2+ (4) = 6	93,623	
壬生町立図書館	171,320	2,527	8+ (0) = 8	2+ (0) = 2	140,254	
野木町立図書館	165,901	3,369	8+ (0) = 8	5+ (0) = 5	125,345	
塩谷町図書館	30,386	2,173	1+ (0) = 1	2+ (5) = 7	11,962	
高根沢町図書館	249,224	9,722	14+ (0) = 14	13+ (0) = 13	293,307	
高根沢町図書館仁井田分館						
高根沢町図書館上高根沢分館						
那須町立図書館	107,922	2,564	4+ (0) = 4	3+ (0) = 3	83,187	
那珂川町馬頭図書館	83,605	2,998	2+ (0) = 2	6+ (0) = 6	31,261	
那珂川町小川図書館	46,392	2,402	3+ (0) = 3	3+ (0) = 3	24,088	
計	8,265,608	240,717	338+ (22) = 360	286+ (20) = 306	8,574,132	

\*館数は県立1館、市立40館、町立13館の計54館(分館を含む)

※市町立図書館の蔵書数平均141,451.30冊

\*数字には分館も含む。(小山・高根沢)

\*職員数については令和3(2021)年4月現在。( )内は兼務職員数。

## 〔VII〕社 会 教 育

# 1 社会教育指導者

社会教育振興の基盤であることから、その充実を図る必要があります。このため、社会教育関係職員の確保と資質の向上を図るとともに、一般有志指導者の養成に努め、指導者層の整備充実を図っています。

## (1) 社会教育関係職員

社会教育に関する専門的職員である社会教育主事を計画的に養成するとともに、市町が設置する社会教育指導者や社会教育関係職員の確保とその資質の向上を図っています。

### ア 社会教育主事

県や市町の社会教育行政の中核として、地域の社会教育行政の企画・実施及び専門的技術的な助言等を行う社会教育主事を確保するため国が実施する社会教育主事講習に受講者を派遣しています。

### ○茨城大学

新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

### イ 社会教育指導員

社会教育の指導者層の充実を図るため、市町が設置する社会教育指導員について、社会教育指導員研修会の開催により、資質の向上を図りました。

令和2(2020)年度の設置状況は、表Ⅶ-1のとおりでした。

表Ⅶ-1 社会教育指導員設置状況(令和2(2020)年度)

(単位:人)

市 町 名	設置人員	市 町 名	設置人員
宇都宮市	13	下野市	10
足利市	3	上三川町	4
栃木市	14	益子町	1
佐野市	8	茂木町	1
鹿沼市	8	市貝町	1
日光市	12	芳賀町	3
小山市	12	壬生町	1
真岡市	0	野木町	1
大田原市	12	塩谷町	1
矢板市	3	高根沢町	0
那須塩原市	17	那須町	4
さくら市	3	那珂川町	1
那須烏山市	2		
23市町		135	



## 2 社会教育関係団体

### (1) 青少年団体

青年団体は、地域を基盤とする地域青年団等と、職員職域に結成されているグループ・サークルに大別されます。

#### ア 地域青年団

主として農村を基盤としていた地域青年団は、農村青年の都市への流出や都市での加入率が伸びていないなどにより、昭和30(1955)年には31,724人を数えた団員も昭和45(1970)年には、10,241人となり、それ以後も4～5年に1,000人程度漸減をしています。令和2(2020)年3月31日現在、2団体が地域で活動しています。

#### イ 少年団体

少年団体としては、町内会、学校区などを基盤として結成され、最大の会員数を擁する子ども会のほか、ボーイスカウト、ガールスカウト等があります。

##### ① 子ども会

子ども会は県下全地域的に結成され、その数は、令和2(2020)年3月31日現在、2,408団体、小中学生の会員数は86,969人となっています。

県内の子ども会の育成、及び地域における子どもの育成活動の振興のため、県内の市町子ども会育成組織等により栃木県子ども会連合会が組織されており、子ども会活動における各種リーダーの養成、育成者及び指導者の養成、市町における子ども会の育成組織の支援、安全教育の普及等の活動を行っています。

##### ② ボーイスカウト・ガールスカウト

ボーイスカウト・ガールスカウトは、その積極的な活動を通し地域の人々とのふれあいを深めるとともに、指導者養成に努めています。

ボーイスカウトは、令和2(2020)年3月31日現在、26団体がスカウト数1,119人、ガールスカウトは令和2(2020)年3月31日現在で18団体、スカウト数441人です。

### (2) 成人教育団体

#### ア PTA

PTAは、学校に在籍する児童生徒の保護者及び教師などによって学校ごとに組織され、「児童生徒の健全な成長を図る」ことを目的として、必要な学習や実践活動をする社会教育関係団体です。

表Ⅶ-2 PTA団体数及び会員数

令和2(2020)年3月31日現在(会員数:人)

区 分	団体数	会員数
小 学 校 P T A	349	111,537
中 学 校 P T A	143	51,528
小・中合同 P T A	10	1,342
小計(小・中学校)①	502	164,407
高 等 学 校 P T A	67	42,992
特別支援学校 P T A	15	3,916
小計(県立学校)②	82	46,908
合 計 ( ① + ② )	584	211,315

※高等学校PTAは附属中PTAを含む

#### イ 婦人会

社会教育関係団体の中核的存在である地域婦人は、各郡市地域婦人団体をもって組織され、県内16市町に令和2(2020)年3月31日現在、64団体、会員11,166人の女性団体です。

各郡市地域婦人団体の連絡機関として、栃木県地域婦人連絡協議会が結成されており、婦人会相互の親善融和を図り、その共通の目的である女性の地位向上、青少年の健全育成、家庭生活並びに社会生活の刷新、地域社会の福祉増進を図ることを活動の目的としています。

各郡市や各単位婦人会においても、地域社会への奉仕、学習活動、会員相互の親善等、活発な活動を行っています。

### (3) その他の団体

#### ア 栃木県社会教育委員協議会

この会は、県及び市町の社会教育委員で組織され、社会教育委員相互の緊密な連携を図り、社会教育の振興を図るため、社会教育委員の研修、社会教育に関する研究・調査の実施、関係機関・団体の事業への協力等の活動を行っています。

#### イ 栃木県公民館連絡協議会

この会は、県内の公立公民館及び公民館類似施設と連絡提携を図り、もって公民館活動の振興発展に寄与することを目的として、各公民館の情報交換や研修、調査研修等を行っています。

また、昭和50(1975)年から主事部会が発足し、主



事の研修と相互の連絡や公民館活動の振興を図り、この会の強化・推進の力となっています。

#### ウ 栃木県ユネスコ連絡協議会

この会は、県内の4つのユネスコ協会で構成され、「ユネスコ活動の振興発展に寄与する」ことを目的とし、会員相互の連絡、関係機関との連携、ユネスコ活動推進のための活動を行っています。

各ユネスコ協会では、会員が相互に研修・学習しあうとともに、ユネスコ精神や理念を地域の市民の間に振興させるため、積極的な活動を行っています。

#### エ 栃木県視聴覚教育連盟

この連盟は、県内視聴覚ライブラリー及び視聴覚ライブラリー協議会で構成され、各構成団体の連絡協調を図るとともに、それぞれに活動を促進することを目的としています。そのために、視聴覚教育に関する調査研究、資料の作成配布、優良教材・教具の紹介、研究会、講習会・コンクール等の開催等を実施しています。

## 3 視聴覚教育

### (1) 現 状

教育の近代化を進めるなかで、視聴覚教育の重要性が唱えられている現在、本県においても、視聴覚教育の体系化を図り、教材の効果的利用法の研究を進めています。

#### ア 教材教具の充実

視聴覚教材の購入については、高い利用率が見込まれるものを購入しました。

表Ⅶ-3 令和2(2020)年度購入視聴覚教材

	ジャンル	題名
1	人権教育	みんなで考えるLGBTs③性的指向と性自認(解説編)
2	道徳教育・人権教育	いじめ「考え、議論する道徳」シリーズ

表Ⅶ-4 視聴覚教材保有数

令和3(2021)年3月31日現在

16ミリフィルム	スライド	ビデオテープ	DVD
1,884本	431本	2,407本	473本

表Ⅶ-5 16ミリフィルム対象別利用状況

令和3(2021)年3月31日現在

区分	件数 (件)	百分率 (%)	本数 (本)	百分率 (%)	人数 (人)	百分率 (%)
社会教育	2	100	2	100	123	100
学校教育	0	0	0	0	0	0
合計	2	100	2	100	123	100

表Ⅶ-6 DVD等対象別利用状況

令和3(2021)年3月31日現在

区分	件数 (件)	百分率 (%)	本数 (本)	百分率 (%)	人数 (人)	百分率 (%)
社会教育	22	35	38	29	323	4
学校教育	41	65	94	71	7,289	96
合計	63	100	132	100	7,612	100

### (2) 視聴覚教育の推進

#### ア 各種研修会

「16ミリ映写機技術指導者研修」を隔年で行っており、令和2(2020)年度の実施はありませんでした。

#### イ 技術者の養成

視聴覚教育の推進する人達を養成するため、16ミリ映写機技術者養成講習会を県内2地区で計4回実施しました。

令和2(2020)年度の合格者は、27人で、技術者総数は29,895人に達しました。

#### ウ 視聴覚ライブラリー

県下の視聴覚ライブラリーは、7団体あります。内訳は、条例、規則等に基づいて設置されている公立視聴覚ライブラリー6団体、栃木県視聴覚ライブラリー1団体です。

視聴覚ライブラリーは、学校教育、社会教育について学習効果を高めるとともに教育機会の充実を図り、視聴覚教材供給の中心拠点としての大きな役割を果たすことが期待されます。

## 4 人 権 教 育

県教育委員会では、「栃木県人権教育基本方針」を平成13(2001)年11月に定め、人権尊重の精神の涵養を目的とした人権教育を積極的に推進しています。

社会教育においては、生涯にわたって人権に関する多様な学習機会を提供するとともに、人権尊重の理念について理解を深めるよう努力しています。

### (1) 社会教育施設（集会所）の充実

同和地区住民が、部落差別の解消を目指して自らの生活・文化の向上を図り、教養と技術を高め、さらに、社会連帯意識の高揚をめざす教育施設としての集会所の充実に取り組んできました。

### (2) 指導者研修の充実

県民や市町の社会教育関係職員並びに社会教育関係団体役員に対し、人権問題についての研修の機会を設け、指導者の育成と資質の向上を図るため、研修会を計画的に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

#### ア 人権教育指導者（一般）研修

予定していた研修をすべて中止としました。

#### イ 人権教育指導者（専門）研修

予定していた全6回の研修をすべて中止とし、代わりに人権教育講演会を1回実施しました。

参加者延べ 40人（会場30人 オンライン10人）

# 5 成人教育

生涯学習の観点から、多様化している一般成人の学習要求に応えるため、各種学級・講座等学習機会の提供事業の促進を図ると共に、有志指導者の養成確保に努めました。

成人教育の学習の場としては市町で開設している「婦人（女性）学級」「高齢者教室」「成人大学講座」等があり、更に県で開催している「女性教育指導者研修」等があります。

なお、文部科学省認定の社会通信教育などの学習活動も成人教育活動の一環として奨励しています。

社会教育関係団体としては、栃木県PTA連合会・栃木県高等学校PTA連合会・栃木県地域婦人連絡協議会等があり、これらは学習活動や地域活動を通じて人づくりやコミュニティづくりに大きな役割を果たしています。

## (1) 女性教育

### ア 女性教育指導者研修

生涯学習の観点に立って女性教育の充実・振興を図るために、女性教育諸活動に携わっている方々を対象として研修を行い、女性教育活動の企画・運営・評価に必要な高度の知識・技術を習得いただき、県内各地域において積極的に活動を推進しうる女性教育指導者を養成しました。

○期 間 令和2(2020)年7月16日(木)

～令和3(2021)年1月12日(火)

○会 場 総合教育センターほか

○対 象 女性団体、女性学級・家庭教育学級その他の学習グループにおける指導的立場にある方

○内 容 (1) 女性教育活動の現状  
(2) 団体活動に関する意義や人間関係の在り方  
(3) 団体活動に必要な実務的技術  
(4) グループ別課題研究他

○修了者 8人

### イ 国立女性教育会館主催事業参加促進

女性教育に関する実践的な研修及び専門的な調査研究を行ったり、より高度な知識・技術を習得したりするなど、女性教育活動を促進しうる女性教育指導者の養成を目的とする国立女性教育会館主催事業への参加を促進しました。

### ウ 婦人（女性）学級

婦人（女性）学級は、女性がもつ生活上の課題についての学習を一定期間にわたって、計画的・継続的に行うもので、現在では男女共同参画社会に関する学習も含めた講座が展開されています。

## (2) 高齢者教育

### ア 高齢者教室

高齢者教室は、社会の変化の理解・若い世代の理解・健康の維持・社会奉仕活動への参加等、高齢者にふさわしい社会能力を高めるために市町が開設するものです。令和2(2020)年3月31日現在、県内21市町で573学級が開設されました。

## (3) 成人大学講座等

「成人大学講座」「市民大学」「成人セミナー」等の名称で市町が成人を対象として、一般的教養や専門的知識・技術等に関する学習の機会を提供するために開設しています。

令和2(2020)年3月31日現在、県内25市町で1,411学級が開設されました。

## (4) PTA活動

### ア PTA指導者研修

PTA活動をより一層促進するため、単位PTAの指導的役割を果たしている保護者及び学校教職員を対象に、その今日的役割や望ましいPTA運営の在り方について研修し、指導者としての資質の向上を図ることをねらいとしています。

令和2(2020)年度は、「豊かな心を育てるPTA活動」を研究主題とし、「子どもが健全に育つ環境を整えよう」をテーマとして、下都賀教育事務所、安足教育事務所は各地区小中高PTA連絡会と共催によりPTA指導者研修Ⅱを実施しました。

なお、各教育事務所が主催するPTA指導者研修Ⅰは、新型コロナウイルス感染症の影響によりすべて中止としました。

表Ⅷ-7 PTA指導者研修

[研修Ⅱ]

地区	期日	会場
下都賀	10月13日(火)	藤岡町文化会館・公民館
安足	11月21日(土)	足利市民プラザ

## 6 家庭教育

家庭は、人間形成のための最も基本的な教育機能をもつ場ですが、近年、核家族化、少子化など家庭環境の変化に伴い、家庭教育が困難な現状が指摘されています。

このようなことを踏まえ、家庭教育の充実・向上を図るため、家庭の教育に関する情報や学習機会を提供したり、親等からの相談に応じたりするなど、家庭教育を支援する諸施策を進めました。

子育てについて必要な知識やスキル等を主体的に学ぶ「家庭教育支援プログラム（親学習プログラム・親学習プログラムアレンジ版・思春期版家庭教育プログラム）」の活用推進と、家庭教育の重要性の啓発活動の促進、家庭教育に係わる指導者養成、相談事業等を実施しました。

### (1) 家庭教育支援プログラム普及定着事業

子育てについて必要な知識やスキル等を主体的に学ぶ「家庭教育支援プログラム」の全県的な普及・定着を目指し、プログラムを効果的に活用する指導者の養成とより多くの学習機会でのプログラムの活用を図るための活用促進事業を展開しました。

#### ア 家庭教育支援プログラム指導者研修

○研修日数 5日間

○対象 地域で家庭教育支援に携わっている人、家庭教育支援に関わる活動に意欲のある人、県・市町の教育関係職員、PTA指導者、家庭教育学級生、家庭教育オピニオンリーダー等

○内容 家庭教育支援プログラムについて、ファシリテーション技術、家庭教育支援プログラムの展開、成果発表等

○修了者 23人

#### イ 家庭教育支援プログラム活用促進事業

○実施機会 就学時健康診断、PTA研修会、保護者会、家庭教育学級、乳幼児学級、企業等

○実施回数 県内123回

## (2) とちぎの高校生「じぶん未来学」推進事業

高校生が、親・家族・家庭などの意義や役割、地域の人間関係など地域社会について主体的に学ぶことにより、次世代を育成し、地域への愛着や定住意識の醸成を図るとともに、地域を支え守る気持ちをはぐくむため、とちぎの高校生「じぶん未来学」プログラムを実施しました。また、令和4(2022)年度から全面実施する新学習指導要領を踏まえたプログラムの改訂作業に着手しました。

## (3) 家庭教育・子育て支援関係者広域ネットワーク

家庭教育・子育て支援関係者が会し、交流を図りながら、課題を抱える保護者の学習機会を拡充するための具体的方策について、協議することにより、各市町の担当者同士のネットワークづくりを図るとともに、家庭教育支援の充実を図るため開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止としました。

## (4) 家庭教育相談事業

乳幼児期から高校生期の子を持つ保護者が子育てやしつけなどの家庭教育に関する相談ができるよう、また子どもがいじめや不登校などの学校生活に関する相談ができるよう家庭教育相談事業「ホットほっと電話相談・メール相談」を実施しました。

### ア 電話による相談

保護者からの家庭教育に関する相談「家庭教育ホットライン」(028-665-7867)、子どもからの学校生活に関する相談「いじめ相談さわやかテレホン」(028-665-9999)の2本の電話相談を開設し、相談に応じています。

#### ○相談件数

家庭教育ホットライン 645件  
いじめ相談さわやかテレホン 880件

### イ メールによる相談

保護者と子どもからの家庭教育、学校生活に関する相談に応じるため、平成19(2007)年10月からメール相談を開設しています。

○相談件数 67件

## (5) 家庭教育オピニオンリーダー研修

県民が身近な場で子育てに関する学習や活動を行うことができるように、その支援をする家庭教育オピニオンリーダーの養成を実施しました。

○期間 令和2(2020)年9月～11月

○会場 総合教育センター・各地区

○対象 地域などで家庭教育の振興に携わっている人  
人家庭教育に興味関心を持っている人

○内容 近隣活動指導者への期待、カウンセリングマインド、家庭教育のあり方、近隣活動の進め方

○修了者 12人

## (6) 家庭教育学級

親等の保護者及び家庭教育に関心をもつ一般成人を対象として、県内全市町に家庭教育学級が開設されています。

この家庭教育学級はPTAが主催する学級、市町費で開設する学級、団体による自主学級があります。

その開設状況は次のとおりです。

## VII-8 家庭教育学級開設状況

令和2(2020)年3月31日現在

区分	PTA 主催	市町 単独	その他	計
開設学級数	18	896	7	921

## (7) 家庭・地域いじめ対策教育支援事業の実施

心豊かで健やかな子どもたちをはぐくむために、社会全体で喫緊の課題であるいじめを許さない環境づくりを行うとともに、家庭教育におけるいじめ防止につながる親子の交流活動やネットに関する正しい理解を図る機会を提供しました。

### ア いじめ防止普及啓発事業

子どものいじめや不登校に不安を持つ親や、いじめなどの問題を抱えている子どもが相談できるよう、相談窓口紹介カードを作成し、県内小中学校及び高校へ配布しました。

### イ いじめ防止に向けた地域アクション推進事業(委託事業)

いじめをしない、傍観しない子どもたちをはぐくむため、子どもの自尊感情や対人関係能力を各家庭で育成できるような働きかけとなるよう、社会教育団体に委託し実施しました。

#### (委託団体)

- ・栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会
- ・栃木県地域婦人連絡協議会



## 7 ふれあい学習

「ふれあい学習」は、心豊かな青少年の育成のため、学校、家庭、地域が一体となって、子どもの「生きる力」を育みながら、家庭と地域の教育力の向上を図り、地域の活性化を図ることを目的としています。

### (1) ふれあい学習推進事業

平成 13(2001)年度から県内の教育事務所にふれあい学習課を設置し、全県的に「ふれあい学習」を促進するための体制を整備しました。

#### ① 県全体の推進体制

県全体の推進方策を検討し、その方針を示したり、啓発のための資料作成を行ったりすることを目的に「ふれあい学習推進委員会」を開催しました。

また、「学校と地域の連携推進セミナー」を開催し、地域で子どもを育む活動の中核を担う指導者等を対象に、学校と地域の連携・協働の推進に係る先進的事例を提供するとともに、指導者として必要なスキルを高める研修を行いました。

#### ② 教育事務所ごとの推進体制

管内地域のふれあい学習推進方策の検討、ふれあい学習ネットワーク、ふれあい学習情報紙（HP）の企画・作成、ふれあい学習の推進に係る情報の収集・提供等を目的として「ふれあい学習推進会議」を開催しました。

また、「ふれあい学習ネットワーク」を実施し、地域で活動する様々な団体、関係機関、地域住民を結びつけ、地域で効果的にふれあい学習を推進するためのしくみづくりを計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により 6 教育事務所において中止とし、1 教育事務所においてオンデマンド配信による開催をしました。

### (2) 放課後子ども教室推進事業

「放課後子ども教室推進事業」は全国の小学校区において、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参加を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものです。令和 2(2020)年度栃木県では、8 市町で 83 教室が実施されました。

(宇都宮市(53)、上三川町(6)、鹿沼市(6)、日光市(3)、真岡市(2)、壬生町(2)、矢板市(2)、佐野市(9))

### (3) 地域教育コーディネーター養成事業

ボランティアが、学習の成果を生かした教育支援活動に参加しやすい環境をつくるために、各教育事務所、市町においてボランティアと学校や地域の教育団体・グループ等要請のある受け入れ側との連絡調整を行う「地域教育コーディネーター」を養成することを目的としています。

○令和 2(2020)年度補助事業実施状況（地域学校協働本部）

鹿沼市(1)、栃木市(10)、矢板市(1)、塩谷町(1)、那須塩原市(8)、佐野市(1)

計 5 市 1 町 22 本部



# 8 青少年教育

急激に変化する社会の中で、青少年の生活意識、行動等が多様化しています。この変化に対応する生きる力の育成に向け、青少年教育を推進しました。推進にあたっては、在学青少年に対する社会教育の重要性が指摘されていることから、学校教育との一層の連携に努めました。

## (1) 在学青少年教育

### ア 不登校児童生徒支援事業

不登校又は不登校傾向にある児童生徒を対象に、社会的自立や不登校の解消に向けたきっかけづくりをねらいとした合同宿泊体験活動を県内2ヶ所で実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止としました。

### イ 少年教室の開設促進

少年に対する学習機会を拡充するため、市町における少年教室の開設促進に努めました。

令和2(2020)年3月31日現在の教室数

23市町 507事業

### ウ とちぎユースボランティア研修会

高校生を対象に、ボランティア活動などの地域社会貢献活動のリーダーとして活躍できる若者の育成を目的とし、芳賀青年の家、太平少年自然の家の2ヶ所で研修会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止としました。

## (2) 勤労青年教室

### ア 青年教室の開催促進

市町における勤労青年教育振興等の一環で、青年を対象に学習の機会を提供し、実生活に必要な知識及び技能を習得するとともに、一般教養を身に付けることを目的として、青年教室の開催に努めています。

令和2(2020)年3月31日現在、8市町で49事業が開催され、1,629人が参加しました。

### イ ウィークエンド青少年セミナー

次代を担う青少年地域リーダーを養成するため、下記のとおり研修会を実施しました。

○期 間 令和2(2020)年10～12月

○会 場 総合教育センター

○研修内容 地域活動の企画・立案・運営について体験をとおして学び、地域活動・ボランティア活動の実践力の向上を図りました。

○受講者 19人

## (3) 青少年地域活動(ふるさと運動等)

地域の連帯感や郷土愛の精神を育むことを目的として、青少年に郷土の文化・自然などについての学習と実践的奉仕活動を行うことにより、ふるさとを見つめ、より豊かな郷土づくりの推進を図る事業です。

令和2(2020)年3月31日現在、15市町で141事業が実施され、6,734人が参加しました。

## (4) 子どもの読書活動の推進

平成31(2019)年3月に策定した「栃木県子どもの読書活動推進計画(第四期)」に基づき、子どもの読書活動推進のための事業を実施しました。

### ア 栃木県子どもの読書活動推進協議会

開催数 新型コロナウイルス感染症対策のため、書面により1回開催

委員数 13人

協議状況 指標1(不読率)の目標値の見直しについて等

※意見聴取のみ

### イ 子どもの読書活動関係者交流会

新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

- ウ 子どもの読書ボランティア指導者スキルアップ  
研修  
第1回は会場参集・オンラインの併用、  
第2・3回はオンラインにより開催。  
期 間 令和2(2020)年11月26日、  
令和3(2021)年3月9日、3月11日  
(3日間)  
※初日は、「子どもの読書活動推進フォー  
ラム」と兼ねる。  
参加者 延べ95人  
内 容 発達障害と読書支援に関する講義  
「子どもの読書活動をケアするために  
神経発達障害のある子ども達の理解」  
等  
(実施主体 栃木県立図書館)

エ 家読(うちどく)推進事業

- 子どもの読書活動推進フォーラム  
会場参集・オンライン併用により開催  
期 間 令和2(2020)年11月26日  
会 場 栃木県庁東館4階講堂  
内 容 講演「全ての子どもに読書の喜びを  
～多様なニーズに応じた配慮と環境  
づくり～」  
参加者 会場31人、オンライン55人

オ 高校生読書活動推進事業

- 読書コンシェルジュ育成事業  
期 間 令和2(2020)年9月27日(1日間)  
内 容 ・講座「ビブリオバトル基礎講座」  
「誰でもかけるようになる！」  
POP講座」  
・講話「図書館で世界を広げよう！  
～図書館の機能と役割～」  
参加者 46人(読書コンシェルジュに任命)  
他にH30・R1任命の経験者からの活  
動参加17人

○高校生読書ふれあい交流事業

- ・高等学校ビブリオバトル2020 栃木県大会  
(高校生読書交流会)  
期 間 令和2(2020)年12月6日  
参加者 70人
- ・読書コンシェルジュ活動交流会  
新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言発  
令のため、中止。
- ・学校での活動  
場 所 読書コンシェルジュ所属校  
内 容 展示作成や校内放送による読書推進等

○本で広げる友達の輪推進事業

- ・「読書コンシェルジュが選ぶ高校生におすすめの本  
25冊 VOL.4」の作成・配布  
配布対象 高校生等
- ・「伝えよう！本の魅力コンテスト」の開催  
「ポップ部門」「ツイッター部門」の2部門で、県  
内在学の高校生を対象に、同世代へ本をすすめる  
作品を公募。読書コンシェルジュ経験者が審査を  
行い、優秀作品を選出した。  
応募総数 ポップ部門 240点  
ツイッター部門 741点

## 〔Ⅷ〕 ス ポ ー ツ

# 1 スポーツ施設

## (1) 市町立スポーツ施設

本県の状況は、表Ⅷ-1のとおりです。

また、文部科学省の「学校施設環境改善交付金」を受けて建設等が行われた市町の公共体育施設は、表Ⅷ-2のとおりです。

表Ⅷ-1 各市町立スポーツ施設状況について

令和2(2020)年5月1日

施設 市町	体 育 館	水 泳 プ ール	陸 上 競 技 場	テ ニ ス コ ー ト	野 球 場	ソ フ ト ボ ー ル 場	サ ッ カ ー 場	運 動 広 場	柔 剣 道 場	弓 道 場	相 撲 場	ア イ ス ス ケ ー ト 場 ( パ イ ピ ン グ )	ス キ ー 場	キ ャ ン プ 場	ゲ ー ト ボ ー ル 場	ト レ ー ニ ン グ 場	そ の 他	合 計
宇都宮市	9	4	3	9	19	7	7	3	2	1	0	0	2	9	6	1	82	
上三川町	1	1	2	1	6	0	5	1	1	0	0	0	1	0	1	1	21	
鹿沼市	4	5	2	5	5	2	2	3	2	0	0	0	0	1	4	0	35	
日光市	9	2	0	9	7	4	8	0	1	0	2	0	6	7	1	2	58	
真岡市	9	0	1	3	9	5	3	1	1	1	0	0	0	0	1	0	34	
益子町	2	1	1	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	13	
茂木町	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	
市貝町	1	0	1	1	2	2	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	10	
芳賀町	9	1	2	1	4	3	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	24	
栃木市	11	1	6	8	27	10	14	6	6	0	0	0	0	20	3	0	112	
小山市	1	0	2	4	3	2	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	16	
下野市	6	2	1	4	10	5	1	3	2	0	0	0	2	2	1	1	40	
壬生町	2	1	2	3	3	4	1	1	1	0	0	0	1	2	1	0	22	
野木町	1	0	0	1	6	2	1	1	1	0	0	0	0	2	0	0	15	
矢板市	5	1	1	1	3	3	2	1	1	1	0	0	0	2	1	0	22	
さくら市	7	2	1	3	3	4	1	2	1	0	0	0	0	1	2	1	28	
塩谷町	6	0	1	2	2	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	15	
高根沢町	3	0	1	2	3	2	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	15	
那須烏山市	5	1	2	2	4	3	4	2	2	0	0	0	0	6	0	0	31	
那珂川町	8	1	0	1	4	2	0	1	2	0	0	0	2	4	0	0	25	
大田原市	2	1	2	4	7	4	1	2	1	1	0	0	1	2	0	0	28	
那須町	10	1	1	1	2	0	8	1	1	0	0	1	0	0	1	0	27	
那須塩原市	8	3	0	3	12	5	4	2	1	0	0	0	1	2	2	1	44	
佐野市	4	2	2	6	8	4	5	2	1	0	0	0	1	1	2	1	39	
足利市	8	2	1	7	18	3	2	1	1	0	0	0	2	2	2	6	55	
合計	132	32	36	84	170	79	73	39	33	4	2	1	20	67	30	14	816	

**表Ⅷ－２ 文部科学省の「学校施設環境改善交付金」を受けて建設等が行われた公共体育施設一覧**

市町名	施設名	規模
宇都宮市	(仮称) テクノポリスセンター地区新設小学校 学校水泳プール (屋外)	400 m <sup>2</sup>
〃	明保野体育館 社会体育施設耐震化	—

※規模は、交付金上の配分基礎面積

**(2) 県体育館**

県体育館は、

**【X】教育機関等事業 8 体育館**の項参照

## 2 スポーツ活動

**(1) スポーツ活動事業**

令和2(2020)年度スポーツ活動事業として**表Ⅷ－4**のとおり実施しました。

**(2) スポーツ推進委員**

スポーツ推進委員は、市町教育委員会の非常勤職員として、市町の行う体育、スポーツ振興事業の企画に参画し、その推進者として活躍しています。

本県のスポーツ推進委員は、740人(令和2(2020)年5月現在)です。

**(3) スポーツ団体の育成強化**

スポーツ・レクリエーションの普及振興を図るため、次の事業及び団体に対し、546,269千円を助成した。

(単位：千円)

事業名	補助金額
国民体育大会派遣	9,645
国体対策選手強化	439,233
(公財) 栃木県スポーツ協会	97,391
計	546,269

#### (4) 学校体育施設開放

市町における学校体育施設開放状況は表Ⅷ-3のとおりです。

年度	開放指定校
昭和53(1978)年度	那須拓陽高・佐野松桜高
54(1979)	宇都宮白楊高・真岡工業高
55(1980)	鹿沼高・栃木商業高
56(1981)	高根沢高・馬頭高・黒磯南高
60(1985)	益子芳星高
62(1987)	烏山高
63(1988)	小山南高
平成元(1989)年度	鹿沼東高
3(1991)	黒羽高
4(1992)	壬生高
5(1993)	上三川高
6(1994)	矢板高
7(1995)	大田原高
8(1996)	今市工業高
9(1997)	茂木高
10(1998)	那須高
18(2006)	栃木高

表Ⅷ-3 市町学校体育施設開放状況

教育事務所名	項目 市町名	小学校		中学校	
		学校数	開放校数	学校数	開放校数
河内	宇都宮市	68	68	25	25
	上三川町	7	7	3	3
上都賀	鹿沼市	24	22	10	10
	日光市	19	19	15	15
芳賀	真岡市	14	14	9	9
	益子町	4	4	3	3
	茂木町	4	4	1	1
	市貝町	3	3	1	1
	芳賀町	3	3	1	1
下都賀	栃木市	29	29	14	14
	小山市	26	25	11	11
	下野市	11	11	4	4
	壬生町	8	8	2	2
	野木町	5	5	2	2
塩谷南那須	矢板市	8	8	4	3
	さくら市	6	6	2	2
	塩谷町	3	3	1	1
	高根沢町	6	5	2	2
	那須烏山市	5	5	2	2
那須	那珂川町	3	3	2	2
	大田原市	19	19	8	8
	那須町	6	6	2	2
安足	那須塩原市	20	20	10	10
	佐野市	28	28	10	10
	足利市	22	22	11	11
	合計	351	347	155	154



表Ⅷ-4 令和2（2020）年度 栃木県民総スポーツ関係事業一覧

事業名	実施期日	会場	内容
とちぎスポーツフェスタ2020	スポーツレクリエーション大会	11月21日	道の駅うつのみやろまんちっく村 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
	生涯スポーツ大会	6月～3月	県内各会場 2大会 (170人)
	県民スポーツ大会	10月18日・25日	県総合運動公園ほか 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
国民体育大会派遣	関東ブロック大会	5月30日～8月30日	神奈川県 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
	本大会	9月12日～10月13日	鹿児島県 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
	冬季大会	1月27日～1月31日	愛知県 アイスホッケー競技 (34人)
		1月27日～1月31日	岐阜県・愛知県 スケート競技 (26人)
	2月18日～21日	秋田県 スキー競技 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	
スポーツ少年団競技別交流大会	県大会	5月～11月	宇都宮市ほか 8競技 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
	関東大会	9月20日～22日	千葉県 5競技※中止
	全国大会	3月26日～28日	福島県 剣道 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
		3月26日～29日	長崎県 バレーボール 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
県スポーツ少年団ジュニアリーダースクール及び交歓会	7月4日～5日	今市青少年スポーツセンター 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	
関東ブロックスポーツ少年大会	8月23日～25日	千葉県 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	
全国スポーツ少年大会	7月31日～8月3日	静岡県 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	
日本スポーツ少年団シニアリーダースクール	9月19日～22日	静岡県 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	
栃木県スポーツ少年団指導者研修大会	1月16日	栃木県総合運動公園武道館 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	
スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会	9月～12月	県内2コース 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止 ※R2から名称変更	
県スポーツ推進委員研修会	9月～2月	宇都宮市ほか 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	
生涯スポーツ活動指導者講習会	6月28日	県総合教育センター 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	
スポーツ指導者研修会	7月5日、2月7日	栃木県総合運動公園武道館 他 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	
公認スポーツ指導員養成講習会	8月～12月	宇都宮市ほか 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	
第16回県障害者スポーツ大会	9月27日	栃木市総合運動公園ほか 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	
第20回全国障害者スポーツ大会派遣	10月12日～14日	鹿児島県 新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期	
第33回全国健康福祉祭岐阜大会(ねんりんピック2020岐阜)派遣	11月9日～12日	岐阜県 新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期	

## 3 競技力の向上

1 第 77 回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部を設置し、国際大会等で活躍する選手の育成を進め、国民体育大会において上位の成績を目指すとともに、令和 4（2022）年に本県で開催する第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」において、天皇杯・皇后杯を獲得するため、競技力向上対策事業を実施しました。

（表Ⅶ 1-5）

### (1) 国体対策選手強化事業（対策本部）

- ア 組織体制の整備・拡充
  - (ア) 大学・企業・民間スポーツ連絡協議会の開催
- イ 選手の発掘・育成・強化
  - (ア) チームとちぎ育成強化事業
  - (イ) 有望選手・チーム強化支援事業
  - (ウ) アドバイザリーコーチ招へい事業
  - (エ) タレント発掘・育成事業
  - (オ) ジュニアアスリート育成強化事業
  - (カ) 中学校・高等学校運動部活動支援事業
  - (キ) トップアスリート就職支援事業
  - (ク) ふるさと選手サポート事業
  - (ケ) スポーツ専門員配置事業
  - (コ) 女性アスリート育成強化事業
- ウ 指導者の養成・資質の向上
  - (ア) 国体対策指導者養成事業
- エ 競技力向上のための環境整備
  - (ア) スポーツ医・科学サポート事業
  - (イ) とちぎスポーツ医科学センター利用支援事業
  - (ウ) スポーツ用具整備事業

### (2) 諸会議（対策本部）

- ア 第 77 回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部
  - (ア) 本部会議
  - (イ) 強化対策委員会
- イ 競技団体代表者会議
- ウ 競技団体ヒアリング

### (3) 国民体育大会派遣事業（県スポ協）

- ア 本大会（第 75 回）
  - 令和 2（2020）年 9 月 12 日～10 月 13 日
  - 鹿児島県 令和 5（2023）年に延期

### イ 冬季大会（第 76 回）

- (ア) スケート競技会
  - 令和 3（2021）年 1 月 27 日～1 月 31 日
  - 岐阜県・愛知県 監督・選手 26 名参加
- (イ) アイスホッケー競技会
  - 令和 3（2021）年 1 月 27 日～2 月 2 日
  - 愛知県 監督・選手 34 名参加
- (ウ) スキー競技会
  - 令和 3（2021）年 2 月 18 日～2 月 21 日
  - 秋田県 中止

表Ⅷ-5 令和2(2020)年度国体対策選手強化事業

柱	事業名	実施時期	具体的な取組
I 組織体制の整備・ 拡充	①大学・企業・民間スポーツ連絡協議会の開催	令和2(2020)年 11月20日	・成年種別強化等検討部会の開催(1回)
	②チームとちぎ育成強化事業	令和2(2020)年4月 ～令和3(2021)年3月	・競技団体が国体における入賞者数を増加するために実施する強化事業への支援:41 競技団体
II 選手の発掘・ 育成・ 強化	③有望選手・チーム強化支援事業	令和2(2020)年4月 ～令和3(2021)年3月	・本県で活躍が期待できる選手・チームを指定し、強化練習会・強化合宿等の実施を支援 ・有望選手(SS:1S:7,A:50,B:98) 計 156名 ・有望チーム(SS:2,S:4,A:3,B:23) 計 32チーム
	④アドバイザー・コーチ招へい事業	令和2(2020)年4月 ～令和3(2021)年3月	・強化練習会・強化合宿等の実施への支援 ・長期:169回、短期:94回、延べ263回実施
	⑤タレント発掘・ 育成事業	令和2(2020)年7月 ～12月	・検討部会の開催(3回)
		令和(2020)年9月	・とちぎ未来アスリートプロジェクト ステージ1 応募者数723名、通過者190名
		令和2(2020)年4月 ～令和3(2021)年3月	・育成プログラム(小4～中3) 知的能力開発(14回)、身体能力開発(20回) ・競技体験プログラム(10競技) ・パスウェイプログラム(中3)
		令和2(2020)年 11月1日	・とちぎ未来アスリートプロジェクト ステージ2 選考会 カンセキスタジアムとちぎ 通過者49名
		令和3(2021)年 3月13日	・とちぎ未来アスリートプロジェクト修了式・認定式 会場:とちぎ健康の森 講堂 修了生34名 認定選手:48名
		令和2(2020)年4月 ～令和3(2021)年3月	・スポーツ教室・強化練習会・強化合宿等の実施への支援:40 競技団体
	⑥ジュニアアスリート育成強化事業	令和2(2020)年 8月29日	・「チームとちぎジュニア選手」認定証授与式 会場:栃木県総合文化センター 認定選手:34 競技507名(中学1年生～中学3年生) 講演者:平野 早矢香氏(卓球競技)
		令和2(2020)年4月 ～令和3(2021)年3月	・ジュニア選手・クラブ(中学生年代)を指定し、強化活動を支援:28 指定選手、15クラブチーム

柱	事業名	実施時期	具体的な取組
Ⅱ 選手 の 発 掘 ・ 育 成 ・ 強 化	⑦ 中学校・高等学校運動部活動支援事業	令和2(2020)年 9月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校・高等学校拠点校検討部会の開催(1回)</li> <li>・中学校拠点校検討部会分科会の開催(1回)</li> <li>・高等学校拠点校検討部会分科会の開催(1回)</li> </ul>
		令和2(2020)年4月 ～令和3(2021)年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強化練習会・強化合宿等の実施への支援</li> <li>・中学校 拠点校 6校 10部、拠点地区 2地区3競技、県選抜 13競技</li> <li>・高等学校 重点強化拠点校 25校 61部、強化推進拠点校 43校 104部</li> </ul>
	⑧ トップアスリート就職支援事業	令和2(2020)年4月 ～令和3(2021)年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県で活躍が期待できるトップアスリートに対し県内企業等への就職を支援</li> <li>・協力企業 35社、エントリー11名、就職内定者4名</li> </ul>
	⑨ ふるさと選手サポート事業	令和2(2020)年4月 ～令和3(2021)年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと選手の国体選考会等への参加に要する旅費の支援</li> <li>・ふるさと選手 86名に対し支援</li> </ul>
	⑩ スポーツ専門員配置事業	令和(2020)2年4月 ～令和3(2021)年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ専門員 12競技 25名認定</li> </ul>
	⑪ 女性アスリート育成強化事業	令和2(2020)年4月 ～令和3(2021)年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女子種別に特化した強化事業(36競技支援)</li> </ul>
令和2(2020)年 12月5日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性アスリートコンディショニング研修会 会場:とちぎ健康の森 講堂 講師:須永 美香子 氏 (日本体育大学教授) 島田 真梨子 氏 (TIS 指導員) 参加者:210名</li> </ul>	
Ⅲ 指導者の 養成 の 向上	⑫ 国体対策指導者養成事業	令和2(2020)年 11月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国体選手の指導者等を対象に研修会を実施 参加者 85名</li> </ul>
		令和2(2020)年4月 ～令和3(2021)年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優秀指導者等の採用と適正配置 新規採用教員選考試験スポーツ特別採用枠で、中学校1名、高等学校1名の採用</li> </ul>
Ⅳ 競技力 向上 の た め の 環 境 整 備	⑬ スポーツ医・科学サポート事業	令和2(2020)年4月 ～令和3(2021)年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国体関東ブロック大会・本大会・冬季大会へのアスレティックトレーナーの派遣 (関東ブロック・本大会は中止、冬季大会は2名のアスレティックトレーナーを派遣)</li> </ul>
	⑭ とちぎスポーツ医科学センター利用支援事業	令和2(2020)年4月 ～令和3(2021)年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各競技の国体候補選手や未来アスリート児童・生徒がセンターでの各種測定・分析・サポートに要する費用を支援 (26競技団体 2,477名の測定・各種サポートを実施。 未来アスリート 218名の測定を実施。)</li> </ul>
	⑮ スポーツ用具整備事業	令和2(2020)年4月 ～令和3(2021)年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各競技の特性により、国体で勝つために必要な、高額で特殊なスポーツ用具の貸与 10競技団体に貸与</li> </ul>

# [IX] 文 化

# 1 文化施設

## (1) 文化施設

博物館一覧

表区-1 登録博物館

令和3(2021)年3月31日現在

	名称	設置者	登録年	〒	所在地
公立	1 栃木県立美術館	栃木県	昭和49	320-0043	宇都宮市桜4丁目2-7
	2 栃木県立博物館	栃木県	〃 58	320-0865	宇都宮市睦町2-2
	3 小山市立博物館	小山市	〃 57	329-0214	小山市大字乙女1-31-7
	4 佐野市郷土博物館	佐野市	〃 60	327-0003	佐野市大橋町2047
	5 足利市立美術館	足利市	平成 9	326-0814	足利市通2丁目14-7
	6 宇都宮美術館	宇都宮市	〃 9	320-0004	宇都宮市長岡町1077
	7 小杉放菴記念日光美術館	日光市	〃 10	321-1431	日光市山内2388-3
	8 那珂川町馬頭広重美術館	那珂川町	〃 12	324-0613	那珂川町馬頭116-9
	9 佐野市立吉澤記念美術館	佐野市	〃 14	327-0501	佐野市葛生東1-14-30
	10 陶芸メッセ・益子	益子町	〃 15	321-4217	益子町大字益子3021
	11 那須塩原市那須野が原博物館	那須塩原市	〃 17	329-2752	那須塩原市三島5-1
	12 さくら市ミュージアム ー 荒井寛方記念館 ー	さくら市	〃 17	329-1311	さくら市氏家1297
私立	13 日光二荒山神社宝物館	(宗) 日光二荒山神社	昭和40	321-1661	日光市中宮祠2484
	14 栗田美術館	(一財) 栗田美術館	〃 50	329-4217	足利市駒場町1542
	15 濱田庄司記念益子参考館	(公財) 濱田庄司記念益子参考館	〃 51	321-4217	益子町益子3388
	16 和気記念館	(公財) 和気記念館	〃 62	329-2221	塩谷町大字玉生648
	17 山縣有朋記念館	(公財) 山縣有朋記念館	平成 5	329-2501	矢板市上伊佐野1022
	18 塚田歴史伝説館	(一財) 塚田歴史伝説館	〃 13	328-0037	栃木市倭町2-16
	19 藤城清治美術館 那須高原	(一財) 藤城清治美術館 那須高原	〃 27	325-0301	那須郡那須町湯本203

(公立12館、私立7館 計19館)

表区-2 博物館相当施設

令和3(2021)年3月31日現在

	名称	設置者	登録年	〒	所在地
1	東京大学大学院理学系研究科附属 植物園 日光分園	国立大学法人	昭和30	321-1435	日光市花石町1842
2	國學院大學 栃木学園 参考館	(学) 國學院大學 栃木学園	平成 5	328-8588	栃木市平井町608
3	那須ワールドモンキーパーク	(株) 東北サファリパーク	〃 11	325-0001	那須町大字高久甲6146
4	(学) 宇都宮学園 上野記念館	(学) 宇都宮学園	〃 11	320-0032	宇都宮市昭和2-5-8
5	栃木県 なかがわ水遊園 おもしろ魚館	栃木県	〃 13	324-0404	大田原市佐良土2686
6	宇都宮動物園	(有) 宇都宮動物園	〃 21	321-2115	宇都宮市上金井町552-2

(公立2館、私立4館 計6館)



## 2 文化活動

### (1) 巡回演劇公演

演劇鑑賞の機会を提供し、芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養を図るとともに、芸術にふれる喜びを体験させるために、令和2(2020)年度は、塩谷南那須教育事務所管内で1公演実施しました。日ごろ演劇鑑賞の機会が少ない地域の小学生に好評を博しました。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、1公演中止  
○出演団体 (一社) 日本教育演劇道場劇団「らくりん座」  
○演 目 「あらしのよるに」

表Ⅸ-3 巡回演劇公演実施状況 (令和2(2020)年度)

実施日		市町名	実施校	参加者数
12/23 (水)	午前	塩谷町	船生小学校	113

### (2) 移動音楽鑑賞教室

次代を担う青少年に対し、優れた音楽を直接鑑賞する機会を提供し、芸術にふれる喜びを体験させるという趣旨から、令和2(2020)年度は、県下2会場で実施しました。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、9公演中止  
○演 目 「リンゴマ〜大地の響きにのせて〜」

表Ⅸ-4 移動音楽鑑賞教室実施状況 (令和2(2020)年度)

No.	実施日		市町名	実施校	参加者数
1	10/19 (月)	午前	那須烏山市	烏山小学校	409
2	10/19 (月)	午後	那珂川町	小川小学校	211

合 計 620人

### (3) 巡回伝統芸能公演

生徒の情操の涵養と芸術文化活動への参加機運を醸成するために、令和2(2020)年度は、県下4会場で実施しました。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、1公演中止  
○演 目 落語〜はなしの伝統芸能〜

表Ⅸ-5 巡回伝統芸能公演実施状況 (令和2(2020)年度)

No.	実施日		市町名	実施校	参加者数
1	11/4 (水)	午後	鹿沼市	永野小学校	21
2	11/5 (木)	午後	益子町	七井小学校	330
3	11/6 (金)	午前	那珂川町	馬頭東小学校	60
4	11/6 (金)	午後	大田原市	川西小学校	187

合 計 598人

### (4) 文化芸術による子供育成総合事業

次代の文化の担い手となる子どもたちが、一流の文化芸術団体による優れた舞台芸術を鑑賞するとともに、実技指導を経てこれらの団体と共演する巡回公演事業と、芸術家の派遣により、講話、実技披露、実技指導を体験する派遣事業を、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的に、文化庁および市町教育委員会と共催で実施しました。

表Ⅸ-6 巡回公演事業

No.	本公演 実施日	実施校	種目	実施団体	参加者数
1	10/19(月)	栃木県立佐野高等学校附属中学校	歌舞伎・雅楽	公益財団法人 梅若研会	110
2	10/20(火)	足利市立葉鹿小学校	歌舞伎・雅楽	公益財団法人 梅若研会	72
3	10/21(水)	益子町立七井中学校	歌舞伎・雅楽	公益財団法人 梅若研会	117
4	10/22(木)	小山市立乙女中学校	オーケストラ等	シエナ・ウインド・オーケストラ	288
5	10/27(火)	塩谷市立大宮小学校	合唱	東京合唱協会	163
6	11/17(火)	宇都宮短期大学附属中学校	オーケストラ等	仙台フィルハーモニー管弦楽団	259
7	10/20(火)	足利市立第一中学校	オーケストラ等	仙台フィルハーモニー管弦楽団	233
8	11/20(金)	佐野市立赤見小学校	オーケストラ等	仙台フィルハーモニー管弦楽団	218
9	12/21(月)	宇都宮市立西が岡小学校	オーケストラ等	仙台フィルハーモニー管弦楽団	385

No.	本公演実施日	実施校	種目	実施団体	参加者数
10	11/19(木)	小山市立間々田中学校	ミュージカル	東京演劇集団 風	515
11	12/10(木)	日光市立栗山小中学校	オーケストラ等	東京フィルハーモニー交響楽団	63
12	12/9(水)	日光市立今市中学校	オーケストラ等	東京フィルハーモニー交響楽団	270
13	12/8(火)	小山市立絹義務教育学校	児童劇	有限会社 劇団かかし座	171
14	2/15(月)	佐野市立吾妻小学校	演劇	一般社団法人 演劇集団ワンダーランド	103
15	2/25(木)	佐野市立北中学校	演芸	ちびっこ寄席	191
16	3/2(火)	栃木市立大平西小学校	ミュージカル	劇団ポブラ	272
17	3/3(水)	栃木市立大平南小学校	ミュージカル	劇団ポブラ	126
18	3/5(金)	栃木市立赤津小学校	ミュージカル	劇団ポブラ	144

合計 3,556 人

表区一 派遣事業

No.	実施校	実施分野		実施回数
		大項目	中項目	
1	栃木県立宇都宮東高等学校・同附属中学校	伝統芸能	箏	2
2	栃木市立大平西小学校	伝統芸能	箏	3
3	矢板市立豊田小学校	音楽	パーカッション	1
4	宇都宮市立雀宮南小学校	音楽	パーカッション	3
5	芳賀町立芳賀東小学校	伝統芸能	箏	2
6	大田原市立石上小学校	音楽	パーカッション	1
7	栃木県立佐野高等学校附属中学校	伝統芸能	箏	3
8	小山市立萱橋小学校	音楽	その他	1
9	塩谷町立玉生小学校	音楽	管楽器	1
10	日光市立清滝小学校	音楽	ピアノ	1
11	宇都宮市立細谷小学校	音楽	パーカッション	3
12	足利市立南小学校	音楽	管楽器	3
13	芳賀町立芳賀中学校	伝統芸能	箏	3
14	栃木県立矢板東高等学校附属中学校	伝統芸能	箏	3
15	下野市立吉田西小学校	伝統芸能	和太鼓	1
16	鹿沼市立南押原小学校	音楽	声楽	3
17	宇都宮市立桜小学校	音楽	その他	3
18	佐野市立田沼小学校	音楽	弦楽器	1
19	茂木町立茂木小学校	伝統芸能	箏	3
20	高根沢町立上高根沢小学校	演劇	現代劇	1
21	日光市立大桑小学校	伝統芸能	和太鼓	1
22	栃木市立大平東小学校	伝統芸能	箏	1
23	さくら市立氏家小学校	音楽	その他	1
24	宇都宮市立西が岡小学校	音楽	その他	3
25	小山市立大谷南小学校	音楽	パーカッション	1
26	さくら市立押上小学校	音楽	その他	1
27	日光市立落合西小学校	音楽	その他	3
28	栃木県宇都宮市立岡本小学校	音楽	ピアノ	1
29	下野市立細谷小学校	音楽	パーカッション	1
30	那須烏山市立江川小学校	音楽	その他	3
31	鹿沼市立東小学校	美術	版画	3
32	小山市立東城南小学校	音楽	声楽	1
33	高根沢町立中央小学校	音楽	パーカッション	1
34	日光市立藤原中学校	音楽	その他	3
35	栃木市立大平南小学校	伝統芸能	和太鼓	1
36	さくら市立熟田小学校	音楽	その他	1

No.	実施校	実施分野		実施回数
		大項目	中項目	
37	栃木県立さくら清修高等学校	伝統芸能	箏	2
38	下野市立石橋北小学校	音楽	パーカッション	1
39	さくら市立上松山小学校	音楽	その他	1
40	栃木県立鹿沼商工高等学校	伝統芸能	箏	2
41	栃木市立赤津小学校	伝統芸能	箏	1
42	栃木県立上三川高等学校	伝統芸能	箏	3
43	下野市立古山小学校	音楽	パーカッション	1
44	栃木市立大宮北小学校	伝統芸能	箏	1
45	栃木市立栃木南中学校	伝統芸能	箏	2
46	栃木市立家中小学校	伝統芸能	箏	2
47	栃木市立栃木第五小学校	伝統芸能	箏	1
48	栃木県立宇都宮南高等学校	伝統芸能	箏	3
49	栃木市立南小学校	伝統芸能	箏	2
50	さくら市立南小学校	音楽	その他	1
51	鹿沼市立みどりが丘小学校	音楽	管楽器	3
52	宇都宮市立姿川中学校	音楽	管楽器	3
53	鹿沼東高等学校	伝統芸能	箏	3
54	栃木市立静和小学校	伝統芸能	和太鼓	1
55	さくら市立喜連川小学校	音楽	その他	1
56	栃木市立栃木第四小学校	伝統芸能	箏	1
57	栃木市立大平南小学校	伝統芸能	箏	2

合計 105回

表区-8 派遣事業（子ども 夢・アート・アカデミー）

No.	実施校	実施分野	講師（芸術院会員）氏名	備考
1	鹿沼市立みどり が丘小学校	洋画	根岸 右司	

実施回数：1回

(5) 伝統文化親子教室

伝統文化・生活文化の継承・発展と、子どもたちの豊かな人間性の涵養に資することを目的に、次代を担う子どもたちが親とともに、民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊、華道、茶道等の伝統文化・生活文化に関する活動を計画的・継続的に体験・修得できる機会を提供する取組に対して文化庁の事業を利用して補助を行いました。

No.	市町	補助事業者名	補助事業名	事業分野
1	宇都宮市	宇都宮市豊郷伝統文化 和装礼法子供教室実行 委員会	宇都宮市豊郷伝統文 化和装礼法子供教室	和装・礼法
2	宇都宮市	宇都宮市鶴田地区伝統 文化和装礼法親子教室 実行委員会	宇都宮市鶴田地区伝 統文化和装礼法親子 教室	和装・礼法
3	宇都宮市	西地区ひまわり太鼓	西地区ひまわり太鼓	和太鼓
4	宇都宮市	ふる里を知る子供の郷 土料理教室	ふる里を知る子供の 郷土料理教室	食文化・ 郷土料理
5	宇都宮市	河内剣道クラブ	伝統文化親子剣道教 室	武道
6	宇都宮市	伝統文化 日本舞踊 宮の会	伝統文化 日本舞踊 宮の会親子教室	邦舞
7	宇都宮市	いけばな清原地区伝統 文化こども教室	いけばな清原地区伝 統文化こども教室	華道
8	宇都宮市	子ども和太鼓下野不動 太鼓教室	子ども和太鼓下野不 動太鼓教室	和太鼓
9	宇都宮市	日本棋院栃木県本部	伝統文化子ども囲碁 教室	囲碁
10	宇都宮市	日本民謡 和太鼓駒里 会	和太鼓駒里会親子教 室	和太鼓
11	宇都宮市	宇都宮市峰茶道親子教 室実行委員会	宇都宮市峰茶道親子 教室	茶道
12	宇都宮市	ひがし子ども和太鼓ク ラブ	ひがし子ども和太鼓 教室	和太鼓
13	宇都宮市	宇都宮かるた会	百人一首かるた親子 教室	百人一首・ カルタ
14	宇都宮市	うつのみや西部伝統文 化活性化実行委員会	うつのみや西部伝統 文化親子茶道教室	茶道
15	宇都宮市	宇都宮子ども囲碁教室	宇都宮子ども囲碁教 室	囲碁
16	宇都宮市	東宮っ子ステーション	とうこうキッズ茶道 教室	茶道

No.	市町	補助事業者名	補助事業名	事業分野
17	宇都宮市	麒麟今泉剣友会保護者会	伝統文化親子剣道教室	武道
18	宇都宮市	宇都宮市宮の原伝統文化和装礼法親子教室実行委員会	宇都宮市宮の原伝統文化和装礼法親子事業	和装・礼法
19	宇都宮市	吟剣こども教室	吟剣こども教室	邦舞
20	上三川町	橋本新清流お囃子会	親子お囃子教室	お囃子
21	上三川町	上三川町本郷北コミュニティ推進協議会	お囃子教室	お囃子
22	鹿沼市	日の出町お囃子保存会	日の出町こどもお囃子教室	お囃子
23	鹿沼市	上大久保屋台囃子保存会	八段囃子親子教室	お囃子
24	鹿沼市	榎木寿町お囃子保存会	榎木寿町こどもお囃子教室	お囃子
25	日光市	沢井箏曲院宇都宮研究会	おこと・三味線・尺八体験 わくわく教室	邦楽
26	日光市	日本将棋連盟日光支部	伝統文化親子将棋教室	将棋
27	日光市	草月会栃木県支部	日光市こどもいけ花教室	華道
28	真岡市	泉町おはやし会	泉町おはやし会親子教室	お囃子
29	真岡市	新高会お囃子連合会	新高会お囃子連合会親子教室	お囃子
30	真岡市	並木町お囃子会	親子祭り囃子教室	お囃子
31	真岡市	真岡市将棋連合会	いきいき親子将棋教室	将棋
32	真岡市	台町囃子連	屋台囃子親子教室	お囃子
33	真岡市	西真岡剣道クラブ 仁風会	西真岡剣道親子教室	武道
34	真岡市	悠々茶道会	悠々茶道親子教室	茶道
35	真岡市	和太鼓伝承活動クラブ やまびこ会	やまびこ太鼓親子教室	和太鼓
36	益子町	星の宮お囃子会	星の宮お囃子親子教室	お囃子
37	益子町	益子かたりべの会	益子かたりべの会	その他の分野
38	茂木町	双調会茂木支部佐藤文玉予受社中	伝統文化もてぎ邦楽こども教室	邦楽
39	芳賀町	伝統文化日本舞踊はがの会	伝統文化日本舞踊はが親子教室	邦舞
40	壬生町	壬生町伝統文化和装礼法子供教室実行委員会	壬生町伝統文化和装礼法子供教室	和装・礼法
41	小山市	かもめ箏の音会	伝統文化・和楽器こども体験教室	邦楽

No.	市町	補助事業者名	補助事業名	事業分野
42	小山市	いけばな親子教室	いけばな親子教室	華道
43	小山市	おやま伝統文化子ども教室実行委員会	おやま伝統文化子ども教室	華道
44	栃木市	富張日の出連	富張子どもお囃子教室	お囃子
45	栃木市	とちぎ伝統文化こども教室実行委員会	とちぎ伝統文化こども教室	百人一首・カルタ
46	下野市	下野市草月いけばな教室	伝統文化親子いけばな教室	華道
47	下野市	飯野茶華道教室	親子茶道体験教室	茶道
48	下野市	下野市伝統文化和装礼法親子教室実行委員会	伝統文化和装礼法親子教室	和装・礼法
49	下野市	箏・樹陽会	伝統文化おこと教室	邦楽
50	下野市	茶道芳月会	親子茶道教室	茶道
51	下野市	小金井子供囃子会	小金井子供おはやし入門教室	お囃子
52	さくら市	伝統文化日本舞踊さくらの会	伝統文化 日本舞踊さくら親子教室	邦舞
53	さくら市	氏家子どもお囃子会親の会	氏家子どもお囃子会	お囃子
54	那須烏山市	烏山山あげ保存会	こども常磐津教室	その他の民俗芸能
55	那須塩原市	西那須野少年剣道教室 保護者会	西那須野少年剣道教室	武道
56	佐野市	滝桜会	日本舞踊手ほどき親子体験教室	邦舞
57	佐野市	親子教室佐野クラブ	親子教室佐野クラブ	華道
58	佐野市	佐野伝統文化茶道愛好会実行委員会	伝統文化親子茶道教室	茶道
59	佐野市	小原流佐野地区伝統文化いけばな親子教室実行委員会	佐野地区伝統文化いけばな親子教室	華道
60	佐野市	いけばな親子教室 たんぼぼ	いけばな親子教室 たんぼぼ	華道
61	佐野市	特定非営利活動法人 たぬまアスレチッククラブ	TAC和太鼓教室	和太鼓
62	足利市	生田流箏曲いずみ会	伝統文化お箏教室	邦楽
63	足利市	和太鼓集団 黎明座	和太鼓親子教室	和太鼓

No.	市町	補助事業者名	補助事業名	事業分野
64	足利市	足利地区小原流伝統文化いけばな親子教室風の子会	伝統文化いけばな親子教室	華道
65	足利市	伝統文化こども花教室足利	～心を育む～伝統文化こども花教室	華道
66	足利市	足利市八木節連合会	伝統文化子供八木節教室	その他の 民俗芸能
67	足利市	杵家会足利支所長唄登会	伝統文化親子長唄三味線教室	邦楽
68	足利市	足利あすなろ会	伝統文化親子囲碁教室	囲碁
69	足利市	あしかが歌舞伎親子教室実行委員会	あしかが歌舞伎親子教室	その他の 民俗芸能
70	足利市	日本将棋連盟足利支部	伝統文化親子将棋教室	将棋
71	足利市	前結び和装学苑	親子前結び和装教室	和装・礼法
72	足利市	栃木官休会	伝統文化親子茶の湯教室	茶道



# 3 文 化 財

## (1) 新指定等文化財

ア 令和2(2020)年度新指定等一覧

No.	新規 / 追加	種別	名称・所在地	員数	指定等年月日
1	新規登録	国登録有形文化財(建造物)	旧南間ホテル別館(ましこ悠和館) 益子町	1棟	令和2(2020)年4月3日
2	新規登録	国登録有形文化財(建造物)	旧岡崎家住宅 隠居屋、石蔵 足利市	2棟	令和3(2021)年2月4日
3	新規登録	国登録有形文化財(建造物)	旧山中家住宅主屋(民俗資料館夜明け前) 下野市	1棟	令和3(2021)年2月4日
4	新規登録	国登録有形文化財(建造物)	旧木幡小学校校舎 茂木町	1棟	令和3(2021)年2月4日
5	新規登録	国登録有形文化財(建造物)	太田家住宅 見世蔵及び主屋、中蔵、西蔵、南蔵、八幡社、稲荷社、表門及び石塀 佐野市	7棟	令和3(2021)年2月26日
6	新規指定	県指定有形文化財(古文書)	茂木家文書(百通) 附 茂木家文書目録(宝永七年六月) 茂木町	100通	令和3(2021)年3月26日

イ 令和2(2020)年度新指定等文化財種目別件数表

種類	区分	国指定	県指定	国登録	合計
有形文化財	絵画				222
	彫刻				156(1)
	工芸品				252
	書跡				71
	古文書		1		4
	考古・歴史資料				54
	建造物			12, -1	364
	小計			12, -1	1, 123(1)
無形文化財			-1		4
民俗文化財	有形				10
	無形				35
	小計				45
記念物	史跡				86(2)
	名勝				8
	天然記念物				77(1)
	小計				171(3)
重要伝統的建造物群保存地区					1
合計				11	1, 344(4)
選定保存技術				-1	2

※ ( ) 内の数字は、二重指定されている件数です (内数)

内訳: 国特別史跡・国特別天然記念物 日光杉並木街道 附並木寄進碑  
 国特別史跡・国重要文化財 大谷磨崖仏

## (2) 埋蔵文化財発掘調査の現況

事業サイドと文化財保護サイドとの協議・調整の結果、記録保存のための発掘調査を行うこととなりますが、件数は減少傾向にあります。

具体的には表IX-10「令和2(2020)年度県内埋蔵文化財発掘届出等一覧表」に示すとおりです。

このうち、No20以降の学術研究等以外はいずれも開発に伴う記録保存のための発掘調査であり、これが多数を占めます。これは、近年の一般傾向となっています。

○発掘調査届出等件数

	(元(2019)年度)	(2(2020)年度)
県教育委員会主体	12	10
市町教育委員会	182	149
その他	5	0
計	199	159



表区-1 令和2(2020)年度県内埋蔵文化財発掘届出等一覧表

No.	開発事業等の種類	民間工事の届出数(法93)	公共工事の通知数(法94)	学術等の発掘調査届出数(法92)	地方公共団体の発掘調査通知数(法99)
1	道路	2	25	6	7
2	鉄道	0	0	0	0
3	空港	0	0	0	0
4	河川	1	0	0	0
5	ダム	0	0	0	0
6	学校	0	2	0	0
7	住宅	562	0	0	56
8	工場・店舗	25	0	2	9
9	その他建物	47	5	1	13
10	宅地造成	41	0	5	22
11	土地区画整理	2	1	0	5
12	公園造成	0	0	0	0
13	ゴルフ場	0	0	0	0
14	観光開発	0	0	0	0
15	ガス・電気・水道	116	8	0	0
16	農業関係	9	2	4	0
17	土砂採取	16	0	0	5
18	その他開発	253	21	1	16
19	自然崩壊	0	0	0	0
20	遺跡地図作成等	0	0	0	0
21	保存目的	0	0	0	0
22	学術研究	0	0	1	6
23	遺跡整備	0	0	0	0
合計		1,074	64	20	139

遺跡の発見届(法96・97)	10
出土文化財認定	37

### (3) 日光杉並木街道保護事業

#### ア 樹勢回復事業

「特別史跡・特別天然記念物」である日光杉並木街道の保護事業として、杉の根を保護するために設置した木柵（設置後10年以上が経過し、腐食等が激しい区間を対象として）の改修工事を中心に事業を行いました。

○令和2(2020)年度実績

木柵改修（日光市明神地区） 172m

#### イ 保護用地公有化

日光杉並木街道の並木杉の育成環境を保全するため、並木敷から20mの範囲の土地を公有化しました。

○令和2(2020)年度公有化実績

日光市倉ヶ崎 898.51 m<sup>2</sup>

#### ウ 日光杉並木オーナー制度

日光杉並木オーナー制度により、1本1,000万円

で杉を売却し、その売却代金を保護基金に積み立てて運用を図りました。運用益や寄附金は保護事業の財源として活用しました。

○令和2(2020)年度未売却本数 557本

### (4) 文化財関係補助

#### ア 文化財保存修理費補助金

日下田邸（染色工房併用）保存修理

東照宮拝殿・唐門保存修理

医王寺大師堂・唐門保存修理

岡部記念館（金鈴荘）保存修理

鹿沼今宮神社祭の屋台行事（用具等）保存修理

烏山の山あげ行事（用具等）保存修理

二荒山神社本殿ほか5棟保存修理

#### イ 文化財保存整備費補助金

太子の笠松保存整備

岡本家住宅指定文化財管理

二荒山神社指定文化財管理

東照宮指定文化財管理

輪王寺指定文化財管理

那須国造碑指定文化財管理

**[X] 教育機関等事業**

# 1 総合教育センター

## (1) 事業運営方針

### ア 運営の基本方針

教職員研修、教育に関する調査研究、教育相談及び幼児教育の充実並びに県民の生涯学習活動への支援を推進し、もって学校教育及び生涯学習の振興に資する。

### イ 事業内容

- 研修事業
- 調査研究事業
- 教育相談事業
- 幼児教育センター事業
- 資料・情報の収集提供事業
- 研究・学習活動支援事業
- 教育充実振興事業
- とちぎ県民カレッジ事業
- 栃木県生涯学習ボランティアセンターの運営

## (2) 研修事業

公立学校教職員の育成と資質の向上を図るため、体系的な研修を実施するとともに、生涯学習の推進にあたる関係職員の資質の向上や地域活動及びボランティア活動に携わる指導者を養成確保し、県民の生涯学習の充実と活性化を図るため、計画的、組織的な研修を実施しました。

- 研修内容の充実強化
- 新採教職員から校長までの体系的な研修の推進
- 社会教育関係職員及び社会教育関係団体の指導者、各種団体の指導者及び県民への計画的、組織的な研修の実施

実施した研修は次の表X-1のとおりです。

表X-1 研修事業一覧

ア 教員関係研修

基本研修

番号	事業名	日数 (実績)	計画		実績	
			実人員	延人員	実人員	延人員
1	初任者研修 (小・中学校)	15 (7)	426	6,390	426	2,935
2	初任者研修 (高等学校・特別支援学校)	15 (8)	117	1,755	117	920
3	新規採用 養護教諭研修	14 (6)	34	476	34	204
4	新規採用学校 栄養職員研修	10 (5)	13	130	13	65
5	新規採用 事務職員研修 (小・中学校)	7 (2)	22	132	22	42
6	新規採用 実習助手研修	4 (理3 農2 工3)	4	16	4	10
7	新規採用寄宿舎 指導員研修	0	0	0	0	0
8	教職2年目研修 (小・中学校)	3 (2)	360	1,080	360	720
9	教職2年目研修 (高等学校・特別支援学校)	3 (2)	104	312	102	204
10	養護教諭 2年目研修	2 (1)	24	48	24	24
11	栄養教職員 2年目研修	2 (1)	3	6	3	3
12	教職3年目研修 (小・中学校)	2 (0)	367	734	0	0
13	教職3年目研修 (高等学校・特別支援学校)	2 (1)	108	216	100	100
14	教職5年目研修 (小・中学校)	2 (1)	255	510	255	245
15	教職5年目研修 (高等学校・特別支援学校)	2 (1)	103	206	103	103
16	養護教諭 5年目研修	2 (1)	28	56	28	28

番号	事業名	日数 (実績)	計画		実績	
			実人員	延人員	実人員	延人員
17	栄養教職員 5年目研修	2 (1)	1	2	1	1
18	実習助手 5年目研修	2 (0)	6	12	0	0
19	寄宿舎指導員 5年目研修	2 (1)	1	2	1	1
20	事務職員 5年目研修 (小・中学校)	3 (2)	21	63	21	42
21	中堅教諭等 資質向上研修 (小・中学校)	7 (4)	154	1,078	154	616
22	中堅教諭等資質 向上研修 (高等学校・特別支援学校)	7 (4)	66	462	66	460
23	中堅養護教諭 資質向上研修	6 (4)	19	114	18	72
24	中堅栄養教職員 資質向上研修	4 (3)	3	12	3	9
25	中堅実習助手 資質向上研修	2 (0)	5	10	0	0
26	中堅寄宿舎指導員 資質向上研修	2	1	2	1	1
27	中堅事務職員 資質向上研修	3 (1)	8	24	8	8
28	教職20年目研修 (小・中学校)	4 (2)	42	168	42	84
29	教職20年目研修 (高等学校・特別支援学校)	4 (2)	81	324	81	162
30	養護教諭 20年目研修	2 (1)	8	16	8	8
31	栄養教職員 20年目研修	2 (2)	1	2	1	2
32	実習助手 20年目研修	2 (0)	1	2	0	0
基本研修計			2,386	14,359	2,005	6,414

専門研修1ア

番号	事業名	日数 (実績)	計 画		実 績	
			実人員	延人員	実人員	実人員
1	新任免許外教科 担任研修 (中学校)	2 (0)	40	80	0	0
2	理科・基礎実験 研 修 (高等学校)	2 (0)	8	16	0	0
3	ネクストステージ 研 修	休止				
4	教育相談指導者 養成研修 (高等学校)	5 (0)	14	70	0	0
5	特別支援教育 コーディネーター 専 門 研 修	1 (0)	202	202	0	0
6	特別支援学級 新任教員研修	3 (1)	161	161	161	161
7	通級による指導 新任教員研修	3 (2)	46	92	46	89
8	特別支援学級等 実 践 研 修	3 (2)	73	146	73	144
9	特別支援学校 新任教員研修	1 (0)	60	60	0	0
10	職業教育指導力 向 上 研 修	2 (1)	14	28	14	14
11	自 立 活 動 充 実 研 修	2 (1)	15	15	15	15
12	早期教育相談 担 当 者 研 修	2 (1)	15	30	13	13
13	合 同 研 修 〔 幼 小 〕	1	350	350	334	334
14	幼小連携推進者 養成研修	5 (0)	20	100	0	0
専門研修1ア 計			1,158	2,108	685	772

専門研修1イ

番号	事業名	日数 (実績)	計 画		実 績	
			実人員	延人員	実人員	延人員
1	校 長 研 修 (小・中学校)	1 (0)	496	496	0	0
2	校 長 研 修 (高等学校・特別支援学校)	1 (0)	75	75	0	0
3	新任校長研修 (小・中学校)	2 (0)	115	230	0	0
4	新任校長研修 (特別支援学校)	2 (0)	12	24	0	0
5	教頭2年目研修 (小・中学校)	3 (1)	162	426	162	162
6	教頭2年目研修 (高等学校・特別支援学校)	3 (1)	17	54	17	17
7	新任教頭研修 (小・中学校)	3 (1)	156	468	156	156
8	新任教頭研修 (高等学校・特別支援学校)	3 (1)	37	111	36	36
9	新任主幹教諭研修 (小・中学校)	2 (1)	21	42	21	21
10	新任主幹教諭研修 (高等学校・特別支援学校)	2 (1)	30	60	30	30
11	新任部主事研修	2 (0)	9	18	0	0
12	新任教務主任研修 (小・中学校)	2 (1)	137	274	137	137
13	新任教務主任研修 (高等学校・特別支援学校)	1 (0)	24	24	0	0
14	新任学習指導主任 研修(小・中学校)	1 (0)	140	140	0	0
15	新任学習指導主任研修 (高等学校・特別支援学校)	1	25	25	24	24
16	新任児童指導主任研修 (小学校)	1 (0)	75	75	0	0
17	新任生徒指導主事研修 (中学校)	1 (0)	42	42	0	0
18	新任生徒指導主事研修 (高等学校・特別支援学校)	1	11	11	11	11
19	新任進路指導主事研修 (中学校)	1 (0)	54	54	0	0
20	新任進路指導主事研修 (高等学校・特別支援学校)	1	25	25	23	23
21	新任栄養教諭研修	2 (1)	5	10	5	5
22	新任道徳教育推進教 師 等 研 修	1 (0)	171	171	0	0
23	新任地域連携教員 研 修	2 (0)	193	386	0	0
24	人権教育指導者専門 研 修	6 (0)	24	144	0	0
25	新任補佐級事務長研修 (小・中学校)	1 (0)	6	6	0	0
26	新任係長級事務長研修 (小・中学校)	2 (1)	2	4	2	2
専門研修1イ 計			1,979	3,058	628	620

### 専門研修2

番号	事業名	日数 (実績)	計画		実績	
			実人員	延人員	実人員	延人員
1	学校図書館研修	1	37	37	37	37
2	教科等専門研修	1×25	636	636	157	155
3	小学校理科観察実験研	1 (0)	30	30	0	0
4	産業教育専門研修	2 (I・家)	29	58	29	43
5	環境学習プログラム研	2 (0)	15	30	0	0
6	実習助手専門研修	2	60	120	53	98
7	ICT活用研修 〔エクセルの活用〕	1 (0)	60	60	0	0
8	ICT活用研修 〔タブレット端末の活用〕	1 (0)	120	120	0	0
9	授業研究活性化プログラム	1	41	41	39	39
10	教育相談基礎研修	4 (2)	64	256	44	82
11	教育相談課題研修 〔いじめの理解と対応〕	1	50	50	25	25
12	教育相談課題研修 〔不登校の理解と対応〕	1	50	50	43	43
13	教育相談実践研修 〔保護者との連携〕	1	60	60	0	0
14	知的障害教育研修	1	190	190	0	0
15	自立活動研修	1	190	190	0	0
16	発達障害のある子どもの教育支援研修	1	150	150	66	66
17	トップセミナー	1	10	10	5	5
18	幼児期の特別支援教育研	2 (1)	10	10	10	10
19	スキルアップセミナーⅠ	1 (0)	10	10	0	0
20	スキルアップセミナーⅡ	1	10	10	0	0
21	スタートカリキュラム講座	1	40	40	18	18
専門研修2 計			1,846	2,138	593	649

### 専門研修3

番号	事業名	日数 (実績)	計画		実績	
			実人員	延人員	実人員	延人員
1	とちぎの教育未来塾	3	130	390	133	301
2	教職員サマーセミナー	1×14 (0)	330	330	0	0
3	ICT活用研修 〔オンライン授業実践〕	1×5	324	324	275	268
4	ICT活用研修 〔タブレットの活用〕	1×6	240	240	210	201
専門研修3 計			1,024	1,284	618	770

教育関係職員研修 合計		8,393	22,947	4,500	9,225
----------------	--	-------	--------	-------	-------



## イ 生涯学習関係研修

番号	事業名	研修内容	対象	日数	計画		実績	
					実人員	延人員	実人員	延人員
1	女性の地域活動推進セミナー (女性教育指導者研修)	・地域で活躍するリーダーに求められるもの ・実施事例から学ぶ地域活動の実際 ・施設見学、グループ研究 等	[推・公] 県民	8	30	240	8	59
2	家庭教育オピニオン リーダー研修	・子育て家庭の現状と課題、その支援に向けて ・遊びの中で学ぶ子どもたち ・フィールドワーク 等	[推・公] 県民	6	20	120	12	68
3	家庭教育支援プログラム 指導者研修	・家庭教育支援プログラムの基本 ・ファシリテーション基礎 ・ファシリテーション演習 等	県民	4	60	240	25	90
4	ウィークエンド 青少年セミナー	・若者には地域を変える力がある！ ・手軽に楽しめる遊び(昔遊び) ・ボランティア活動の企画・立案・準備・実践 等	青少年 大学生 高校生	5	30	150	19	92
5	放課後活動指導者研修	・もしもの時も落ち着いて ～子どもを守る危機管理(防災編)～ ・子どもを理解しよう ～発達障害の基本的な理解と対応について～ ・より良い放課後活動を目指して 等	社 県民	3	50	150	83	117
6	学校と地域の 連携推進セミナー	・学校と地域のつながりを推進するための体制づくり ～社会に開かれた教育課程の実現に向けて～ ・学校と地域がつながる取組 等	社 教 県民	2	50	100	122	165
7	地域学校協働 活動推進員養成研修	・これからの学校と地域の連携・協働 ・ファシリテーションの技術 ・地域課題解決のためにできること ・ボランティアコーディネーションの技法 等	[推・公] 県民	6	35	210	36	175
8	地域教育 コーディネーター 全体研修	・学校と地域の連携推進モデルの取組 ・学校と地域の連携に向けた体制づくり・活動づくりのために	社 教 県民	1	100	100	74	74
9	生涯学習・社会教育 関係職員研修	・生涯学習推進における行政職員への期待 ・国の関係法令・答申・計画と本県の生涯学習推進計画について ・多文化共生の地域づくり	社	2	50	100	53	81
10	人権教育指導者 専門研修	・現地研修・情報交換 ・人権に関するワークショップ体験 ・人権学習プログラム作成 等	社 教	中止				
11	地域連携教員研修	・地域連携教員の活動の実際 ～コロナ禍での地域連携活動を考える～ ・より効果的な地域連携活動を目指して ～コロナ禍による影響を考慮して～	教	1	140	140	42	42
12	16ミリ映写機技術 指導者研修	・16ミリ講習会の企画・運営について ・16ミリ映写機操作指導のポイント	社 視	隔年実施のため令和2(2020)年度は実施せず				
生涯学習関係研修合計					565	1,550	474	963

※社：県・市町社会教育関係職員 県民：一般県民 教：教職員 視：視聴覚ライブラリー職員 [推・公]：要推及び公募

### (3) 調査研究事業

学校教育関係及び生涯学習関係各方面の要請や実情に基づき、学校教育の内容や方法等及び生涯学習の在り方や支援の方法等の改善充実を図るため、各種の調査研究を実施した。

#### ア 基本方針

- ・教育行政上の基礎資料となる調査及び調査研究を行う。
- ・当面する教育課題を的確に捉えて、指導に役立つ調査研究を行う。
- ・生涯学習推進の基礎資料となる調査研究を行う。
- ・幼児教育や家庭教育に係る今日的な課題について調査研究を行う。
- ・他の教育機関における調査研究活動との連携を図る。

#### イ 事業内容

	研究主題	研究内容	備考
1	高校生の地域活動に関する調査研究	昨年度の地域課題に関する調査研究を受けて、内容を高校生が地域活動に取り組みやすい環境の整備に焦点をあて、高等学校等と地域の多様な機関とが連携した実践事例を収集してまとめ発信することで、高校生の地域活動への参加促進に向けた学校・地域双方における取組の充実に資する。	生涯学習部 継続
2	高等学校における教科指導充実に関する調査研究 ～資質・能力の育成を図る授業改善の推進～	高等学校における各教科等の指導において、資質・能力の育成を図るために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に関する調査研究を行い、各教科等の特質を踏まえた授業実践例等をまとめ、研修等で活用することで、授業改善の推進に資する。	研究調査部 継続
3	新学習指導要領を踏まえた授業改善に関する調査研究(小・中学校段階) ～資質・能力を育成する授業の在り方～	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図るために、特に「深い学び」の鍵となる「見方・考え方」を働かせることを通じた資質・能力の育成について研究を行い、具体的な授業場面等を示した冊子を作成・配布し、研修等で活用することで、教員の授業力の向上に資する。	研究調査部 新規
4	高等学校における「総合的な探究の時間」に関する調査研究	新学習指導要領において重要視されている探究的な学習に関する調査研究を行い、探究の進め方について分かりやすく説明するとともに、実践事例を示したリーフレットを作成・配布し、研修等で活用することで、高等学校における「総合的な探究の時間」の充実に資する。	研究調査部 新規
5	教育に関する各種統計調査 ～教育行政基礎資料の提供～	本県及び国の教育に係る各種統計調査(県単6、文部科学省1の計7)を実施し、教育行政、教育施策に関する基礎資料を作成・配布した。 ○県単調査 (1) 中学校等卒業者の進路状況調査 (2) 県立高等学校等卒業者の進路状況調査 (3) 全日制高等学校生徒の他県との交流調査 (4) 公立学校教員構成調査 (5) 新年度児童・生徒数、学級数見込み調査 (6) 中学校等生徒の進路希望調査 ○文部科学省調査 (7) 地方教育費調査(教育費調査・生涯学習関連費調査:令和元会計年度) ※ 子供の学習費調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により、教育活動が例年と異なること等を踏まえ、調査中止。	総務部 継続
6	児童生徒支援に関する指導資料の作成	保護者との連携に関する指導資料を作成し、研修等で活用するとともに、Web発信することで、各校における指導・支援の充実に資する。	教育相談部 継続
7	特別支援学校(知的障害)における国語科の指導の充実	知的障害のある児童生徒の学習上の特性を踏まえた国語科の指導について、調査研究協力校の実践を参考に指導内容や教材例を指導資料としてまとめ、指導の充実に資する。	教育相談部 継続
8	幼児教育の質の向上に関する調査研究	具体的な子どもの姿から、幼児期にはぐくみたい資質・能力を捉え、これらを育むために大切にしたいことをリーフレットにまとめた。これにより、幼児期の教育の充実に資する。	幼児教育部 新規

(4) 教育相談事業

ア 来所相談

幼児児童生徒の健全な育成に資するため、障害や不登校など教育上の悩みを抱える幼児児童生徒及び保護者等に対して問題解決に向けた助言・援助を行った。

表X-2-ア 教育相談実施回数・ケース数（月別）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
相談回数		3	13	14	16	16	22	24	22	24	25	27	206
ケース数		3	13	13	16	14	22	23	22	24	25	25	49
うち新規			5	4	3	5	6	4	2		1	3	33
延べ来談者数		5	24	24	28	31	42	44	42	47	48	51	386

表X-2-イ 教育相談実施回数・ケース数（相談内容別）

	就学前		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他		計	
	回数	ケース数	回数	ケース数	回数	ケース数	回数	ケース数	回数	ケース数	回数	ケース数	回数	ケース数
いじめに関すること							8	4					8	4
うち不登校							5	2					5	2
うち要特別支援														
いじめ以外の友人関係に関すること							1	1					1	1
うち不登校							1	1					1	1
うち要特別支援														
学校の指導・対応に関すること									4	1			4	1
うち不登校									4	1			4	1
うち要特別支援									4	1			4	1
性格・行動に関すること			12	5	40	8	82	19	7	1	10	1	151	34
うち不登校			2	1	2	1	35	9	7	1			46	12
うち要特別支援					9	1	10	3	7	1	10	1	36	6
学習に関すること							9	3					9	3
うち不登校							6	1					6	1
うち要特別支援														
進路に関すること														
うち不登校														
うち要特別支援														
家庭生活に関すること	23	4	8	1			2	1					33	6
うち不登校														
うち要特別支援	23	4											23	4
計	23	4	20	6	40	8	102	28	11	2	10	1	206	49
うち不登校			2	1	2	1	47	13	11	2			62	17
うち要特別支援	23	4			9	1	10	3	11	2	10	1	63	11
延べ来談者数	46		41		80		178		21		20		386	

注1)「要特別支援」とは、何らかの障害（発達障害、言語障害等）により支援の必要な幼児児童生徒に関する相談

注2)義務教育学校前期課程は小学校、後期課程は中学校に含む。中等教育学校前期課程は中学校、後期課程は高等学校に含む。

イ 学校支援

学校や教育研究会等からの要請に応じて、教育相談及び特別支援教育に関する研修会や事例検討会等に指導主事を派遣し、助言・援助を行った。

表X-2-ウ 学校支援

対象	実施回数		
小学校	28	57	64
中学校	7		
高等学校	16		
特別支援学校	6		
学校以外の教育団体等	7		

(5) 資料・情報の収集提供事業

教育関係職員の教育活動及び研修や生涯学習に関する学習活動・学習相談及び研修を進める上に必要な資料・情報を提供するため、機能の拡大に努めた。

表X-3

事業名	内容	備考
図書資料等の提供	教育・生涯学習に関する図書資料、教育資料、教育雑誌等の整備充実、レファレンス、貸出し	・図書資料室来室者 3,854 名 ・資料貸出・レファレンス 1,370 件
学習相談情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民のニーズにあった学習機会や指導者の紹介</li> <li>・面談・電話等による生涯学習相談</li> <li>・栃木県学習情報提供システム(とちぎレインボーネット)の運用及び活用</li> <li>・市町広報誌及び各種情報誌等の活用による情報提供</li> <li>・関係機関との連携等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レインボーネットアクセス件数 13,812 件</li> </ul> <a href="https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/">https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/</a>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習機会、施設、団体・グループ、指導者、教材、各種資格、学習プログラム、情報源、その他の9情報</li> <li>・延べ相談件数 285 件</li> </ul>
視聴覚教材、教具の整備、貸出	DVD・16ミリフィルム・ビデオ等、視聴覚教材・教具の収集・貸出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD等 185 件</li> <li>・教具 20 件</li> </ul>
カリキュラムに関する支援	カリキュラムに関する情報の収集・整理、情報発信等県内の各学校及びその他の各教育機関、県内の各教育関係団体における教育活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 949 人</li> <li>・アクセス件数 342,092 件</li> </ul>

(6) 研究・学習活動援助事業

教育研究団体の研究や生涯学習関係団体の学習活動について、その推進が図られるよう支援協力した。

表X-4-ア 教育研究団体等への会場提供

種 類	件数
小 学 校 教 育 研 究 会	0
中 学 校 教 育 研 究 会	1
高 等 学 校 教 育 研 究 会	9
生 涯 学 習 団 体	29
そ の 他	271
計	310

表X-4-イ 要請に基づく講師派遣

番号	種 別	講師派遣件数
1	幼 稚 園	2
2	保 育 所	1
3	こ ど も 園	18
4	小 学 校	65
5	中 学 校	20
6	高 等 学 校	48
7	特 別 支 援 学 校	9
8	本 県 の 各 部 局	108
9	本 県 以 外 の 都 道 府 県	1
10	県 内 市 町	8
11	生 涯 学 習 関 係 団 体	16
12	小 学 校 教 育 研 究 会	3
13	中 学 校 教 育 研 究 会	4
14	高 等 学 校 教 育 研 究 会	14
15	そ の 他	18
	計	335

(注) 1 ～ 11：要請による訪問等

12 ～ 14：教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

(7) 幼児教育センター事業

幼児教育センター事業については、〔V〕学校教育 8 幼児教育の項参照

(8) 教育充実振興事業

教職員の資質の向上、児童生徒の研究意欲の高揚及び生涯学習の振興に資するため、各種の事業を実施した。

表X-5-ア 教養講座

番号	講 座 名	内 容	期 日	主 な テ ー マ	参加人数	会 場
1	公開講座 「ライフ アップセ ミナー」	総合教育センターが主催 する研修の中から、県民の 学習活動として活用でき る部分を広く一般に公開 し、幅広い学習機会を提供 した。	5月27日 ～ 2月18日  8回	・家庭教育の現状とその支援に向けて ・学校と地域のつながりを推進するための 体制づくり ・これからの学校と地域の連携・協働 ・子どもを取り巻く現代的課題 ・地域課題解決のためにできること 等	111人	総合教育 センター
2	教育相談 特別講座	「多様な子どもたちと向 き合う」  多様化している子ども一 人一人への理解を深めな がら、学級・ホームルーム 等の集団の中でどのよう に指導・支援を行っていく か考える機会を提供する。	8月19日 (中止)	・基調講演 ・パネルディスカッション	一人	総合教育 センター

表X-5-イ 展覧会・発表会・コンクール

番号	事業名	期 日	対 象	出品・発表点数	参加人数	会 場
1	第64回日本学生科学賞栃木県展覧会	審 査 9月25日 表彰式 10月26日 (中止)	中学校 義務教育学校(後期課程) 中等教育学校 高等学校 高等専門学校(第3学年まで) 特別支援学校(中学部、高等部)	中学の部 19点 高校の部 15点 最優秀賞 6点 優秀賞 11点 優良賞 6点	一人	総合教育センター
2	第70回栃木県児童生徒発明工夫展覧会	審 査 10月7日 展 示 10月9～11日 表彰式 11月20日 (中止)	小学校、中学校 義務教育学校 高等学校 中等教育学校 高等専門学校(第3学年まで) 特別支援学校	合計 130点 団体賞 3団体 金賞 10点 銀賞 15点 銅賞 20点	907人	栃木県子ども総合科学館 総合教育センター
3	第74回栃木県理科研究展覧会並びに発表会	地区展 1月15～26日 中央展 2月9日～18日 審 査 2月10日 2月18日 展 示 2月13、14日 (中止) 表彰式 2月18日(中止)	小学校、中学校 義務教育学校 高等学校 特別支援学校	地区展 1,874点 中央展 78点	一人	各地区会場 総合教育センター
4	第33回栃木県自作視聴覚教材コンクール	予備審査 1月13日(中止) 本審査 2月2日 表彰式 3月12日(中止)	一般県民	2点	2人	総合教育センター

表X-5-ウ 開放事業

名 称	期 日	対 象	参加人数
学びの杜の夏休み	8月1日(中止)	子どもと親をはじめとする県民	一人

表X-5-エ 教育研究発表大会

事業名	期 日	対 象	事業の内容	参加人数
栃木県教育研究発表大会	1月29～30日	幼稚園・保育所等の教職員、小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教職員、生涯学習関係者、大学生等、一般県民	県内教育機関における幼児教育、学校教育及び生涯学習に関する研究の成果を広く公開し、その理解と普及を図り、本県教育の充実向上と生涯学習の振興に資する。	当日視聴 859人 (申込 1,075人)

(9) とちぎ県民カレッジ

登録講座 (実施機関・講座数) 75機関 ————— 1,597 講座

ア 受講者 21,086 人

イ 機関内訳 県関係機関 (52機関) ————— 600 講座

各市町 (7市町15機関) ————— 291 講座

大学等 (8大学等) ————— 706 講座

ウ コース別講座数(内訳)

・健康・スポーツコース 120 講座 ・能力・自己開発コース 173 講座

・文化・教養コース 1,212 講座 ・郷土理解コース 46 講座

・地域活動コース 46 講座

エ 学習歴累積希望登録者 (2,795名)

オ 奨励証交付者 (600単位1名、500単位2名、400単位4名、300単位21名、200単位43名、100単位116名)



# 2 文 書 館

栃木県立文書館は、古文書、将来貴重な歴史資料となる県の公文書その他必要な資料を収集及び保存して、これらの活用を図り、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、昭和61(1986)年4月1日に設置され、同年10月1日に開館しました。

## (1) 文書の収集及び整理

民間に伝えられてきた古文書、知事及び教育委員会等が管理する公文書で保存年限が到来したものの中から歴史的価値の高いもの及び県の永年保存文書を、原本またはマイクロフィルムで保存し、分類・整理のうえ一般の閲覧利用に供しています。

### ア 古文書

文書館に寄託、寄贈された古文書及び所蔵文書は、次の221家、383,110点(他写真17,465点)です(令和3(2021)年3月31日現在)。

### 寄託文書

番号	文書名(文書の内容)	文書点数
1	小貫敏尾家文書(芳賀郡小貫村名主文書)	8,078点
2	古川明家文書(日光道中新田宿名主・問屋文書)	1,072点
3	添野一夫家文書(都賀郡延島村名主文書)	7,564点
4	小崎耕作家文書(芳賀郡小貫村名主文書)	1,361点
5	上原雅輔家文書(日光道中間々田宿名主・問屋文書)	1,539点
6	高橋悦郎家文書(河内郡岩原村庄屋・戸長文書)	8,583点
7	安納肇家文書(河内郡下飯田村名主文書)	374点
8	鮎瀬健一家文書(那須郡伊王野村名主文書)	8,369点
9	古橋忠義家文書(河内郡高松村庄屋文書)	1,152点
10	石井孝家文書(安蘇郡戸奈良村年寄・絹買継商文書)	7,419点
11	滝田馨家文書(黒羽藩家老文書)	2,121点
12	石原叡家文書(都賀郡上草久村名主文書)	5,019点
13	吉村儀兵衛家文書(芳賀郡谷田貝町酒造文書)	3,032点
14	森重家文書(那須郡三斗内・鷹ノ巣村名主文書)	1,977点
15	上野晴夫家文書(宇都宮藩御用達商人文書)	10点
16	鈴木重次家文書(黒羽藩家老文書)	324点
17	深津区長引継文書(都賀郡深津村名主文書)	93点
18	海老澤雄蔵家文書(芳賀郡三谷村名主文書)	2,276点
19	秋元武夫家文書(喜連川藩学翰館学頭文書)	2,078点
20	篠原久兵衛家文書(宇都宮藩御用達・油商文書)	1,049点
21	岡田純一家文書(芳賀郡東水沼村名主文書)	18,058点
22	印南継男家文書(神田平次郎氏蔵旗本芦野家家老文書)	22点
23	若草史料コレクション(藤田好三氏収集文書)	594点
24	池沢清家文書(寒川郡下生井村名主文書)	261点
25	村上喜彦家文書(塩谷郡桜野村庄屋文書)	1,185点
26	井上潤三家文書(奥州道中佐久山宿問屋文書)	1,092点

番号	文書名(文書の内容)	文書点数
27	小野崎隆道家文書(塩谷郡伊佐野村名主・戸長文書)	1,153点
28	小堀義勝家文書(小堀氏収集文書)	697点
29	加藤彌平太家文書(芳賀郡生田目村豪農・戸長文書)	8,024点
30	綱川文太家文書(芳賀郡給部村名主・問屋文書)	13,000点
31	小池篤家文書(小池篤氏収集文書)	2,297点
32	坂本学家文書(芳賀郡刈沼新田村名主・戸長文書)	2,799点
33	平賀イク家文書(日光県関係文書)	547点
34	高塩武一家文書(喜連川藩士・日露戦争関係文書)	648点
35	高橋省吾家文書(宇都宮氏旧臣関係文書)	21点
36	田村春夫家文書(都賀郡西水代村名主文書)	7,762点
37	茂垣敏雄家文書(芳賀郡山内村庄屋文書)	1,237点
38	綱川典家文書(芳賀郡稲毛田村名主文書)	597点
39	伊澤新右衛門家文書(日光道中石橋宿名主・問屋文書)	1,061点
40	津布久平八郎家文書(佐野氏拝領文書)	21点
41	徳田浩淳家文書(徳田浩淳氏収集文書)	254点
42	白石忠孝家文書(都賀郡山田村名主文書)	340点
43	和気辰夫家文書(塩谷郡熊ノ木村地租改正関係文書)	115点
44	石崎孝三郎家文書(河内郡多功村村役人文書)	158点
45	飯島信行家文書(大般若経等宗教文書)	3点
46	青木今作家文書(都賀郡橋本村太子講関係文書)	113点
47	伊沢喜一家文書(都賀郡前原村名主文書)	240点
48	石川俊雄家文書(都賀郡大柿村名主・戸長文書)	1,197点
49	宮原功家文書(足利郡駒場村等旗本知行所文書)	95点
50	日下田実家文書(黒羽藩益子陣屋役人文書)	1,541点
51	斎藤英彦家文書(都賀郡西赤麻村修験金龍寺文書)	140点
52	篠崎昭家文書(河内郡羽牛田村庄屋文書)	1,752点
53	植木康男家文書(塩谷郡金枝村庄屋文書)	8,956点
54	松本稔家文書(那須郡寄居村名主・問屋文書)	758点
55	大島延次郎家文書(大島延次郎氏収集文書)	8,359点
56	富永慶晤家文書(河内郡成田村医師文書)	1,093点
57	矢板肇家文書(塩谷郡矢板村名主文書)	4,887点
58	石川三郎家文書(都賀郡上石川村名主文書)	3,494点
59	糸川芳雄家文書(都賀郡助谷村村役人文書)	3,371点
60	植竹文雄家文書(都賀郡壬生町修験宝蔵寺文書)	420点
61	高橋光家文書(都賀郡猪倉村稻荷大名神号許証)	1点
62	肘内区有文書(塩谷郡肘内区有文書)	1,517点
63	杉山文雄家文書(塩谷郡肘内村庄屋文書)	842点
65	川上豊家文書(那須郡成田村名主文書)	3,025点
66	益子清家文書(都賀郡亀和田村名主文書)	561点
67	大島庄平家文書(塩谷郡熊ノ木村地主関係文書)	844点
68	郡司正之家文書(河内郡関沢村組頭文書)	92点
69	伝馬町自治会文書(日光・奥州道中宇都宮伝馬町祭礼関係文書)	387点
70	小宅雄次郎家文書(芳賀郡真岡町荒町年寄関係文書)	317点
72	秋山喜兵衛家文書(河内郡町田村村役人文書)	2,996点
73	小野耕家文書(塩谷郡狭間田村庄屋文書)	421点
74	渡辺昭家文書(都賀郡栢窪村名主文書)	1点
75	五月女裕久彦家文書(河内郡下岡本村庄屋文書)	10,682点
76	鈴木敏夫家文書(河内郡下平出村庄屋文書)	184点
77	篠崎昌平家文書(宇都宮市会関係文書)	386点
78	福田輝家文書(宇都宮市会関係文書)	1,569点
79	田中ミツ家文書(宇都宮市会関係文書)	326点
80	田中次郎家文書(宇都宮市会関係文書)	647点



番号	文書名（文書の内容）	文書点数
81	榑原長和家文書（榑原好之氏収集文書）	300点
82	下平出町星宮神社文書（下平出町星宮神社関係文書）	200点
83	平池秀光家文書（平池秀光氏所蔵文書）	115点
84	吉田友三郎家文書（吉田友三郎氏収集文書）	75点
85	中田益雄家文書（都賀郡下宿村名主・戸長文書）	2,059点
86	高松健比古家文書（芳賀郡道祖土村名主・戸長文書）	1,913点
87	宇加地太嘉雄家文書（河内町白沢特定郵便局及び養蚕伝習所関係文書）	1,054点
88	廣田綱枝家文書（石那田村関係近世末・近代文書）	2,748点
89	大嶋正守家文書（宇都宮藩飯岡村地方文書）	135点
90	野口榮造家文書（安蘇郡天明宿薬物商・方面委員伝来・収集文書）	201点
91	手塚一夫家文書（宇都宮市商家文書及び俳人手塚七木関係文書）	1,967点
92	桜美林大学所蔵木村半兵衛家文書（足利・桐生の絹買継商関係文書）	308点
93	清水辰三郎家文書（芳賀郡東大島村東郷代官支配所の名主文書）	135点
94	東大島地区共有文書（芳賀郡東大島村近世末・近現代の共有文書）	322点
95	栃木県立宇都宮高等学校所蔵文書（宇都宮周辺の村の地方文書及び古書、古写本類）	226点
96	旧高松國三郎家文書（藤原町高原地区役場文書及び鶏頂山神社関係文書）	6,381点
97	杉山正五家文書（小・中・師範学校教科書類及び新聞切抜帳等）	427点
98	藤田昶家文書（宇都宮藩家老伝来文書）	1,031点
99	須田睦男家文書（昭和前期海軍関係文書）	58点
100	三澤毅家文書（都賀郡古宿村名主文書）	8,150点
101	善野佐次兵衛家文書（栃木町上町商家文書）	2,952点
102	島田嘉内家文書（安蘇郡田島村名主文書）	6,005点
103	小曾戸晶家文書（鍋山衆・鍋山村名主文書）	3,081点
104	大島治家文書（安蘇郡古江村他7カ村割元文書）	5,102点
105	高木正恵家文書（築田郡日向村名主文書）	520点
106	田島一利家文書（下都賀郡家中村関係文書）	1点
107	永井峯三家文書（都賀郡川中子村名主文書）	2,683点
108	塚原哲夫家文書（小山氏旧臣伝来文書）	31点
109	林志磨家文書（都賀郡平井村名主文書）	28点
110	小宅定一郎家文書（宇都宮氏旧臣伝来文書）	60点
111	大金重晴家文書（那須郡小口村名主伝来文書）	3,099点
112	大塚整吾家文書（芳賀郡上籠谷村役人伝来文書）	1,233点
113	柴田孝一家文書（大道寺石材現業史料）	444点
114	野澤崇晶家文書（野澤紡績所関係史料）	114点
115	菊池昇家文書（芳賀郡益子村名主文書）	487点
116	後藤清二家文書（河内郡町田村名主文書）	3,526点
117	青木益治家文書（宇都宮町穀問屋・石町名主文書）	794点
118	榑屏風岩（渡邊久子家）文書（大谷石採掘・販売関係文書）	4,243点
120	かな半旅館（志島正樹家）文書（栃木町旅館・旅館業関係文書）	3,422点
121	鈴木幸代家文書（塩谷郡後岡村名主・組頭文書）	1,003点
122	江連運家文書（都賀郡南小倉村名主文書）	1,261点
123	塚田輝夫家文書（塚田輝夫氏収集文書）	66点
124	赤羽佐介家文書（塩谷郡五十里村名主文書）	1,898点
125	大森淳家文書（都賀郡横堀村春日神社別当久遠院文書）	142点
126	関一恵家文書（都賀郡古宿村名主文書）	10,358点
127	中山贊司家資料（四代目県庁舎竣工記念文箱）	1点
128	新井常雄家文書（足尾銅山関係写真（注））	1,977点
129	上田保雄家文書（都賀郡古宿村名主文書）	305点
130	横堀卓家文書（芳賀郡祖母井村名主文書）	457点
131	入江宏家文書（下野の教訓書・石門心学関係書籍・女子教訓書・下野勤王志士関係書籍）	86点
132	小平忠一家文書（都賀郡野中村戸長文書、日清・日露戦争関係史料）	3,257点
133	大島三郎家文書（芳賀郡手彦子村名主文書）	1,865点

番号	文書名（文書の内容）	文書点数
134	中神秀夫家文書（宇都宮藩上士文書及び中神秀夫氏収集文書）	112点
135	渡辺利男家文書（芳賀郡石下村村役人文書）	110点
136	小川大平家文書（安蘇郡下洪垂村名主文書）	32,766点
137	高橋修家文書（西沢金山関係文書）	4,470点
138	印南覚一朗家文書（塩谷郡下伊佐野村上層百姓・医者文書）	505点
139	福田尚家文書（芳賀郡柳林村・柳林農社関係文書）	631点
140	大出喜明家文書（鉄砲・弓矢指南関係文書）	14点
141	佐野正司家文書（塩谷郡葛城村名主文書）	339点
142	川上吉弥家文書（塩谷郡原荻野日村名主文書）	2,009点
143	落合清家文書（河内郡川中子村名主文書）	327点
144	篠原種男家文書（河内郡上砥上村小前惣百姓文書）	56点
145	栃木県弁護士会文書（裁判関係資料）	47点
146	星野宗四郎家文書（日光山関係文書）	50点
147	赤羽幸雄家文書（下江川村役場関係文書）	258点
148	池澤裕家文書（衛生組合関係文書）	8点
149	上野虎四郎家文書（宇都宮藩本陣・問屋関係文書）	7,043点
150	植木四郎左衛門家文書（塩谷郡佐貫村材木商関係文書）	1,127点
151	竹澤涉氏収集文書（下都賀郡を中心とした村方文書）	4,095点
152	鳥海味噌文書（大正～昭和の企業家の文書）	570点
153	中山晋家文書（壬生上河岸・薪炭商関係文書）	2,103点
154	大島文男家文書（中野内村組頭・大金村伍長・村会議員関係文書）	166点
155	伊東信氏撮影写真（旧足尾町人物・風景写真）	15,488点
156	上松徹氏収集文書（板倉重晴書状）	1点
	計	文書 329,820点 写真 17,465点

（注）文書点数はフィルム数（コマ数は106,269）

## 寄贈文書

番号	文書名（文書の内容）	文書点数
寄贈101	入江正兵家文書（入江正兵氏収集文書）	92点
寄贈102	阿部憲司家文書（阿部憲司氏収集文書）	42点
寄贈103	坂入浩一家文書（芳賀郡茅塚村名主・戸長文書）	4,318点
寄贈104	小川キミ家文書（都賀郡押切村名主文書）	125点
寄贈105	手塚女家文書（都賀郡小金井宿医師文書）	58点
寄贈106	第14師団輜重隊文書（第14師団輜重隊関係文書）	11点
寄贈107	辰巳四郎家文書（辰巳四郎氏収集文書）	71点
寄贈108	東海林吉郎家文書（東海林吉郎氏収集文書）	2点
寄贈109	横尾健一家文書（県議会議員横尾輝吉氏関係文書）	2,035点
寄贈110	牧中とく家文書（吹上藩士文書）	18点
寄贈111	白仁成文家文書（第12代栃木県知事白仁武関係文書）	106点
寄贈112	伊澤一男氏旧蔵文書（薬学関係古書）	60点
寄贈113	室井豊家文書（戦中中国紀行和綴本及び日光他写真集）	433点
寄贈114	坂本治家文書（河内郡幕田村庄屋文書）	2,218点
寄贈115	黒須長市家文書（平民新聞ほか）	105点
寄贈116	釜井啓一郎家文書（大正期県議会関係文書）	85点
寄贈117	伊澤久治郎家文書（旧満州国関係写真資料）	105点
寄贈118	大塚懿子家文書（知事官房大塚正親関係文書）	134点
寄贈119	安積仰也家文書（安積得也知事夫人関係文書）	52点
寄贈120	田代善吉家文書（田代善吉氏収集文書）	3,060点

番号	文書名（文書の内容）	文書点数
寄贈 121	小貫敏尾家文書（芳賀郡小貫村戸長・村長文書）	11,048 点
寄贈 122	早尾卓家文書（東照宮禰宜早尾海雄日誌）	42 点
寄贈 123	奥田豊家文書（奥田豊氏収集文書）	221 点
寄贈 124	奥田久家文書（足利郡・芳賀郡・都賀郡等村方文書）	187 点
寄贈 125	安蘇郡・足利郡他村方文書（安蘇郡・足利郡・芳賀郡・栃木町等村方文書）	170 点
寄贈 126	塚越哲男家文書（古河鋳業足尾製作所作成諸図）	133 点
寄贈 127	大部一夫家文書（下都賀郡諸町・村文書）	68 点
寄贈 128	影山一家文書（安蘇郡中村地租改正関連文書）	7 点
寄贈 129	菊地卓家文書（菊地卓氏収集文書）	130 点
寄贈 130	篠原昭雄家文書（日光町宮大工文書）	654 点
寄贈 131	柳田恵子家文書（那須郡佐久山町医師文書）	496 点
寄贈 132	植木康晴家文書（儒教関係の古書・教科書他）	31 点
寄贈 133	米山靖正家文書（儒教関係の古書・歴史書他）	79 点
寄贈 134	江口渙家文書（江口晋六・襄関係史料）	101 点
寄贈 135	渡辺文作家文書（和書・漢籍・地図他）	308 点
寄贈 136	葛生・吉澤慎太郎家文書（吉澤石灰工業株式会社関係文書等）	2,772 点
寄贈 137	藤田好三氏収集文書（藤田好三氏収集文書）	8,102 点
寄贈 138	飯島千代吉家文書（飯島千代吉氏収集文書）	15 点
寄贈 139	大関環家文書（尋常高等小学校訓導関係史料）	152 点
寄贈 140	雨宮義人家文書（田中正造書簡等）	41 点
寄贈 141	村上安正家文書（村上安正氏作成資料）	14 点
寄贈 142	中田高音家文書（都賀郡小野寺村名主文書）	7,783 点
寄贈 143	黒川茂平家文書（河内郡屋板村戸長関係文書）	255 点
寄贈 144	石塚ヨシ家文書（河内郡上戸祭村組頭文書）	1,303 点
寄贈 145	石塚二郎家文書（那須郡興野村名主文書）	1,791 点
	計	49,032 点

## 所蔵文書

番号	文書名（文書の内容）	文書点数
201	芦谷学家文書（日光道中雀宮宿名主・本陣文書）	379 点
202	戸田忠和家文書（宇都宮藩主文書）	181 点
203	別当河原村文書（河内郡別当河原村名主文書）	17 点
204	栃木町文書（都賀郡栃木町名主文書）	135 点
205	大前村文書（足利郡大前村名主文書）	117 点
206	烏山藩主寺領寄進状（烏山藩主文書）	71 点
207	徳川将軍家朱印状（下野国内寺社宛て朱印状）	855 点
208	栃木県立図書館収集文書（佐野県・吹上県・彦根県等の文書）	107 点
209	神道裁許状（都賀郡真弓・横堀村等神社宛て文書）	59 点
210	岡田文明家文書（芳賀郡竹下村名主文書）	36 点
211	栃木県立足利図書館収集文書（栃木県立足利図書館収集文書）	98 点
301	滝沢村文書（那須郡滝沢村名主文書）	339 点
302	越名村文書（安蘇郡越名村関係文書）	296 点
303	勅語・詔書等（栃木県出納局管理課移管文書）	107 点
304	権崎村文書（足利郡権崎村関係文書）	50 点
305	上三川村文書（上三川村名主文書）	103 点
306	栃木県土木部河川課取書文書（栃木県土木部河川課からの収集文書）	18 点
307	栃木県会計課作成新旧収入証紙（栃木県会計課が作成した県収入証紙見本）	3 点

番号	文書名（文書の内容）	文書点数
308	上高島村文書（下都賀郡上高島村の明治中期の文書）	115 点
309	高瀬家文書（安蘇郡戸奈良村村役人文書）	287 点
310	秋山村文書（安蘇郡秋山村関係文書）	49 点
440	その他の史料（和書・漢籍他）	383 点
	布達（明治時代に出された行政命令）	453 点
	計	4,258 点

## イ 管理委任文書

知事が管理する公文書で、管理委任により館長が引継ぎを受けた文書。

## 管理委任文書（累計）

栃木県公文書（明治21(1888)年～昭和40(1965)年）	2,892 冊
栃木県公報（明治34(1901)年～昭和36(1961)年）	157 冊

## ウ 引継文書 5,281 冊

教育委員会が管理する公文書で、館長が引継ぎを受けた文書。

## エ 移管文書 43,739 冊

県の機関が管理する公文書で保存年限が到来したもののうち、将来貴重な歴史資料として保存する価値があるものとして館長が移管を受けた公文書。

## オ 参考図書 30,377 冊

歴史に関する図書、出版物等。

## カ 参考資料 9,014 冊

歴史に関するその他の資料。

## キ マイクロフィルム等

個人所蔵の古文書等の収集及び傷みややすい原文書の保存、利用を図るために、マイクロフィルム計4,177巻、史料写真帳計8,085冊を作成しております。

## (2) 史料所在調査

古文書等の史料の保存と今後の一層の活用を図るため、県内の史料所在調査及び目録の作成を実施しました。

令和2(2020)年度には『栃木県史料所在目録第50集』「徳川将軍家朱印状」「烏山藩主寺領寄進状」「神道裁許状」「大島三郎家文書」を刊行しました。

## (3) 教育普及事業

### ア 研修会

古文書に親しむ会

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

歴史講演会

「南北朝期の合戦の実態と情報操作」

令和2(2020)年11月16日

受講者 35名

- イ 市町文書保存担当者講習会  
令和2(2020)年10月28日 受講者28名
- ウ 授業支援  
小高5校11時間
- エ 昭和館展示解説ボランティア  
活動期間：令和2(2020)年4月～令和3(2021)年3月  
年間活動日数：0日 年間案内人数：0人  
年間活動人数：0人

**(4) 利用者等統計**

令和2(2020)年度の文書閲覧者・展示観覧者・調査相談者・見学者の利用者総数は1,460人、文書出納・複製等の総利用件数は17,296点になっています。

**表X-6 令和2(2020)年度栃木県立文書館利用者数等一覧**

開館日数	利用者		閲覧室			展示室		レファレンス	見学者
	総利用者	(入館者)	閲覧者	出納	複製	展示日数	観覧者		
日			名	点(冊)	枚	日	名	件	名
204	1,460	878	384	2,026	1,577 (13,693)	219	475	582	19

(注)複製欄( )内の数字は、写真撮影の枚数である。

**(5) 刊行物**

- ・文書館だより 第63号
- ・栃木県立文書館年報 第35号
- ・栃木県立文書館研究紀要 第25号
- ・栃木県史料所在目録 第50集

# 3 図 書 館

## ○県立図書館

栃木県立図書館は、県民の生涯学習活動を支援する場として、また情報提供の拠点として資料の整備・充実に努めています。

さらに、市町立図書館・公民館図書室との相互協力の推進と積極的な支援を行うとともに県内外図書館等と連携し、図書館活動の促進を図っています。

### (1) 図書館資料

#### ア 図書資料

令和2(2020)年度には7,804冊を収書し整理を経た結果、令和3(2021)年3月末現在の蔵書数は768,689冊になっています。(表X-7参照)

また、雑誌類1,200種、新聞70種を収蔵しています。

表X-7 分類別蔵書数 (単位：冊、%)

区分	一般用	児童用	計	前年度計	対前年比
総記	56,554	1,305	57,859	56,921	101.6
哲学	29,768	474	30,242	29,997	100.8
歴史	69,081	2,938	72,019	71,448	100.8
社会科学	113,245	2,430	115,675	114,474	101.0
自然科学	35,371	5,617	40,988	40,584	101.0
技術	33,317	1,643	34,960	34,689	100.8
産業	25,016	830	25,846	25,627	100.9
芸術	51,473	16,890	68,363	67,734	100.9
言語	12,284	631	12,915	12,853	100.5
文学	189,453	26,559	216,012	215,022	100.5
地域資料	93,645	165	93,810	91,923	102.1
計	709,207	59,482	768,689	761,272	101.0

※児童図書用の絵本は芸術に区分している。

#### イ 視聴覚資料

レコード・CD・ビデオテープ・DVD・マイクロフィルム・電子出版物等を所蔵しています。(表X-8参照)

表X-8 視聴覚資料 (単位：点、巻、セット)

種別	年間増加数	現在所蔵数
レコード	—	39,528
C D	344	9,822
ビデオテープ	—	988
D V D	154	746
音楽テープ	—	505
楽譜	2	1,881
マイクロフィルム	23	6,957
電子出版物	96	1,324

### (2) 閲覧・貸出

令和2(2020)年度の来館者総数は、35,867人で1日平均にすると140人が図書館を利用しています。

図書館資料(視聴覚資料を含む)の館外貸出し数は55,998点、このうち、個人(19,663人)への貸出しは53,727冊(95.9%)、関係機関(597団体)へ貸出しは2,271冊(4.1%)で、一日平均218冊になっています。

年齢別では0~9歳が2.0%、10~15歳が0.7%、16~22歳が9.0%、23~39歳が17.9%、40~59歳が28.5%、60歳以上が38.0%でした。

このほか、県内図書館への協力貸出し数は7,745点となっています。

なお、身体に障害があり、来館に支障のある方のため、郵送による貸出サービスも実施しています。(表X-9参照)

表X-9-ア 利用人数 (単位：人、冊)

区分	利用人数	利用冊数			
		1日平均	1日平均		
館内閲覧	35,867	139.6			
館外貸出	一般	19,663	76.5	53,727	209.1
	団体	597	2.3	2,271	8.8
	計	20,260	78.8	55,998	201.2
協力貸出				7,745	30.1

※1日平均は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と合わない場合がある。

表X-9-イ 館外貸出内訳 (視聴覚資料含む)

区分	0~9歳	10~15歳	16~22歳	23~39歳	40~59歳	60歳以上	関係機関	計
冊数	1,127	392	5,024	9,996	15,933	21,255	2,271	55,998
構成比	2.0	0.7	9.0	17.9	28.5	38.0	4.1	100

うち心身障がい者郵送貸出	126件	224冊
--------------	------	------

表X-9-ウ 分類別貸出図書数 (単位:冊、%)

区分	一般図書	児童図書	逐次刊行物	計	構成比
総記	7,203	29	1,203	8,435	16.4
哲学	1,747	67	27	1,841	3.6
歴史	4,004	112	179	4,295	8.4
社会科学	6,308	206	819	7,333	14.3
自然科学	2,872	258	151	3,281	6.4
技術	1,742	129	158	2,029	3.9
産業	1,251	65	58	1,374	2.7
芸術	2,774	3,541	519	6,834	13.3
言語	488	46	29	563	1.1
文学	10,521	2,022	282	12,825	25.0
地域資料	2,578			2,578	5.0
合計	41,488	6,475	3,425	51,388	100.0
構成比	80.7	12.6	6.7	100.0	—

※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

表X-9-エ 新規登録者数

区分	人数(人)	構成比(%)
60歳以上	98	10.6
40歳～59歳	226	24.4
23歳～39歳	242	26.2
16歳～22歳	319	34.5
10歳～15歳	21	2.3
0歳～9歳	19	2.1
個人のうち郵送貸出者	0	0.0
関係機関	0	0.0
合計	925	100.0
1日平均	3.6	

※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

(3) 調査相談

図書館では、県民から寄せられた質問に対し、図書館資料や電算処理システム等の情報検索機能を活用して調査相談に応じています。

相談件数は、年間8,030件(1日平均31件)となっています。情報化社会に対応して国立国会図書館などインターネット上で公開されている各種の情報源を活用した情報サービスを実施しています。また、インターネットを活用した蔵書検索システムや貸出し予約システム、県内公共図書館を一括して検索できる「栃木県総合目録システム」の運用を行っています。(表X-10参照)

表X-10 調査相談・コピー・マイクロフィルム・データベース (単位:件)

方法別種類	口頭	電話・FAX	メール	文書	計	一日平均
所蔵・所在調査	3,487	631	63	7	4,188	16.3
書誌・事項調査	1,932	1,218	437	255	3,842	14.9
計	5,419	1,849	500	262	8,030	31.2
コピーサービス	マイクロフィルム利用		データベース利用			
1,927件	26,043枚	145件	340巻	117件		3,488分

※1日平均は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と合わない場合がある。

(4) 視聴覚資料

視聴覚資料の利用状況は、CD貸出が4,005枚、楽譜等が140点、館内での鑑賞利用が28人となっています。

年数回、館内ホールで県内在住等の演奏家・音楽家による県民ライブコンサートを開催しています。

(表X-11・13参照)

表X-11 視聴覚資料

貸出内容	レコード	281枚
	C D	4,005枚
	ビデオテープ	0本
	D V D	0枚
	C D - R O M	0枚
	音楽テープ	0本
	楽譜等	140点
	付属	25点
貸出点数		4,610点
館内鑑賞人数		28人

(5) 図書館間相互協力と協力車

県立図書館は、市町立図書館・公民館図書室等と資料の相互貸借などを行い、協力車や宅配により、県民の多種・多様な要望に対応しています。

協力車は、県内の3コースに分け、週3回巡回し、相互貸借、業務の相談を行っています。また、県立図書館にない資料は、国立国会図書館と連携協力し、利用者に提供しています。(表X-12参照)

表X-12 図書館相互協力 (単位:日、冊、件)

協力車巡回回数	図書資料貸出冊数	視聴覚資料貸出数	調査相談件数	国立国会図書館借用図書冊数
152	33,623	3,689	76	8



表X-13 県立図書館主催事業一覧

事業名	内容	開催日	参加者数
図書館活用講座		中止※	-
図書館情報発信事業	ロビーで本の紹介や情報を提供 ・こどもの読書週間関連展示 「国際アンデルセン賞受賞作家作品展示」 ・こだわりのトチノキ学-栃木県と「トチノキ」他- ・創造の翼を広げて-書物でめぐる世界の旅- ・文芸講演会関連展示 秋季全国火災予防運動関連展示 ・とちぎの魅力再発見!~県立図書館のレファレンス事例より~ ・東日本大震災から10年関連展示 ・春季全国火災予防運動関連展示	4月~5月 6月~7月 7月~9月 10月~11月 11月~2月 2月~3月	/
	文書館、美術館、博物館等との連携企画展示(地域資料室) ・美術館連携企画「親と子で見る世界の美術」 ・博物館連携企画「偉大なる無名画家 小泉斐」 ・美術館連携企画「45分で栃木一周」 ・博物館連携企画「貝ってすてき!~美しい貝、美味しい貝、とちぎの貝、大集合~」 ・美術館連携企画「竹の息吹-人間国宝 勝城蒼鳳と藤沼昇を中心に」 ・博物館連携企画「ちょっとディープな日光の自然ガイド」 ・美術館連携企画「栃木における南画の潮流 -文晁から魯牛まで」 ・文書館連携企画「戦国時代の北関東を巡る争い」	4月~6月 4月~6月 7月~9月 10月~12月 10月~12月 1月~3月 1月~3月 2月~3月	
文芸講演会	「とちぎ教育の日」生涯学習フェスティバルの一環として、県民の読書活動の推進のため、著名な文学家を招いて講演会を実施した。	11月25日	75人
子どもの読書ボランティア指導者スキルアップ研修	子どもの読書活動推進ボランティア指導者のさらなるスキルアップを中心とした研修事業を実施した。	3月9日 3月11日	9人
県民ライブコンサート		中止※	-
出張展示	とちぎ健康の森フェス2020	中止※	/
	創業希望者交流サロン(創業塾・基礎編)	6月27日 7月11日 7月25日	
	高次脳機能障害セミナー「高次脳機能障害の方への『困りごと』への対応」	中止※	
	発達障害セミナー「思春期・青年期の発達障害と二次障害の予防と対応」	中止※	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため



# 4 青年の家

青年の家は、健全な青年の育成を図るために団体宿泊訓練を通じて、次のことを目的とする社会教育施設です。

- ① 規律、協同、友愛及び奉仕の精神を涵養する。
- ② 自立性、責任感及び実行力を身につける。
- ③ 相互の連帯意識を高め、郷土愛の精神を培う。
- ④ 教養の向上、情操の純化及び体力の増進を図る。

(表X-14~16 参照)

## ○芳賀青年の家

陶器の里益子の南東、高館山の中腹にあり、益子県立自然公園の鮮やかな松の緑、西明寺周辺の重要文化財など文化の芸術の香り高い心休まる環境にあります。

施設は、身障者利用への工夫と配慮、益子焼を楽しめる陶芸室・視聴覚室等が設置されています。

表X-14 主催事業一覧

令和2(2020)年度

事業名	実施日	参加者数
キッズ体験隊①	5月9日	中止※
キッズ体験隊②	9月5日	42人
キッズ体験隊③	10月3日	22人
やさしい草木染め	7月4日～5日	中止※
とちぎユースボランティア研修会 in 芳賀	8月5日～7日	中止※
親子で楽しむ芸術の秋、読書の秋	10月24日～25日	58人
雨巻山登山①	11月6日	20人
雨巻山登山②	3月6日	32人
楽しく作る益子焼①	11月14日	22人
楽しく作る益子焼②	11月28日	22人
楽しく作る益子焼③	12月5日	22人
親子で楽しむ体験ツアー(博物館編)	11月21日～22日	31人
親子で楽しむ体験ツアー(美術館編)	12月12～13日	25人
ろくろで作る益子焼①	1月9日	14人
ろくろで作る益子焼②	1月10日	14人
ろくろで作る益子焼③	1月16日	中止※
ろくろで作る益子焼④	1月30日	中止※
ろくろで作る益子焼⑤	3月13日	14人
計		338人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

表X-15 利用状況

(単位：日、人、%)

区分	年度	平成	27(2015)	28(2016)	29(2017)	30(2018)	令和	2(2020)
		26(2014)	年度	年度	年度	年度	元(2019)	年度
	年度※1	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
開所日数	309	317	311	309	309	283	262	
宿泊可能日数	259	268	269	251	256	235	208	
芳賀 定員 (150)	利用日数	193	218	204	193	186	161	49
	実利用者数	6,522	7,653	6,448	6,559	5,987	5,368	1,675
	延利用者数	9,976	11,826	10,011	10,013	9,166	8,252	1,844
	延宿泊者数	3,451	4,232	3,565	3,454	3,179	2,854	164
	利用率	21.5	24.9	21.5	21.6	19.8	19.4	4.7
	宿泊利用率	8.9	10.5	8.8	9.2	8.3	8.1	0.5

※ 1 規則に定められた青年の家の休所日は、「国民の祝日に関する法律」に規定する休日、年末年始、第三日曜日の翌日を除く月曜日、及び第三日曜日である。

2 実人員、延人員、延宿泊人員：10人の団体が2泊3日で利用した場合、実人員10、延人員30、宿泊人員20となる。

延利用人員

3 利用率 (%) =  $\frac{\text{延利用人員}}{\text{開所日数} \times \text{定員}} \times 100$

延宿泊者数

宿泊利用率 (%) =  $\frac{\text{延宿泊者数}}{\text{宿泊可能日数} \times \text{定員}} \times 100$

表X-16 利用団体の種類別利用者数、団体数

令和2(2020)年度

青年の家の名称 団体別	芳賀	
	(団体数)	
	実人員(人)	構成比(%)
勤労青少年	1	
	22	1.3
学生生徒	9	
	531	31.7
指導者	0	
	0	0
その他	34	
	1,122	67.0
計	44	
	1,675	100.0

- ※ 1 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と合わない場合がある。  
2 その他の団体とは、趣味の会、研究会等である。

## 5 少年自然の家

明日の社会を担う青少年、とくに感受性に富んだ子どもにとって大自然に触れ合うことは自然に親しむ機会が日ごとに少なくなっている現在きわめて重要であります。

少年自然の家は、子どもを大自然に親しませ、恵まれた自然環境の中で、自然探究やのびのびとした野外活動を通じて身体を鍛えるとともに豊かな情操を養い、集団宿泊生活を通じて学校や家庭では得難い体験(自律、協同友愛、奉仕等の尊さ)を学習させることを目的とする社会教育施設です。

### ○太平少年自然の家

「陸の松島」といわれる美しい自然と、太平山神社をはじめ大中寺、大山寺、六角堂などの文化財に恵まれた太平県立自然公園内に、栃木県として初めて建設された少年自然の家です。

施設には200mm屈折式天体望遠鏡が設置されており、天体観測には絶好の環境です。

表X-17 主催事業一覧

令和2(2020)年度

事業名	実施日	参加者数
利用団体担当研修会(前期)	4月14日	21人
利用団体担当研修会(後期)①	8月12日	28人
利用団体担当研修会(後期)②	8月18日	25人
わくわくハッピーピザ作り	4月25日	中止※
わくわくハッピーピザ作り	4月26日	中止※
わくわくハッピーピザ作り	12月5日	30人
わくわくハッピーピザ作り	12月6日	34人
ファミリーデー 春	5月2日～3日	中止※
ファミリーデー 秋	9月19日～20日	中止※
天体観望会	7月25日	中止※
天体観望会	7月26日	中止※
天体観望会	1月23日	中止※
天体観望会	2月6日	中止※
どきどきキャンプ	8月8日～10日	中止※
太平山ハイクとぶどう狩り	8月29日	中止※
踏破だ! 太平山	10月31日	20人
とびっきり! 門松づくり	12月19日	中止※
とびっきり! 門松づくり	12月20日	中止※
たき火のつどい	1月9日	中止※
たき火のつどい	1月23日	中止※
たき火のつどい	2月6日	中止※
たき火のつどい	2月20日	中止※
ゲッタークンふれあいまつり	2月23日	中止※
とちぎを知ろう!	3月6日～7日	中止※
計		158人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

表X-18 利用状況

(単位：日、人、%)

区分	年度	平成	27(2015)	28(2016)	29(2017)	30(2018)	令和	2(2020)
		26(2014) 年度	年度	年度	年度	年度	元(2019) 年度	年度
開所日数		305	296	291	294	292	269	232
宿泊可能日		270	147	208	225	225	199	180
太 平 定 員 (200)	利用日数	261	198	240	235	224	214	102
	実利用者数	12,047	10,725	12,431	12,473	13,466	10,803	3,576
	延利用者数	20,354	18,045	20,758	20,830	22,245	18,912	4,675
	延宿泊者数	8,062	7,024	7,992	8,311	8,737	8,000	1,075
	利 用 率	33.4	30.5	35.7	35.4	38.1	35.2	10.1
	宿泊利用率	14.9	23.9	19.2	18.5	19.4	20.1	3.0

※ 1 実・延人員、利用率等の語句の解説は、4 青年の家 ※ 1～3を参照。

2 規則に定められた少年自然の家の休所日は、日曜日と「国民の祝日に関する法律」に規定する休日、及び年末年始である。

表X-19 利用者団体の種類別利用者数、団体数

令和2(2020)年度

少年自然の家の名称	太平	
	(団体数)	構成比 (%)
団体別	実人員 (人)	構成比 (%)
小学校	59	79.1
	2,830	
中学校	0	0.0
	0	
少年団体	4	7.6
	273	
その他	36	13.2
	473	
計	99	100.0
	3,576	

※ 1 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と合わない場合がある。

2 その他の団体とは、趣味の会、子ども会、育成会、学童野球、幼稚園等である。

## 6 とちぎ海浜自然の家

とちぎ海浜自然の家は、海浜の広大な自然環境の中で、宿泊を伴う多様な団体活動を行う場を県民に提供することにより、青少年の健全な育成を図るとともに、生涯学習の充実に資するため、茨城県銚田市に設置した生涯学習関連施設です。

特に、海のない栃木の子どもたちに、海の自然や海にかかわる産業、文化について学習できる「海の分教場」として、また広く各種団体等の「生涯学習の場」として利用されることをねらいとしています。

施設には、18ha の敷地に宿泊施設、学習館、スポーツレクリエーション施設等を配置し、周辺の海岸の自然環境や漁業施設等も学習資源として取り入れた幅広い体験的な宿泊学習が展開できるように配慮しています。

平成18(2006)年度から指定管理者制度を導入しました。

### 施設の概要

施設名	内容
学習館	学習室、展示室、オープンスペース、実習室等
生活館	宿泊施設（収容人員400人）
スポーツ館	屋内活動施設 （体育館アリーナ、プレイホール、温水プール等）
屋外施設	スポーツ、レクリエーションブロック （スポーツ広場、大アスレチック広場等）
	自然生活体験ブロック （ロッジ、キャンプ場、野外調理場等）
	自然観察体験ブロック （自然体験林、水の広場等）

表X-20 主催事業一覧

令和2(2020)年度

事業名	実施日	参加者数
海釣り入門	5月9日～10日	中止※
海浜の旬・メロン①	5月30日～31日	中止※
海浜の旬・メロン②	6月6日～7日	83名
利用団体指導者等研修	6月23日	19名
海浜夏まつり	7月4日～5日	125名
山の子・海の子ファミリーキャンプ	8月29日～30日	126名
カニ釣りわくわくキャンプ	10月10日～11日	中止
海浜秋まつり	10月31日～11月1日	161名
海浜の初日の出	12月31日～1月1日	138名
海浜冬まつり	1月23日～24日	中止※
海浜ものづくり	2月13日～14日	中止※
水族館バックヤードツアー	3月6日～7日	51名
計		703名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

表X-21 利用状況

(単位：日、人、%)

区分		年度	平成 26(2014) 年度	27(2015) 年度	28(2016) 年度	29(2017) 年度	30(2018) 年度	令和 元(2019) 年度	2(2020) 年度
		開所日数	353	351	335	341	334	313	289
宿泊可能日	338	335	305	314	304	281	261		
定員 (400)	利用日数	300	311	301	305	296	265	157	
	実利用者数	25,875	27,157	25,826	26,335	25,329	26,173	7,819	
	延利用者数	67,250	69,165	66,094	67,575	65,231	65,764	15,732	
	延宿泊者数	41,248	41,981	40,368	41,337	39,555	39,519	7,887	
	利用率	47.6	49.3	49.3	49.5	48.3	52.5	13.6	
	宿泊利用率	30.5	31.3	33.1	32.9	32.5	35.2	7.6	

表X-22 団体別利用者数・団体数

令和2(2020)年度 (単位：団体、人)

団体別	幼稚園 小学校	中学校	高等学校	大学等	特別支援 学校	社会教育 団体等	公共 団体等	企業	主催事業	計
団体数	110	6	0	0	1	75	2	1	7	202
(%)	(54.5)	(3.0)	(0.0)	(0.0)	(0.5)	(37.1)	(1.0)	(0.5)	(3.5)	(100.0)
実人員	5,464	251	0	0	25	1,188	40	13	703	7,684
(%)	(71.1)	(3.3)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(15.5)	(0.5)	(0.2)	(9.1)	(100.0)

## 7 なす高原自然の家

なす高原自然の家は、那須高原の豊かな自然と触れ合う機会の拡大を図るとともに、青少年の団体宿泊訓練をはじめとする県民の多様な団体活動を支援することにより、青少年の健全育成と生涯学習の振興に資するため、平成16(2004)年4月に設置した生涯学習関連施設です。

青少年の豊かな感性と温かい心を養い育む青少年教育施設の機能を継承しながら、広く県民の体験・交流・学習の場として利用できます。

また、県民の皆様に、より親しんでいただけるよう施設の愛称を公募し、那須高原のさわやかな風のイメージとして「ウインディなす」としています。

平成18(2006)年度から指定管理者制度を導入しました。

### 施設の概要

定員	200人	小研修室	3室
宿泊室	40室	体験プラザ	1棟
大研修室	1室	体育館	1棟
中研修室	2室		

表X-23 主催事業一覧

令和2(2020)年度

事業名	実施日	参加者数
利用団体指導者研修	5月12日	中止※
ふれあい登山教室in 那須連峰①	8月8日～9日	40名
ふれあい広場	8月29日～30日	38名
ふれあい登山教室in 那須連峰②	9月12日～13日	中止
ふれあい登山教室in 那須連峰③	10月3日～4日	30名
わくわく体験デー	10月25日	36名
こどもチャレンジキャンプ	11月7日～8日	30名
クリスマスファミリーデー	12月12日～13日	86名
なすエンジョイツアー①	1月9日～10日	34名
冬のファミリーデー①	1月25日～26日	中止※
冬のファミリーデー②	2月15日～16日	中止※
なすエンジョイツアー②	3月13日～14日	46名
計		340名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

表X-24 利用状況

(単位：日、人、%)

区分	年度	平成	27(2015)	28(2016)	29(2017)	30(2018)	令和	2(2020)
		26(2014)	年度	年度	年度	年度	元(2019)	年度
開所日数		336	336	335	333	335	307	317
宿泊可能日		285	281	285	294	308	260	292
定員 (200)	利用日数	264	265	254	259	264	234	118
	実利用者数	16,231	15,571	15,484	15,811	16,719	14,294	4,400
	延利用者数	35,818	33,378	33,380	34,598	35,658	30,575	6,519
	延宿泊者数	19,587	18,310	17,916	18,534	18,791	16,287	2,063
	利用率	53.3	49.7	49.8	51.9	53.2	49.8	10.3
	宿泊利用率	34.4	32.6	31.4	31.5	32.5	31.3	3.5

表X-25 団体別利用者数・団体数

令和2(2020)年度 (単位：団体、人)

団体別 区分	幼稚園 小学校	中学校	高等学校	大学等	特別支援 学校	社会教育 団体等	公共 団体等	企業	主催事業	計
団体数	57	7	3	3	4	0	3	3	74	154
(%)	(37.1)	(4.5)	(1.9)	(1.9)	(2.6)	(0.0)	(1.9)	(1.9)	(48.2)	(100.0)
実人員	3,578	897	189	92	108	0	87	465	182	5,598
(%)	(63.9)	(16.0)	(3.4)	(1.6)	(1.9)	(0.0)	(1.6)	(8.3)	(3.3)	(100.0)



# 8 体 育 館

栃木県体育館は、県民総スポーツ普及推進の拠点として、一般貸館業務とスポーツ教室等の自主事業を実施し、広く県民に利用されております。

総合スポーツゾーンの整備にあわせ、令和元(2019)年11月2日に武道館競技場、令和3(2021)年3月31日に本館・別館・プール館が廃止となりました。現在、弓道場・武道館会議室が利用されています。

令和2(2020)年度の利用者数は、65,458人です。

## (1) 施設規模

ア 場 所 宇都宮市中戸祭1丁目6番3号

イ 延床面積 武道館2,092㎡、弓道場463㎡

ウ 弓道場、近的(8人立ち)131㎡、遠的(6人立ち)182㎡、武道館会議室

## (2) 利用状況

表X-26

(単位：人)

	本館	別館	プール館	武道館 (会議室)	弓道場	合 計
4月	354	157	0	16	71	598
5月	1,418	349	545	0	201	2,513
6月	1,930	835	1,397	0	531	4,693
7月	2,626	992	1,886	0	490	5,994
8月	2,905	876	2,630	46	404	6,861
9月	3,894	1,049	2,436	361	507	8,247
10月	3,131	1,444	2,427	366	435	7,803
11月	5,246	1,325	2,522	386	486	9,965
12月	2,750	1,183	2,519	456	392	7,300
1月	650	195	540	116	100	1,601
2月	828	263	719	44	82	1,936
3月	3,827	1,191	2,292	172	465	7,947
今年度計	29,559	9,859	19,913	1,963	4,164	65,458
前年度	57,742	20,478	37,890	31,838	11,307	159,255
前年比	51.19%	48.14%	52.55%	6.17%	36.83%	41.10%

## 9 日光霧降 アイスアリーナ

日光霧降アイスアリーナは、県民総スポーツの推進の一環としてスケートの普及や競技力の向上を図るため、大規模大会の開催も可能な最新の設備と機能を備えた通年型の屋内スケートリンクとして、広く県民に利用されているほか、2007IIHF 世界女子アイスホッケー選手権大会や、アイスホッケーアジアリーグの試合などに利用されています。

### (1) 施設規模

ア 場 所 日光市所野 2854 番地先  
イ 屋内リンク 30m × 60m (国際規格)  
ウ 観 客 席 2,000 席

### (2) 利用状況

(単位：人)

区分	利用者数
普通利用	891
専用利用	27,833
計	28,724

※観覧者を含む。

## 10 グリーンスタジアム

栃木県グリーンスタジアムは、県民総スポーツの推進の一環としてサッカー・ラグビーの振興や競技力の向上を図るため、大規模大会の開催も可能な本格的なサッカー・ラグビー場として、平成5(1993)年6月にオープンし、県内外の各種大会や、サッカー天皇杯、Jリーグの試合などに利用されています。

### (1) 施設規模

ア 場 所 宇都宮市清原工業団地 32 番  
イ メイングラウンド 11,304 m<sup>2</sup> (天然芝)  
収容人員 14,699 人  
大型映像装置 1 基  
ウ サブグラウンド 9,750 m<sup>2</sup> (人工芝)  
電光式得点掲示板 1 基

### (2) 利用状況

(単位：人)

区分	利用者数
グラウンド利用	38,069
会議室利用	6,596
観客数	42,876
計	87,541

# 11 県南体育館

栃木県立県南体育館は、県南地域の中核的な体育施設として、健康・体力づくりや教養文化活動などが行える多様な機能と設備を備え、国際大会や全国大会の開催も可能な施設として平成5(1993)年7月にオープンしました。全国高等学校総体のバスケットボール会場として利用されたほか、県内の各種スポーツ大会に大いに利用されています。

## (1) 施設規模

- ア 場 所 小山市外城 371 番地 1
- イ 延床面積 9,997 m<sup>2</sup>、鉄筋コンクリート造一部鉄骨 2 階、全館冷暖房
- ウ メインアリーナ 1,900 m<sup>2</sup>、サブアリーナ 735 m<sup>2</sup>、剣道場 540 m<sup>2</sup>、柔道場 450 m<sup>2</sup>、トレーニング室、幼児体育室、研修室ほか

## (2) 利用状況

表X-27

(単位：人)

	メインアリーナ	サブアリーナ	剣道場	柔道場	トレーニング室	研修室	クライミングウォール	幼児体育室	合計
4月	0	0	32	0	0	12	0	0	44
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	57	0	0	0	0	0	57
7月	135	91	243	84	156	192	0	0	901
8月	259	207	229	25	315	34	0	0	1,069
9月	1,312	354	583	216	397	212	0	0	3,074
10月	4,148	697	932	246	448	83	0	0	6,554
11月	2,694	1,140	968	355	447	124	0	0	5,728
12月	3,174	1,065	639	275	244	229	0	0	5,626
1月	931	269	199	44	90	51	0	0	1,584
2月	210	177	102	32	433	41	0	0	995
3月	2,995	1,135	439	274	202	73	0	0	5,118
今年度計	15,858	5,135	4,423	1,551	2,732	1,051	0	0	30,750
前年度	119,724	15,343	22,299	16,814	13,836	10,406	247	388	199,057
前年比	13.25%	33.47%	19.83%	9.22%	19.75%	10.10%	0.00%	0.00%	15.45%

# 12 県 北 体 育 館

栃木県立県北体育館は、県北地域の中核的スポーツ施設として、平成8(1996)年7月にオープンしました。メインアリーナ、武道場、トレーニング室など体育館としての機能のほかに、文化活動にも活用できる最新の設備も兼ね備えており、国際大会や全国大会の開催など、幅広い利用が可能な施設です。

## (1) 施設規模

- ア 場 所 大田原市美原3丁目2番62号
- イ 延床面積 9,997.53 m<sup>2</sup>、鉄筋コンクリート2階  
建一部鉄骨造、全館冷暖房完備、電光掲示板
- ウ メインアリーナ2,000 m<sup>2</sup> (観客席2,054席)、サブアリーナ770 m<sup>2</sup>、武道場992 m<sup>2</sup>、トレーニング室294 m<sup>2</sup>、研修室、幼児体育室ほか

## (2) 利用状況

表X-28

(単位：人)

	メインアリーナ	サブアリーナ	武道場	トレーニング室	研修室	幼児体育室	視察見学	合計
4月	309	161	59	0	68	0	2	599
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	1,066	748	516	0	281	0	0	2,611
7月	1,701	885	608	374	399	86	0	4,053
8月	2,158	1,045	752	416	379	70	0	4,820
9月	4,820	1,747	248	542	155	72	0	7,584
10月	16,784	1,342	554	588	341	96	0	19,705
11月	23,869	10,968	331	568	424	73	0	36,233
12月	3,825	1,392	326	554	256	55	0	6,408
1月	378	311	39	178	8	16	0	930
2月	282	223	87	126	78	36	0	832
3月	705	1,634	917	573	333	130	0	4,292
今年度計	55,897	20,456	4,437	3,919	2,722	634	2	88,067
前年度	195,097	44,607	17,877	13,153	11,625	3,883	0	286,242
前年比	28.65%	45.86%	24.82%	29.80%	23.42%	16.33%	-	30.77%

## 13 温水プール館

温水プール館は、県民総スポーツの推進・県民ひとり1スポーツの一環として、県民の健康の増進や水泳競技の普及、競技力の向上を図るため整備され、平成12(2000)年10月にオープンしました。

県内初の50メートル10コース・25メートル6コース公認プールを併設する通年利用可能な屋内温水プールとして、大規模大会の開催や県民のレクリエーション等、広く県民に利用されています。

### (1) 施設の概要

ア 場 所 小山市外城371番地1

イ 延床面積 7,494.75 m<sup>2</sup>鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上3階

ウ 50m 公認プール (10コース)

25m 公認プール (6コース、障害者配慮スロープ付き)

ジャグジー、採暖室、更衣室、観覧席  
(椅子席1,000席、障害者用席5席分)  
会議室 (4室)

### (2) 利用状況

(単位：人)

区分	利用者数
普通利用	10,158
専用利用	8,765
会議室利用	1,866
計	20,789

## 14 ライフル射撃場

ライフル射撃場は、昭和55(1980)年の栃の葉国体を機に昭和54(1979)年7月にオープン、さらには昭和60(1985)年2月に大口径射撃場もオープンしました。

本県のライフル競技の拠点として、ライフル射撃の競技はもとより練習にも大いに利用され、県民体育のスポーツ振興・競技力の向上に寄与してきました。

平成16(2004)年10月から一時休止中ですが、令和4(2022)年の「いちご一会とちぎ国体」開催に向け、現在、環境整備事業を実施中です。

### (1) 施設の概要

ライフル射撃場

小口径ライフル射場 (射程50m) 28射座

エアライフル射場 (射程10m) 26射座

大口径ライフル射場 (射程50m・100m) 5射座

(注)ランニングボア射場兼用

## 15 県体育館分館

県体育館分館は、ボクシング競技の利用を中心として、地域スポーツから全国レベルの大会まで幅広い利用を促進し、スポーツの普及振興を図るために整備され、平成 18(2006)年 7 月にオープンしました。

### (1) 施設の概要

ア 場 所 宇都宮市今宮 4-7-38  
イ 延床面積 1,288 m<sup>2</sup>

### (2) 利用状況

(単位：人)

区分	利用者数
普通利用	447
専用利用	6,813
計	7,260

## 16 総合運動公園 北・中央エリア

総合運動公園は、昭和 27(1952)年にオープンし、長年にわたり県民体育のスポーツ振興・競技力の向上に寄与してきました。

県では、「県民に愛され、県民が誇れる、県民総スポーツの推進拠点」となる「総合スポーツゾーン」の整備を進め、北・中央エリアの新規施設として令和元(2019)年 11 月に武道館、令和 2(2020)年 8 月にカンセキスタジアムとちぎがオープンしました。他にも第 2 陸上競技場、サッカー・ラグビー場、テニスコート、野球場など幅広い利用が可能な施設となっています。

### (1) 施設の概要

ア 場 所 宇都宮市西川田 4-1-1

イ カンセキスタジアムとちぎ (日本陸上競技連盟  
第 1 種公認陸上競技場兼 J リーグ施設  
基準サッカー場、会議室、ラウンジ)

第 2 陸上競技場 (第 3 種公認陸上競技場、芝フィールド、会議室)

野球場 (本球場) (硬式野球場 1 面、会議室)

野球場 (野球場 A、野球場 B、野球場 C)

ウォームアップ場

テニスコート (16 面、会議室)

サッカー場・ラグビー場 (サッカー場 3 面、ラグビー場 1 面、会議室)

水泳場 (令和 2(2020)年 10 月廃止)

合宿所 (令和 2(2020)年度改修)

相撲場

武道館 (第 1 道場、第 2 道場、弓道場 (近的射場)、会議室、師範室、控室ほか)



## (2) 利用状況

表X-29

	陸上競技場	第2陸上 競技場	野球場 (本球場)	野球場 (A、B、C)	ウォームアッ プ場	サッカー場	ラグビー場	テニスコート
4月	0	551	450	366	120	0	0	1,419
5月	0	1,251	100	375	0	0	0	3,561
6月	0	1,379	195	424	0	0	0	2,608
7月	0	2,357	2,559	1,430	200	62	0	3,808
8月	7,200	5,468	3,825	4,086	600	560	0	4,557
9月	4,604	4,118	4,220	2,560	520	890	50	4,847
10月	4,752	1,376	930	1,790	100	245	470	4,005
11月	8,258	8,079	665	487	20	420	180	4,422
12月	24,348	768	0	110	0	400	350	4,236
1月	134	0	0	33	0	0	0	1,099
2月	5,539	0	0	99	0	0	0	957
3月	11,310	2,702	0	252	0	160	100	3,789
今年度計	66,145	28,049	12,944	12,012	1,560	2,737	1,150	39,308
前年度	0	52,971	34,130	22,923	3,390	9,545	2,852	25,129
前年比	—	52.95%	37.93%	52.40%	46.02%	28.67%	40.32%	156.42%

	水泳場	合宿所	相撲場	武道館	合計
4月	0	0	0	49	2,955
5月	79	0	0	123	5,489
6月	165	0	0	507	5,278
7月	204	0	0	645	11,265
8月	307	0	0	1,165	27,768
9月	220	0	50	1,509	23,588
10月	0	0	0	3,845	17,513
11月	0	0	0	3,685	26,216
12月	0	0	0	3,594	33,806
1月	0	0	0	841	2,107
2月	0	0	0	1,399	7,994
3月	0	0	0	4,364	22,677
今年度計	975	0	50	21,726	186,656
前年度	918	416	694	15,364	168,332
前年比	106.21%	0.00%	7.20%	141.41%	110.89%

# 17 とちぎスポーツ 医科学センター

とちぎスポーツ医科学センターは、本県のスポーツに関する競技水準の向上を図るため、令和4(2022)年のいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を契機に令和2(2020)年5月にオープンしました。

## (1) 施設の概要

ア 場 所 宇都宮市西川田4-1-1  
カンセキスタジアムとちぎ内

### イ 業務内容

アスリートチェック (体力測定)  
パフォーマンス分析 (動作分析)  
トレーニング・リハビリテーションサポート  
栄養サポート  
心理サポート  
医事相談  
講習

## (2) 利用状況

(単位：人)

区分	利用者数
体力測定	3,059
動作分析	53
トレ・リハ	1,164
栄養サポート	230
心理サポート	179
医事相談	23
講習	34
計	4,742

# 18 埋蔵文化財センター

埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の保存・活用、調査研究等のため、埋蔵文化財事業の中核施設として平成3(1991)年4月1日に下野市(旧国分寺町)に開設しました。

平成27(2015)年度から新たに常設展示室を開設し、令和2(2020)年度は普及事業、開発に伴う埋蔵文化財発掘調査事業、資料の管理、研修事業等を実施しました。

## 1 埋蔵文化財発掘調査事業

遺跡の発掘調査

県教育委員会重要遺跡等調査事業	1件
国・県・市町の開発事業に伴う調査事業	9件
市の遺跡分布調査事業	1件
合計	11件

## 2 資料管理業務

(1) 遺跡台帳整備 524件

### (2) 遺物・写真・図面等管理

ア 遺物の再整理及び収納

1 遺跡、遺物162箱分

イ 写真・図面等の再整理及び収納

1 遺跡、写真アルバム38冊

ウ 写真デジタル化 1,000カット

(3) 図書管理 新着 639冊、貸出 1,892冊

## 3 情報収集提供業務

### (1) 資料貸出

遺物	16件	2,043点
写真	16件	47点
図面	0件	0点
その他	49件	1,492点

### (2) 情報誌等の発行

埋蔵文化財センターだより 2回発行 計 8,000部

壁新聞 1回発行 計 1,000部

発掘調査成果情報誌 2遺跡分 計 4,000部

その他、リーフレット・パンフレット発行

### (3) 情報収集

## 4 普及業務

### (1) 埋蔵文化財センター一般公開

4月1日～3月31日	展示観覧	1,465人
	勾玉づくり	66人
	バックヤードツアー	47人
	合計	1,578人

### (2) 埋蔵文化財センター特別公開

8月21日～8月24日 参加者 287人

### (3) 特集展示

10月11日～12月11日 観覧者 352人

講演会 10月25日 参加者 33人

### (4) 施設見学

11校 308人

2団体 17人

### (5) 職場体験

0校 0人

### (6) 講師派遣

22回 737人

(7) 発掘調査報告会 10月25日 参加者 34人

### (8) 発掘調査現地説明会

一般県民対象 2遺跡 参加者 224人

その他 1遺跡(2回) 18人

### (9) 栃木県フェア出展

パネル展示

1月14日～18日

### (10) 県庁企画展示コーナー出展

展示 2月1日～2月19日

### (11) 史跡見学会

9月27日 参加者 20人

### (12) 市町連携事業

講師派遣 5件 81人

展示 2件

## 5 研修業務

### (1) 埋蔵文化財活用のための基礎講座(教員等対象)

8月6日～8月7日 出席者 20人

## 19 その他の機関・団体

### (1) 教育研究所

前記の栃木県総合教育センターのほかに、各市町又は地区に、下記のように教育研究所が設置され、それぞれ教育に関する調査研究や教材開発、教員研修などを行い、本県教育の推進に貢献しています。

- ・ 栃木県連合教育会
- ・ 宇都宮市教育センター
- ・ 上三川町教育研究所
- ・ 鹿沼市総合教育研究所
- ・ 栃木市教育研究所
- ・ 小山市立教育研究所
- ・ 下野市教育研究所
- ・ 矢板市教育研究所
- ・ さくら市教育研究所
- ・ 佐野市教育センター
- ・ 足利市立教育研究所

### (2) 教育研究会

小・中・高等学校教職員の自主的な教育研究集団として、下記のように教育研究会が結成され、日常の教育活動に密着した活発な研究活動を行っています。

- ・ 栃木県小学校教育研究会 19部会 8支部
- ・ 栃木県中学校教育研究会 18部会 8地区
- ・ 栃木県高等学校教育研究会 26部会

# <資料編>

## 凡 例

- 1 国立の学校には、国立大学法人及び独立行政法人国立高等専門学校機構の設置する学校を含んでいます。
- 2 独立行政法人国立青少年教育振興機構は国立の社会教育施設、また、国立大学法人の設置する博物館相当施設は国立の文化施設に分類しています。
- 3 構成比等の割合は、百分率（％）で表し、小数第2位を四捨五入しています。したがって、各数値の計が小計及び合計（100.0％）とは一致しない場合があります。
- 4 学校基本調査を資料とする統計表等の符号

符 号	内 容
—	計数がない項目
・・・	調査していない項目

（編集に当たって用いた主な資料）

学校基本調査 令和2（2020）年 5月 1日現在

公立学校教員構成調査 令和2（2020）年 5月 1日現在

学校保健統計調査 令和2（2020）年度

地方教育費調査 令和2（2020）年度

なお、この他の資料はできるだけ最新のものを用いています。

## <資料編>

### 1 概 況

- (1) 県内教育関係施設一覧 …………… 1
- (2) 学校数の推移 …………… 2
- (3) 上級学校進学率の推移 …………… 2
- (4) 本務教員数の推移 …………… 2
- (5) 公立学校教育費の推移 …………… 3
- (6) 公立学校における在学(園)者1人  
当たりの学校教育費 …………… 3
- (7) 大学・短大・高校等位置図 …………… 4
- (8) 社会教育・文化施設位置図 …………… 5
- (9) 体育館・プール位置図 …………… 6
- (10) 主要史跡等位置図 …………… 7

### 2 教育委員会等

- (1) 歴代教育委員及び教育長 …………… 8
- (2) 教育事務所位置・管轄区域図 …………… 10

### 3 幼児教育

- (1) 国・公立幼稚園一覧 …………… 11
- (2) 国・公立幼保連携型認定  
こども園一覧 …………… 11
- (3) 幼稚園学級数 …………… 11
- (4) 保育所数及び定員 …………… 11
- (5) 幼保連携型認定こども園数  
及び定員 …………… 11

### 4 義務教育

- (1) 私立小・中学校一覧 …………… 12
- (2) 小・中学校児童・生徒数 …………… 13

### 5 高校教育

- (1) 私立高等学校一覧 …………… 14
- (2) 私立中等教育学校一覧 …………… 14
- (3) 県立高等学校募集定員と  
学科構成比 …………… 15
- (4) 県立高等学校校舎・  
屋内運動場 …………… 16
- (5) 県立高等学校校地面積 …………… 16
- (6) 県立高等学校校舎面積 …………… 16

### 6 特別支援教育

- (1) 特別支援学校一覧 …………… 17
- (2) 特別支援学校数・学級数・  
在学者数 …………… 18
- (3) 特別支援学校校地面積 …………… 19
- (4) 特別支援学校校舎面積 …………… 19

### 7 社会教育

- (1) 青少年教育関係施設  
(宿泊施設)一覧 …………… 20
- (2) 視聴覚ライブラリー一覧 …………… 21
- (3) 公立公民館一覧 …………… 22
- (4) 市町立生涯学習センター一覧 …………… 25
- (5) 地域青年団の団体数・団員数 …………… 26

- (6) 少年団体の団体数・団員数 …………… 26
- (7) PTA団体数と会員数 …………… 26
- (8) 婦人会団体数と会員数 …………… 26
- (9) 各種学級・教室数と学級・教室生数 …… 26

### 8 スポーツ・学校給食

- (1) 運動公園・体育館・  
プール等一覧 …………… 27
- (2) 学校体育施設の開放状況 …………… 29
- (3) 学校給食実施状況 …………… 31
- (4) 米飯給食実施状況 …………… 32

### 9 文 化

- (1) 文化会館一覧 …………… 33
- (2) 指定文化財種目別件数 …………… 35
- (3) 遺跡(埋蔵文化財包蔵地)市町別一覧 …… 36

### 10 高等教育

- (1) 大学一覧 …………… 37
- (2) 短期大学一覧 …………… 38
- (3) 高等専門学校一覧 …………… 38

### 11 付 表

- (1) 附属機関以外の各種検討会、  
協議会、委員会等 …………… 39
- (2) 栃木県教育委員会関係  
特殊法人一覧 …………… 42
- (3) 栃木県教育委員会所管  
公益法人一覧 …………… 42
- (4) 栃木県教育委員会所管  
移行法人一覧 …………… 43
- (5) 栃木県教育委員会所管  
公益信託一覧 …………… 44

# 1 概 況

## (1) 県内教育関係施設一覧

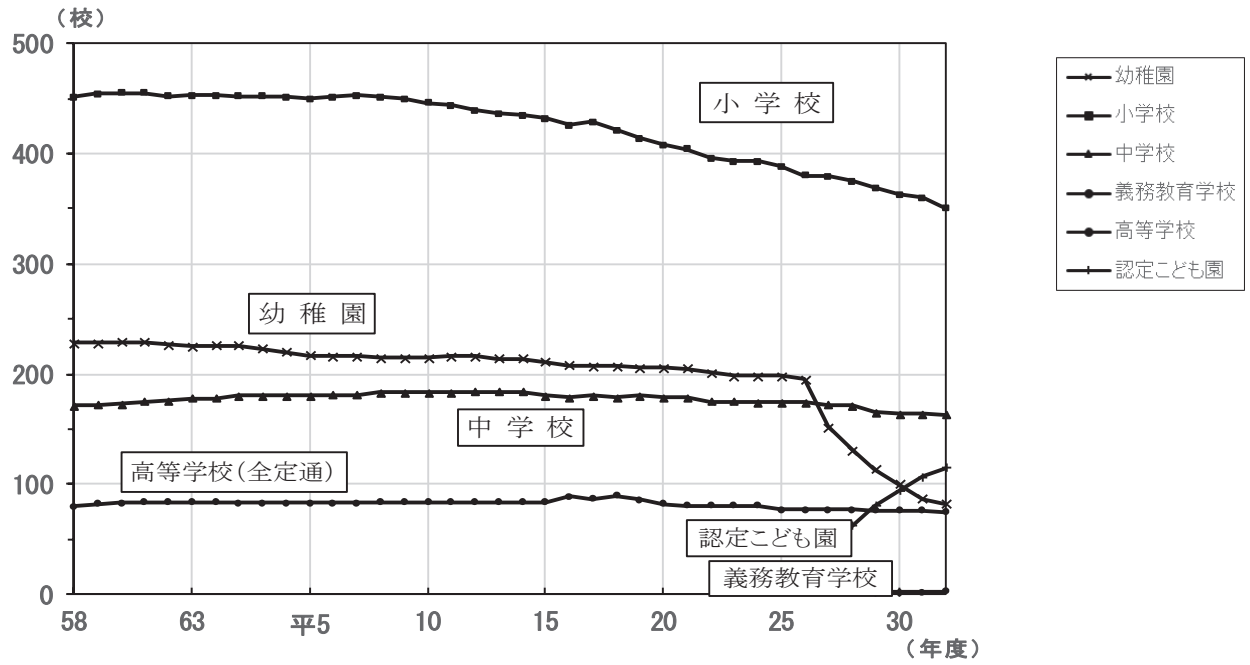
(R3(2021).3.31現在)

学 校	幼 稚 園	82園	(国立1、市町立1、私立80(休園3を含む))
	幼保連携型認定こども園	115園	(市町立4、私立111)
	小 学 校	350校	(国立1、市町立348(分校1校含む)、私立1)
	中 学 校	163校	(国立1、県立3、市町立152(分校2校含む)、私立7)
	義 務 教 育 学 校	3校	(市町立3)
	高 等 学 校	76校	県立61 (全日制52、全・定併置6、全・通併置1、 定時制1、定・通併置1) 私立15 (全日制14、通信制1)
	中 等 教 育 学 校	1校	(私立1)
	特 別 支 援 学 校	17校	県立16 (視覚障害1、聴覚障害1、知的障害9(分校1 校含む)、肢体不自由2、病弱2、知肢病1) 国立1 (知的障害1)
	大 学	10校	(国立1、私立9)
	短 期 大 学	6校	(私立6)
	高 等 専 門 学 校	1校	(国立1)
	専 修 学 校	56校	(県立3、私立53(休校3校含む))
	各 種 学 校	17校	(私立17(休校6校含む))
	社 会 教 育	青 少 年 教 育 施 設	8館
図 書 館		54館	(県立1、市町立53(分館6を含む))
公 民 館		186館	(本館163、分館23)
体 育 ・ ス ポ ー ツ	学 校 体 育 <small>※高校以外は、R1(2019).5.1現在の数</small> (公立)	体 育 館	小学校 351校、中学校 153校、 義務教育学校 2校、高校 60校
		プ ー ル	小学校 321校、中学校 121校、 義務教育学校 1校、高校 55校
		武 道 場	中学校 121校、義務教育学校 1校、高校 56校
	地 域 ス ポ ー ツ <small>※市町立は、R2(2020).5.1現在の数</small>	体 育 館	134館 (県立2、市町立132)
プ ー ル		33ヶ所 (県立1、市町立32)	
文 化	博 物 館	25館	(国立1、県立3、市町立10、私立11) (博物館相当施設6館を含む)
	文 化 会 館	30館	(県立1、市町立28、他1)
	文 書 館	3館	(県立1、市町立2)
	風土記の丘資料館	3館	(市町立3)
	埋蔵文化財センター	1館	(県立1)



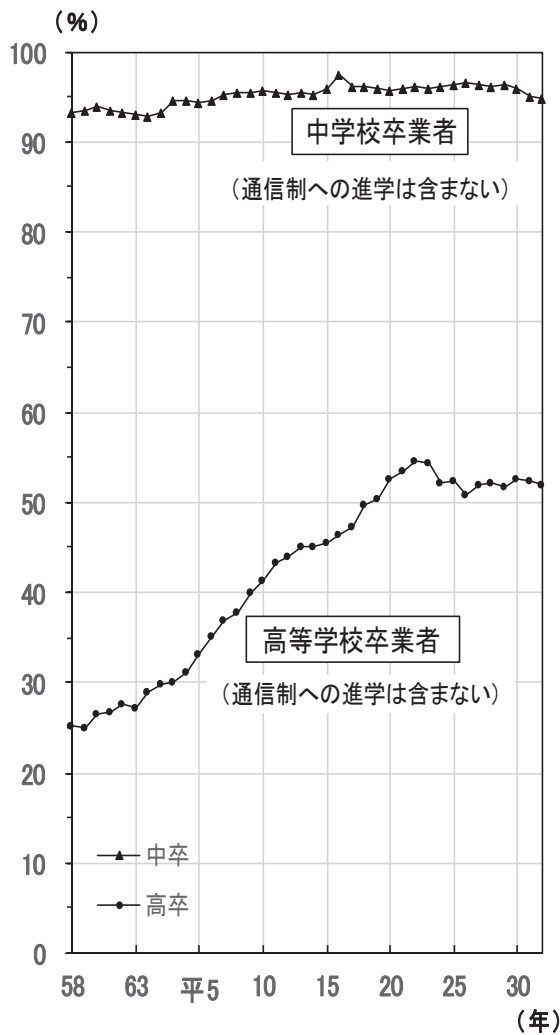
(2) 学校数の推移 (国公立計)

資料：学校基本調査



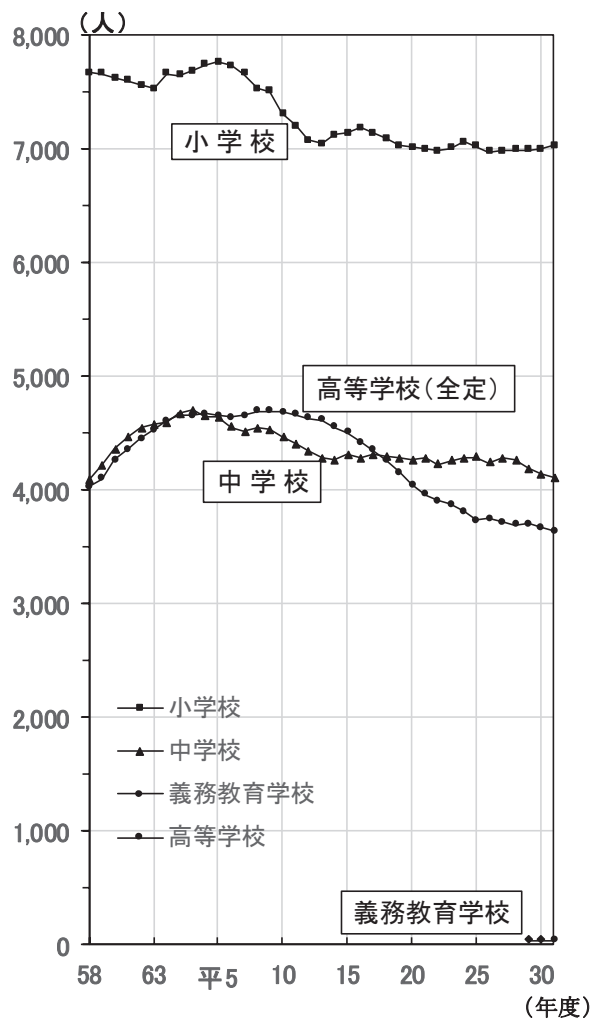
(3) 上級学校進学率の推移 (国公立立計)

資料：学校基本調査



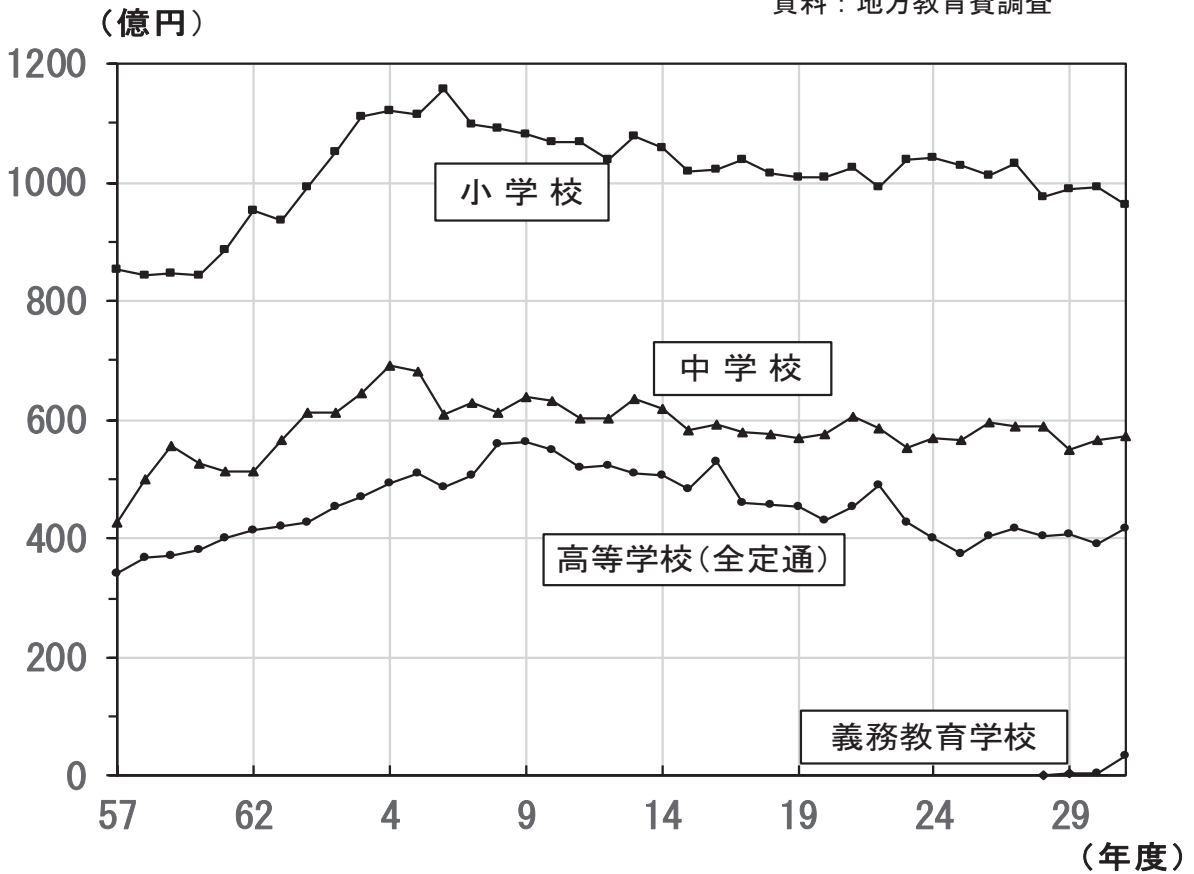
(4) 本務教員数の推移 (国公立立計)

資料：学校基本調査



(5) 公立学校教育費の推移

資料：地方教育費調査



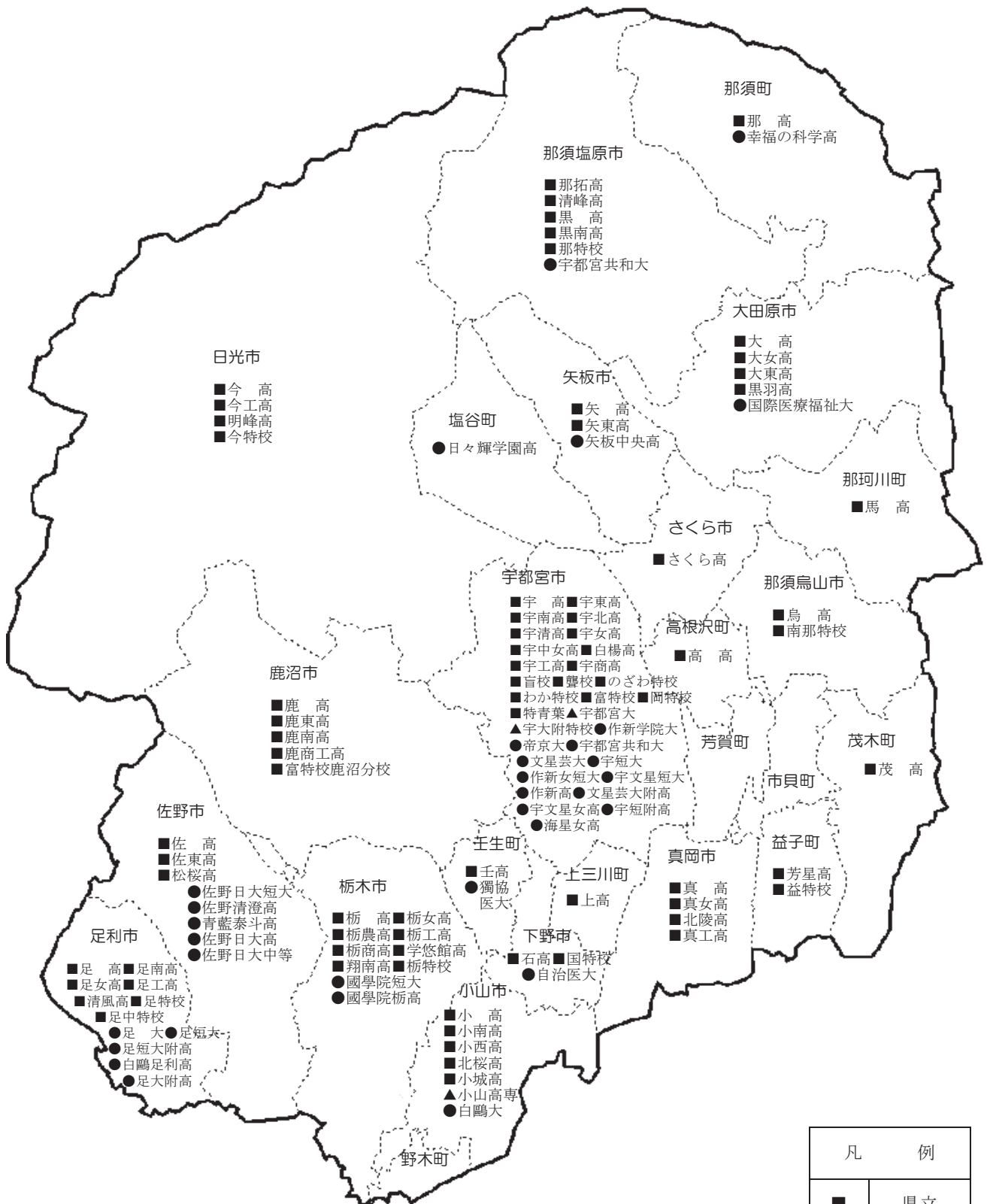
(6) 公立学校における在学(園)者1人当たりの学校教育費 (令和元(2019)会計年度)

資料：地方教育費調査 (円)

学校種別	実額
幼稚園	835,946
幼保連携型認定こども園	1,111,935
小学校	977,200
中学校	1,134,060
義務教育学校	10,322,340
特別支援学校	5,868,575
全日制高等学校	1,106,201
定時制高等学校	1,950,211
通信制高等学校	396,544

(7) 大学・短大・高校等位置図

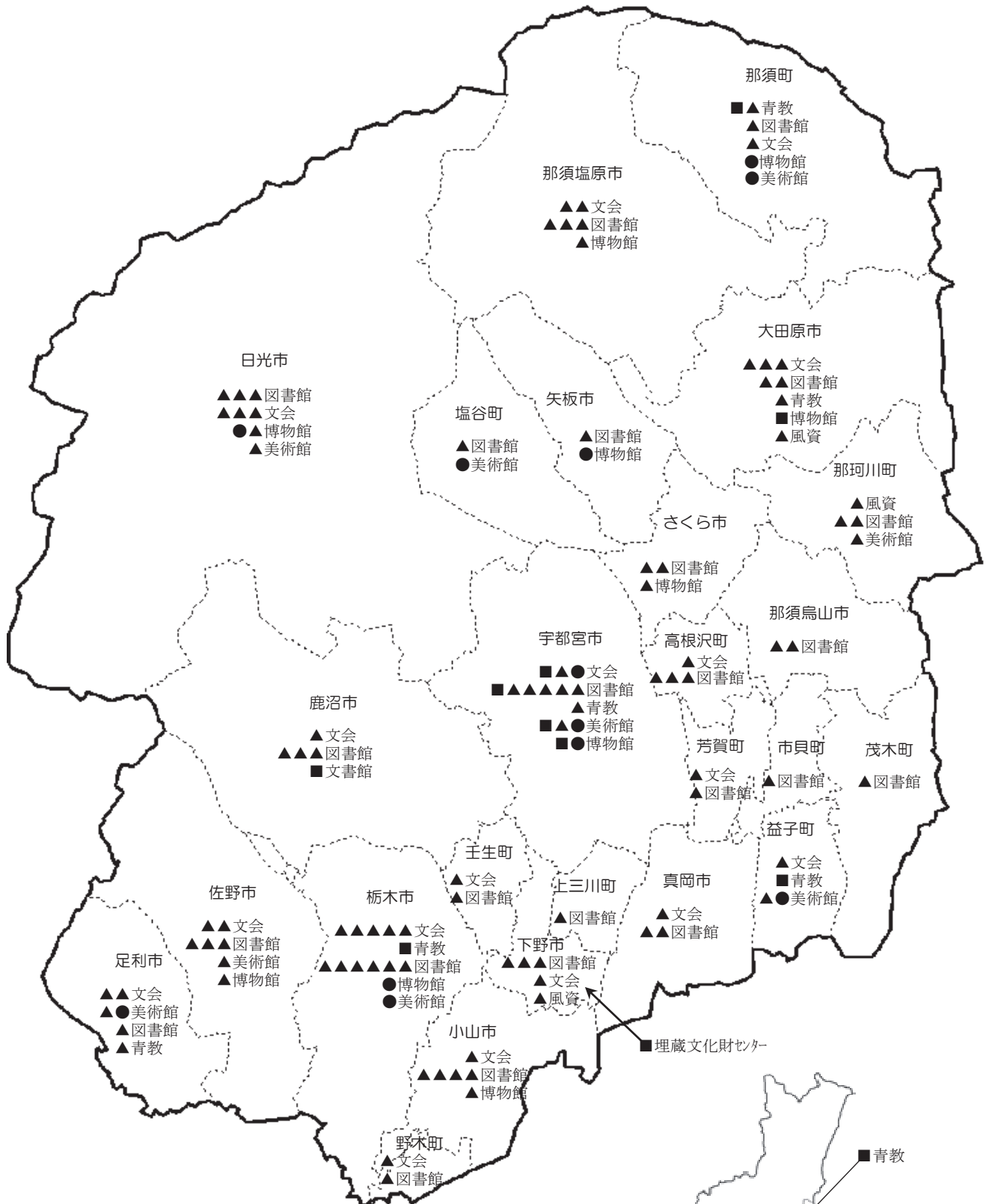
(R3(2021). 3. 31 現在)



凡 例	
■	県立
▲	国立
●	私立

(8) 社会教育・文化施設位置図

(R3(2021).3.31現在)



凡例		略称
■	県立	
▲	国立・市町立	青教－青少年教育施設
●	私立等	風資－風土記の丘資料館







## 2 教育委員会等

### (1) 歴代教育委員及び教育長

#### ① 教育委員

(R3(2021).3.31 現在)

氏 名	在任期間	氏 名	在任期間
橋田 長一郎	昭 23.11.1~26.4.29	辻 周 夫	昭 49.10.1~59.9.30
人見 貞 開	昭 23.11.1~27.10.4	金谷 太 郎	昭 57.2.23~平 6.2.22
鈴木 長 治	昭 23.11.1~27.10.4	南里 栄 子	昭 58.2.25~平 3.2.24
見目 秋三郎	昭 23.11.1~31.9.30	羽石 大	昭 58.12.15~平 7.12.14
篠崎 源 三	昭 23.11.1~31.9.30	益子 房之助	昭 59.10.1~63.9.30
高橋 通 亮	昭 23.11.1~31.9.30	星野 宗太郎	昭 59.10.1~平 4.9.30
飯塚 ルナ子	昭 23.11.1~25.11.9	深澤 豊 吉	昭 63.10.1~平 12.9.30
川上 キ ヨ	昭 25.11.10~31.9.30	大野 照 子	平 3.2.25~11.2.24
菅沼 良 太	昭 26.6.1~29.6.28	車田 孝 夫	平 4.10.1~16.9.30
佐野 五 郎	昭 27.10.5~31.9.30	日下田 實	平 6.2.25~14.2.24
小山 佐 雄	昭 27.10.5~31.6.30	入江 宏	平 7.12.15~15.12.14
南間 栄	昭 29.7.6~30.4.29	中川 徳 子	平 11.2.25~19.2.24
中島 金次郎	昭 30.5.21~31.9.30	島田 嘉 内	平 12.10.1~16.9.30
殿岡 利 男	昭 31.10.1~32.9.30	白井 佳 子	平 14.2.25~22.2.24
朝倉 武 夫	昭 31.10.1~34.3.28	石尾 弘 美	平 15.12.15~19.12.14
吉沢 信 子	昭 31.10.1~42.2.24	井上 成 紀	平 16.10.1~20.9.30
田代 太 平	昭 31.10.1~35.9.30	栗原 義 一	平 16.10.1~24.9.30
関塚 茂 七	昭 31.10.11~34.4.17	岡田 豊 子	平 19.2.25~27.2.24
江原 三 郎	昭 33.2.17~40.3.4	廣瀬 隆 人	平 19.12.15~27.3.31
小嶋 堯 春	昭 34.8.1~43.9.30	河野 遵	平 20.10.1~24.9.30
荻野 英 二	昭 34.8.1~46.10.31	伏木 由佳子	平 22.2.25~30.2.24
竹村 長左衛門	昭 35.10.1~38.4.25	岡 直 樹	平 24.10.1~31.1.4
大兼 俊 治	昭 38.5.16~47.9.30	吉澤 慎太郎	平 24.10.1~令 2.9.30
新江 昇	昭 40.3.29~43.8.24	工藤 敬 子	平 27.2.25~現 在
宮下 正 吾	昭 42.2.25~58.2.24	陣内 雄 次	平 27.4.1~現 在
大谷 英 一	昭 43.10.1~49.8.28	鈴木 純美子	平 30.2.25~現 在
福田 七右衛門	昭 43.10.1~57.2.16	金子 達 也	平 31.3.12~現 在
木野 政 治	昭 46.11.1~58.10.31	板橋 信 行	令 2.10.1~現 在
滝沢 武	昭 47.10.1~59.9.30		

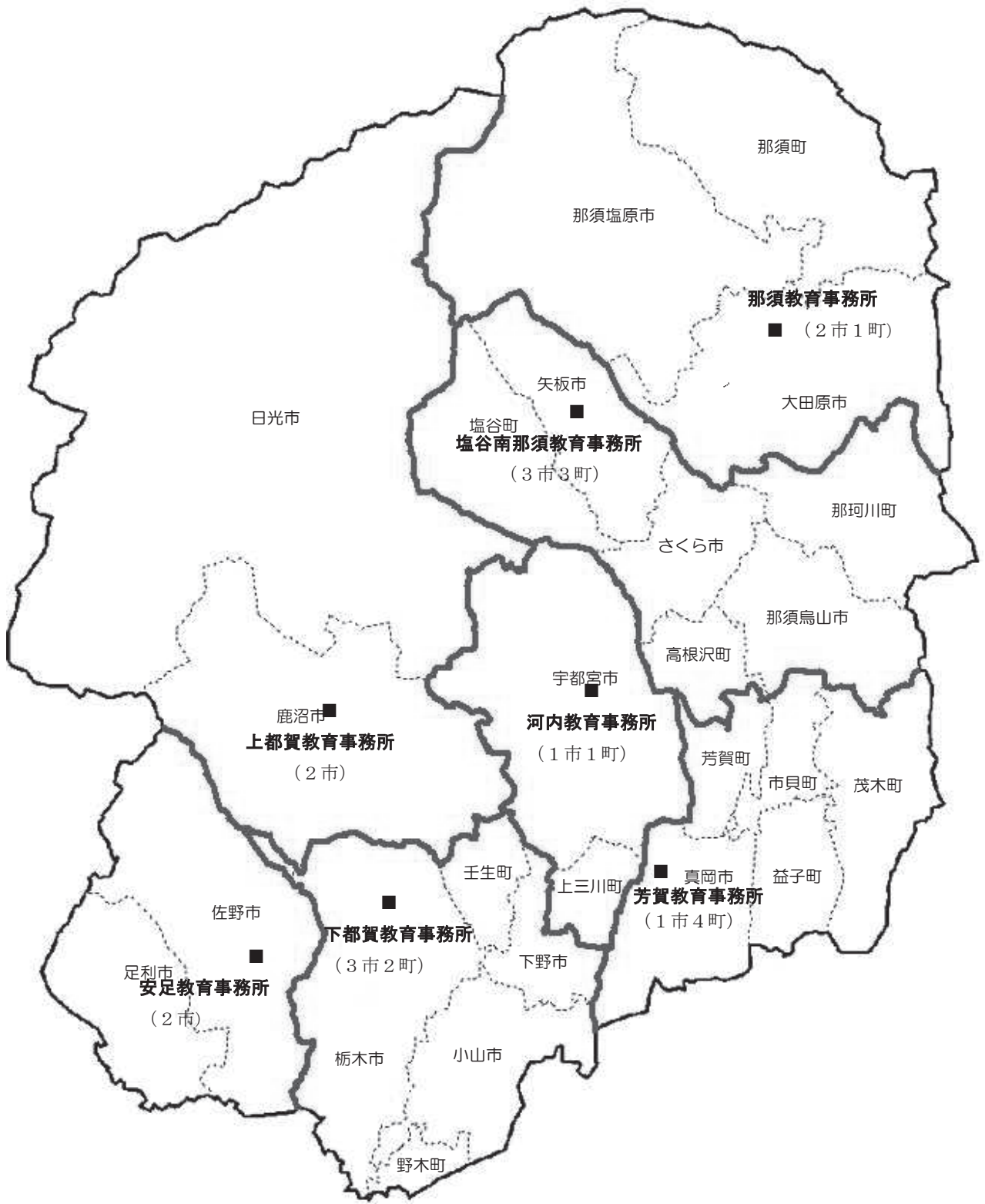


## ② 教育長

(R3(2021).3.31 現在)

氏名	在任期間	氏名	在任期間
成良一郎	昭 23.11. 1~24. 3.31	石川格	平 6. 3.31~ 9. 3.31
市川清	昭 24. 4. 1~31. 9.30	古口紀夫	平 9. 4. 1~12. 3.31
熊岡実	昭 31.10. 3~34. 3.31	岩崎修	平 12. 4. 1~15. 3.31
小林道一	昭 34. 4. 1~42. 3.31	田嶋進	平 15. 4. 1~16.12.31
鈴木奎吾	昭 42. 4. 1~47. 3.31	平間幸男	平 17. 1. 1~20. 3.31
福山正道	昭 47. 4. 1~48.10. 2	須藤稔	平 20. 4. 1~24. 3.31
渡辺幹雄	昭 48.10. 3~58. 3.31	古澤利通	平 24. 4. 1~28. 3.31
池嶋和雄	昭 58. 4. 1~平元. 3.31	宇田貞夫	平 28. 4. 1~31. 3.31
小菅充	平元. 4. 1~ 6. 3.31	荒川政利	平 31. 4. 1~現在

(2) 教育事務所位置・管轄区域図  
 (R3(2021).3.31 現在)



### 3 幼児教育

#### (1) 国・公立幼稚園一覧

(R3(2021). 3. 31 現在)

園名	設置者	所在地	電話番号	設置年月	定員
宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園	国立大学法人 宇都宮大学	宇都宮市松原1-7-38	028(622)9051	S11.4	160
那須烏山市立つくし幼稚園	那須烏山市	那須烏山市東原50	0287(88)2131	S50.4	270
計					430

#### (2) 国・公立幼保連携型認定こども園一覧

(R3(2021). 3. 31 現在)

園名	設置者	所在地	電話番号	設置年月	定員
栃木市認定西方なかよしこども園	栃木市	栃木市西方町本郷516-2	0282(92)2900	H19.4	160
那珂川町立なかのこ認定こども園	那珂川町	那珂川町馬頭52-1	0287(92)2202	H29.4	120
那珂川町立ひばり認定こども園	那珂川町	那珂川町和見82-1	0287(92)2301	H29.4	160
那珂川町立わかあゆ認定こども園	那珂川町	那珂川町小川869	0287(96)5221	H29.4	200
計					640

#### (3) 幼稚園学級数（国公立計）

資料：学校基本調査

区分	計	国立	公立	私立
平成22年度(2010)	1,440	5	26	1,409
23(2011)	1,443	5	22	1,416
24(2012)	1,469	5	21	1,443
25(2013)	1,421	5	21	1,395
26(2014)	1,405	5	21	1,379
27(2015)	1,075	5	15	1,055
28(2016)	930	5	12	913
29(2017)	813	5	4	804
30(2018)	723	5	3	715
令和元(2019)	615	5	3	607
令和2年度(2020)	556	5	3	548

(注) 在園者のいない学級も含む。

#### (4) 保育所数及び定員

資料：とちぎの教育・保育

区分	保育所数	認可定員	利用定員
平成22年度(2010)	351	29,880	—
23(2011)	350	30,151	—
24(2012)	353	30,712	—
25(2013)	358	31,122	—
26(2014)	360	31,776	—
27(2015)	340	33,743	32,133
28(2016)	334	33,660	32,003
29(2017)	331	33,602	31,803
30(2018)	327	33,888	31,759
令和元(2019)	327	33,813	31,484
令和2年度(2020)	320	33,643	30,932

(注) 各年度初めにおける開所数である。

#### (5) 幼保連携型認定こども園数及び定員（国公立計）

資料：学校基本調査

区分	幼保連携型認定こども園数	認可定員	利用定員
令和元(2019)年度	107	23,633	21,015
令和2(2020)年度	115	25,724	22,703

(注) 各年度当初における開園数である。

## 4 義務教育

### (1) 私立小・中学校一覧

小 学 校 (1校)

(R3(2021).3.31 現在)

学 校 名	設 置 者	校 長	定員	所 在 地	電話番号	認 可 年月日
作新学院小学部	学校法人 作新学院	船田 元	480	宇都宮市一の沢 1-1-41	028 (648)1811	昭 29.1.12

中 学 校 (7校)

(R3(2021).3.31 現在)

学 校 名	設 置 者	校 長	定員	所 在 地	電話番号	認 可 年月日
作新学院中等部	学校法人作新学院	船田 元	540	宇都宮市一の沢 1-1-41	028 (648)1811	昭 22.4.1
白鷗大学 足利中学校	学校法人白鷗大学	中戸康平	360	足利市伊勢南町 4-3	0284 (42)1131	昭 22.4.1
宇都宮海星 女子学院中学校	学校法人 宇都宮海星学園	佐々木秀治	180	宇都宮市上籠谷町 3776	028 (667)0700	昭 29.1.8
宇都宮短期大学 附属中学校	学校法人須賀学園	須賀英之	240	宇都宮市睦町 1-35	028 (634)4161	昭 57.12.2
國學院大學 栃木中学校	学校法人 國學院大學栃木学園	青木一男	240	栃木市平井町608	0282 (22)5511	平 7.11.30
文星芸術大学 附属中学校	学校法人宇都宮学園	上野憲示	180	宇都宮市睦町1-4	028 (636)8000	平 17.2.28
幸福の科学学園 中学校	学校法人 幸福の科学学園	竜の口法子	180	那須郡那須町大字 梁瀬字扇田487-1	0287 (75)7777	平 21.12.1

## (2) 小・中学校児童・生徒数

資料：学校基本調査

校種		小学校							中学校			
区	分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計
22 (2010)	国立	119	119	113	115	110	111	687	160	158	156	474
	公立	18,179	18,399	18,766	18,780	18,485	18,737	111,346	18,234	18,334	18,237	54,805
	私立	71	51	80	72	72	70	416	524	467	499	1,490
	計	18,369	18,569	18,959	18,967	18,667	18,918	112,449	18,918	18,959	18,892	56,769
23 (2011)	国立	120	117	112	114	114	111	688	159	160	159	478
	公立	17,510	18,172	18,372	18,755	18,770	18,488	110,067	18,188	18,243	18,347	54,778
	私立	73	70	51	79	68	71	412	507	522	465	1,494
	計	17,703	18,359	18,535	18,948	18,952	18,670	111,167	18,854	18,925	18,971	56,750
24 (2012)	国立	105	115	115	107	112	112	666	158	159	160	477
	公立	17,294	17,522	18,108	18,337	18,337	18,700	108,696	17,904	18,171	18,228	54,303
	私立	60	71	70	51	78	65	395	457	498	510	1,465
	計	17,459	17,708	18,287	18,495	18,890	18,918	109,757	18,519	18,828	18,898	56,245
25 (2013)	国立	105	104	113	113	107	111	653	160	159	158	477
	公立	17,211	17,276	17,531	18,063	18,316	18,694	107,091	18,171	17,886	18,171	54,228
	私立	64	59	71	71	49	77	391	460	448	488	1,396
	計	17,380	17,439	17,715	18,247	18,472	18,882	108,135	18,791	18,493	18,817	56,101
26 (2014)	国立	105	104	103	112	113	106	643	160	158	157	475
	公立	17,226	17,218	17,244	17,536	18,045	18,281	105,550	18,191	18,146	17,910	54,247
	私立	56	64	59	70	71	49	369	389	459	441	1,289
	計	17,387	17,386	17,406	17,718	18,229	18,436	106,562	18,740	18,763	18,508	56,011
27 (2015)	国立	105	105	101	102	114	113	640	160	160	159	479
	公立	16,858	17,243	17,208	17,226	17,499	18,041	104,075	17,748	18,206	18,141	54,095
	私立	75	54	65	58	68	70	390	397	378	452	1,227
	計	17,038	17,402	17,374	17,386	17,681	18,224	105,105	18,305	18,744	18,752	55,801
28 (2016)	国立	105	103	105	100	101	114	628	160	160	157	477
	公立	16,669	16,871	17,240	17,230	17,219	17,514	102,743	17,562	17,761	18,239	53,562
	私立	58	73	56	63	58	68	376	428	398	370	1,196
	計	16,832	17,047	17,401	17,393	17,378	17,696	103,747	18,150	18,319	18,766	55,235
29 (2017)	国立	104	103	100	105	100	104	616	160	160	158	478
	公立	16,284	16,660	16,819	17,194	17,191	17,189	101,337	16,988	17,521	17,720	52,229
	私立	69	59	67	56	63	58	372	374	418	389	1,181
	計	16,457	16,822	16,986	17,355	17,354	17,351	102,325	17,522	18,099	18,267	53,888
30 (2018)	国立	105	104	104	103	103	103	622	144	159	160	463
	公立	15,802	16,274	16,663	16,810	17,355	17,191	99,937	16,699	16,998	17,548	51,245
	私立	61	68	59	67	55	63	373	443	372	413	1,228
	計	15,968	16,446	16,826	16,980	17,355	17,357	100,932	17,286	17,529	18,121	52,936
令和 元 (2019)	国立	105	102	103	104	102	103	619	144	143	159	446
	公立	15,612	15,783	16,271	16,637	16,803	17,196	98,302	16,652	16,724	17,031	50,407
	私立	70	62	68	59	66	55	380	425	438	369	1,232
	計	15,787	15,947	16,442	16,800	16,971	17,354	99,301	17,221	17,305	17,559	52,085
令和 2 (2020)	国立	104	102	101	100	102	101	610	144	144	144	432
	公立	15,115	15,520	15,643	16,150	16,537	16,733	95,698	16,616	16,576	16,628	49,820
	私立	74	69	60	68	59	66	396	452	421	433	1,306
	計	15,293	15,691	15,804	16,318	16,698	16,900	96,704	17,212	17,141	17,205	51,558

(注) 公立には県立中学校3校を含む。

## 5 高校教育

### (1) 私立高等学校一覧 (15校)

(R3(2021).3.31 現在)

学校名	設置者	校長	課程	学科	定員	所在地	電話番号	認可年月日
作新学院高等学校	学校法人作新学院	船田 元	全日制	普通、商業システム、ライフデザイン、電気システム、電子システム、自動車整備士養成、美術デザイン	6,720	宇都宮市一の沢1-1-41	028 (648)1811	昭 23.3.23
文星芸術大学附属高等学校	学校法人宇都宮学園	大塚 晃	全日制	普通、総合ビジネス	1,860	宇都宮市睦町1-4	028 (636)8585	昭 23.3.23
宇都宮文星女子高等学校	学校法人宇都宮学園	上野一典	全日制	普通、総合ビジネス	2,160	宇都宮市北一の沢町24-35	028 (621)8156	昭 28.10.7
宇都宮短期大学附属高等学校	学校法人須賀学園	須賀英之	全日制	普通、情報商業、生活教養、音楽、調理	2,850	宇都宮市睦町1-35	028 (634)4161	昭 23.3.23
足利短期大学附属高等学校	学校法人足利大学	岡島一浩	全日制	普通	480	足利市本城3丁目2120	0284 (21)7344	昭 23.3.23
佐野清澄高等学校	学校法人佐山学園	佐山泰朗	全日制	普通、食物調理、生活デザイン	480	佐野市堀米町840	0283 (23)0841	昭 23.3.23
青藍泰斗高等学校	学校法人永井学園	永井治寿	全日制	普通、総合ビジネス、総合生活	1,200	佐野市葛生東2丁目8-3	0283 (86)2511	昭 23.3.31
白鷗大学足利高等学校	学校法人白鷗大学	岡部宣男	全日制	普通	2,850	足利市伊勢南町3-2	0284 (41)0890	昭 27.4.1
宇都宮海星女子学院高等学校	学校法人宇都宮海星学園	佐々木秀治	全日制	普通	630	宇都宮市上籠谷町3776	028 (667)0700	昭 29.1.8
國學院大學栃木高等学校	学校法人國學院大學栃木学園	青木一男	全日制	普通	2,040	栃木市平井町608	0282 (22)5511	昭 35.4.11
矢板中央高等学校	学校法人矢板中央高等学校	五味田謙一	全日制	普通、スポーツ	1,200	矢板市扇町2丁目1519	0287 (43)0447	昭 39.3.28
佐野日本大学高等学校	学校法人佐野日本大学学園	渡邊明男	全日制	普通	1,800	佐野市石塚町2555	0283 (25)0111	昭 39.5.1
足利大学附属高等学校	学校法人足利大学	菅井康政	全日制	普通、自動車、電気、機械、建築、情報処理	1,860	足利市福富町2142	0284 (71)1285	昭 43.3.14
幸福の科学学園高等学校	学校法人幸福の科学学園	竜の口法子	全日制	普通	300	那須郡那須町大字梁瀬字扇田487-1	0287 (75)7777	平 21.12.1
日々輝学園高等学校	学校法人開桜学院	小椋龍郎	通信制	普通	2,000	塩谷郡塩谷町大宮2475-1	0287 (41)3851	平 17.10.7

### (2) 私立中等教育学校一覧 (1校)

(R2(2020).3.31 現在)

学校名	設置者	校長	学科	定員	所在地	電話番号	認可年月日
佐野日本大学中等教育学校	学校法人佐野日本大学学園	船渡川重幸	普通	840	佐野市石塚町2555	0283 (25)0111	平 21.11.18

## (3) 県立高等学校募集定員と学科構成比(全日制課程)

(人、%)

年 度	学 科	普通科	理数科	外国語科	体育科	総合学科	農業科	工業科	商業科	家庭科	厚生科	水産科	福祉科	計
平成21 (2009)	募集定員	7,680	40	40	120	1,080	800	1,520	1,280	280	—	25	90	12,955
	構成比	59.3	0.3	0.3	0.9	8.3	6.2	11.7	9.9	2.2	—	0.2	0.7	100.0
平成22 (2010)	募集定員	7,840	40	40	120	1,080	800	1,520	1,280	280	—	25	90	13,115
	構成比	59.8	0.3	0.3	0.9	8.2	6.1	11.6	9.8	2.1	—	0.2	0.7	100.0
平成23 (2011)	募集定員	7,480	40	40	80	1,040	800	1,520	1,160	280	—	25	90	12,555
	構成比	59.6	0.3	0.3	0.6	8.3	6.4	12.1	9.2	2.2	—	0.2	0.7	100.0
平成24 (2012)	募集定員	7,520	40	40	80	1,040	800	1,520	1,160	280	—	25	90	12,595
	構成比	59.7	0.3	0.3	0.6	8.3	6.4	12.1	9.2	2.2	—	0.2	0.7	100.0
平成25 (2013)	募集定員	7,360	40	0	80	1,200	800	1,520	1,160	280	—	25	90	12,555
	構成比	58.6	0.3	0.0	0.6	9.6	6.4	12.1	9.2	2.2	—	0.2	0.7	100.0
平成26 (2014)	募集定員	7,320	40	0	80	1,200	800	1,520	1,160	280	—	25	90	12,515
	構成比	58.5	0.3	0.0	0.6	9.6	6.4	12.1	9.3	2.2	—	0.2	0.7	100.0
平成27 (2015)	募集定員	7,200	40	0	80	1,120	800	1,520	1,160	280	—	25	90	12,315
	構成比	58.5	0.3	0.0	0.6	9.1	6.5	12.3	9.4	2.3	—	0.2	0.7	100.0
平成28 (2016)	募集定員	7,320	40	0	80	1,120	800	1,520	1,160	280	—	25	90	12,435
	構成比	58.9	0.3	0.0	0.6	9.0	6.4	12.2	9.3	2.3	—	0.2	0.7	100.0
平成29 (2017)	募集定員	7,320	40	0	80	1,120	800	1,520	1,160	280	—	25	90	12,435
	構成比	58.9	0.3	0.0	0.6	9.0	6.4	12.2	9.3	2.3	—	0.2	0.7	100.0
平成30 (2018)	募集定員	7,080	40	0	80	1,120	800	1,520	1,160	280	—	25	90	12,195
	構成比	58.0	0.3	0.0	0.7	9.2	6.6	12.5	9.5	2.3	—	0.2	0.7	100.0
令和元 (2019)	募集定員	7,040	40	0	80	1,120	760	1,480	1,120	280	—	25	90	12,035
	構成比	58.5	0.3	0.0	0.7	9.3	6.3	12.3	9.3	2.3	—	0.2	0.8	100.0
令和2 (2020)	募集定員	6,840	40	0	80	1,120	720	1,400	1,080	280	—	25	90	11,675
	構成比	58.6	0.3	0.0	0.7	9.6	6.2	12.0	9.3	2.4	—	0.2	0.7	100.0
令和3 (2021)	募集定員	6,720	40	0	80	1,080	720	1,400	1,040	280	—	25	90	11,475
	構成比	58.6	0.3	0.0	0.7	9.4	6.3	12.2	9.1	2.4	—	0.2	0.8	100.0



(4) 県立高等学校校舎・屋内運動場（構造区分比率） (%)

区 分	校 舎			屋 内 運 動 場		
	鉄 筋	鉄 骨 その他造	木 造	鉄 筋	鉄 骨 その他造	木 造
平成22(2010)年度	85	14	1	18	80	2
23(2011)	85	14	1	18	80	2
24(2012)	85	14	1	22	77	1
25(2013)	85	14	1	23	76	1
26(2014)	85	13	1	23	76	1
27(2015)	86	14	1	23	76	1
28(2016)	85	14	1	23	76	1
29(2017)	85	14	1	23	76	1
30(2018)	85	14	1	23	77	1
令和元(2019)年度	85	14	1	23	77	1
2(2020)	85	14	1	23	77	1

(注) 各年度5月1日現在

(5) 県立高等学校校地面積 (㎡、校)

区 分	校地面積	内 訳				学 校 林	学 校 数	1校当 たりの 校地 面積
		建物敷地	運動場 面 積	実習実験 そ の 他	借 地			
平成22(2010)年度	4,981,830	1,607,930	1,710,406	1,632,340	31,154	1,520,476	63	79,076
23(2011)	4,951,305	1,597,197	1,691,193	1,631,761	31,154	1,500,816	62	79,860
24(2012)	5,025,235	1,649,282	1,715,881	1,631,761	28,311	1,413,735	62	81,052
25(2013)	4,964,667	1,617,439	1,687,328	1,631,619	28,281	1,307,084	60	82,744
26(2014)	4,922,502	1,577,183	1,686,102	1,630,936	28,281	1,213,788	60	82,042
27(2015)	4,922,318	1,577,479	1,686,102	1,630,456	28,281	1,213,788	60	82,039
28(2016)	4,924,743	1,577,479	1,688,074	1,632,845	26,345	1,213,788	60	82,079
29(2017)	4,924,061	1,577,479	1,688,074	1,632,163	26,345	1,184,036	60	82,068
30(2018)	4,924,085	1,577,479	1,689,014	1,632,187	25,405	1,184,036	60	82,068
令和元(2019)年度	4,858,762	1,577,097	1,688,835	1,566,410	26,420	1,080,777	60	80,979
2(2020)	4,856,971	1,576,998	1,687,321	1,565,972	26,680	997,600	60	80,950

(注) 各年度5月1日現在、学校数に大東高は含まない。

(6) 県立高等学校校舎面積 (㎡、校)

区 分	校舎面積	内 訳			学 校 数	1 校 当 たり の 校 舎 面 積
		一般校舎	屋 体	寄 宿 舎		
平成22(2010)年度	818,305	663,733	154,572	—	63	12,989
23(2011)	812,068	657,832	154,236	—	62	13,098
24(2012)	819,365	663,082	156,283	—	62	13,216
25(2013)	804,790	649,441	155,349	—	60	13,413
26(2014)	803,420	648,797	154,623	—	60	13,390
27(2015)	797,136	641,691	155,445	—	60	13,286
28(2016)	796,804	641,958	154,846	—	60	13,280
29(2017)	796,932	641,958	154,974	—	60	13,282
30(2018)	796,993	641,963	155,030	—	60	13,283
令和元(2019)年度	797,160	642,130	155,030	—	60	13,286
2(2020)	797,059	642,029	155,030	—	60	13,284

(注) 各年度5月1日現在、学校数には大東高は含まない。

## 6 特別支援教育

### (1) 特別支援学校一覧

(R3(2021).3.31現在)

障害種別	置 置 部	学 校 名	所 在 地	開校年度 (開設年度)	設 置 部	備 考
視覚障害	県立	盲 学 校	宇都宮市福岡町 1297	明治42年	幼稚部・小学部 中学部・高等部 専攻科	
聴覚障害	県立	聾 学 校	宇都宮市若草 2-3-48	明治42年	幼稚部・小学部 中学部・高等部	
知的障害	県立	栃木特別支援学校	栃木市皆川城内町 1053	昭和49年	小学部・中学部 高等部	
		那須特別支援学校	那須塩原市下永田 8-7	昭和53年	小学部・中学部 高等部	たかはら学園 なす療育園
		富屋特別支援学校	宇都宮市徳次郎町 39-1	昭和54年	小学部・中学部 高等部	
		富屋特別支援学校 鹿沼分校	鹿沼市日吉町 521-6	平成22年	小学部・中学部	
		益子特別支援学校	益子町七井3650	昭和56年	小学部・中学部 高等部	
		南那須特別支援学校	那須烏山市藤田 1181-152	昭和57年	小学部・中学部 高等部	大和久学園 桜ふれあいの郷
		今市特別支援学校	日光市瀬尾 1640-22	昭和58年	小学部・中学部 高等部	
		国分寺特別支援学校	下野市柴6-2	昭和58年	小学部・中学部 高等部	国分寺学園
		足利中央特別支援 学校	足利市大月町 871-3	昭和60年	小学部・中学部 高等部	
		特別支援学校 宇都宮青葉高等学園	宇都宮市京町 9-32	平成28年	高等部	
肢体不自由	県立	のぞわ特別支援学校	宇都宮市岩曽町 1177-2	昭和42年	小学部・中学部 高等部	
		わかくさ特別支援 学校	宇都宮市駒生町 3337-1	昭和52年	小学部・中学部	栃木県立リハビリテ ーションセンター
		栃木特別支援学校	栃木市皆川城内町 1053	(平成22年)	小学部・中学部 高等部	星風会病院星風院
病弱	県立	足利特別支援学校	足利市大沼田町 619-1	昭和48年	小学部・中学部 高等部	あしかがの森足利病院
		岡本特別支援学校	宇都宮市下岡本町 2160	昭和56年	小学部・中学部 高等部	国立病院機構宇都宮病院 自治医科大学附属病院
		栃木特別支援学校	栃木市皆川城内町 1053	(平成16年)	小学部・中学部	獨協医科大学病院

(注) 備考欄の各施設等については、当該特別支援学校に在籍している児童生徒が入院又は入所している主な病院及び障害児関係施設である。

## (2) 特別支援学校数・学級数・在学者数(国公立計)

(校、学級、人)

区 分	特 別 支 援 学 校														
	学 校 数			学 級 数						在 学 者 数					
	計	国 立	公 立	計	幼 稚 部	小 学 部	中 学 部	高 等 部		計	幼 稚 部	小 学 部	中 学 部	高 等 部	
								本 科	専 攻 科					本 科	専 攻 科
平成19年度 (2007)	15	1	14	502	5	200	136	156	5	2,167	24	752	510	870	11
20(2008)	15	1	14	516	6	207	135	163	5	2,259	22	788	523	913	13
21(2009)	15	1	14	534	5	215	135	173	6	2,331	21	793	536	968	13
22(2010)	16	1	15	547	5	218	134	184	6	2,415	20	823	532	1,026	14
23(2011)	16	1	15	554	4	223	133	189	5	2,482	15	856	529	1,070	12
24(2012)	16	1	15	561	5	222	142	187	5	2,543	17	857	569	1,083	17
25(2013)	16	1	15	560	6	221	143	185	5	2,528	20	865	578	1,051	14
26(2014)	16	1	15	563	4	227	139	188	5	2,569	13	874	602	1,069	11
27(2015)	16	1	15	558	4	224	139	187	4	2,562	14	875	580	1,088	5
28(2016)	17	1	16	571	5	226	139	197	4	2,607	17	871	581	1,133	5
29(2017)	17	1	16	570	6	222	137	199	6	2,625	22	879	5525	1,165	7
30(2018)	17	1	16	579	6	228	135	205	5	2,649	23	890	31	1,196	9
令和元(2019)	17	1	16	598	6	243	142	203	4	2,593	22	894	532	1,137	8
2(2020)	17	1	16	584	5	238	141	196	4	2,544	14	904	524	1,091	11

## (3) 特別支援学校校地面積（公立）

(㎡、校)

区 分	校地面積	内 訳				学校数	1校当たり の校地面積
		建物敷地	運動場面積	実習実験 その他	借地		
平成22年度 (2010)	336,937	207,644	84,263	31,324	13,706	14	24,006
23(2011)	336,937	207,644	84,263	31,324	13,706	14	24,006
24(2012)	336,937	207,644	84,263	31,324	13,706	14	24,067
25(2013)	336,937	207,644	84,263	31,324	13,706	14	24,067
26(2014)	336,610	207,644	84,263	30,872	13,831	14	24,044
27(2015)	336,610	207,644	84,263	30,872	13,831	14	24,044
28(2016)	354,599	219,339	90,183	31,246	13,831	15	23,640
29(2017)	354,392	219,339	90,022	31,200	13,831	15	23,626
30(2018)	354,392	219,339	90,022	31,200	13,831	15	23,626
令和元年度 (2019)	356,341	219,339	90,022	31,200	15,780	15	23,756
2(2020)	356,337	219,339	90,019	31,199	15,780	15	23,756

(注) 各年度5月1日現在

## (4) 特別支援学校校舎面積（公立）

(㎡、校)

区 分	校舎面積	内 訳			学校数	1校当たり の校舎面積
		一般校舎	屋 体	寄 宿 舎		
平成22年度 (2010)	94,028	79,183	7,969	6,876	14	6,716
23(2011)	96,548	81,703	7,969	6,876	14	6,896
24(2012)	96,548	81,703	7,969	6,876	14	6,896
25(2013)	96,548	81,703	7,969	6,876	14	6,896
26(2014)	95,544	81,197	7,969	6,378	14	6,825
27(2015)	95,598	81,251	7,969	6,378	14	6,828
28(2016)	106,165	90,494	9,293	6,378	15	7,078
29(2017)	106,165	90,494	9,293	6,378	15	7,078
30(2018)	106,169	90,498	9,293	6,378	15	7,078
令和元年度 (2019)	106,169	90,498	9,293	6,378	15	7,078
2(2020)	106,212	90,541	9,293	6,378	15	7,081

(注) 各年度5月1日現在

## 7 社会教育

### (1) 青少年教育関係施設（宿泊施設）一覧

(R3(2021).3.31現在)

施設名	設置者	所在地	設置年月	電話番号	収容人員	宿泊室数	研修室数
芳賀青年の家	栃木県	益子町益子4470	昭36. 3	0285 (72)2273	150	20	3
太平少年自然の家	栃木県	栃木市平井町638	昭49. 1	0282 (24)8551	200	16	4
那須甲子青少年自然の家那須ロッジ	独立行政法人 国立青少年教育振興機構	那須町湯本字西原 1	昭54. 10	0287 (76)2456	120	4	1
足利市研修センター	足利市	足利市田所町1107	昭55. 3	0284 (44)0870	76	15	3
とちぎ海浜自然の家	栃木県	茨城県鉾田市玉田 336-2	平 4. 7	0291 (37)4000	400	51	5
大田原ふれあいの丘 青少年研修センター	大田原市	大田原市福原1411-22	平 7. 9	0287 (28)3131	129	30	3
宇都宮市冒険活動 センター	宇都宮市	宇都宮市篠井町 1885-1	平 8. 7	028 (669)2441	326	24	2
なす高原自然の家	栃木県	那須町湯本157	平16. 4	0287 (76)6240	200	40	6

## (2) 視聴覚ライブラリー一覧

(R3(2021).3.31現在)

区分	栃木県視聴覚ライブラリー	宇都宮市立視聴覚ライブラリー	鹿沼市視聴覚ライブラリー	日光市今市視聴覚ライブラリー	下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会	佐野市視聴覚ライブラリー	足利市立視聴覚ライブラリー	計			
設置年月	昭25年3月(1950)	昭56年4月(1981)	昭54年4月(1979)	平18年3月(2006)	昭53年10月(1978)	平17年2月(2005)	昭48年3月(1973)				
設置主体	県	1市	1市	1市	3市2町	1市	1市				
設置根拠	その他	条例	条例	条例	規約	条例	規則				
利用対象	学社	学社	学社	学社	学社	学社	学社				
設置状況	職員数	専任	3					3			
		兼任	1	1	1	2	4		2	11	
		非常勤	1	3			1			5	
		指定管理者						1		1	
視聴覚機材・教材の整備状況	映写機	16ミリ	3	8	7	1	7	5	4	35	
		8ミリ	1	4				2			7
	撮影機(8ミリ)									0	
	スライド	映写機	1	6	2			2		1	12
		作成用具									0
	オーバーヘッド投影機	2	3	3			2		1	11	
	録音機									0	
	カラーテレビ	1	3		2		3			9	
	ビデオカメラ	2	7	2						11	
	ビデオデッキ	2	3	2	2	1	2			12	
	ビデオ編集機	1	2		1		2			6	
	16ミリフィルム	1,884	1,093	828	627	483	270	116		5,301	
	8ミリフィルム	122	337		141					600	
	スライド	431	180							611	
録画教材	3,335	2,265	1,825	279	968	589	721		9,982		
搬送車		1							1		
設置主体(構成者)	栃木県	宇都宮市	鹿沼市	日光市	注1)	佐野市	足利市				
所在地	宇都宮市瓦谷町1070(栃木県総合教育センター内)	宇都宮市中今泉3丁目5-1(東図書館内)	鹿沼市文化橋町1982-18(鹿沼市民情報センター内)	日光市平ヶ崎160(中央公民館内)	栃木市万町9-25(栃木市教委内)	佐野市大蔵町2977(市立図書館内)	足利市相生町1-1(足利市生涯学習センター内)				

下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会(壬生町、野木町、小山市、下野市、栃木市)

## (3) 公立公民館一覧

## ① 本館

(R3(2021).3.31現在)

公 民 館 名	所 在 地	電 話 番 号
宇都宮市 中央生涯学習センター	宇都宮市中央1-1-13	028(632)6331
〃 東生涯学習センター	〃 中今泉3-5-1	〃 (638)5782
〃 南生涯学習センター	〃 江曾島2-4-23	〃 (645)0006
〃 西生涯学習センター	〃 西一の沢町17-32	〃 (648)7480
〃 北生涯学習センター	〃 若草3-12-25	〃 (621)7745
〃 平石生涯学習センター	〃 下平出町158-1	〃 (660)1964
〃 清原生涯学習センター	〃 清原工業団地15-4	〃 (667)5696
〃 横川生涯学習センター	〃 屋板町576-1	〃 (656)6452
〃 瑞穂野生涯学習センター	〃 下桑島町1030-1	〃 (656)4250
〃 豊郷生涯学習センター	〃 岩曾町825-1	〃 (660)2340
〃 国本生涯学習センター	〃 宝木本町1868-1	〃 (665)2942
〃 城山生涯学習センター	〃 大谷町1059-5	〃 (652)4794
〃 富屋生涯学習センター	〃 徳次郎町80-2	〃 (665)1663
〃 篠井生涯学習センター	〃 下小池町466-1	〃 (669)2515
〃 姿川生涯学習センター	〃 西川田町805-1	〃 (658)1594
〃 雀宮生涯学習センター	〃 新富町9-4	〃 (654)1013
〃 上河内生涯学習センター	〃 中里町181-3	〃 (674)3131
〃 河内生涯学習センター	〃 中岡本町3221-4	〃 (671)3202
上三川町 中央公民館	上三川町上三川3970	0285(56)3510
鹿沼市立 東部台地区 公民館	鹿沼市緑町1-3-36	0289(64)6421
〃 東大芦地区 公民館	〃 上日向375	〃 (65)4055
〃 菊沢地区 公民館	〃 御成橋町2-2197-1	〃 (62)7619
〃 板荷地区 公民館	〃 板荷3051-1	〃 (63)8306
〃 北押原地区 公民館	〃 縦山町162-2	〃 (64)2702
〃 西大芦地区 公民館	〃 草久960	〃 (63)8316
〃 加蘇地区 公民館	〃 加園1364	〃 (62)3569
〃 北犬飼地区 公民館	〃 さつき町15	〃 (63)8326
〃 南摩地区 公民館	〃 油田町924-5	〃 (63)8336
〃 南押原地区 公民館	〃 榆木町1080	〃 (63)8346
〃 栗野地区 公民館	〃 口栗野1780	〃 (63)8356
〃 粕尾地区 公民館	〃 中粕尾273-2	〃 (63)8366
〃 永野地区 公民館	〃 上永野770	〃 (63)8376
〃 清洲地区 公民館	〃 深程116-1	〃 (63)8386
日光市 中央公民館	日光市平ヶ崎160	0288(22)6211
〃 今市公民館	〃 平ヶ崎160	〃 (22)6211
〃 落合公民館	〃 小代439-3	〃 (27)1111
〃 豊岡公民館	〃 大桑町130	〃 (21)8216
〃 大沢公民館	〃 大沢町809-1	〃 (26)1975
〃 小林公民館	〃 沓掛260-1	〃 (26)8117
〃 日光公民館	〃 中鉢石町999	〃 (53)3700
〃 藤原公民館	〃 鬼怒川温泉大原1404-1	〃 (76)1200
〃 足尾公民館	〃 足尾町通洞8-2	〃 (93)3322
〃 栗山公民館	〃 日蔭575	〃 (97)1139
真岡市立 真岡市 公民館	真岡市荒町1201	0285(82)7151
益子町 中央 公民館	益子町益子3667-3	0285(72)3101
茂木町 公民館	茂木町茂木151	0285(63)1137
市貝町 中央 公民館	市貝町上根1577	0285(68)0020
芳賀町生涯学習センター	芳賀町下高根沢2552	028(677)0306
壬生町立 壬生 中央 公民館	壬生町本丸1-8-33	0282(82)0108
〃 南犬飼地区 公民館	〃 安塚1170	〃 (86)0031
〃 稲葉地区 公民館	〃 上稲葉932	〃 (82)7374
野木町 公民館	野木町大字丸林571	0280(57)4177
小山市立 中央 公民館	小山市中央町1-1-1	0285(22)9562



## ① 本館(つづき)

(R3(2021).3.31現在)

公 民 館 名	所 在 地	電話番号
小山市立 大谷 公民館	小山市横倉新田8-2	0285(28)0004
〃 間々田 公民館	〃 間々田1960-1	〃 (45)1335
〃 生井 公民館	〃 生良1054-2	〃 (45)4004
〃 寒川 公民館	〃 中里869-1	〃 (38)1002
〃 豊田 公民館	〃 松沼467	〃 (37)1002
〃 中穂積 公民館	〃 下河原田864	〃 (38)0002
〃 桑積 公民館	〃 萩島61	〃 (38)2004
〃 絹積 公民館	〃 羽川858-1	〃 (22)4545
〃 絹積 公民館	〃 福良1119-1	〃 (49)0027
栃木市 栃木 公民館	栃木市日ノ出町14-36	0282(24)0352
〃 大宮 公民館	〃 大宮町422-1	〃 (27)0073
〃 皆川 公民館	〃 皆川城内町699	〃 (22)1812
〃 吹上 公民館	〃 吹上町782-1	〃 (31)1792
〃 寺尾 公民館	〃 梅沢町1183	〃 (31)0002
〃 国府 公民館	〃 惣社町228-1	〃 (27)3002
〃 大平 公民館	〃 大平町蔵井2001-3	〃 (43)5231
〃 藤岡 公民館	〃 藤岡町藤岡810	〃 (62)4321
〃 都賀 公民館	〃 都賀町原宿521	〃 (27)5050
〃 西方 公民館	〃 西方町本城1	〃 (92)0316
〃 岩舟 公民館	〃 岩舟町静2292-1	〃 (55)2500
下野市 石橋 公民館	下野市石橋416	0285(52)1157
〃 国分寺 公民館	〃 小金井1127	〃 (40)5563
〃 南河内 公民館	〃 田中681-1	〃 (48)2393
〃 南河内東 公民館	〃 本吉田783	〃 (48)5511
矢板市 矢板 公民館	矢板市矢板103-1	0287(43)0469
〃 泉 公民館	〃 泉428	〃 (43)0402
〃 片岡 公民館	〃 片岡2098-3	〃 (48)0101
さくら市 喜連川 公民館	さくら市喜連川4397-1	028(686)6624
〃 喜連川 公民館	〃 櫻野1322-8	〃 (682)1611
那須烏山市 南那須 公民館	那須烏山市岩子6-1	0287(88)6223
〃 烏山 公民館	〃 中央2-13-8	〃 (83)1412
〃 烏山南 公民館	〃 野上703	〃 (83)1412
〃 境 公民館	〃 上境290-1	〃 (83)1412
〃 七合 公民館	〃 大桶929-10	〃 (83)1412
塩谷町 生涯学習センター	塩谷町大字舟生989-1	0287(48)7503
高根沢町 公民館	高根沢町石末1825	028(675)3175
那珂川町 小川 公民館	那珂川町小川2524-1	0287(96)2322
大田原市 中央 公民館	大田原市本町1-2716-5	0287(23)2005
〃 大田原東地区 公民館	〃 若草1-1287-1	〃 (24)2777
〃 大田原西地区 公民館	〃 浅香3-3578-747	〃 (23)8719
〃 金田北地区 公民館	〃 市野沢1988-1	〃 (23)3253
〃 親園地区 公民館	〃 花園1973	〃 (28)2444
〃 野崎地区 公民館	〃 野崎2-26-2	〃 (29)2605
〃 佐久山地区 公民館	〃 佐久山2287-1	〃 (28)0872
〃 金田南地区 公民館	〃 南金丸1870-5	〃 (23)2260
〃 湯津上地区 公民館	〃 湯津上5-776	〃 (98)3425
〃 黒羽・川西地区 公民館	〃 黒羽田町848	〃 (54)0184
〃 須賀川地区 公民館	〃 須佐木53	〃 (57)0111
〃 両郷地区 公民館	〃 中野内773	〃 (59)0111
那須町立 那須 公民館	那須町寺子乙2567-10	0287(72)6564
〃 芦野 公民館	〃 芦野1867-1	〃 (74)0002
〃 伊王野 公民館	〃 伊王野1440-3	〃 (75)0002
〃 高原 公民館	〃 湯本199-14	〃 (76)3764

## ① 本館(つづき)

R3(2021).3.31現在)

公 民 館 名				所 在 地	電話番号
那須塩原市	黒	磯	公民館	那須塩原市桜町1-5	0287(60)1115
〃	鍋	掛	公民館	〃 鍋掛531	〃 (60)1164
〃	東	那須野	公民館	〃 東小屋474-11	〃 (67)1163
〃	高	林	公民館	〃 箭坪347-1	〃 (68)0115
〃	厚	崎	公民館	〃 上厚崎500-1	〃 (60)1166
〃	稻	村	公民館	〃 若草町117-1	〃 (64)3998
〃	と	うら	公民館	〃 東豊浦23-110	〃 (60)3122
〃	西	那須野	公民館	〃 太夫塚1-194-78	〃 (36)1143
〃	狩	野	公民館	〃 槻沢231	〃 (37)3528
〃	南		公民館	〃 二区町401	〃 (36)7341
〃	西		公民館	〃 四区町661	〃 (37)1677
〃	三	島	公民館	〃 東三島6-337	〃 (36)8531
〃	大	山	公民館	〃 下永田8-7-86	〃 (37)6130
〃	塩	原	公民館	〃 中塩原1-2	〃 (32)3812
〃	ハ	一	ラザ	〃 関谷1266-4	〃 (35)2006
〃	箒	根	公民館	〃 関谷59-4	〃 (35)2006
佐野市	中	央	公民館	佐野市金井上町2519	0283(24)5771
〃	佐	野	公民館	〃 金井上町2519	〃 (24)5771
〃	植	野	公民館	〃 寺中町2297-1	〃 (23)5421
〃	界	地	公民館	〃 馬門町1510-1	〃 (22)0400
〃	犬	伏	公民館	〃 犬伏下町1798	〃 (23)8137
〃	城	北	公民館	〃 堀米町1173	〃 (24)5772
〃	旗	川	公民館	〃 並木町957-1	〃 (22)0074
〃	吾	妻	公民館	〃 村上町9	〃 (23)6903
〃	赤	見	公民館	〃 赤見町3082	〃 (25)3014
〃	田	沼	公民館	〃 戸奈良町1-1	〃 (61)1135
〃	田	沼	公民館	〃 栃本町2384-3	なし
〃	田	沼	公民館	〃 小見町752	〃
〃	栃	本	公民館	〃 栃本町2047-5	〃
〃	田	沼	公民館	〃 多田町3776-3	〃
〃	戸	奈	公民館	〃 戸奈良町970-1	〃
〃	三	好	公民館	〃 戸室町1183	〃 (電話は
〃	野	上	公民館	〃 白岩町486-1	〃 田沼中央
〃	山	園	公民館	〃 閑馬町361-1	〃 公民館へ)
〃	閑	馬	公民館	〃 閑馬町361-1	〃
〃	下	彦	公民館	〃 閑馬町361-1	〃
〃	飛	駒	公民館	〃 飛駒町1576-2	〃
〃	葛	生	公民館	〃 葛生東1-11-15	0283(86)3414
〃	常	盤	公民館	〃 仙波町167	〃 (85)3657
〃	氷	室	公民館	〃 水木町846	〃 (87)0004
足利市	織	姫	公民館	足利市通6-3165-1	0284(21)6144
〃	助	戸	公民館	〃 助戸仲町453-2	〃 (44)0791
〃	毛	野	公民館	〃 八椶町390-1	〃 (41)2574
〃	山	辺	公民館	〃 堀込町2843	〃 (71)0628
〃	三	重	公民館	〃 五十部町472	〃 (21)9719
〃	山	前	公民館	〃 鹿島町630-1	〃 (62)2700
〃	北	郷	公民館	〃 利保町2-14-1	〃 (41)5080
〃	名	草	公民館	〃 名草中町1111-1	〃 (41)9977
〃	富	田	公民館	〃 駒場町748-2	〃 (91)0002
〃	御	厨	公民館	〃 百頭町2024-1	〃 (71)0296
〃	筑	波	公民館	〃 小曾根町515	〃 (71)2945
〃	久	野	公民館	〃 久保田町180-1	〃 (71)9028
〃	梁	田	公民館	〃 福富町398-2	〃 (71)1872
〃	三	和	公民館	〃 松田町703-2	〃 (61)1431
〃	葉	鹿	公民館	〃 葉鹿町1-20-5	〃 (62)1200
〃	小	俣	公民館	〃 小俣町1508-5	〃 (62)0348
〃	矢	場	公民館	〃 里矢場町1643-1	〃 (71)2444

(注) 本館計163館(社会教育法第24条の規定により市町の条例で定められた公民館)

② 分館

(R3(2021).3.31現在)

公 民 館 名	所 在 地	電話番号
日光公民館 中宮祠分館	日光市中宮祠2478-4	0288(55)0078
〃 清滝分館	〃 清滝2-5-22	〃 (54)0894
〃 小来川分館	〃 中小来川2667-1	〃 (63)3111
藤原〃 三依分館	〃 中三依319	〃 (79)0211
栗山〃 湯西川分館	〃 湯西川709	〃 (98)0026
真岡市立真岡市公民館 西分館	真岡市西高間木539-1	0285(84)6781
〃 大内分館	〃 飯貝529	〃 (82)2704
〃 中村分館	〃 中247	〃 (82)2902
〃 山前分館	〃 小林935-1	〃 (82)2802
〃 二宮分館	〃 石島893-15	〃 (74)0107
芳賀町生涯学習センター 南高根沢分館	芳賀町下高根沢2552	028(677)0152
〃 水橋分館	〃 西水沼2254	〃 (678)0004
〃 祖母井分館	〃 祖母井548-1	〃 (677)0132
壬生町立南犬飼地区公民館分館	壬生町安塚1170-3	0282(86)0031
栃木市 大平西地区公民館	栃木市大平町富田1642	なし } (電話は 〃 } 大平 〃 } 公民館へ) 0282(62)2531
〃 大平南地区公民館	〃 大平町西水代1787	
〃 大平東地区公民館	〃 大平町横堀810	
〃 藤岡地区公民館	〃 藤岡町藤岡1396	
〃 三鴨地区公民館	〃 藤岡町甲436-2	
〃 部屋地区公民館	〃 藤岡町部屋454-1	
〃 赤麻地区公民館	〃 藤岡町赤麻1737-1	
〃 静和地区公民館	〃 岩舟町静和2170-1	
〃 小野寺地区公民館	〃 岩舟町小野2071-1	

(注) 分館計23館 (社会教育法第24条及び通達により市町の条例で定められた公民館の分館である。)

(4) 市町立生涯学習センター一覧

(R2(2020).4.1現在)

名 称	所 在 地	電話番号
宇都宮市学習文化情報センター	宇都宮市旭1-1-5	028(632)2980
宇都宮市人材かがやきセンター	宇都宮市中央1-1-13	028(632)6332
鹿沼市民情報センター	鹿沼市文化橋町1982-18	0289(63)8300
鹿沼市栗野生涯学習センター	鹿沼市口栗野1781-3	0289(63)8356
芳賀町生涯学習センター	芳賀町下高根沢2552	028(677)0306
真岡市生涯学習館	真岡市さくら1-15-1	0285(74)2788
壬生町立生涯学習館	壬生町落合3-5-3	0282(82)8384
小山市立生涯学習センター	小山市中央町3-7-1 6F	0285(22)9111
下野市生涯学習情報センター	下野市緑3-5-1	0285(40)0911
矢板市生涯学習館	矢板市矢板106-2	0287(43)6218
塩谷町生涯学習センター	塩谷町船生989-1	0287(48)7503
大田原市生涯学習センター	大田原市本町1-2716-5	0287(23)2003
足利市生涯学習センター	足利市相生町1-1	0284(43)1311

(5) 地域青年団の団体数・団員数 (6) 少年団体の団体数・団員数

資料：栃木県社会教育のすがた

資料：栃木県社会教育のすがた

(R2(2020).3.31現在)

(R2(2020).3.31現在)

区分	地域青年団	
	団体数	団員数
平成21年度(2009)	6	302
22(2010)	6	291
23(2011)	6	291
24(2012)	4	0
25(2013)	4	0
26(2014)	4	0
27(2015)	2	46
28(2016)	2	36
29(2017)	2	36
30(2018)	2	43
令和元(2019)	2	31

区分	子ども会		ボーイスカウト		ガールスカウト	
	単体会数	会員数	団数	スカウト数	団数	スカウト数
平成21年度(2009)	3,112	104,584	28	1,684	21	751
22(2010)	3,208	102,822	27	1,621	20	688
23(2011)	3,027	100,799	27	1,524	18	635
24(2012)	2,989	98,442	27	1,459	18	552
25(2013)	2,984	96,433	27	1,420	18	512
26(2014)	2,719	100,962	27	1,392	18	475
27(2015)	2,666	99,215	27	1,308	18	479
28(2016)	2,571	96,609	26	1,249	18	496
29(2017)	2,547	94,083	26	1,176	18	487
30(2018)	2,454	90,628	26	1,167	18	458
令和元(2019)	2,408	86,969	26	1,119	18	441

(7) PTA団体数と会員数

資料：栃木県社会教育のすがた (R2(2020).3.31現在)

区分	団体数	会員数
平成 21(2009)年度	639	238,951
22(2010)	626	235,530
23(2011)	629	234,615
24(2012)	625	239,255
25(2013)	615	230,274
26(2014)	608	226,786
27(2015)	606	227,651
28(2016)	601	221,855
29(2017)	595	222,904
30(2018)	588	218,654
令和元(2019)年度	584	211,315

(8) 婦人会団体数と会員数

資料：栃木県社会教育のすがた (R2(2020).3.31現在)

区分	団体数	会員数
平成 21(2009)年度	102	18,413
22(2010)	79	15,453
23(2011)	77	15,131
24(2012)	71	14,707
25(2013)	78	13,827
26(2014)	90	13,317
27(2015)	95	13,143
28(2016)	91	12,667
29(2017)	81	12,071
30(2018)	75	11,830
令和元(2019)年度	64	11,166

(9) 各種学級・教室数と学級・教室生数

資料：栃木県社会教育のすがた (R2(2020).3.31現在)

区分	青年学級・教室		家庭教育学級		女性(婦人)学級		高齢者教室	
	学級・教室数	学級・教室生数	学級数	学級生数	学級数	学級生数	教室数	教室生数
平成 21(2009)年度	90	1,832	919	56,985	113	4,671	513	70,196
22(2010)	75	1,261	902	51,169	224	13,843	618	69,892
23(2011)	75	1,391	894	54,807	205	11,798	516	68,846
24(2012)	135	2,191	926	55,203	199	12,935	459	74,447
25(2013)	78	1,022	936	58,519	267	10,508	496	67,549
26(2014)	57	2,904	990	58,746	261	10,487	476	67,326
27(2015)	46	632	1,060	58,500	235	10,395	382	67,214
28(2016)	34	1,396	889	49,504	198	9,499	502	90,595
29(2017)	37	2,637	879	54,230	205	8,463	559	92,194
30(2018)	19	2,228	950	55,860	215	8,770	552	91,602
令和元(2019)年度	49	1,629	921	49,214	213	7,901	573	86,598

※各種学級・教室数と学級・教室数については、平成28年度から延べ数でなく実数を計上している。

## 8 スポーツ・学校給食

### (1) 運動公園・体育館・プール等一覧（県立等）

（県 施 設）

（R3(2021). 3. 31現在）

施 設 名		所 在 地	施 設 内 容	設置年
栃木県 体育館	武 道 館 ※令和元年11月廃止 会議室のみ利用可	宇都宮市中戸祭1-6-3		昭52
	弓 道 場	〃	近的8人立、遠的6人立	〃
栃木県体育館分館		宇都宮市今宮4-7-38	メインアリーナ750㎡ (ボクシングリング常設)	平18
県 南 体 育 館	小山市外城371-1	メインアリーナ	50m×38m 観客席 2,020席	平 5
		サブアリーナ	35m×21m	
		剣道場 2面	30m×18m	
		柔道場 2面	30m×15m	
		トレーニング室、幼児体育室 研修室 (110席)		
県 北 体 育 館	大田原市美原3-2-62	メインアリーナ	50m×40m 観客席2,054 席	平 8
		サブアリーナ	35m×22m	
		武道場 4面	31.5m×31.5m	
		トレーニング室、幼児体育室、 研修室 (100席)		
日光霧降アイスアリーナ		日光市所野2854番地先	60m×30m(屋内)収容人員2,000人	平 4
グリーンスタジアム	宇都宮市清原工業団地 32	メイングラウンド	11,304㎡ (天然芝) 収容人員15,589人	平 5
		サブグラウンド	9,750㎡ (人工芝)	
温 水 プ ー ル 館		小山市外城371-1	屋内温水プール 50m 10レーン 25m 6レーン 観客席 1,005席	平12
ラ イ フ ル 射 撃 場 ※平成16年10月から休業		宇都宮市新里町乙1067	エアライフル 26射座 スモールボアライフル 28射座 ラージボアライフル 5射座	昭54
栃木県 総合運動公園	陸 上 競 技 場	宇都宮市西川田4-1-1	第1種公認陸上競技場	令 2
	第 2 陸 上 競 技 場	〃	第3種公認陸上競技場	昭54
	野 球 場 (本 球 場)	〃	硬式野球場 1 面	昭54
	野 球 場	〃	A・B・C球場 (C球場のみ硬式可)	昭47・53
	ウ ォ ー ム ア ッ プ 場	〃	クレー (ブルペン4か所)	平28

(1) 運動公園・体育館・プール等一覧(県立等) (つづき)  
(県 施設)

(R3(2021).3.31現在)

施設名	所在地	施設内容	設置年	
栃木県総合運動公園	テニスコート	宇都宮市西川田4-1-1	16面(全天候型)	平2
	サッカー・ラグビー場	〃	サッカー(2面) ラグビー(1面) 兼用(1面)	平元
	相撲場	〃	鉄骨造平屋建(八角形構造)	平8
	武道館	〃	第1道場、第2道場、弓道場(近的射場)	令元
	とちぎスポーツ医科学センター	〃	メディカルルーム、アスリートルーム、カウンセリングルーム、コンディショニングルーム、パフォーマンスルーム	令2
井頭公園	運動広場	真岡市下籠谷99	サッカー場兼ラグビー場(1面)	昭48
	軟式野球場	〃	2面	〃
	テニスコート	〃	10面(全天候型)	昭49
	フィールドアスレチック	〃	30ポイント	平5
	一万人プール	〃	造波、スライダー、流水、チビッコ、じゃぶじゃぶ池	昭48
鬼怒グリーンパーク(宝積寺・白沢)	野球場	高根沢町宝積寺86-1	2面	昭55
	テニスコート	〃	6面(宝積寺・全天候型) 6面(白沢・全天候型)	昭55 平11
	水上アスレチック	〃	30ポイント	昭60
	ローラースケート場	〃	一周 150m	〃
	県民ゴルフ場	〃	18ホール	平4
	パークゴルフ場	〃	36ホール	平29
	上流広場	〃	サッカー、ラグビー、野球場	平9
	多目的広場	〃	野球場、サッカー	平11
	自由広場	〃	ゲートボール(2面)	〃
那須野が原公園	テニスコート	那須塩原市千本松801-3	12面(全天候型)	平元
	フィールドアスレチック	〃	30ポイント	平元
	そり遊び広場	〃	人工芝スロープ(52m、38m)	平元
	ファミリープール	〃	流水、子供、遊泳、スライダー、幼児プール	昭63
	オートキャンプ場	〃	キャビン(14)、フリーテントサイト(11) オートキャンプサイト(23)	平6
日光だいや川公園	フィールドアスレチック	日光市瀬川844	23ポイント	平13
	ニュースポーツ広場	〃	ゲラントゴルフ場(16ホール)、パークゴルフ場(18ホール)、ディスクゴルフ場(9ホール)	平15
	オートキャンプ場	〃	フリーテントサイト(15)、オートキャンプサイト(68) キャンピングカーサイト(14)、トレーラーハウスキャビンサイト(13)	平11



(1) 運動公園・体育館・プール等一覧（県立等）（つづき）

（スポーツ協会施設）

（R3(2021).3.31現在）

施設名	所在地	施設内容	設置年	
今市青少年スポーツセンター	陸上競技場	日光市根室609-1	400mトラック（6コース）	昭49
	サッカー場兼ホッケー場	〃	110m×84m(芝) 110m×84m(クレー)	昭52 昭56
	人工芝競技場	〃	フィールドホッケー109m×76m(人工芝)	平3
	体育館	〃	体育館40m×40m、クライミングウォール	昭50
	屋内スケートリンク	〃	60m×30m・冬季のみ	昭50
	クロスカントリーコース	〃	3.18km	昭61
	キャンプ場	〃	キャンプファイヤー	昭62

(2) 学校体育施設の開放状況

（小学校）

（R2(2020).5.1現在）

区分	市町村数	学校数	開放校		開放施設					
			市町村数	学校数(%)	校庭		体育館		プール	
					市町村数	学校数(%)	市町村数	学校数(%)	市町村数	学校数(%)
平成23(2011)年度	27	389	27	380(97.7)	24	282(72.1)	27	378(97.7)	3	62(16.8)
24(2012)	26	388	26	382(98.5)	24	278(71.6)	26	381(98.2)	3	62(16.0)
25(2013)	26	383	26	378(98.7)	24	280(72.9)	26	377(98.7)	2	60(16.5)
26(2014)	25	378	25	374(98.9)	22	268(70.9)	25	371(98.1)	2	60(15.9)
27(2015)	25	377	25	368(97.6)	22	265(70.3)	25	367(97.3)	1	1(0.3)
28(2016)	25	373	25	367(98.4)	22	258(69.2)	25	366(98.1)	0	0(0.0)
29(2017)	25	365	25	360(98.6)	22	261(71.5)	25	358(98.1)	1	68(18.6)
30(2018)	25	360	25	354(98.3)	22	255(70.8)	25	353(98.1)	1	68(18.8)
令和元(2019)年度	25	355	25	350(98.6)	22	255(70.8)	25	348(98.0)	1	68(19.6)
2(2020)	25	351	25	347(98.9)	22	267(76.1)	25	342(97.4)	1	58(16.5)

（中学校）

（R2(2020).5.1現在）

区分	市町村数	学校数	開放校		開放施設					
			市町村数	学校数(%)	校庭		体育館		プール	
					市町村数	学校数(%)	市町村数	学校数(%)	市町村数	学校数(%)
平成23(2011)年度	27	161	27	160(99.4)	24	118(71.5)	27	158(97.5)	2	2(1.5)
24(2012)	26	161	26	158(98.1)	22	122(75.8)	26	156(98.7)	1	1(0.6)
25(2013)	26	162	26	160(98.8)	21	127(78.9)	25	158(98.1)	1	1(0.6)
26(2014)	25	165	25	161(97.6)	20	125(75.8)	25	159(96.4)	1	1(0.6)
27(2015)	25	163	25	161(98.8)	20	121(74.2)	25	159(97.5)	1	1(0.6)
28(2016)	25	162	25	157(96.9)	19	117(72.2)	24	155(95.7)	1	1(0.6)
29(2017)	25	156	25	155(99.4)	19	117(71.2)	25	153(98.1)	0	0(0.0)
30(2018)	25	155	25	154(99.4)	19	107(69.0)	25	152(98.1)	0	0(0.0)
令和元(2019)年度	25	155	25	154(99.4)	19	109(70.3)	25	152(98.1)	0	0(0.0)
2(2020)	25	155	25	154(99.4)	18	105(67.7)	25	152(98.1)	0	0(0.0)

（注）体育館・プールの開放率は施設の設置校数を基準に算出した。



## (義務教育学校)

(R2(2020).5.1現在)

区 分	市町村数	学校数	開放校		開 放 施 設			
					校 庭		体 育 館	
			市町数	学校数 (%)	市町数	学校数 (%)	市町数	学校数 (%)
平成23(2011)年度	—	—	—	—	—	—	—	—
24(2012)	—	—	—	—	—	—	—	—
25(2013)	—	—	—	—	—	—	—	—
26(2014)	—	—	—	—	—	—	—	—
27(2015)	—	—	—	—	—	—	—	—
28(2016)	—	—	—	—	—	—	—	—
29(2017)	2	2	—	—	—	—	—	—
30(2018)	2	2	—	—	—	—	—	—
令和元(2019)年度	2	2	2	2(100)	2	2(100)	2	2(100)
2(2020)	3	3	3	3(100)	3	3(100)	3	3(100)

## (高等学校)

(R2(2020).5.1現在)

区 分	市町村数	学校数	開放指定校		開 放 施 設			
					校 庭		体 育 館	
			市町数	学校数 (%)	市町数	学校数 (%)	市町数	学校数
平成23(2011)年度	27	56	19	23(41.1)	16	21(37.5)	5	5(8.9)
24(2012)	26	55	18	23(41.8)	17	22(40.0)	6	6(10.9)
25(2013)	26	61	18	22(36.1)	18	22(36.1)	6	6(9.8)
26(2014)	25	60	18	22(36.7)	18	21(35.0)	5	5(8.3)
27(2015)	25	61	18	21(34.4)	16	20(32.8)	6	6(9.8)
28(2016)	25	61	19	23(37.7)	18	22(36.1)	7	7(11.5)
29(2017)	25	61	18	22(36.1)	18	22(36.1)	8	11(18.0)
30(2018)	25	61	18	21(34.4)	18	21(34.4)	6	6(9.8)
令和元(2019)年度	25	61	18	20(32.8)	18	20(32.8)	6	6(9.8)
2(2020)	25	61	18	22(36.1)	18	17(27.9)	5	5(8.1)

(注) 開放指定校の市町数は、県教委が指定した高等学校のある市町数。開放施設の市町数(校庭)は、県教委指定校以外も含む。

## (3) 学校給食実施状況(公立)

資料：栃木県の学校給食(校、人、%)

区分	完全給食				補食給食				ミルク給食			
	学数	比率	児童生徒数	比率	学数	比率	児童生徒数	比率	学数	比率	児童生徒数	比率
(小 学 校)												
平成22年度(2010)	393	100.0	111,341	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
23(2011)	390	100.0	109,969	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
24(2012)	390	100.0	108,545	99.9	—	—	—	—	—	—	—	—
25(2013)	385	100.0	106,949	99.9	—	—	—	—	—	—	—	—
26(2014)	377	100.0	105,383	99.8	—	—	—	—	—	—	—	—
27(2015)	376	100.0	103,919	99.9	—	—	—	—	—	—	—	—
28(2016)	372	100.0	102,562	99.8	—	—	—	—	—	—	—	—
29(2017)	366	100.0	101,120	99.8	—	—	—	—	—	—	—	—
30(2018)	360	100.0	99,656	99.7	—	—	—	—	—	—	—	—
令和元(2019)	357	100.0	97,960	99.7	—	—	—	—	—	—	—	—
(中 学 校)												
平成22年度(2010)	161	100.0	54,151	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
23(2011)	161	100.0	54,068	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
24(2012)	160	100.0	53,293	99.4	—	—	—	—	—	—	—	—
25(2013)	160	100.0	53,086	99.3	—	—	—	—	—	—	—	—
26(2014)	160	100.0	53,010	99.3	—	—	—	—	—	—	—	—
27(2015)	158	100.0	52,881	99.3	—	—	—	—	—	—	—	—
28(2016)	157	100.0	52,318	99.2	—	—	—	—	—	—	—	—
29(2017)	152	100.0	50,972	99.2	—	—	—	—	—	—	—	—
30(2018)	151	100.0	49,919	99.0	—	—	—	—	—	—	—	—
令和元(2019)	151	100.0	49,045	99.0	—	—	—	—	—	—	—	—
(義 務 教 育 学 校)												
平成29年度(2017)	2	100.0	377	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
30(2018)	2	100.0	348	99.7	—	—	—	—	—	—	—	—
令和元(2019)	2	100.0	342	99.4	—	—	—	—	—	—	—	—
(定 時 制 高 校)												
平成22年度(2010)	6	75.0	654	77.6	2	25.0	189	22.4	—	—	—	—
23(2011)	6	75.0	575	74.6	2	25.0	196	25.4	—	—	—	—
24(2012)	6	75.0	572	75.7	2	25.0	184	24.3	—	—	—	—
25(2013)	6	75.0	535	76.5	2	25.0	164	23.5	—	—	—	—
26(2014)	6	75.0	472	74.6	2	25.0	161	25.4	—	—	—	—
27(2015)	6	75.0	433	73.4	2	25.0	157	26.6	—	—	—	—
28(2016)	6	75.0	415	61.5	2	25.0	151	22.4	—	—	—	—
29(2017)	6	75.0	381	61.9	2	25.0	126	20.5	—	—	—	—
30(2018)	6	75.0	370	63.8	2	25.0	117	20.2	—	—	—	—
令和元(2019)	6	75.0	363	65.8	2	25.0	106	19.2	—	—	—	—
(特 別 支 援 学 校)												
平成22年度(2010)	12	100.0	2,194	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
23(2011)	12	100.0	2,205	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
24(2012)	12	100.0	2,299	97.2	—	—	—	—	—	—	—	—
25(2013)	12	100.0	2,267	96.5	—	—	—	—	—	—	—	—
26(2014)	12	100.0	2,292	96.3	—	—	—	—	—	—	—	—
27(2015)	12	100.0	2,273	96.2	—	—	—	—	—	—	—	—
28(2016)	12	100.0	2,265	96.6	—	—	—	—	—	—	—	—
29(2017)	12	100.0	2,217	96.6	—	—	—	—	—	—	—	—
30(2018)	12	100.0	2,155	96.6	—	—	—	—	—	—	—	—
令和元(2019)	12	100.0	2,109	96.6	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 平成23年度は10月1日現在、他年度は5月1日現在の数値である。(令和2年度は新型コロナウイルスの影響のため調査中止)

富屋特別支援学校鹿沼分校は1校として計上している。

宇都宮東高等学校附属中学校、佐野高等学校附属中学校、矢板東高等学校附属中学校は、学校給食未実施である。また、大田原市立金丸小学校北金丸分校、矢板市立矢板中学校沢分校、さくら市立氏家中学校うのはな分教室、大田原市立金田南中学校北金丸分校を除いた数で算出している。

児童生徒数には、平成24年度から食物アレルギー等により学校給食を受ける予定のない人数は含まない。

(4) 米飯給食実施状況（公立）

(総括表)

資料：栃木県の学校給食（校、人、%）

区 分	学校総数	給食実施 児童生徒数	完全給食 実施状況	米飯給食 実施状況	学校総数に 対する比率	完全給食実施校 に対する比率
小 学 校	357	97,960	357	357	100.0	100
中 学 校	154	49,045	151	151	98.1	100
義務教育学校	2	342	2	2	100.0	100
計	513	147,347	510	510	99.4	100

(注) 宇都宮東高等学校附属中学校、佐野高等学校附属中学校、矢板東高等学校附属中学校は学校給食未実施。

矢板市立矢板中学校沢分校、さくら市立氏家中学校うのはな分教室、大田原市立金田南中学校北金丸分校を除いた数で算出している。

(形態別実施状況)

(校、%)

区 分	年 度	自 校 炊 飯		委 託 炊 飯		自校・委託炊飯併用	
		学 校 数	比 率	学 校 数	比 率	学 校 数	比 率
小 学 校	30	201	55.8	159	44.2	—	—
	元	200	56.0	157	44.0	—	—
中 学 校	30	79	52.3	72	47.7	—	—
	元	79	52.3	72	47.7	—	—
義務教育 学校	30	2	100.0	—	—	—	—
	元	2	100.0	—	—	—	—
計	30	282	55.0	231	45.0	—	—
	元	281	55.1	229	44.9	—	—

(回数別実施状況)

(校、%)

区 分	年 度	週 3 回		週 3.13 回		週 3.25 回		週 3.5 回		週 4 回		計	
		実 施 数	比 率	実 施 数	比 率	実 施 数	比 率	実 施 数	比 率	実 施 数	比 率	実 施 数	比 率
小学校	30	187	51.9	7	1.9	14	3.9	21	5.8	131	36.4	360	100.0
	元	179	50.1	—	—	21	5.9	24	6.7	133	37.3	357	100.0
中学校	30	86	57.0	2	1.3	6	4.0	7	4.6	50	33.1	151	100.0
	元	78	51.7	—	—	12	7.9	11	7.3	50	33.1	151	100.0
義務教育 学校	30	1	50.0	—	—	—	—	—	—	1	50.0	2	100.0
	元	1	50.0	—	—	—	—	—	—	1	50.0	2	100.0
計	30	274	53.4	9	1.8	20	3.9	28	5.5	182	35.5	513	100.0
	元	258	50.6	—	—	33	6.5	35	6.9	184	36.1	510	100.0

(注) 各年度、5月1日現在の数値である。

(令和2年度は新型コロナウイルスの影響のため調査中止)

## 9 文化

### (1) 文化会館一覧

(R3 (2021). 3. 31 現在)

施設名	設置主体	所在地	設置内容	設置年	電話番号	備考
栃木県 総合文化センター	栃木県	宇都宮市本町1-8	メインホール(1,604)、サブホール(505) ギャラリー、会議室	平 3	028 (643)1000	
宇都宮市文化会館	宇都宮市	宇都宮市 明保野町7-66	大ホール(2,000)、小ホール(500) ギャラリー、会議室	昭 55	028 (636)2121	○
足利市民会館	足利市	足利市有楽837	大ホール(1,452)、小ホール(400) 別館ホール(410)、会議室、ギャラリー	昭 41	0284 (41)2121	
足利市民プラザ	足利市	足利市朝倉264	中ホール(826) 小ホール(450)、ギャラリー、会議室	昭 56	0284 (72)8511	○
栃木市 栃木文化会館	栃木市	栃木市旭町12-16	大ホール(1,204)、小ホール(401)、 展示室、会議室、和室	昭 58	0282 (23)5678	○
栃木市 大平文化会館	栃木市	栃木市大平町 蔵井2001-3	中ホール(801)	昭 63	0282 (43)5232	
栃木市 藤岡文化会館	栃木市	栃木市藤岡町 藤岡810	中ホール(1,004)	平 4	0282 (62)4351	
栃木市 都賀文化会館	栃木市	栃木市都賀町 原宿573	中ホール(810)、会議室	昭 60	0282 (27)8855	
栃木市 岩舟文化会館	栃木市	栃木市岩舟町静 2303	中ホール(704) 多目的ホール(220)	平 6	0282 (55)7055	
佐野市文化会館	佐野市	佐野市浅沼町 508-5	大ホール(1,216)、小ホール(306) 展示室、会議室、和室	昭 54	0283 (24)7211	○
佐野市葛生 あくどプラザ	佐野市	佐野市あくど町 3084	大ホール(547)、小ホール(100) ギャラリー	平 10	0283 (86)4715	
鹿沼市民 文化センター	鹿沼市	鹿沼市坂田山 2-170	大ホール(1,302)、小ホール(395) ギャラリー、会議室プラネタリウム、 天体観測室、音楽スタジオ	昭 59	0289 (65)5581	
日光市 日光総合会館	日光市	日光市安川町 2-47	大ホール(934)、会議室	昭 47	0288 (54)1631	
日光市 今市文化会館	日光市	日光市平ヶ崎 160	大ホール(1,066)	昭 52	0288 (22)6213	○
日光市藤原 総合文化会館	日光市	日光市鬼怒川 温泉大原1404-1	大ホール(1,000)、会議室	昭 48	0288 (76)1200	
小山市立 文化センター	小山市	小山市中央町 1-1-1	大ホール(1,012) 小ホール(450)、ギャラリー	昭 53	0285 (22)9552	○
真岡市民会館	真岡市	真岡市荒町1201	大ホール(1,109) 小ホール(300)、会議室	昭 49	0285 (83)7731	○
大田原市 総合文化会館	大田原市	大田原市本町 1-3-3	ホール(390)、会議室	昭 44	0287 (22)4148	
那須野が原 ハーモニーホール	大田原市 那須塩原市	大田原市本町 1-2703-6	大ホール(1,194)、小ホール(399) ギャラリー、交流ホール	平 6	0287 (24)0880	
大田原市 ピアートホール	大田原市	大田原市堀之内 656-1	ホール(721)	平 7	0287 (59)0856	複合 施設

## (1) 文化会館一覧(つづき)

(R3(2021).3.31現在)

施設名	設置主体	所在地	設置内容	設置年	電話番号	備考
那須塩原市 黒磯文化会館	那須塩原市	那須塩原市上厚崎 490	大ホール(1,456) 小ホール(404)、ギャラリー	昭 57	0287 (63)3219	○
那須塩原市 三島ホール	那須塩原市	那須塩原市東三島 6-337	ホール(485)	昭 61	0287 (36)8531	
グリムの館	下野市	下野市下古山747	小ホール(300)、ギャラリー	平 8	0285 (52)1180	
益子町民会館	益子町	益子町大字益子 3667-3	大ホール(1,007) ギャラリー、会議室	昭 63	0285 (72)3101	
芳賀町民会館	芳賀町	芳賀町大字祖母井 548-1	大ホール(1,000) ギャラリー、会議室	平 3	028 (677)0009	
壬生中央公民館	壬生町	壬生町本丸1-8-33	大ホール(1,010)、展示資料室 中ホール(400)、会議室	昭 60	0282 (82)0108	
野木町文化会館	野木町	野木町友沼181	大ホール(800)、小ホール(280) ギャラリー、会議室	平 7	0280 (57)2000	
高根沢町 町民ホール	高根沢町	高根沢町大字 石末1825	中ホール(814)	昭 58	028 (675)3175	
那須町 文化センター	那須町	那須町大字寺子乙 2567-10	大ホール(1,000) 小ホール(283)、展示室、会議室	平 5	0287 (72)6565	
栃木県教育会館	栃木県連 合教育会	宇都宮市駒生町 1-1-6	大ホール(1,026)、小ホール(165) 会議室	昭 54	028 (621)7177	

(注) 設置内容欄の( )は座席数、備考欄の○印は文化庁補助による会館である。

※ 「日光市藤原総合文化会館」は令和2年度より休館予定

(2) 指定文化財種目別件数

(R3(2021).3.31 現在)

種 類	区分 指定別	国					県		合 計	
		指 定	選 定	選 択	登 録	認 定	指 定	選 択		
		うち 国宝				重要美術品				
有形文化財	絵 画	9				3	210		222	
	彫 刻	14(1)					142		156(1)	
	工 芸 品	57	[4]			9	186		252	
	書 跡	33	[5]			6	32		71	
	典 籍									
	古 文 書	3	[1]				1		4	
	考古歴史資料	9				4	41		54	
	建 造 物	41	[7]		257	1	65		364	
	小 計	166(1)	[17]		257	23	677		1,123(1)	
無形文化財		1		1			2		4	
民俗文化財	有 形	1					9		10	
	無 形	5		8			20	2	35	
	小 計	6		8			29	2	45	
記念物			うち 特別							
	史 跡	37(2)	[2(2)]				49		86(2)	
	名 勝	3			4		1		8	
	天然記念物	9(1)	[3(1)]				68		77(1)	
小 計	49(3)	[5(3)]		4		118		171(3)		
文化的景観										
重要伝統的建造物群保存地区				1					1	
合 計		222(4)		1	9	261	23	826	2	1,344(4)
		516(4)					828			
選定保存技術			2						2	

※ ( ) 内の数字は二重指定されている件数 (内数)  
 内訳：①日光杉並木街道附並木寄進碑 (特別史跡・特別天然記念物)  
 ②大谷磨崖仏 (特別史跡・重要文化財 (彫刻) )

## (3) 遺跡（埋蔵文化財包蔵地）市町別一覧

(R3(2021).3.31 現在)

区 分	散布地	集落跡	貝塚	古墳	横穴墓	その他の墓	社寺跡	城館跡	官衙跡	生産遺跡	その他	包蔵地数
宇都宮市	98	370		112	1	48	27	36		10	9	691
足利市	142	10		105		3	14	48	1	6	6	333
栃木市	290	233	1	157		31	8	43	3	34	2	799
佐野市	363	31		75		22	16	43		27	3	574
鹿沼市	249	37		28		95	7	38			2	456
日光市	102	27					13	8			1	151
小山市	115	45		69		3		14		2	1	249
真岡市	404	126		79		15	13	17	1	2	1	649
大田原市	197	151		29	1	3	20	60			4	465
矢板市	243	168		54	2	4	12	18		4	2	506
那須塩原市	40	52						4				96
さくら市	53	24		15	1	1	1	8			1	104
那須烏山市	334	28		22	9	4	3	34		5	2	440
下野市	228	43		96			4	7			5	372
上三川町	11	40		26			1	8	1			86
益子町	143	7		37		9	1	12		19		226
茂木町	34	18		2		1	1	3			1	59
市貝町	375	19		50	6	1		14				461
芳賀町	221	83		39		3	2	6				354
壬生町	43	173		43				13				265
野木町	14	38	3	10				3				68
塩谷町	92	19		12	1	4	6	8			4	146
高根沢町	193	5		25		37	30	4			1	295
那須町	233	25		8			4	12				282
那珂川町	85	105		26	5	3	10	16	1	10	1	260
計	4,302	1,877	4	1,120	26	287	193	477	7	119	46	8,387

(注) 本表は平成9年3月発行の『栃木県埋蔵文化財地図』をもとに、令和3年3月31日現在までに新たに発見され、県遺跡番号を付した埋蔵文化財包蔵地を集計した。

包蔵地（遺跡）は、文化財保護法第92条で規定する届出の様式に記載されている遺跡の種類に準拠し分類したもので、時代は反映していない。

表中「その他の墓」と分類したものには、塚、「社寺跡」には経塚、祭祀遺跡が含まれる。また、種別不明の遺跡は「散布地」とした。

なお、古墳群、窯跡群等は原則として一遺跡として扱った。遺跡の種類は重複する場合があるため、種別の合計は包蔵地数(8,387)より多くなっている。

現時点で県遺跡番号は9,534番まで付しているが、欠番、市町境に亘る包蔵地に別番号が付されていることなどから、実数より多く付されている。



## 10 高等教育

### (1) 大学一覧 (10校)

(R3(2021).3.31 現在)

学 校 名	設 置 者	学 長	学 科 等	定員 (入学)	所 在 地	電 話 番 号	認 可 年 月 日
宇都宮大学	国立大学法人 宇都宮大学	石田 朋靖	地域デザイン 科学部 国際学部 共同教育学部 工学部 農学部	140 90 170 315 195	宇都宮市峰町350 (地域デザイン 科学部・工学部) 宇都宮市陽東 7-1-2	028 (649)8172  (689)6005	昭 24. 5. 31
足利大学	学 校 法 人 足 利 大 学	荘司 和男	工 学 部 看 護 学 部	300 80	足利市大前町 268-1	0284 (62)0605	昭 42. 1. 23
自治医科大学	学 校 法 人 自 治 医 科 大 学	永井 良三	医 学 部 看 護 学 部	123 105	下野市薬師寺 3311-1 (看護学部) 下野市薬師寺 3311-159	0285 (44)2111	昭 47. 2. 5
獨協医科大学	学 校 法 人 獨 協 学 園	吉田謙一郎	医 学 部 看 護 学 部 助産学専攻科	120 90 10	壬生町北小林880	0282 (86)1111	昭 47. 7. 27
白鷗大学	学 校 法 人 白 鷗 大 学	奥島 孝康	経 営 学 部 法 学 部 教 育 学 部	400 270 430	(本校舎) 小山市駅東通り 2-2-2 (大行寺キャンパス) 小山市大行寺 1117	0285 (22)1111  (22)8900	昭 60. 12. 25
作新学院大学	学 校 法 人 船 田 教 育 会	渡邊 弘	経 営 学 部 人 間 文 化 学 部	200 100	宇都宮市竹下町 908	028 (667)7111	昭 63. 12. 22
帝京大学	学 校 法 人 帝 京 大 学	冲永 佳史	理 工 学 部 医 療 技 術 学 部 経 済 学 部	465 90 100	宇都宮市豊郷台 1-1	028 (627)7111	昭 41. 1. 25 (理工学部 設置) 昭 63. 12. 22
国際医療 福祉大学	学 校 法 人 国 際 医 療 福 祉 大 学	大友 邦	保 健 医 療 学 部 医 療 福 祉 学 部 薬 学 部	535 140 180	大田原市北金丸 2600-1	0287 (24)3000	平 6. 12. 21
宇 都 宮 共 和 大 学	学 校 法 人 須 賀 学 園	須賀 英之	シテイライフ 学 部 子 ども 生 活 学 部	60 70	(宇都宮シテイ キャンパス) 宇都宮市大通り 1-3-18 (長坂キャンパス) 宇都宮市下荒針町 長坂3829 (那須キャンパス) 那須塩原市鹿野崎 131	028 (650)6611  (649)0511  0287 (67)3111	平 10. 12. 22
文星芸術大学	学 校 法 人 宇 都 宮 学 園	ちばてつや	美 術 学 部	95	宇都宮市上戸祭 4-8-15	028 (625)6888	平 10. 12. 22

## (2) 短期大学一覧(6校)

(R3(2021).3.31 現在)

学 校 名	設 置 者	学 長	学 科 等	定員 (入学)	所 在 地	電 話 番 号	認 可 年 月 日
國學院大學 栃木短期大学	学 校 法 人 國學院大學 栃 木 学 園	中村 幸弘	日本文化学科 人間教育学科	150 100	栃木市平井町608	0282 (22)5511	昭 41. 1. 25
宇 都 宮 短 期 大 学	学 校 法 人 須 賀 学 園	須賀 英之	音 楽 科 人間福祉学科 食物栄養学科	40 50 30	宇都宮市下荒針町 長坂3829	028 (648)2331	昭 42. 1. 23
作新学院大学 女子短期大学部	学 校 法 人 船 田 教 育 会	渡邊 弘	幼 児 教 育 科	135	宇都宮市竹下町 908	028 (667)7111	昭 42. 1. 23
足利短期大学	学 校 法 人 足 利 大 学	荘司 和男	こ だ も 学 科	75	足利市本城 3-2120	0284 (21)8242	昭 53. 12. 25
宇都宮文星 短 期 大 学	学 校 法 人 宇 都 宮 学 園	中山 御由	地 域 総 合 文 化 学 科	100	宇都宮市上戸祭 4-8-15 (第2キャンパス) 宇都宮市上戸祭 4-1-11	028 (625)3737  (625)3737	昭 63. 12. 22
佐野日本大学 短 期 大 学	学 校 法 人 佐 野 日 本 大 学 学 園	佐藤三武朗	総 合 キ ャ リ ア 教 育 学 科	300	佐野市高萩町 1297	0283 (21)1200	平 元. 12. 22

## (3) 高等専門学校一覧(1校)

(R3(2021).3.31 現在)

学 校 名	設 置 者	校 長	学 科 等	定員 (入学)	所 在 地	電 話 番 号	認 可 年 月 日
小 山 工 業 高 等 専 門 学 校	独 立 行 政 法 人 国 立 高 等 専 門 学 校 機 構	堀 憲 之	機 械 工 学 科 電 気 電 子 創 造 工 学 科 物 質 工 学 科 建 築 学 科 複 合 工 学 専 攻	40 80 40 40 20	小山市中久喜 771	0285 (20)2100	昭 40. 4. 1

(1)～(3)の定員は、令和2年5月1日現在

# 11 付 表

## (1) 附属機関以外の各種検討会、協議会、委員会等

(R3(2021).3.31 現在)

課 名	名 称	主 な 審 議 内 容	開 催 回 数	構 成 人 数	委 員 等 の 構 成
総 務 課	栃木県教員育成協議会	校長及び教員の資質向上に関する指標及び教員研修計画について協議を行う。	年 1 回	15人	県教委関係者 3人 大学関係者 2人 市町村教育長会 2人 小中高校長会 4人 連合教育会 1人 P T A 関係者 2人 幼稚園連合会 1人
	栃木県公立学校業務改善推進委員会	本県の公立学校における働き方改革の推進に向けたプランの実施状況の検証等について協議する。	年 1 回	14人	県教委関係者 2人 企業経営者 1人 メンタルヘルス関係者 1人 大学関係者 1人 市町村教育長会 2人 小中高校長会 4人 教員代表 2人 P T A 関係者 1人
	いきいき栃木っ子3あい運動推進連絡協議会	「3あい運動」の総合的効果的な推進を図るため、連絡・協議を行う。	休 会	—	—
学校安全課	栃木県交通安全教育推進協議会	学校教育及び社会教育における交通安全教育の推進方策について協議する。	休 会	27人	市町村教育長会 1人 小中高校長会 3人 私立学校連合会 1人 幼稚園連合会 1人 P T A 連合会 2人 国立附属学校 1人 教職員団体 4人 交通安全協会 1人 行政関係 10人 交通指導員関係 3人
	登山計画審査会	県立学校等が、教育活動の一環として実施する登山について審査する。	年 6 回 程 度	10人	団体関係者 8人 警察関係者 1人 行政関係者 1人
	高校生の登山のあり方等に関する検討委員会	高校生の登山の安全確保を図るため、「那須雪崩事故を教訓とした学校安全のための取組」の実施状況を検証するとともに、高校生の登山のあり方、安全登山の実現に向けた事業の改善、その他必要な施策について検討を行う。	年 2 回 程 度	12人	学識経験者 3人 那須雪崩事故遺族・被害者 3人 山岳関係団体代表者 2人 行政関係者 4人
	栃木県いじめ問題対策連絡協議会	県内の学校におけるいじめの防止等に関する関係機関及び関係団体との連携調整等を行う。	年 1 回	25人	関係団体 8人 有識者 4人 国行政関係 1人 県行政関係 5人 県警察関係 1人 県教委関係 6人

## (1) 附属機関以外の各種検討会、協議会、委員会等 (つづき)

(R3(2021).3.31 現在)

課名	名称	主な審議内容	開催回数	構成人数	委員等の構成
学校安全課	児童・生徒指導推進委員会	心豊かな栃木の子どもを育てるため、学校、家庭、地域社会等において行う児童・生徒指導を推進するための具体的な取組や施策等について幅広い意見を得る。	年4回	11人	行政職 11人
	栃木県立学校職員総括安全衛生委員会	職員の危険、健康障害の防止及び職員の健康の保持増進を図るための基本となるべき対策に関することを協議する。	必要に応じて開催	13人	総括管理者 1人 行政関係者 5人 職員代表者 6人 産業医 1人
	栃木県公立学校職員健康対策委員会	公立学校職員の結核性疾患者及び精神神経系疾患者の健康状況に関して審査を行う。	(委員会)年1回 (1部会)必要に応じて開催 (2部会)年11回	10人	医師 6人 学校関係者 3人 行政関係者 1人
	栃木県児童生徒健康管理委員会	学校における児童生徒等の健康管理を適切かつ円滑に行うため、検診の実施及びアレルギー疾患の対応を協議する。	年2回	28人	医師 17人 行政関係者 3人 消防関係者 1人 学校関係者 7人
高校教育課	定通教育振興協議会	新しい時代に対応する定通教育の在り方について、各界の有識者から幅広く意見を聴取し、本県定通教育の充実に資する。	必要に応じて開催	13人	学識経験者 1人 関係団体代表者 4人 中学校代表者 1人 行政関係者 1人 定通教育関係者 3人 定通制高校教頭 3人
特別支援教育室	栃木県教育支援委員会	障害のある子どもの障害の程度及び就学先の判断、障害のある子どもの指導・支援の内容について審議する。	年3回	17人	学識経験者 2人 医師 4人 福祉関係機関 3人 教育関係機関 8人
生涯学習課	生涯学習推進本部	生涯学習における諸施策の総合的な企画及び推進に関することについて協議する。	必要に応じて開催	本部 12人 幹事会 43人	行政職
	とちぎ子どもの未来創造大学実行委員会	とちぎ子どもの未来創造大学の運営や各講座の実施に関すること。	年1回	69人	高等教育機関 16人 行政職 20人 その他 33人
	ふれあい学習推進委員会	1. ふれあい学習の全県的な推進に関する企画、立案、評価等 2. その他ふれあい学習の推進に関わる資料作成等	年2回	16人	学識経験者 1人 地域活動者 2人 企業関係者 1人 学校関係者 2人 行政関係者 10人

## (1) 附属機関以外の各種検討会、協議会、委員会等 (つづき)

(R3(2021).3.31 現在)

課名	名称	主な審議内容	開催回数	構成人数	委員等の構成
生涯学習課	栃木県子どもの読書活動推進協議会	1. 子どもの読書活動の推進方策、関係機関の連携・協力方策について協議する。 2. 「栃木県子どもの読書活動推進計画」の進行管理を行う。	年2回	13人	学識経験者 1人 団体関係者 3人 学校関係者 5人 行政関係者 4人
スポーツ振興課	生涯スポーツ関係文部科学大臣表彰候補推薦選考委員会	文部科学大臣裁定による「生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰実施要項」等に基づいて県内の候補者及び候補団体の選考について審議する。	年1回	6人	県教委関係者 2人 団体関係者 4人
	栃木県民総スポーツ推進協議会	体育・スポーツ・レクリエーション活動を通じた、県民総スポーツの推進について協議する。	休会	—	
	子どもの体力向上推進検討委員会	子どもの体力向上を図るため、子どもの運動・スポーツに関する施策や事業等に対し、研究や助言を行う。	年2回	14人	学識経験者 3人 県教委関係者 11人
	幼児の体力に関する検討部会	幼児期の子どもにおける、発育・発達に配慮した適切な指導や運動に関する施策や事業等について検討する。	年2回	7人	学識経験者 1人 団体関係者 4人 行政関係者 1人 県教委関係者 1人
	第77回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部	第77回国民体育大会での天皇杯・皇后杯の獲得に向けた、競技力の向上について審議・決定する。	年5回	41人	県議会議員 2人 県教委関係者 2人 学識経験者 7人 行政関係者 3人 企業関係者 2人 学校関係者 7人 スポーツ関係者 18人
文化財課	特別史跡・特別天然記念物日光杉並木街道保護対策連絡協議会	日光杉並木街道の保護に関して協議する。	必要に応じて開催	18人	県議会議員 5人 学識経験者 2人 団体関係者 1人 行政関係者 9人 その他 1人
国体・障害者スポーツ大会局	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会	第77回国民体育大会及び第22回全国障害者スポーツ大会を開催するために必要な各事業について、審議を行う。	必要に応じて各種会議を開催	総会 301人 常任委員会 55人 各種専門委員会 各約20人	国会議員・県議会議員 行政関係者 スポーツ関係者 学校関係者 産業・経済関係者 通信・運輸関係者 宿泊・観光関係者 医療・福祉関係者 警備・消防関係者 社会団体関係者 報道関係者 等

## (2) 栃木県教育委員会関係特殊法人一覧

(R3(2021).3.31 現在)

名 称	事務所の所在地	代 表 者 名	事業の種類等	関 係 課
公立学校共済組合栃木支部	学校安全課内	荒川 政利	共 済 制 度	学校安全課

## (3) 栃木県教育委員会所管公益法人一覧

(R3(2021).3.31 現在)

名 称	〒 法 人 事 務 所 所 在 地	代 表 者 名	主 な 事 業 内 容	設 立 許 可 年 月 日	所 管 課 名
(公財) 三好園	327-0317 佐野市田沼町362 TEL 0283-62-5497	蓼沼 恒男	育英奨学 考古館の 管理運営	明44. 3.25	総 務 課
(公財) 紫塚奨学団	324-0058 大田原市紫塚3-2651 大田原高校内 TEL0287-22-2042	増渕 忠行	育英奨学	大 7.10.28	総 務 課
(公財) 野澤一郎育英会	321-4331 真岡市白布ヶ丘24-1 真岡高校内 TEL 0285-82-3413	佐藤 務	育英奨学 高校スポ ーツ振興	昭32.12.25	総 務 課
(公財) 青木周蔵記念育英会	325-0051 那須塩原市豊町6-1 黒磯高校内 TEL 0287-62-0101	青木 盛久	育英奨学	昭34. 9. 7	総 務 課
(公財) 下野奨学会	320-8686 宇都宮市昭和1-8-11 TEL 028-625-1108	岸本 卓也	育英奨学	昭36.12.27	総 務 課
(公財) 駒形育英会	327-0525 佐野市あくど町4201 駒形石灰工業内 TEL 0283-85-2484	駒形 忠晴	育英奨学	昭38.12.16	総 務 課
(公財) 矢板市育英会	329-2165 矢板市矢板106-2 矢板市教育委員会内 TEL 0287-43-6217	齋藤淳一郎	育英奨学	昭51.10. 1	総 務 課
(公財) かぬま文化・スポ ーツ振興財団	322-0068 鹿沼市今宮町1688-1 TEL 0289-65-5581	高橋 臣一	施設管理	昭57. 5.27	総 務 課
(公財) 古澤育英会	322-0068 鹿沼市今宮町1688-1 鹿沼市教育委員会内 TEL 0289-63-2234	佐藤 信	育英奨学	昭63.12.23	総 務 課
(公財) 飯塚教育英会	320-0851 宇都宮市鶴田町1758 株式会社TKC内 TEL 028-648-2111	飯塚 真玄	育英奨学	平 7.12. 1	総 務 課
(公財) 滝の原財団	320-0846 宇都宮市滝の原3-5-70 宇都宮高校内 TEL 028-633-1426	齋藤 一郎	育英奨学 滝の原会館 の維持修繕	令元.12.24	総 務 課
(公財) 日本ボーイスカウ ト栃木県連盟	320-0043 宇都宮市桜4-2-2 栃木県立美術館普及 分館3F TEL 028-621-9800	白澤 嘉宏	ボーイス カウト活 動の普及	昭48. 6.30	生涯学習課
(公財) とちぎYMCA	320-0041 宇都宮市松原2-7-42 さくらんぼ幼稚園内 TEL 028-624-2546	鷹箸 孝	青少年教育	昭55. 8. 1	生涯学習課



## (3) 栃木県教育委員会所管公益法人一覧(つづき)

(R3(2021).3.31 現在)

名 称	〒 法 人 事 務 所 所 在 地	代 表 者 名	主 な 事 業 内 容	設 立 許 可 年 月 日	所 管 課 名
(公財) 栃木県スポーツ協会	321-0152 宇都宮市西川田4-1-1 TEL 028-680-7771	小祝 章二	スポーツ振興	昭45. 6. 10	スポーツ 振興課
(公財) 宇都宮市スポーツ 振興財団	321-0954 宇都宮市元今泉 5-6-18 TEL 028-663-1611	高橋 利幸	施設管理	昭56. 2. 27	スポーツ 振興課
(公財) 小山市体育協会	323-0042 小山市外城371-1 TEL 0285-30-5856	佐伯 一之	スポーツ振興	平 9. 12. 12	スポーツ 振興課
(公社) 栃木県サッカー協会	320-0857 宇都宮市鶴田2-2-10 鈴運メンテック(株)ビル2F TEL 028-688-8411	星野 務	スポーツ振興	平14. 3. 20	スポーツ 振興課
(公財) 日光杉並木保護財団	320-8501 宇都宮市塙田1-1-20 TEL 028-623-3460	北條 俊明	日光杉並木街道の保護	平 8. 10. 4	文化財課
(公財) 日光社寺文化財 保存会	321-1431 日光市山内2281 TEL 0288-54-0186	中麿 輝美	文化財の保存修理	昭45. 12. 24 平25. 4. 1 国から移管	文化財課
(公財) 栃木県学校給食会	321-0113 宇都宮市砂田町649 TEL 028-656-6511	高橋 正彦	学校給食普及	昭32. 6. 28	学校安全課

## (4) 栃木県教育委員会所管移行法人一覧

(R3(2021).3.31 現在)

名 称	〒 法 人 事 務 所 所 在 地	代 表 者 名	主 な 事 業 内 容	設 立 許 可 年 月 日	所 管 課 名
(一社) 秋山奨学会	327-0517 佐野市秋山町719-2 TEL 0283-87-0005	遠藤 厚寛	育英奨学 学校後援	明42. 1. 11	総務課
(一財) 栃木県連合教育会	320-0066 宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館内 TEL028-621-7177	新沼 隆三	団体援助	昭19. 8. 24	総務課
(一財) 田中正造記念協会	327-0015 佐野市金井上町2233 TEL0283-22-5229	岡部 正英	調査研究 祭祀助成	昭32. 9. 21	総務課
(一財) 須賀川教育振興会	324-0212 大田原市須佐木53 TEL 0287-57-0054	佐藤 克己	育英奨学	昭37. 11. 16	総務課
(一財) 横川育英会	320-0041 宇都宮市松原1-4-10 横川方 TEL 028-622-3763	横川 恵	育英奨学	昭52. 12. 23	総務課
(一財) 栃木県青年会館	320-0066 宇都宮市駒生1-1-6 TEL 028-624-1417	大嶋 茂	青少年教育 青年会館の 運営	昭47. 10. 24	生涯学習課
(一社) 栃木県子ども会 連合会	320-0066 宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館内 TEL 028-621-1154	内藤 進	子ども会の 育成及び子 どもの育成 活動の振興	平19. 3. 1	生涯学習課



## (4) 栃木県教育委員会所管移行法人一覧(つづき)

(R3(2021).3.31 現在)

名 称	〒 法人事務所所在地	代表者名	主な事業内容	設立許可 年 月 日	所管課名
(一財) 昭徳館柔道場	326-0814 足利市通6-3222 TEL 0284-21-0327	椎 名 弘	柔道普及	昭32. 8. 7	スポーツ 振 興 課
(一社) 那須ゴルフ倶楽部	325-0301 那須町大字湯本 212 TEL 0287-76-3100	松井 譲二	スポーツ振興	昭34. 8. 1	スポーツ 振 興 課
(一社) 日光カンツリー倶楽部	321-1421 日光市所野2833 TEL 0288-54-2128	松本 典文	スポーツ振興	昭39. 2. 1	スポーツ 振 興 課
(一財) 那須小川スポーツ 振興基金	324-0502 那珂川町三輪1283 TEL 0287-96-2121	篠崎 暢宏	スポーツ振興	平 2.12.14	スポーツ 振 興 課
(一財) 栃木県野球連盟	320-0834 宇都宮市陽南 4-14-14 栃木県野球会館内 TEL 028-645-5589	中山 勝二	スポーツ振興	平 2.12.25	スポーツ 振 興 課
(一社) 日光古式馬術保存会	321-1421 日光市所野2844-1 TEL 0288-53-2858	稲葉 久雄	伝統文化の 保存	昭63. 5.10	文化財課
(一財) 小中農教倶楽部	327-0001 佐野市小中町 965-1 TEL 0283-25-1221	君田 國雄	施設管理 運営	昭21. 5. 2 平12. 4.1知事部 局から移管	文化財課
(一財) 栃木県教育福祉振興会	320-0066 宇都宮市駒生町 1359-37 TEL 028-680-6301	宇賀神 貴	福利厚生	昭61. 4. 1	学校安全課

## (5) 栃木県教育委員会所管公益信託一覧

(R3(2021).3.31 現在)

公益信託名	委託者・受託者		主 な 事業内容	設立許可 年 月 日	所 管 課
公益信託白鷺奨学基金	委託者	匿 名	育英奨学	昭59.10. 9	総 務 課
	受託者	三井住友信託銀行(株)			
公益信託平野奨学基金	委託者	平野末吉	育英奨学	昭60. 3.20	総 務 課
	受託者	三井住友信託銀行(株)			
公益信託小平グループ 交通遺児育英奨学基金	委託者	小平久雄 他	育英奨学	平 2. 7.20	総 務 課
	受託者	三菱UFJ信託銀行(株)			
公益信託 上三川町ふるさと人材 育成奨学基金	委託者	上三川町	育英奨学	平 3. 7.23	総 務 課
	受託者	みずほ信託銀行(株)			
公益信託 松下ハツヨ交通遺児 育英奨学基金	委託者	松下ハツヨ	育英奨学	平 3. 8. 7	総 務 課
	受託者	みずほ信託銀行(株)			

---

---

## 令和2（2020）年度 栃木県の教育

令和3（2021）年9月発行

編集・発行 栃木県総合教育センター

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070

TEL 028(665)7200（総務部）

FAX 028(665)7217

ホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

---

---



栃木の子どもをみんなで育てよう」運動  
うちの子・よその子・栃木の子、みんなで育てて明るい未来

まずは、やってみよう！

- ☆人に迷惑をかけることは「ダメ」と言おう。
- ☆「あいさつ」の輪を広げよう。
- ☆「本の時間」をつくろう。